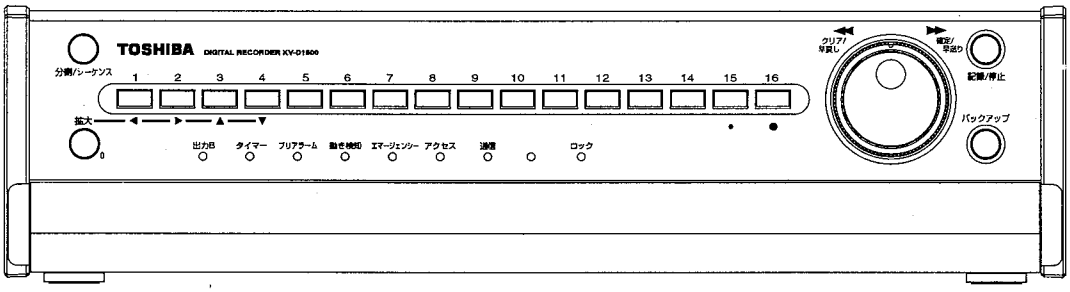
TOSHIBA

東芝デジタルレコーダー

取扱説明書

形名

KV-D1600



このたびは東芝デジタルレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのデジタルレコーダーを安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつでも手元においてご使用ください。

ホームページに最新の商品や周辺機器情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。
■http://www.toshiba.co.jp/g_camera/

上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合はお手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

本機の主な特徴

大容量ハードディスクドライブ内蔵デジタルレコーダー

画像圧縮伸張方式(WAVELET方式)の採用により、水平解像度450本以上の高画質記録と長時間記録を実現しました。画質設定も5段階の中から選択可能です。メインデバイスとして高信頼性・高速動作の大容量320GBのハードディスクを内蔵しました。記録間隔を1秒30コマから8秒1コマ間の12段階から選択可能、最大2087万コマの連続記録が可能です。

16入力マルチプレクサ機能内蔵

運用するカメラ設置台数の増加に対応し、レコーダーとマルチプレクサとを組み合わせての運用が一般化しています。デジタル記録の特徴である高画質な再生映像の追求と記録運用の合理化を目指し、使い勝手のよいマルチプレクサ機能を内蔵しました。

マルチプレクサ2系統
2台のモニターを接続し、それぞれのモニター上で分割画面を表示できるようモニター出力を2系統備えました。

カメラ切り換えと分割表示機能
スルーアウト端子付き16カメラ非同期入力対応。分割表示機能として、1・4・9・16分割とシーケンシャル表示機能を搭載しました。

動作状態表示機能
画面下部または上部に記録、再生など本機の動作状態を表すことが可能です。

多彩な記録機能

通常記録とアラーム記録の設定を完全に分離することで、カメラごとに通常記録設定を保持したまま、アラーム信号を入力したカメラのみ記録間隔、記録画質を変更したりできます。たとえば、重要な監視箇所のカメラは記録間隔を短くし高画質でしっかりと記録し、優先順位の低いカメラは記録間隔を長くして記録するなどメリハリの効いた監視記録が可能です。

エマージェンシー記録
エマージェンシー信号を入力するとすべてに優先して、強制的にアラーム記録に指定したカメラによって、最大コマ数、最高画質で指定した時間の記録を行います。

アラーム記録機能
従来は、アラームが入ったカメラのみ、またはすべてのカメラでしか記録できませんでしたが、本機はアラームが入ったカメラのみならず、他のカメラでも記録できるよう1つのアラーム入力に対してアラーム記録させるカメラを自由に設定できます。また、アラーム信号は、後面端子と動き検知機能を組み合わせてアラーム記録を開始させることが可能です。

プリアラーム記録機能
アラームセンサーが異常を感知する前からの映像を記録時間を選択して記録できます。

ミラー記録機能
ハードディスククラッシュ時を想定して、ハードディスクの内容をもう一方のハードディスクに自動複製する機能です。これにより突然のハードディスククラッシュに対するデータ消失という心配が大幅に軽減されます。(注、記録時間は半分になります。)

パーティション記録機能
ハードディスク内の独立したパーティションエリアに、アラーム記録のデータのみを記録することができます。

コメント記録/コメントサーチ機能
本機は、RS-232C接続したパーソナルコンピューターから入力したキャラクターを、コメントとして映像・音声と共に記録することができ、コメントを挿入した映像をパーソナルコンピューターにより検索することが可能です。また、表示タイトルを設定すると、映像と共に記録することができます。

カメラ毎記録間隔設定機能
カメラごとに個別に記録間隔、記録画質の設定が可能なので、限られたHDD容量の中で、効率的に記録を行うことが可能です。

タイマー記録

タイマープログラム
通常記録、アラーム記録を行うカメラパターン、記録間隔、記録画質を運用ごとに4種類登録可能です。また、プリアラーム記録、動き検知機能も個別に設定することができます。

タイマー休日指定
年間の休日をあらかじめ設定することが可能です。

監視を支える多彩な機能

自動設定
はじめて本機の電源を入れたとき、接続されたカメラを自動的に検出し、最低限必要な機能設定を自動的に行います。時間設定・運用期間を設定するだけで接続したカメラ台数に対し、自動的に記録間隔、記録画質を割り当てます。

パスワードロック機能
本機は、操作機能別に3段階でロックをかけることができる操作制限パスワードロックとデータ消去に対しロックをかけることができるHDDデータ消去パスワードロックの2種類を備えています。

動き検知機能
接続している個別の16カメラごとに動く物体を検知し、アラーム記録を開始します。動きを検出するエリアドット設定、16x12のドットで分割された検出位置、動きを検出する感度、アラーム記録を開始する最低ドット数など、それぞれを任意に個別に設定することが可能です。これにより、カメラに映った移動物体を識別してアラーム記録する監視体制が構築できます。

通信機能
インターネット/LANに接続しているパーソナルコンピューターから本機の記録済み映像データ・検索データ、またはライブ映像データが取得可能です。

音声記録機能
1チャンネルのPCM 音声記録が可能です。店舗のレジスタ操作音や接客中の会話などを監視映像と共にクリアな音質で記録することが可能です。

映像改変識別機能
本機を用いて記録された映像は、デジタル記録された各映像ごとに独自方式の改変識別用の処理を付加しておりますので、不正に改ざんされた場合には検出が可能です。

優れた拡張性
SCSI端子、パーソナルコンピューターからのリモート操作を可能にするRS-232Cインターフェースや各種簡易コントロール端子を標準装備しました。高度なセキュリティーシステムにも柔軟に対応できます。

前面出力端子
モニターやVTRを前面部に接続できます。事件を記録したときのダビングにも便利です。

コンパクトフラッシュスロット
本機前面部にコンパクトフラッシュスロットを標準装備しました。HDDに記録したデータの一部をコピーしたり、メニュー設定をコピーして保存、または他のレコーダーに同じ設定内容をコピーすることが可能です。コンパクトフラッシュにコピーしたデータは、オプションのソフトウェアにより再生することが可能です。

電子拡大表示機能
現在お使いのカメラで表示中の映像について任意部分の電子拡大表示が可能です。たとえば、現金受渡カウンター付近の拡大表示などが本体操作で可能になります。

同時録再機能
記録運用中に、記録動作をやめずにハードディスクの記録データを再生することができます。

サーチ機能
タイムデート、インデックス、スキップ、アラームリスト、開始点、終了点のサーチ方式が選択可能です。本機前面部のサーチボタンを押すとサーチメニューが表示され、すぐに検索動作に移ることができます。繰り返し検索を行うときに便利です。

カメラ制御
16台の複合一体型カメラなどを接続できます。オプションのリモートコントロールユニット、またはオプションのソフトウェアを使用することによりパン・チルト・ズームをコントロールすることができます。

リモートコントロールユニット(オプション)
リモートコントロールユニットを使用することにより、複合一体型カメラなどのコントロールを行なうことができます。

PC再生ソフトウェア(オプション)
コンパクトフラッシュに保存した映像を簡単にパーソナルコンピューター上で再生できます。

SCSIデバイスによる増設

後面部のSCSI端子に長時間記録用のハードディスク、バックアップ機器、またはコピー機器を接続することができます。

注) Compact Flash™(コンパクトフラッシュ™)は、サンディスク社の商標です。
なお、本文中では"TM"は表記していません。

もくじ

はじめに お使いになる前に知っておいていただきたい情報です。

安全のために必ずお守りください ・ 7-11

フローチャート ・・・・・・・・・・・・・・・ 12,13
接続・設定運用例フローチャート ・・・・・・・・・ 12,13

各部のなまえとはたらき ・・・・・・・ 14-18
本体前面部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
本体前面部 （ドア内部） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 15,16
本体後面部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17,18

接続・初期設定編 本機の接続方法と初期設定を説明しています。

接続のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19-21
CCTV カメラ、モニター
センサーとの接続 ・・・・・・・・・・・・ 19
アラーム記録時の接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
外部記録機器との接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20,21
接続できる外部記録機器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
使用するケーブルについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
使用する外部記録機器が１台だけの場合 ・・・・ 21
使用する外部記録機器が複数台の場合 ・・・・・・ 21

*自動設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

音声記録設定 ····· 66
I/O 端子設定 ····· 66-69
MODE OUT 1～5 ····· 66
ボタン音 ····· 67
ブザー ····· 67
残量検出位置 ····· 67,68
CALL OUT 設定 ····· 68,69
HDD(メイン)残量発報 /HDD(サブ)残量発報 / バックアップ残量発報 ····· 68
HDD(メイン)フル /HDD(サブ)フル / バックアップフル ····· 69
エマージェンシー記録時間 ····· 69
通信設定 ····· 69,70
RS-232C ····· 69,70
RS-232C 運用 ····· 69
RS-232C 設定 ····· 70
ETHERNET ····· 70-73
E-MAIL アドレス ····· 71
サービスポート設定 ····· 71
アラーム通知設定 ····· 72,73
カメラ制御設定 ····· 73
情報表示・保守設定 ····· 74-76
情報表示(メイン・サブ)/ 情報表示(バックアップ・コピー)/ 情報表示(CFC) ····· 74
システムログリスト ····· 75
メニュー初期化 ····· 76
データ消去 ····· 76
簡易ロック／パスワードロック ····· 77-80
簡易ロック ····· 77
パスワードロック ····· 77-80
言語選択 ····· 80

<メニュークイック設定> ·····81,82

メニュークイック設定 ····· 81,82
本機のメニュー設定を更新するには ····· 81
本機のメニュー設定の内容をコンパクトフラッシュカードに保存するには ····· 82

運用例 ····· 83-89

運用例 1 ····· 83,84
運用例 2 ····· 85,86
運用例 3 ····· 86-88
運用例 4
タイマー予約での同時バックアップ ··· 88,89

いろいろな記録 ·····90,91

プリアラーム記録 ····· 90
エマージェンシー記録 ····· 90,91

いろいろな再生 ····· 92-94

静止画再生 ····· 92
シャトル再生／ダイレクトシャトル再生 ····· 92
シャトルホールド ····· 92
コマ送り ····· 92
逆再生 ····· 93
高速早送り／早戻し再生 ····· 93
再生間隔の変更 ····· 93
記録中の同時再生 ····· 94
最新映像の再生 ····· 94

いろいろなサーチ ····· 95-99

サーチ方式設定 ····· 95,96
サーチ方式 ····· 95
カメラ選択 ····· 95
リスト検索時間設定 ····· 95
再生デバイス選択 ····· 96
タイムデートサーチ ····· 96
記録インデックスサーチ／アラームインデックスサーチ ····· 96,97
スキップサーチ ····· 97,98
アラームリストサーチ ····· 98,99
開始点サーチ／終了点サーチ ····· 99

コピーのしかた ····· 100-102

コピー / リストアのしかた ····· 100-102
レコーダーからビデオテープにコピーする ··· 102

便利な機能について ····· 103-106

停電補償回路 ····· 103
停電復帰記録 ····· 103
本機稼動中の停電発生、後面部 MAIN スイッチ OFF 操作時の履歴の記録 ·· 103
RESET ボタン ····· 103
HDD 記録運用 ····· 104,105
ミラーリング ····· 104
アラームパーティション / サブデバイス容量 105
カメラ表示設定 ····· 106
アラームディスプレイ ····· 106

Webブラウザによる通信 ···· 107-113

Web ブラウザによる通信 ····· 107-113
パーソナルコンピューターの動作環境 ···· 107
接続について ····· 107
アクセス認証 ····· 107,108
Welcome ····· 108-113
ライブ画像 ····· 109,110
記録画像 ····· 110
時刻検索 ····· 110
アラーム検索 ····· 111
アラームインデックス ····· 111
ユーザー管理 ····· 111,112
ログアウト ····· 112
ログインユーザーの変更 ····· 113

パーソナルコンピューターとの接続 114

モデムを介して接続する場合 ····· 114
ダイレクト接続する場合 ····· 114
RS-232C 端子について ····· 114
RS-232C ケーブル ····· 114

コマンドコード表について ···115,116

通信設定 ····· 115
コマンドコード体系 ····· 115
コマンドコード体系の概要 ····· 115.116
直接動作指定コマンド形式 ····· 115
擬似操作パネルコマンド形式 ····· 116
状態遷移通知機能 ····· 116
コマンド受取確認通知機能 ····· 116

もくじ(つづき)

運用編（つづき）

コマンドコード表 …… 117-144

コマンドコード …… 117-143
文字コード一覧 …… 144

コメントサーチ …… 145

コメントサーチ用コマンドコード …… 145
コメント記録に使用できる文字 …… 145
実施例 …… 145

記録時間表

記録時間表 …… 146,147

連続記録可能時間表 …… 146
HDD の連続記録可能時間(320GB の場合) 146
コンパクトフラッシュカードの
連続記録可能時間(64MB の場合) 147

故障かな？ 故障かなと思うとき参考にできます。

「故障かな」と思う前に …… 148,149

警告表示と
CALL OUT信号の出力 …… 150,151

用語集・索引

用語集／設定カメラ数・
記録間隔設定と記録動作の関係 …… 152

用語集 …… 152
設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係 152

索引 …… 153,154

仕様 …… 155

保証とアフターサービス …… 156

この取扱説明書の読み方

・マークの見かた

➡（操作上、参考にしてください）
操作上、参考にしていただきたい情報を記載しています。

(!)（お気をつけください）
操作上、気をつけていただきたい情報を記載しています。

☞（参照ページをごらんください）
参照項目とページ数を記載しています。

参考（参考にしてください）
その他、参考にしていただきたい情報を記載しています。

・見たい項目の探しかた
右ページにインデックスを配置しています。また、取扱説明書の前半部分には「もくじ」が、後半部分には「索引」が記載されています。そのほか本文中にも参照ページが記載されています。

・困ったときは
「故障かな」と思う前に（148、149ページ）を読み適切な処置をお取りください。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください
絶対に水にぬらさないでください	絶対にぬれた手で触れないでください	
必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	

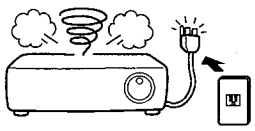
⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

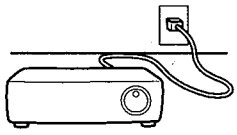
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



使用禁止

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

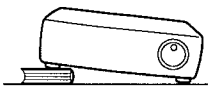
電源プラグを、コンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する



電源プラグがすぐ抜ける場所

異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因となります。

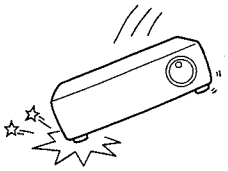
不安定な場所には置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

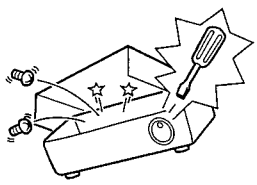
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



使用禁止

火災や感電の原因となります。

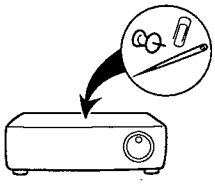
キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

内部に異物を入れない

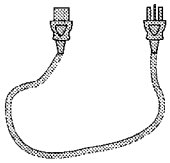


禁止

通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどがはいると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

付属の電源コードを使用する

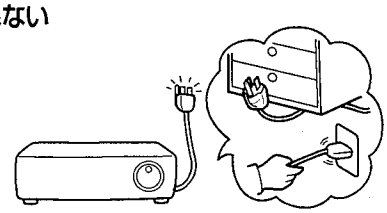


付属の電源コード

これ以外の電源コードを使うと、感電や火災の原因となります。アース端子は安全のための接地アースです。コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。電源プラグのアース端子をガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。

電源コードを傷つけない

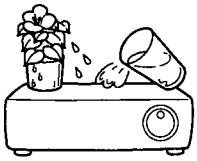
●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない
●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない
●束ねない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

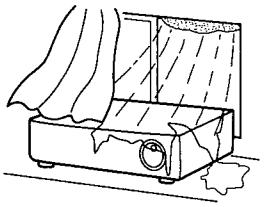
花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



水ぬれ禁止

内部に水や異物がはいると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない



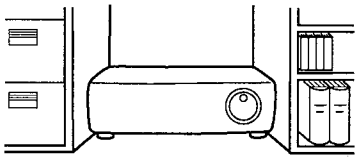
水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、水辺、窓辺での使用は、特にご注意ください。

通風口、排気口をふさがない

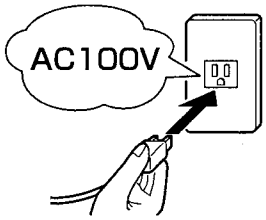
●風通しの悪い狭い場所に置かない
●じゅうたんや布団の上に置かない
●テーブルクロスなどをかけない

禁止



通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

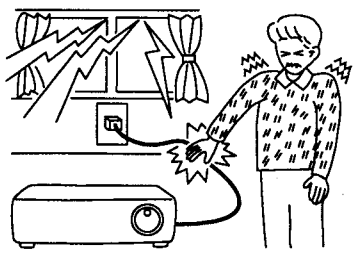
正しい電源電圧(交流100V)で使う、また配線器具の定格電流をこえない



交流100V

交流100V以外の電圧で使用した場合や配線器具の定格電流をこえて使用すると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

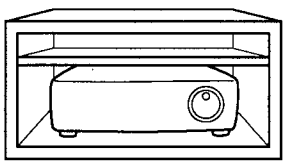
雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない



接触禁止

感電の原因となります。

まわりに15cm以上すきまをあける(特に後面)

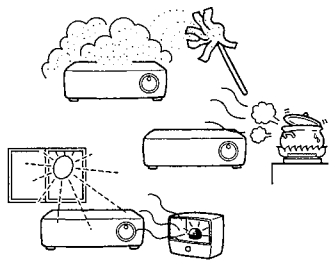


すきまをあける

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
放熱をよくするために、他の機器から離して設置してください。

⚠注意

設置時は、次のような場所には置かない
- ●湿気やほこりの多い場所
- ●油煙や湯気が当たる場所
- ●直射日光の当たる場所
- ●熱器具の近く
- ●閉めきった自動車内など、高温になるところ
- ●製氷倉庫など、低温になるところ
- ●自動車内など、振動が多いところ
- ●温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- ●海岸近くなど、塩分の多いところ



設置禁止

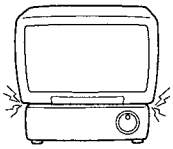
このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被覆が溶けるなどにより、火災や感電、変形の原因となることがあります。

接続したまま本機を移動させない

禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源が入った状態で移動させると内蔵HDDを破損させる恐れがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認し、1分以上たったあとで移動させてください。

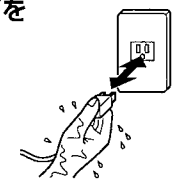
本機の上に重いものを置かない
本機の上にのらない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

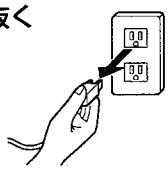
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

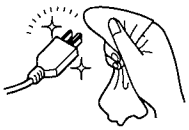
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

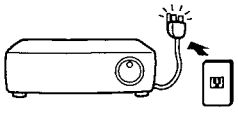
ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

5年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

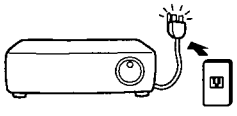
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

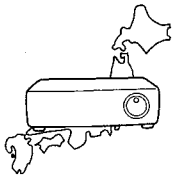


感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

本機は日本国内専用です

放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.



日本専用

使用上のお願い

ハードディスク(HDD)について

・本機は、精密機器であるハードディスクを搭載しております。本機取扱いには、十分ご注意ください。
・本機に振動や衝撃を与えないでください。特に通電中やハードディスクへのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
・記録・再生の動作中または通電中に、電源プラグを抜かないでください。
・本機は、記録運用中にハードディスク等に軽微な障害が発生した場合、自動復帰で記録運用を継続するシステムを搭載しておりますが、故障の早期発見のため、1年ごとに点検を依頼されることをおすすめします。
・本体の電源を切ってから1分以内は移動させないでください。

設置場所と取扱い

・はじめてご使用になるときは、本機内蔵の停電補償回路を動作させるために、48時間以上連続通電を行って充電してください。
・使用電源は、消費電力の大きな機器(コピー機、空調機器など)と同じコンセントからとらないでください。
・他の機器とあまり近づけないでください。機器がお互いに悪影響を与える可能性があります。
・強い磁気をもっているものを近づけないでください。映像に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合、電波妨害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
・ハードディスクと冷却用ファンは消耗品です。周囲温度25℃でのご使用時に、ハードディスク、冷却用ファンともに3万時間を目安に交換してください。(ただし、この時間は、あくまでも目安であり、部品を保証するものではありません。<情報表示・保守設定>画面の「運用時間」を、点検の目安にすると便利です。)
・許容周囲温度を必ずお守りください。低温でご使用になる場合は、10分以上通電を行ったのち、ご使用ください。

設置場所の移動

・移動させるときは、必ずMAINスイッチをOFFにし、完全に停止したのを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃が与えられると、機器内部の電子部品やハードディスクをいためることがあります。特に、電源ボタンまたはアクセスインジケーターが点滅中は、ご注意ください。
・内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

お手入れ

・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
・ベンジンやシンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

大切な記録の場合

・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。
・本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

著作権について

・ディスクを無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
・お客様が監視カメラで記録した画像を権利者に無断で使用、開示または展示等を行うと著作権法等に抵触する場合があります。なお、実演や興行、展示物の中には、監視などの目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

本機を使用した監視システム構築上の注意

・本機は外部端子、RS232C端子、ETHERNET端子により外部機器から制御が可能です。また外部端子、RS422/485、RS232C端子により外部機器の制御も可能です。これらの機能により、高度なセキュリティシステムにも柔軟に対応可能ですが、本機の設定内容や外部機器との接続や組合せによっては、本機または外部機器の誤動作が原因となり、監視システム全体に影響を及ぼすおそれがあります。
・本機を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組合せによる動作確認を行った上で、ご使用になることをおすすめします。
・大切な記録の場合は、必ず定期的にコピー/バックアップをとられることをおすすめします。
・万一、本機の不具合により発生した監視システムの動作エラー、記録データの消失、その他のあらゆる損失について、当社はその補償や一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ETHERNETについて

・ネットワークの設定については、必ずネットワーク管理者の確認を事前に取られることをおすすめします。

記録時間と製品保証について

・連続記録可能時間とメニュー画面に表示される見積り時間は、機能動作上の連続記録可能時間であり、製品保証期間ではありません。また、使用部品の動作信頼性を保証する期間でもありません。

動き検知機能について

・本機に内蔵されている動き検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。本機の検出機能を用いて発報するシステムなどに接続している場合は、誤動作にご注意ください。また、誤動作が問題となる場合は、後面部のアラーム入力端子を使用して別のセンサーを取り付けてください。

免責事項について

・地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は、一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
・本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

フローチャート

■ 接続・設定運用例フローチャート

後面端子の接続、HDD運用をミラーリングに設定、初期設定をします。次にタイマー運用を用いてアラーム記録をし、アラームリストサーチを使ってその記録データを検索、再生し、コンパクトフラッシュカードへコピーする運用例を説明します。

後面部の接続・配線
・後面部各端子の接続　（■ CCTVカメラ、モニター、センサーとの接続 ☞ 19ページ）
・アラーム記録の接続　（■ アラーム記録の接続方法 ☞ 20ページ、■ 本体後面部 ☞ 17,18ページ）

▼

本機を起動する

▼

自動設定　（■ 自動設定 ☞ 22,23ページ）

(!) 本機をはじめて起動させたときにのみ、＜自動設定＞画面は自動的に表示されます。次回以降は、自動的に表示されません。再び、自動設定を行う場合 ☞ 22ページをごらんください。

「自動設定を実行しますか？」が表示され、「はい」を選択した場合 ▶ 接続しているカメラを自動検出し、ユーザーの記録運用期間により、画質/記録間隔が自動的に設定されます。（HDD記録運用は、「通常」となります）

「自動設定を実行しますか？」が表示され、「いいえ」を選択した場合

▼

HDD記録運用の設定
・ミラーリングの設定　（◆ ミラーリング ☞ 104ページ、初期設定「通常」→「ミラーリング」）

▼

メニュー初期設定の変更
・時刻、画面表示の設定　（＜時刻・画面表示設定＞ ☞ 40-42ページ）
　時刻・日付け合わせ　（◆ 日付・時刻の合わせかた ☞ 27,28ページ）
　表示形式の設定　（■ 画面表示形式 ☞ 40ページ）
・音声記録の設定　（■ 音声記録設定 ☞ 66ページ、記録時間表 ☞ 146ページ）

▼

HDDに関する設定
・リピート記録の設定　（◆ HDD(メイン)リピート記録 ☞ 62ページ）
・HDDの残量の設定　（◆ 残量検出位置 ☞ 67,68ページ）
・CALL OUTの設定　（・HDD(メイン)残量発報 ☞ 68ページ、HDD(メイン)フル ☞ 69ページ）
・ブザーの設定　（◆ ブザー ☞ 67ページ）

▼

マルチプレクサに関する設定
・分割表示位置の設定　（■ 4分割表示位置 ☞ 45,46ページ、■ 9分割表示位置 ☞ 46ページ、■ 16分割表示位置 ☞ 47ページ）
・シーケンス表示の設定　（■ シーケンス表示 ☞ 47,48ページ）

▼

その他の便利な設定
・画面表示の設定変更　（■ 画面表示位置 ☞ 40ページ、動作モード表示 ☞ 42ページ）
・カメラタイトル・メモの設定　（■ カメラタイトル・メモ設定 ☞ 41,42ページ、カメラ表示設定 ☞ 40ページ「カメラ番号」→「タイトル」）
・本機の動作状態を出力する設定　（◆ MODE OUT1～5 ☞ 66ページ）

▼

▼

動き検知の設定
・カメラの選択 (■ 設定カメラ選択 ☞ 49ページ)
・検知エリアの設定 (■ 検知エリアドット設定 ☞ 49,50ページ)
・検知感度の設定 (■ 感度 ☞ 50ページ)
・記録開始最低ドット数の設定 (■ 記録開始ドット ☞ 50ページ)

▼

タイマー記録の設定
・記録に関する設定
通常・アラーム記録/プリアラーム記録の選択
(■ 通常記録・アラーム記録の記録運用設定A~D ☞ 60ページ)
記録運用の設定
アラーム記録時のカメラ選択項目の設定
(■ 通常記録・アラーム記録の記録運用設定 ☞ 52-54ページ)
動き検知記録の設定 (<動き検知記録> ☞ 49-51ページ、
■ 動き検知記録のアラームリストへの登録 ☞ 55ページ)
通常記録の間隔/画質の設定、アラーム記録の間隔/画質の設定
(◆ 通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する ☞ 29,30ページ)
アラーム記録時間の設定 (■ アラーム記録時間 ☞ 60ページ)
プリアラーム記録時間の設定 (■ プリアラーム記録設定 ☞ 55ページ)
・タイマー運用に関する設定
休日の設定 (■ タイマー休日設定 ☞ 59ページ)
プログラムの選択 (◆ <タイマープログラム設定>画面の構成 ☞ 57-59ページ)
タイマー設定
曜日の選択・開始時刻の選択・終了時刻の選択・運用の選択・動き検知の運用選択・(指定曜日の選択)

▼

タイマー記録実施/完了 (警告表示とCALL OUT信号の出力 ☞ 150,151ページ)

▼

記録の検索
・検索するデバイスの設定 (◆ 再生デバイス選択 ☞ 96ページ)
・検索するカメラの選択 (◆ カメラ選択 ☞ 95ページ)
・サーチ方式の選択 (◆ サーチ方式 ☞ 95ページ)
アラームリストサーチの設定 (■ アラームリストサーチ ☞ 98,99ページ)
リスト検索時間設定の設定 (◆ リスト検索時間設定 ☞ 95ページ)

▼

検索完了/検索結果表示

▼

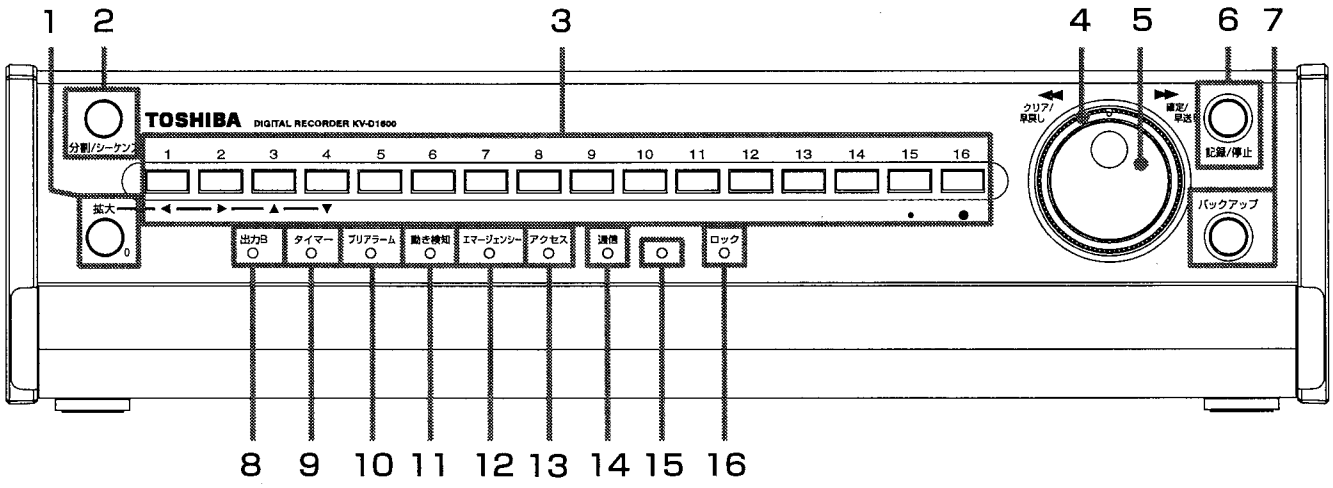
検索結果の再生
・再生するカメラの選択 (マルチプレクサ設定 ☞ 43-48ページ)
・分割/シーケンス画面の選択 (◆ 分割/シーケンスボタンの動作 ☞ 43ページ)
・再生する (■ 基本的な再生のしかた ☞ 31ページ)
・再生速度の選択 (いろいろな再生 ☞ 92-94ページ)

▼

記録のコピー
・コンパクトフラッシュカードの挿入
(<コンパクトフラッシュカードの挿入・排出方法> ☞ 15,16ページ)
・コピーの設定 (■ コピー/リストアのしかた ☞ 100-102ページ)

各部のなまえとはたらき

■ 本体前面部



1　拡大ボタン
1画表示中に拡大ボタンを1回押すと1倍に、2回押すと2倍に、3回押すと4倍に拡大表示されます。1画表示では、画面の中心に拡大中心点(X)が表示され、カメラ番号ボタン(1、2、3、4)を押すと拡大する位置を移動できます。

2　分割/シーケンスボタン
押すと、マルチプレクサ機能で選択した画面の4分割、9分割、16分割、シーケンス表示が切り換わります。

3　カメラ番号ボタン(1～16)
押すと、本機に接続されたカメラの映像を画面に表示します。

4　シャトル
メニュー設定、サーチ設定、再生時のスピード調整、早送り、早戻しなどをするときに使います。

5　ジョグ
メニュー設定、サーチ設定、コマ送り再生などをするときに使います。

6　記録/停止ボタン
押すと、記録を開始し、ボタンが点灯します。1秒以上押し続けると、記録を停止し、消灯します。
アラーム記録中に1秒以上押し続けると、記録を停止します。タイマー記録動作中は、押しても記録は停止しません。

7　バックアップボタン
押すとバックアップが始まります。1秒以上押し続けると、バックアップを停止します。バックアップ機器が接続されていない場合は、バックアップはできません。

8　出力Bインジケーター
マルチプレクサ出力 Bボタンを押すと、点灯します。

9　タイマーインジケーター
タイマー記録動作中/記録待機中に点灯します。

10 プリアラームインジケーター
プリアラーム記録を設定すると点灯します。

11 動き検知インジケーター
動き検知機能が動作中に点灯します。

12 エマージェンシーインジケーター
エマージェンシー記録中に点滅し、記録が完了すると点灯します。

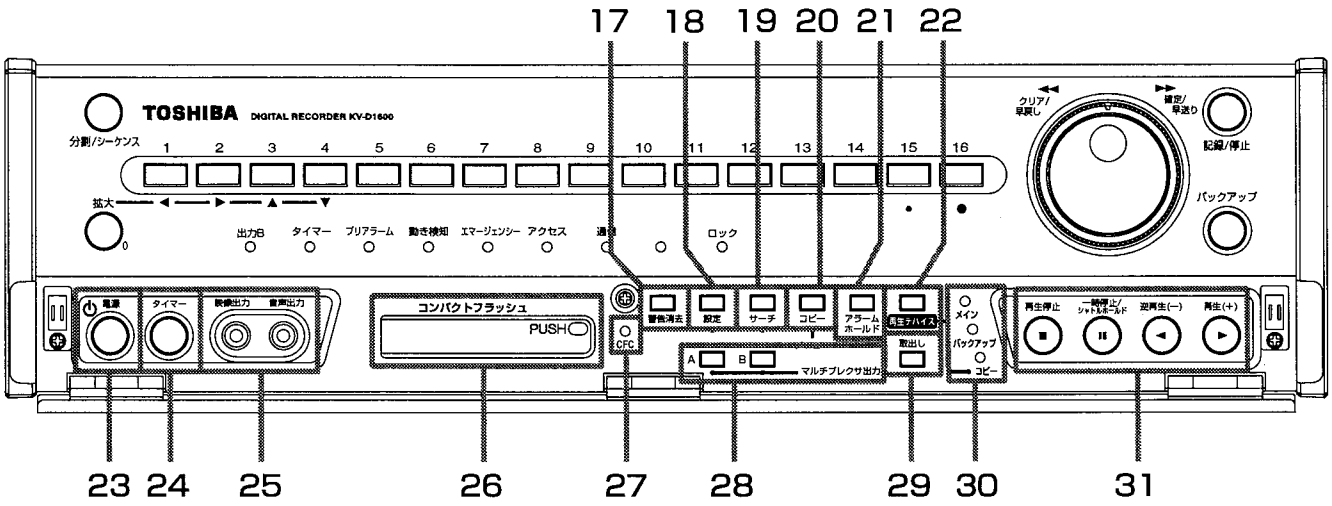
13 アクセスインジケーター
内蔵ハードディスク、コンパクトフラッシュカードや外部接続機器にアクセスしているときに点灯します。

14 通信インジケーター
ETHERNET経由でパーソナルコンピューターと通信を始めると点灯します。

15 ロックボタン
本体後面部のMAINスイッチ(主電源)がONのときにボールペンの先などを使って押すと、簡易ロックまたはパスワードロックになります。<パスワードロック設定>画面で、パスワードを設定することができます。ロック中は、インジケーターが点灯します。

16 ロックインジケーター
簡易ロックまたはパスワードロック中に点灯します。

■ 本体前面部（ドア内部）



17 警告消去ボタン

押すと、画面上の警告表示を消去したり、データクリアの実行などに使用します。

18 設定ボタン

以下の動作設定をします。

- カメラごとの記録運用
- アラーム記録運用
- マルチプレクサ機能
- 動き検知機能
- タイマープログラム機能
- 情報表示設定
- 外部コントロール端子設定
- その他、初期設定

19 サーチボタン

以下の動作検索をします。

- タイムデートサーチ
- 記録インデックスサーチ
- アラームインデックスサーチ
- スキップサーチ
- アラームリストサーチ
- 開始点サーチ/終了点サーチ

20 コピーボタン

押すと、<コピー>画面が表示されます。コピー動作中は、ボタンが点灯します。コピー機器が接続されていない場合、コンパクトフラッシュスロットにカードが挿入されていない場合は、コピーはできません。

21 アラームホールドボタン

押すと、アラーム信号および動き検知を5分間受け付けなくなります。受け付けない間は、ボタンが点滅します。

22 再生デバイスボタン

再生デバイスの選択をします。

23 電源ボタン

後面部のMAINスイッチがONのときに押すと、電源がはいり、ボタンが点灯します。もう一度押すと、待機状態となり、消灯します。起動時など動作の移行中は、ボタンが点滅し、ほかの動作を受け付けません。

24 タイマーボタン

押すと、タイマー記録／待機状態になり、タイマーインジケーターが点灯します。1秒以上押し続けると、タイマー記録／待機状態が解除されタイマーインジケーターが消灯します。

25 アナログ出力端子

映像出力端子

RCAピンの映像出力端子です。

音声出力端子

RCAピンの音声出力端子です。

26 コンパクトフラッシュスロット

データ、メニューの保存・読み出しを目的とした、コンパクトフラッシュカードが使用できます。使用しない場合は、レコーダー内部にゴミ、ほこりがはいらないよう、コンパクトフラッシュスロットカバーを取り付けてください。

<コンパクトフラッシュカードの挿入・排出方法>

(!) コンパクトフラッシュカードをご使用になる前に、コンパクトフラッシュカードの取扱説明書で使用上の注意などを確認してください。

・カードの挿入

1 **本体に取り付け済みの付属品のコンパクトフラッシュスロットカバーを取り外す。**

2 **左右に切り欠きがある面を下側にし、取出しボタンが飛び出すまでしっかりと差し込む。**

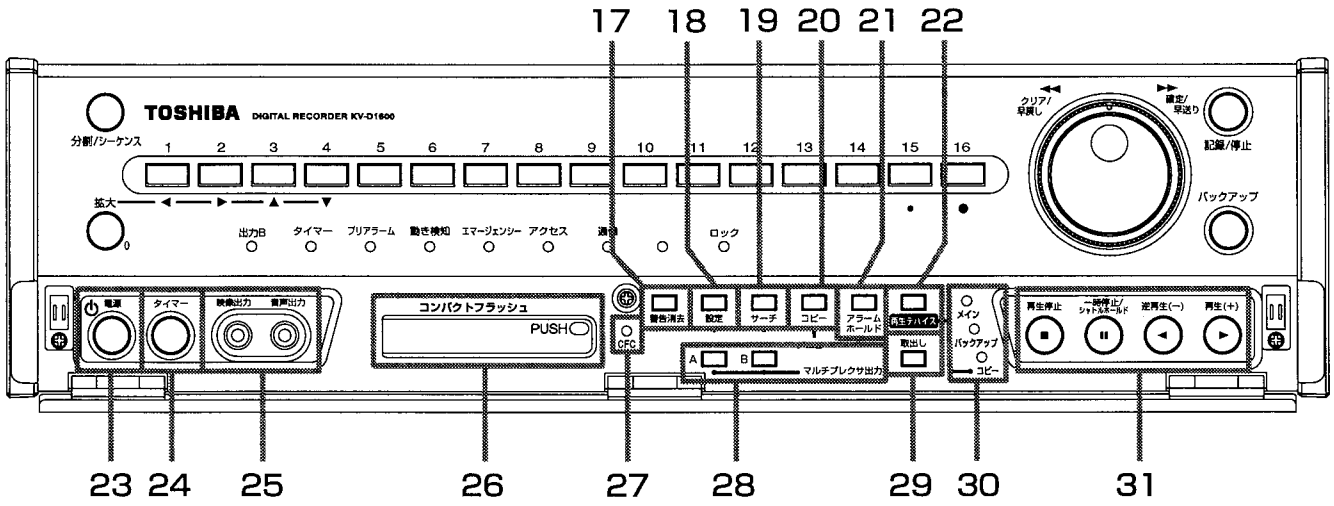
(!) コピー/リストア中、メニューのコピー/読み出し中、およびカードを挿入直後は、カードの排出を行わないでください。カードやデータが破損する恐れがあります。

(!) コンパクトフラッシュカードは、しっかり挿入してください。挿入が不完全では正常に動作しない恐れがあります。

(!) 当社が推奨するコンパクトフラッシュカードをご使用ください。当社が推奨していないカードを使用した場合、データの読み書きが正常にできないことがあります。

(!) 使用できるコンパクトフラッシュカードについては、販売店へ確認してください。

■ 本体前面部 (ドア内部)(つづき)

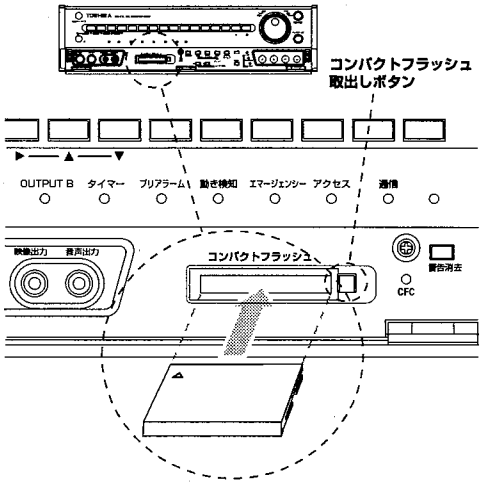


<コンパクトフラッシュカードの挿入・排出方法> (つづき)

(!) 新しいカードをご使用になる場合は、<情報表示・保守設定>画面の「CFCデータ消去」を実行してください。

・カードの排出

1 取出しボタンを押して、カードを排出する。
2 コンパクトフラッシュスロットカバーを取り付ける。



27 CFC(コンパクトフラッシュカード)インジケーター

再生デバイスボタンで、CFC(コンパクトフラッシュカード)を選択したときのみ点灯します。

28 マルチプレクサ出力ボタン

マルチプレクサ出力 Aボタン

押すとカメラ番号ボタン、分割/シーケンスボタンの操作をOUTPUT A端子とアナログ出力端子に接続されたモニター映像用に切り換えます。

マルチプレクサ出力 Bボタン

押すとカメラ番号ボタン、分割/シーケンスボタンの操作をOUTPUT B端子に接続されたモニター映像用に切り換えます。また、再生映像は、OUTPUT B端子に出力させることはできません。

➡ OUTPUT B端子に接続されたモニターの映像を表示させるには、<マルチプレクサ設定>画面の「出力B入/切」設定を「入」にする必要があります。(☞ 45ページ)

29 取出しボタン

再生デバイスのメディアを排出します。外部接続デバイスのメディアの取出しにはこのボタンをご使用ください。

30 再生デバイスインジケーター

再生デバイスボタンにより選択されたデバイスのランプが点灯します。

31 操作ボタン

再生停止ボタン

押すと、再生を停止します。

一時停止/シャトルホールドボタン

再生中に押すと、静止画再生になり、ボタンが点灯します。もう一度押すと、再び再生を開始し、消灯します。シャトル再生中に押すと、シャトルから手を離しても任意の再生速度を保持します。(シャトルホールド) 再生停止中に押すと、最新の記録部分の終端で静止画再生となります。

逆再生ボタン

押すと、逆再生を始め、ボタンが点灯します。

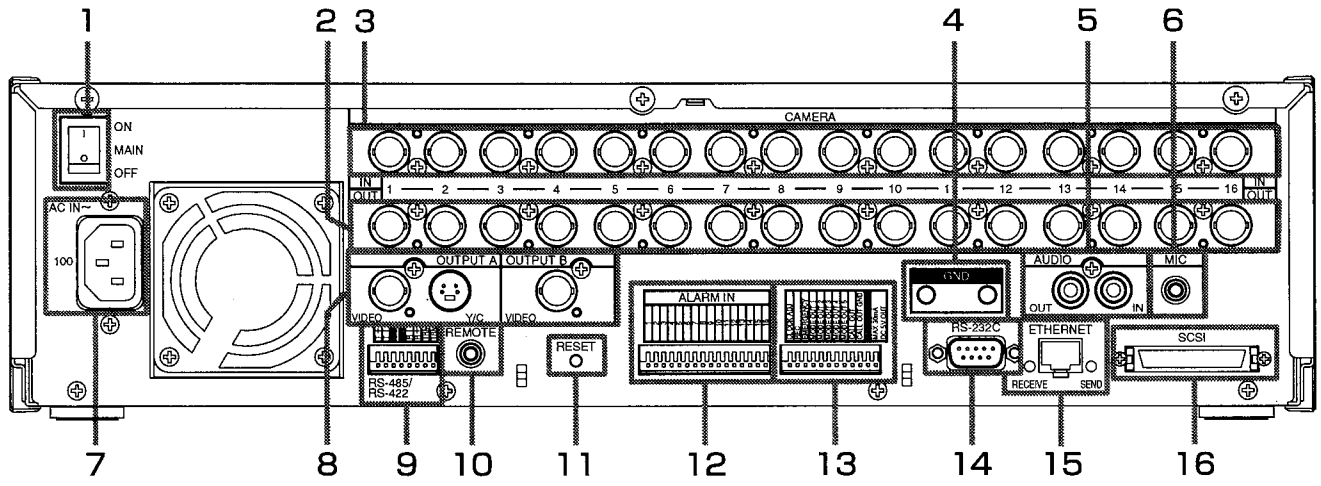
再生ボタン

押すと、再生を始め、ボタンが点灯します。

再生モードボタン

再生中または、逆再生中に再生(+)、逆再生(−)のボタンを押すことにより、再生間隔を切り換えることができます。

■ 本体後面部



1 MAINスイッチ

主電源スイッチです。本機を使用する場合は、ONにします。ONにしないと、前面部の電源ボタンで電源の入／切ができません。

2 CAMERA OUT端子

BNCコネクターのカメラ映像出力端子です。
MAINスイッチがONならば、それぞれのCAMERA IN端子に入力されたカメラ映像は、スルー出力が可能です。

3 CAMERA IN端子

BNCコネクターのカメラ映像入力端子です。

4 GND端子

共用のグランド端子です。

5 AUDIO端子

AUDIO IN端子
RCAピンの音声入力端子です。

AUDIO OUT端子
RCAピンの音声出力端子です。

6 MICジャック

600Ωインピーダンスのマイクロフォン入力端子です。
AUDIO IN端子より優先されます。

7 電源コード差込口

付属の電源コードを差し込みます。アース端子は、安全のための接地アースです。本機の電源コードは、必ずアース付きの交流100Vのコンセントに差し込んでください。

(!) コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。電源プラグのアース端子を、ガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。

(!) 付属品の電源コードをご使用ください。

8 OUT PUT端子

OUTPUT A VIDEO端子
BNCコネクターのモニター映像出力端子です。

OUTPUT A S(Y/C)端子
輝度信号と色信号に分割された映像信号の出力端子で、より高画質な映像表示が可能になります。OUTPUT A VIDEO端子との同時出力が可能です。

OUTPUT B VIDEO端子
BNCコネクターのライブ専用モニター映像出力端子です。映像を表示させるには、<マルチプレクサ設定>画面の「出力B 入/切」を「入」にしてください。

9 RS-485/RS-422端子

複合一体型カメラを接続して、パン、チルト、ズームを操作するための端子です。

10 REMOTEジャック

リモートコントロールユニット用の端子です。(オプション)

11 RESETボタン

押すと初期状態となり、電源が切れます。この場合、映像データ、メニュー設定や現在時刻は取り消されずそのまま保持されます。

12 ALARM IN端子

アラーム信号を入力するための端子です。

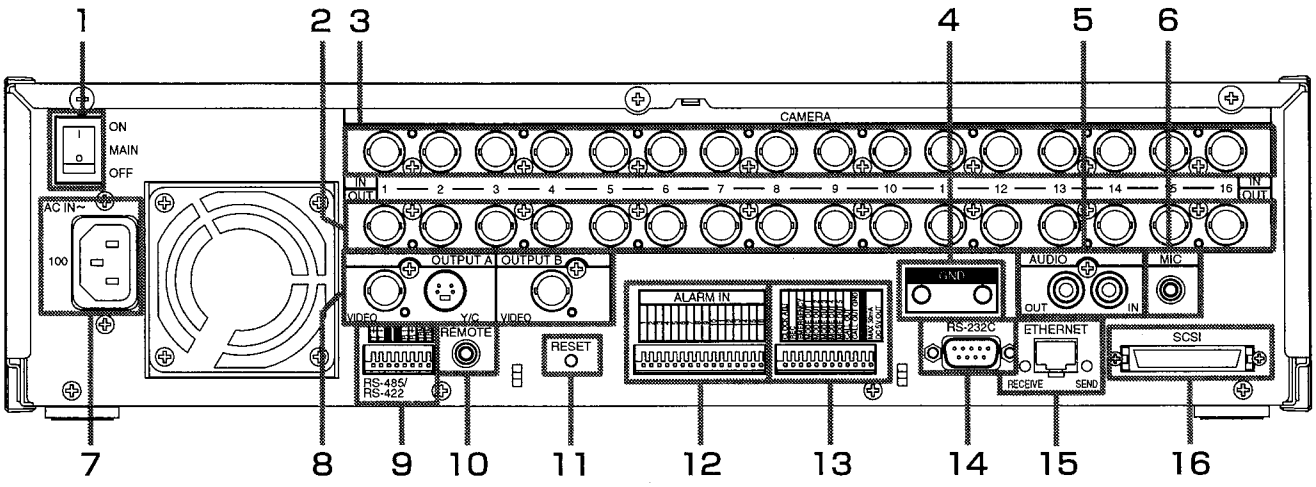
13 I/O端子

CLOCK ADJ端子
時刻表示の時刻を合わせるための入力端子です。この端子にCLOCK ADJ信号が入力されると、時刻が最も近い正時(00分00秒)に設定/変更されます。

参考

後面部のCLOCK ADJ端子を接地すると、日付・時刻表示が最も近い正時(00分)に設定されます。たとえば、表示時刻が11時29分59秒のときは、11時00分00秒に設定され、11時30分00秒のときは、12時00分00秒に設定されます。

■ 本体後面部 (つづき)



13 I/O端子 (つづき)

REC端子
記録を開始させるための入力端子です。タイマー記録中には、はたらきません。

EMERGENCY端子
強制的にエマージェンシー記録モードへ移行させるための入力端子です。

MODE OUT端子(1~5)
本機の状態を外部に伝えるための出力端子です。本機の状態の選択は、<I/O端子設定>画面の「MODE OUT 1」~「MODE OUT 5」で設定を行います。

CALL OUT端子・CALL OUT GND端子
本機の障害を外部に知らせるための端子とその専用GND端子です(アイソレーション端子)。外部に伝える情報表示の選択は、<I/O端子設定>画面の「CALL OUT設定」で行う項目と、メニュー設定に関わらず出力される項目があります。

DC 5V OUT端子
直流電圧出力のための端子で、MAINスイッチと電源ボタンがONの場合のみ出力します。最大電流は30mAです。

14 RS-232C端子
RS-232C端子付きのホスト機器(パーソナルコンピューターなど)と接続したり、複合一体型カメラ、マルチフレームコントローラー、またはカメラコントローラーと接続するための端子です。

15 ETHERNET
ETHERNET端子は、10BASE-Tに適合するケーブルをご使用ください。DUPLEXモードは、ハーフDUPLEXです。

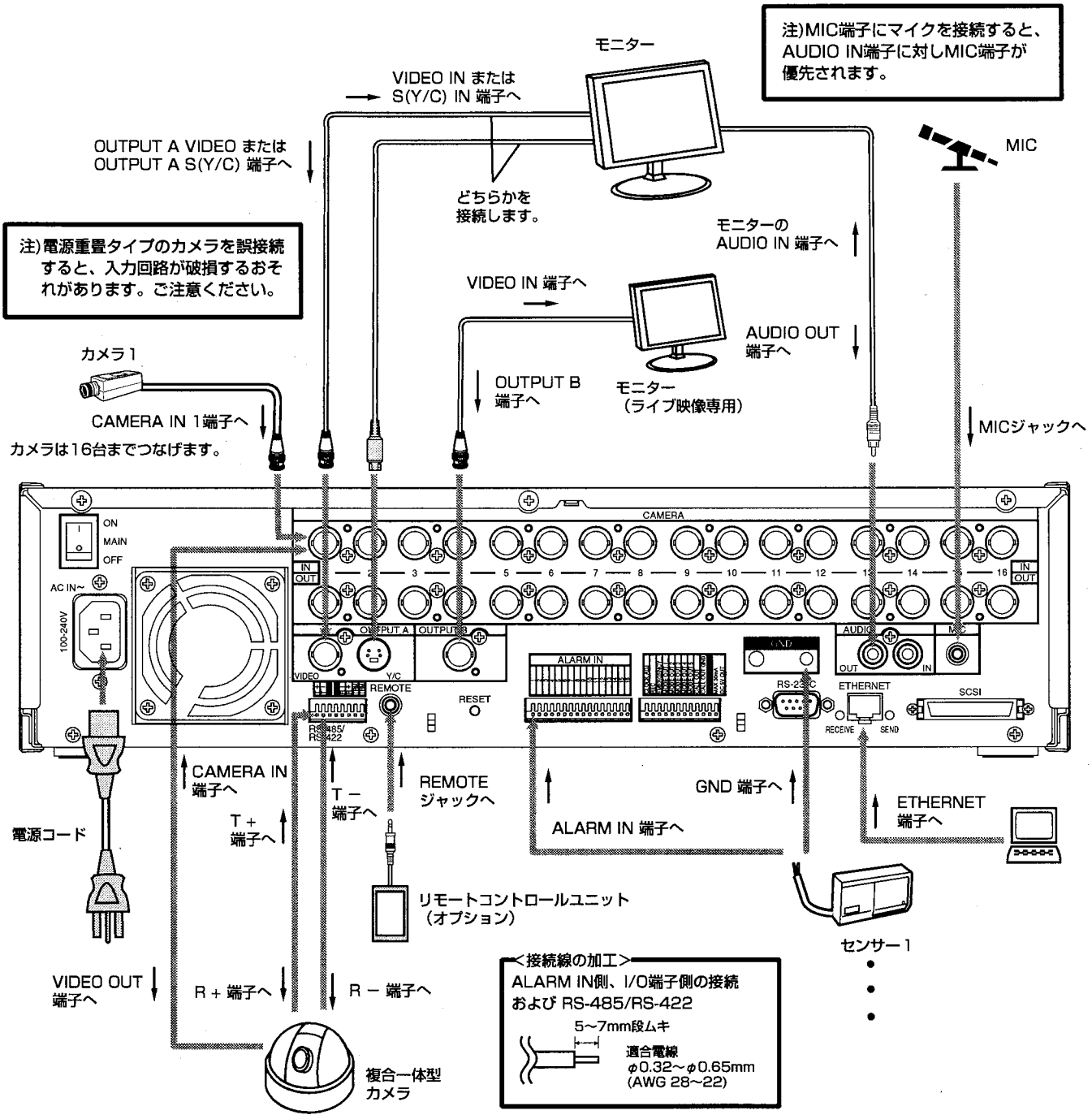
RECEIVEインジケーター
本機が信号を受信すると点灯します。

SENDインジケーター
本機が信号を送信すると点灯します。

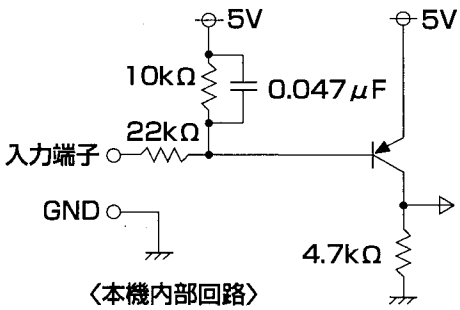
16 SCSI端子
外部記録機器と接続するための端子です。

接続のしかた

■CCTVカメラ、モニター、センサーとの接続

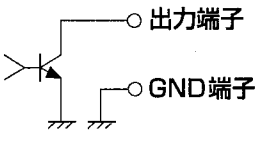


EMERGENCY/ALARM IN/
REC/CLOCK ADJ入力端子
入力回路



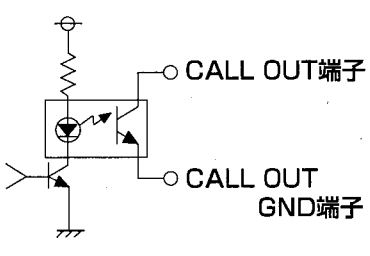
〈本機内部回路〉

MODE OUT1~5出力端子
出力回路



〈本機内部回路〉

CALL OUT出力端子
出力回路

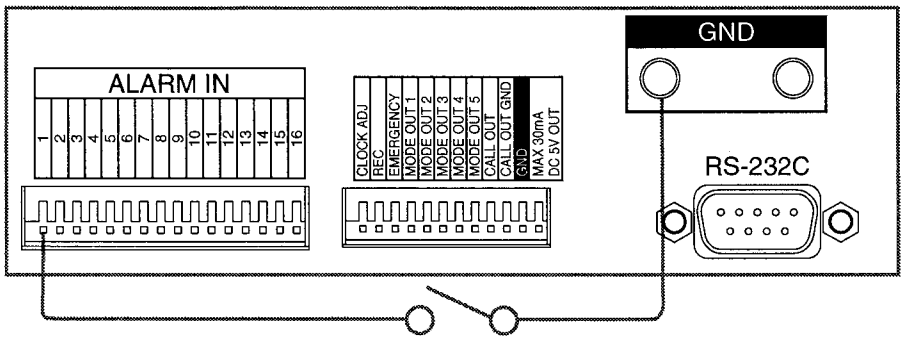


〈本機内部回路〉

接続のしかた(つづき)

■ アラーム記録時の接続方法

下図は、アラームセンサー1に対応したアラーム信号の場合の接続例です。



アラームスイッチ

■ 外部記録機器との接続

本機は後面部のSCSI端子(SCSI-2ピンタイプハーフ50pin)を使って外部記録機器と接続することにより、記録容量を増やしたりバックアップやコピーを行うことができます。使用可能な外部記録機器に関しては販売店にご確認ください。
また本機は、前面部に映像出力(RCA)/音声出力(RCA)端子を、後面部にOUTPUT A S(Y/C)、OUTPUT A VIDEO(BNC)やAUDIO OUT(RCA)端子を搭載しています。映像信号は、前面部の映像出力端子と後面部のOUTPUT A S(Y/C)端子やOUTPUT A VIDEO端子から同時出力が可能です。同様に音声信号も、前面部の音声出力端子と後面部のAUDIO OUT端子から同時出力が可能です。これらの端子にアナログビデオ記録装置を接続することにより、記録内容のコピーを行うことができます。

(!) 接続する場合は、本機の電源を切ってください。

◆ 接続できる外部記録機器

本機と接続することができる外部記録機器には、ハードディスクドライブ(HDD)、DDSドライブ(DDS-2、DDS-3)、光磁気ディスク(オーバーライト対応640MB MO、1.3GB MO)、CD-R/RW、ZIPなどがあります。

(!) DDSテープはDDS-1、DDS-2、またはDDS-3タイプをご使用ください。音楽用DATテープなどは使用できません。

(!) 光磁気ディスクは、OW(オーバーライト)タイプMO640MBまたは1.3GBをご使用ください。

参考 接続可能な外部記録機器に関しては当社推奨のものをご使用ください。詳細は販売店にご確認ください。

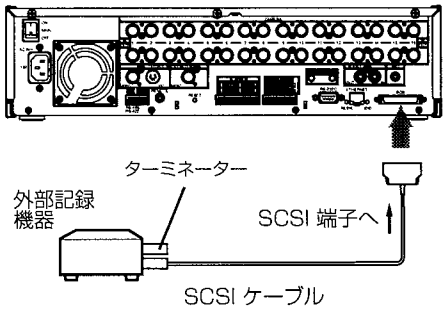
本機は、取出しボタンを使って再生デバイスボタンで選択した外部記録機器のメディアを排出させることができます。接続している外部記録機器の種類によっては反応が遅く再生デバイスインジケーターが点滅したままになることがあり、この状態では他の操作を受け付けません。再生デバイスボタンのインジケーターが点灯するまで待って次の操作を行ってください。
外部記録機器に取出しボタンがある場合でも、本機のボタンを使用してください。

◆ 使用するケーブルについて

外部記録機器との接続には市販のSCSI接続用ケーブルを使用します。SCSIケーブルは接続する機器により異なりますので、ピン配列や接続する機器のSCSI仕様に合わせ、適切なケーブルをご使用ください。接続可能なケーブルの長さに関しては販売店にご確認ください。

◆使用する外部記録機器が一台だけの場合

(!) 接続についての注意
ターミネーターは接続された外部記録機器を電気的に正常に動作させるために必要なものです。接続した最後尾の記録機器には必ずターミネーターを取付けてください(機器によってはターミネーターが内蔵されているものもありますので、その場合には内蔵ターミネーターの設定をしてください)。ターミネーターはSCSI用アクティブターミネーターをお使いください。

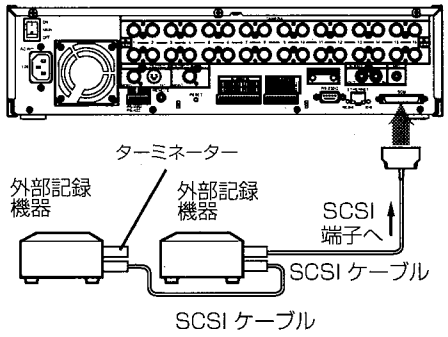


◆使用する外部記録機器が複数台の場合

本機に接続する場合、用途/目的にあわせてSCSI ID番号を設定する必要があります。

(!) 各外部記録機器のSCSI番号の設定のしかたについては、それぞれの取扱説明書をごらんください。

参考 接続可能な外部記録機器に関しては、当社推奨のものをご使用ください。詳細は販売店にご確認ください。



SCSI ID番号に関して

SCSI ID番号	ID4・ID5運用選択	接続機器	用途/目的	備考
0		HDD	増設用/記録用	・一台で扱える最大容量は2TB。
1				
2				
3				
4	「バックアップ・コピー」	DDS/RDD	バックアップ用	・一台で扱える最大容量は130GB。
		HDD		・一台で扱える最大容量は2TB。
	「HDD」	HDD	増設用/記録用	
5	「バックアップ・コピー」	DDS/RDD	コピー用	・一台で扱える最大容量は130GB。
		HDD		・一台で扱える最大容量は2TB。
	「HDD」	HDD	増設用/記録用	

*RDD : Removable Disc Drive (リムーバブル・ディスクドライブ) の略称。
CD-R/RW、DVD、MOやZIPなど記録メディアの取り外し可能なディスクドライブを指します。
*HDD : Hard Disc Drive(ハード・ディスクドライブ) の略称。セルフデフェクトに対応したものにしてください。
*DDS : Digital Data Strage (デジタル・データ・ストレージ) の略称。記録メディアにテープを用いたものを指します。
*ID0~3にHDDを増設したときの記録時間見積りは、増設分も含めた時間を表示します。ただし増設容量が大きくなると、長い記録間隔の設定時は正しく表示されないときがあります。

(!) 外部記録機器として、CD-R/RWを接続する場合、SCSI ID番号をID5に設定してください。

容量表記については、1GByte=1000×1000×1000Byteで計算した値です。

容量表記については、1TByte=1000×1000×1000×1000Byteで計算した値です。

自動設定

■ 自動設定

はじめて本機の電源を入れたとき、最低限必要な機能を設定するため、自動設定が表示されます。

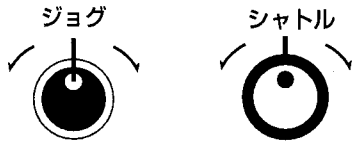
➲ **はじめて電源を入れたときのみ、自動的に自動設定画面が表示されます。次回以降、自動的には表示されません。**

1　カメラ、モニターなどを接続したあと、本機後面のMAINスイッチをONにし、アクセスインジケーターが消灯したあと、前面部の電源ボタンを押す。
・＜時刻設定＞画面が表示されます。

(!) **アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。**

<時刻設定>
>>年　2003
月　01
日　01
時刻　00:00:00
確定
実行
ジョグで選択
シャトル>>で確定

2-1　(「年」、「月」、「日」を設定する場合は・・・)
ジョグを右に回してカーソル(>>)を希望する設定へ移動させ、シャトルを右に回す。
・設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。



2-2　ジョグを回して希望する設定項目を選択し、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

3-1　(「時刻」を設定する場合は・・・)
ジョグを右に回してカーソル(>>)を「時刻」に移動させ、シャトルを右に回す。
・「時間」の設定項目が反転表示に変わります。

3-2　シャトルを右に回す。
・「時間」の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3-3　ジョグを回して希望する設定項目を選択し、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

3-4　ジョグを右に回して「分」の設定項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。
・「分」の項目が赤色表示に変わり、点滅します。

3-5　ジョグを回して希望する設定項目を選択し、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

3-6　ジョグを右に回して「秒」の設定項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。
・「秒」の項目が赤色表示に変わり、点滅します。

3-7　ジョグを回して希望する設定項目を選択し、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

3-8　シャトルを左に回す。
・カーソル(>>)が設定項目の左どなりに表示します。

4　ジョグを回してカーソル(>>)を「確定」へ移動させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、時刻が進みはじめます。

5　日付・時刻を確定したあと、ジョグを回してカーソル(>>)を「実行」に移動させ、シャトルを右に回す。
・「自動設定を実行しますか？」が表示されます。

自動設定を実行しますか?
>>はい
いいえ
シャトル>>で確定

6-1　(自動設定を実行しない場合は・・・)
ジョグを回して「いいえ」を選択し、シャトルを右に回す。
・画面に「セットアップ中」が表示され、本機が起動します。

6-2 (自動設定を実行する場合は・・・)
ジョグを回して「はい」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <カメラチェック>画面が表示されます。
・ この画面では、接続しているカメラとその映像状態を確認することができます。

自動設定の途中で設定画面から抜けることはできません。また、一度設定し終わった画面へ戻ることもできません。ご注意ください。

<カメラ チェック>

>>実行

実行前にカメラ映像が入力されていることを確認して下さい

シャトル>>で実行

7 シャトルを右に回す。

・ <自動記録運用設定>画面が表示されます。
・ この画面では、運用周期を設定します。
・ 運用周期の設定項目(初期設定は「24時間」)
「24時間」、「48時間」、「72時間」、「96時間」、「120時間」、「144時間」、「1週間」、「2週間」、「3週間」、「1カ月間」、「2カ月間」、「3カ月間」、「4カ月間」、「5カ月間」、「6カ月間」、「1年間」

<自動記録運用設定>

>>運用周期 24時間
実行

ジョグで選択
シャトル>>で確定

8 設定変更する場合は、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

9 ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

10 ジョグを回してカーソルを「実行」に移動させ、シャトルを右に回す。

・ <記録運用設定>画面が表示されます。
・ この画面では接続した各カメラに対し、設定した運用周期で通常記録、アラーム記録時の最適な記録間隔と記録画質を自動設定します。

<記録運用設定>画面は2画面構成になっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。

接続するカメラ台数と<自動記録運用設定>の運用周期により、最適な通常間隔、通常画質、ALM間隔、ALM画質を自動設定します。

設定変更する場合は、☞ 29,30ページ「基本的なマニュアル記録のしかた」、☞ 52-54ページ「通常記録・アラーム記録の記録運用設定」をごらんください。

<記録運用設定> (1/2画面) アラーム記録モード

<記録運用設定>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
>>①	0.07秒	スーパー	0.07秒	スーパー
②	------	スーパー	------	スーパー
③	------	スーパー	------	スーパー
④	0.07秒	スーパー	0.07秒	スーパー
⑤	------	スーパー	------	スーパー
⑥	------	スーパー	------	スーパー
⑦	------	スーパー	------	スーパー
⑧	------	スーパー	------	スーパー
⑨	------	スーパー	------	スーパー

次画面:ここでシャトル>> シャトル<<で戻る

<記録運用設定> (2/2画面)

<記録運用設定>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
>>⑩	------	スーパー	------	スーパー
⑪	0.07秒	スーパー	0.07秒	スーパー
⑫	------	スーパー	------	スーパー
⑬	------	スーパー	------	スーパー
⑭	0.07秒	スーパー	0.07秒	スーパー
⑮	------	スーパー	------	スーパー
⑯	------	スーパー	------	スーパー

<見積り時間> □日□□時間□□分
電源ボタンを押すと確定し、再起動します

11 設定が終了したら、電源ボタンを押してください。"セットアップ中"が表示され、本機が起動します。

(!) 再び、自動設定を実行するには、後面部のMAINスイッチがON、前面部の電源ボタンが切のときに、バックアップボタンを押したまま、前面部の電源ボタンを押してください。<カメラチェック>画面が表示されます。そのとき、記録運用設定のすべてのメニューは再設定されます。ご注意ください。

初期設定

■運用変更・初期化

<運用変更・初期化>設定では、SCSI端子ID4・ID5に接続する外部記録機器の運用選択、HDD記録運用の設定、およびHDDの初期化をすることができます。

◆ID4・ID5運用選択

ID4・ID5に接続する外部記録機器の運用をHDDまたはバックアップ・コピー機器に設定することができます。

設定項目（初期設定は「バックアップ・コピー」）

「増設HDD」　：ID4・ID5にHDDを外部記録機器として設定します。

「バックアップ・コピー」　：ID4・ID5にバックアップ・コピー機器を外部記録機器として設定します。

(!) 「ID4・ID5運用選択」の設定によりSCSI接続される外部記録機器の最大容量が異なります。（☞ 21ページ「SCSI ID番号に関して」）

1 本機後面部のMAIN スイッチをONにし、アクセスインジケーターが消灯したあと、記録/停止ボタンを押したまま、前面部の電源ボタンを押す。

・ 画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。起動が完了すると、<運用変更・初期化>画面が表示されます。

(!) アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。

2 カーソル(>>)が「ID4・ID5運用選択」のとなりにあることを確認し、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

4 ジョグを回して「初期化」を選択し、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、初期化されたあと、通常画面が表示されます。

(!) 「初期化」を実行しなければ、設定は確定されません。

(!) 「初期化」を実行するとHDDのデータはすべて初期化されます。また、アラームリストは全て消去され、再び00001から登録されます。ご注意ください。

(!) 「ID4・ID5運用選択」の設定を「バックアップ・コピー」から「増設HDD」または「増設HDD」から「バックアップ・コピー」へ運用変更をすると<タイマープログラム設定>画面の内容は全てリセットされます。ご注意ください。

➡ 初期化を実行しない場合は、「電源切に戻る」を選択してください。

<運用変更・初期化>
>>ID4・ID5運用選択　バックアップ・コピー
HDD記録運用　通常

SCSIディレイ時間　30秒
電源切に戻る
初期化

初期化を実行するとHDDデータは全て消去されます

◆HDD記録運用

HDD記録運用では、内部HDDおよび外部記録機器として設定したHDDに対し、ペアーとなるHDDに同時に同じ記録を行うミラーリング、HDD総容量に対し指定した容量をアラーム記録用に独立したパーティションを設けるアラームパーティションの運用方法を設定することができます。（☞ 104ページ「ミラーリング」、☞ 105ページ「アラームパーティション/サブデバイス容量」）

<運用変更・初期化>
ID4・ID5運用選択　バックアップ・コピー
>>HDD記録運用　通常

SCSIディレイ時間　30秒
電源切に戻る
初期化

初期化を実行するとHDDデータは全て消去されます

◆SCSIディレイ時間

本機は起動中に接続されている外部記録機器を検知するため、本機の電源を入れる前に外部記録機器が起動している必要があります。起動時間が遅い機器の場合は、あらかじめ本機の外部記録機器を検知するタイミングを遅らせることができます。

設定項目（初期設定は「30秒」）
「10秒」、「11秒」、・・・「30秒」、・・・「58秒」、「59秒」

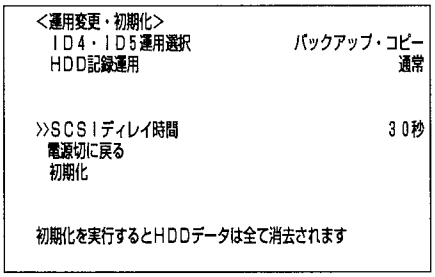
(!) SCSIディレイ時間は、外部記録機器の起動に要する時間を考慮し、十分余裕をもって設定してください。

(!) タイマー記録を行う場合、SCSIディレイ時間を30秒以上にすると、設定したSCSIディレイ時間のうち30秒を超過する時間分遅れてタイマー記録が開始されます。

1 本機後面部のMAIN スイッチをONにし、アクセスインジケーターが消灯したあと、記録/停止ボタンを押したまま、前面部の電源ボタンを押す。

・画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。起動が完了すると、＜運用変更・初期化＞画面が表示されます。

(!) アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。



2 ジョグを回して「SCSIディレイ時間」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定項目「秒」の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して希望する時間を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

4 ジョグを回して「電源切に戻る」を選択し、シャトルを右に回す。

・本機の電源が切れます。

5 再度、本体前面部の電源ボタンを押す。

・設定されたSCSIディレイ時間が経過したあと、本機が外部記録機器を検知し始めます。

・設定後、まちがいなく外部記録機器を検知することを確認してください。

➡ SCSIディレイ時間を設定せずに＜運用変更・初期化＞画面から抜ける場合も、「電源切に戻る」を選択してください。

■ デバイス再構築

本機は起動中に、内部HDDの増設/取り外し、SCSI端子に接続されている外部記録機器を自動的に検知します。HDDを増設、取り外し、接続、ID番号の変更をしたときなどは、システムの再構築を行う必要があります。

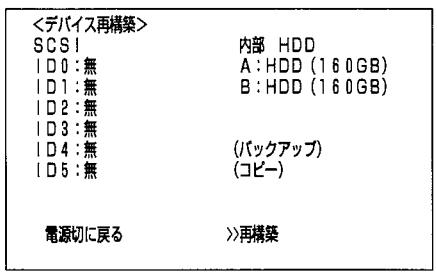
➡ 「再構築」を実施した場合、記録済み映像/設定メニュー/時刻設定/タイマープログラムなどは、保持されます。

1 前面部の電源ボタンを押す。

・画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。外部記録機器の変更が認識されると＜デバイス再構築＞画面が表示されます。

2 ジョグを回して「再構築」を選択し、シャトルを右に回す。

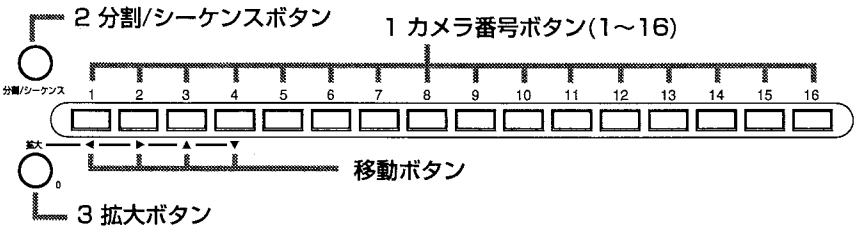
・画面に「セットアップ中」が表示され、再び起動を始めます。



基本操作

■ マルチプレクサ機能

本機前面部に配置されているボタンを使って、マルチプレクサ機能の一部を操作することができます。



1　カメラ番号ボタン(1～16)

本機後面部のCAMERA IN端子1～16に接続されたカメラの映像を画面に表示します。

➲ カメラ番号ボタンを押すことにより、接続されたカメラが記録対象に設定されていなくても、映像を表示することができます。

2　分割／シーケンスボタン

<マルチプレクサ設定>画面で設定された16分割表示、2種類の9分割表示(a、b)、4種類の4分割表示(a、b、c、d)、9画シーケンシャル、4画シーケンシャル、および1画シーケンシャル表示の順に切り換わります。(再生時にはシーケンシャル表示はスキップされます。)

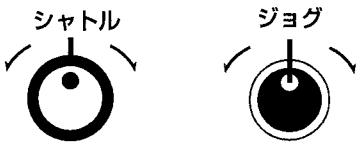
3　拡大ボタン

1画表示中に拡大ボタンを押すと1倍画面が表示され、その中心に拡大中心点(X)が表示されます。さらに押すと2倍、4倍と拡大表示されます。移動ボタンを押すことにより中心点を軸に拡大表示画面を上下左右へ移動させることができます。(☞ 43ページ「拡大ボタンの動作」)

拡大ボタンを押すことにより、カメラ番号ボタン1～4の機能が移動ボタンに切り換わります。

■ メニューの設定方法

本機は、使用する目的に合わせて、メニュー画面で動作条件を設定することができます。設定方法は、メニュー画面によって多少の違いがありますが、ここでは画面表示形式設定を例にジョグとシャトルを使った基本的な設定方法を説明します。



設定例)　画面表示形式を「3」に変更する。(初期設定は「1」)

1　本機後面部のMAIN スイッチをONにし、アクセスインジケーターが消灯したあと、前面部の電源ボタンを押す。

・画面に「セットアップ中」が表示され、起動を始めます。

➲ アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。

2　起動後、本機前面部のドア内部の設定ボタンを押す。

・<設定>画面が表示されます。

➲ 設定ボタンを押し、メニュー画面を表示させると背景画面が暗くなり、表示文字が見やすくなります。

3　カーソル(>>)が「時刻・画面表示設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

・<時刻・画面表示設定>画面が表示されます。(☞ 40ページ)

4　ジョグを回して「画面表示形式」へカーソル(>>)を移動させ、シャトルを右に回す。

・「画面表示形式」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

➲ ジョグを右に回すとカーソル(>>)が下へ、左に回すと上へ移動します。

<設定>
>>時刻・画面表示設定
　マルチプレクサ設定
　動き検知設定
　マニュアル設定
　タイマー設定
　基本設定・情報表示
　メニュークイック設定

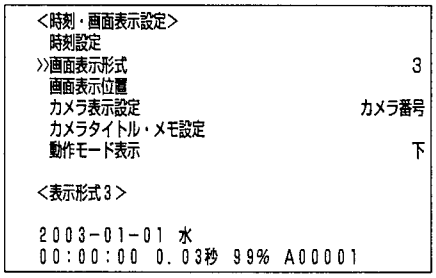
　メモ:
[基本操作]
ジョグで選択　シャトル>>で確定　シャトル<<で戻る

<時刻・画面表示設定>
>>時刻設定
　画面表示形式　1
　画面表示位置
　カメラ表示設定　カメラ番号
　カメラタイトル・メモ設定
　動作モード表示　下

<表示形式1>

2003-01-01 00:00:00

5 ジョグを回して「3」を表示させる。
・画面表示下側の表示形式サンプルが＜表示形式3＞に変わります。



6 シャトルを右に回す。
・設定項目が確定し、点滅がとまります。

7 引き続き、他の設定を行う場合は、ステップ4～6の操作を繰り返します。

➲ **設定項目が点滅中にシャトルを左に回すと１つ前の状態に戻ります。**

➲ **画面から抜ける場合は、シャトルを左に回す。**

◆メニュー画面から通常画面に戻るには

ジョグ・シャトルを使用しメニュー画面の設定を行ったあと、通常画面に戻る方法を説明します。

1 設定項目の点滅がとまり、希望する設定に変更されていることを確認する。
・設定項目が点滅しているときには、その設定は確定されていません。上記設定方法を参考に、設定の確定を行ってください。
・その他の項目を続けて設定する場合、または設定項目を確認する場合は、シャトルを1回左に回して、1つ前の画面に戻ることもできます。

➲ **設定項目が点滅中はこの動作を受け付けません。**

2-1 （1階層ずつメニュー画面を戻して通常画面に戻る場合は・・・）
・開いたメニュー画面の分だけシャトルを左に回してください。シャトルを1回左に回すごとに1つ前のメニュー画面に戻ります。

2-2 （直接、通常画面に戻る場合は・・・）
・設定ボタンを押すことにより、１度にメニュー画面が消え通常画面に戻ります。

(!) **設定項目が点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。**

◆日付・時刻の合わせかた

(!) **記録を始める前に、あらかじめ日付と現在時刻を正確に合わせる必要があります。**

設定例）　2003年10月28日 午後6時30分(18：30)に合わせる。
（初期設定は「2003年01月01日　00：00：00」）

1 設定ボタンを押して＜設定＞画面を表示させる。

2 カーソル(>>)が「時刻・画面表示設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
・＜時刻・画面表示設定＞画面が表示されます。

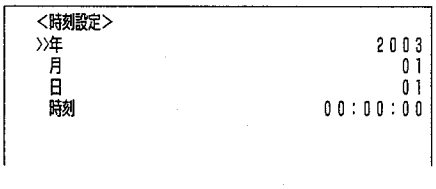
3 カーソル(>>)が「時刻設定」にあることを確認し、シャトルを右に回す。
・＜時刻設定＞画面が表示されます。

4 「年」の項目が「2003」であることを確認したあと、ジョグを右に回してカーソル(>>)を「月」の項目へ移動させ、シャトルを右に回す。
・「月」の項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

5 ジョグを回して「10」を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

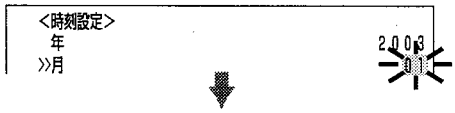
6 ジョグを右に回してカーソル(>>)を「日」の項目へ移動させる。

➲ **ジョグを右に回すとカーソル(＞＞)が下へ、左に回すと上へ移動します。**

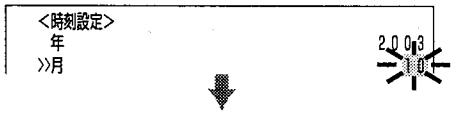


設定例）ジョグを回して「月」を選択

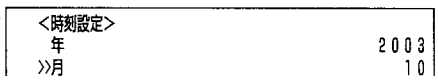
シャトルを右に回す→設定項目が点滅



ジョグを回して「１０」を選択



シャトルを右に回して確定→点滅がとまる



7 ステップ4～6の操作を繰り返し「日」を設定する。ジョグを回してカーソル(>>)を「時刻」の項目まで移動させ、シャトルを2回右に回す。

・ 1回目で「時間」の項目が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

8 ジョグを回して「18」を表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

➲ 時刻は24時間表示になっています。

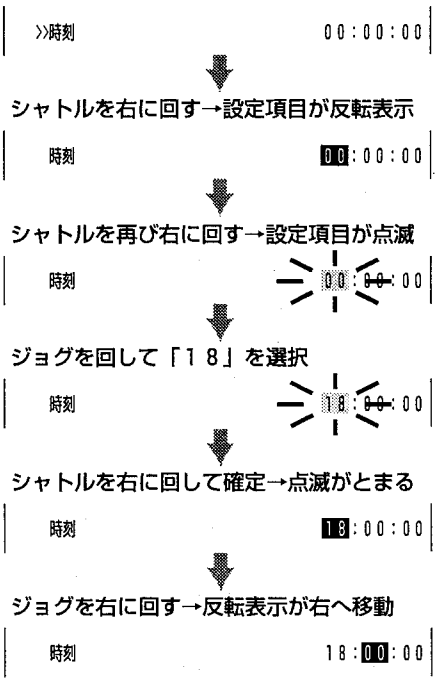
9 ステップ7、8の操作を繰り返し「分」、「秒」を設定する。

10 シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

11 シャトルを左に回す。

設定例)



◆時刻表示画面

本機の電源を入れると、画面に下図のような日付・時刻表示が出ます(表示形式3のとき)。

➲ その他の表示形式の設定方法は、☞ 40ページ「画面表示形式」。

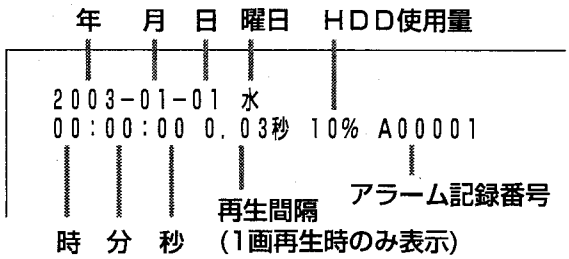
参考 本機は4桁年号表示を導入しています。表示可能範囲は2001年1月1日から2099年12月31日までの99年カレンダーです。うるう年の自動計算機能も内蔵しています。2099年12月31日を過ぎると、再び2001年表示に戻ります。(2099年までのアフターサービスをお約束するものではありません。)

◆記録済み容量表示機能

本機は<I/O端子設定>画面の「残量検出位置」の設定項目を「HDD(メイン)」(「HDD(サブ)」)に選択すると画面上に指定された記録デバイス(HDD)の使用容量を常時表示させることができます。なお、表示の「%」部分は、HDDとして認識された全HDD容量に対する比率となります。この機能を有効にするには以下の設定が必要です。

1) <I/O端子設定>画面の「残量検出位置」でデバイスの選択と記録残量設定をする。(☞ 67,68ページ)
2) <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」で「3」を選択する。(☞ 40ページ)

➲ 記録中は、HDD使用量が表示されます。記録を停止すると表示は一旦クリアされ、再び記録を開始すると、しばらくしてから再びHDD使用量が表示されます。



■ 基本的なマニュアル記録のしかた

ここでは、マニュアル操作による通常記録のしかたを説明します。記録を始める前に、運用設定の確認が必要です。☞ 62ページ<運用設定>画面の「HDD(メイン)リピート記録」、「HDD(サブ)リピート記録」の設定を確認したあと、記録運用の設定を始めます。

(!) この設定は、通常記録のための設定です。タイマー記録運用での記録設定は、☞ 57-59ページ<タイマー設定>画面上で設定する必要があります。ご注意ください。

◆ 通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する

通常記録を行うためには、運用するカメラごとに「通常間隔」、「通常画質」を設定する必要があります。

設定例) 通常記録で、カメラ番号 ① の通常間隔を「2.67秒」、通常画質を「ファイン」に設定する。

1 設定ボタンを押して<設定>画面を表示させる。

2 ジョグを回してカーソルを「マニュアル設定」に移動させ、シャトルを右に回す。

・ <マニュアル設定>画面が表示されます。

<マニュアル設定>
>>アラーム設定
記録運用設定
アラーム記録時間 5秒
動き検知記録のアラームリストへの登録 する
※ 上書きバックアップ 切
バックアップメディア自動イジェクト 入

※ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示

3 ジョグを回してカーソルを「記録運用設定」に移動させ、シャトルを右に回す。

・ <記録運用設定>画面が表示されます。

<記録運用設定>画面は2画面構成になっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。

<記録運用設定>(1/2画面)

<記録運用設定>			>>アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
②	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
③	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
④	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑤	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑥	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑦	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑧	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑨	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
次画面:ここでシャトル>>			シャトル<<で戻る	

<見積り時間>について

・「通常間隔」、「通常画質」の設定によって記録可能な時間が<記録運用設定>2/2画面に<見積り時間>として表示されます。(☞ 146ページ「連続記録可能時間表」)

<記録運用設定>(2/2画面)

<記録運用設定>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
>>⑩	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑪	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑫	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑬	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑭	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑮	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑯	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
プリアラーム記録設定			(最長:□□秒)	□□秒
			シャトル<<で戻る	
<見積り時間>			□日□□時間□□分	

見積り時間に関しては、☞ 146ページ「連続記録可能時間表」

基本操作(つづき)

4　ジョグを回してカメラ番号「①」を選択し、シャトルを右に回す。

・「通常間隔」の設定項目が反転表示に変わります。

5　シャトルを再び右に回す。

・「通常間隔」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

・通常間隔の設定項目（初期設定は「0.53秒」）
「0.27秒」、「0.53秒」、「0.8秒」、「1.07秒」、「1.33秒」、「1.6秒」、「2.67秒」、「4秒」、「8秒」、「16秒」、「32秒」、「64秒」、「-----」

「-----」：設定したカメラでは記録を行いません。

ⓘ 通常記録(アラーム記録)の選択可能な記録間隔は、運用するカメラの台数やアラーム記録モード(☞ 53ページ)により、下表のように表示される間隔が変わります。ご注意ください。

記録間隔 ＼ 運用カメラ台数	1台 / 2台	3台 / 4台	5台 / 6台	7台 / 8台	9台 / 10台	11台 / 12台	13台 / 14台	15台 / 16台
記録間隔短い ↑	0.03秒	0.07秒	0.1秒	0.13秒	0.17秒	0.2秒	0.23秒	0.27秒
	0.07秒	0.13秒	0.2秒	0.27秒	0.33秒	0.4秒	0.47秒	0.53秒
	0.1秒	0.2秒	0.3秒	0.4秒	0.5秒	0.6秒	0.7秒	0.8秒
	0.13秒	0.27秒	0.4秒	0.53秒	0.67秒	0.8秒	0.93秒	1.07秒
	0.17秒	0.33秒	0.5秒	0.67秒	0.83秒	1秒	1.17秒	1.33秒
	0.2秒	0.4秒	0.6秒	0.8秒	1秒	1.2秒	1.4秒	1.6秒
	0.33秒	0.67秒	1秒	1.33秒	1.67秒	2秒	2.33秒	2.67秒
	0.5秒	1秒	1.5秒	2秒	2.5秒	3秒	3.5秒	4秒
	1秒	2秒	3秒	4秒	5秒	6秒	7秒	8秒
	2秒	4秒	6秒	8秒	10秒	12秒	14秒	16秒
↓ 記録間隔長い	4秒	8秒	12秒	16秒	20秒	24秒	28秒	32秒
	8秒	16秒	24秒	32秒	40秒	48秒	56秒	64秒

ⓘ 設定内容の点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。

6　ジョグを回して「2.67秒」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

7　ジョグを右に回して「通常画質」の設定項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。

・通常画質の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

・通常画質の設定項目（初期設定は「ハイ」）
「スーパー」、「ファイン」、「ハイ」、「ノーマル」、「ベーシック」

ⓘ 設定内容の点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。

8　ジョグを回して「ファイン」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

9　設定が完了するとシャトルを左に回す。

・カーソルがカメラ番号の左どなりに表示されます。

10　引き続き、他のカメラ番号を設定する場合は、ジョグを回して希望するカメラ番号までカーソルを移動させ、ステップ4～9を繰り返し設定してください。

11　シャトルを3回左に回す、または設定ボタンを押して通常画面へ戻る。

12　記録/停止ボタンを押す。

・記録/停止ボタンが点灯し、記録が始まります。

13　記録を停止する場合は、再び記録/停止ボタンを1秒以上押し続ける。

・記録が停止し、記録/停止ボタンが消灯します。

設定例)

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
»①　0.53秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

シャトルを右に回す→設定項目が反転表示

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　0.53秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

シャトルを再び右に回す→設定項目が点滅

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　0.53秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

ジョグを回して「2.67秒」を選択

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　2.67秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

シャトルを右に回して確定→点滅がとまる

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　2.67秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

ジョグを右に回す→反転表示が右に移動

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　2.67秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

シャトルを右に回す→反転表示が点滅

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　2.67秒　ハイ　0.53秒　ハイ

↓

ジョグを回して「ファイン」を選択

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　2.67秒　ファイン　0.53秒　ハイ

↓

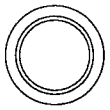
シャトルを右に回して確定→点滅がとまる

<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
①　2.67秒　ファイン　0.53秒　ハイ

↓

シャトルを左に回す

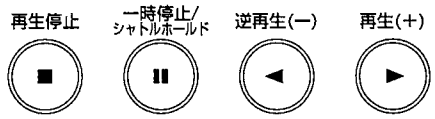
<記録運用設定>　アラームCH
番号　通常間隔　通常画質　ALM間隔　ALM画質
»①　2.67秒　ファイン　0.53秒　ハイ



記録/停止

■ 基本的な再生のしかた

本機は記録した映像をいろいろな方法で再生することができます。この「基本操作編」ではもっとも一般的な再生のしかたを説明します。



(!) 本機が再生中に通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機は再生を停止します。

(!) 通信でライブ画像の取得を要求されている間、本機は再生ができません。

1 本機前面部のドア内部の再生ボタンを押す。

- HDDの記録内容が再生されます。
- 電源を入れたあとは、記録された最も古い映像から再生が始まります。それ以外は、前に再生を停止させたところから再生を始めます。

➡ <運用設定>画面の「HDDリピート再生」の設定が「切」の場合、HDDの物理的な終端または記録部分の終端にくると、再生を停止します。「HDDリピート再生」の設定が「入」の場合は、記録されている映像データを繰り返し再生します。(☞ 62ページ「HDDリピート再生」)

2-1 (HDD、バックアップ・コピー機器、またはコンパクトフラッシュカードに再生デバイスを変更する場合は・・・)
本機前面部の再生デバイスボタンを使って、再生したいデバイスを選択することができます。

➡ 「ID4・ID5運用選択」に「バックアップ・コピー」を選択した場合、ID4・ID5に外部記録機器が接続されていなくても、再生デバイスボタンでそれぞれ選択が可能です。また、「増設HDD」を選択した場合は、スキップされます。

・再生デバイスインジケーターの選択項目

「メイン」	:HDD(メイン)またはHDD(サブ)の記録データを再生します。(HDD(サブ)は、アラームパーティション設定時のみ表示されます)
「バックアップ」	:「ID4・ID5運用選択」に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に、ID4に接続された外部記録機器の記録データを再生します。(☞ 24ページ「ID4・ID5運用選択」)
「コピー」	:「ID4・ID5運用選択」に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に、ID5に接続された外部記録機器の記録データを再生します。(☞ 24ページ「ID4・ID5運用選択」)
「CFC」	:コンパクトフラッシュカードの記録データを再生します。

2-2 再生ボタンを押す。

- 選択された再生デバイスを再生します。

➡ 再生停止中に一時停止/シャトルホールドボタンを押すと、最新の記録部分の終端で静止画再生となります。最新映像を再生するときに便利です。

3 再生を一時停止する場合は、一時停止ボタンを押す。

- 再生を開始する場合は再び、一時停止ボタンまたは再生ボタンを押してください。

4 再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

- HDD再生/停止時は、停止した位置より次回再生を始めます。
- CFC再生/停止時は、カードに記録された最も古い映像から次回再生を始めます。

■ 基本的なサーチのしかた

本機は、サーチボタンを押すだけで繰り返しよくご使用になるサーチメニューを表示させることができます。

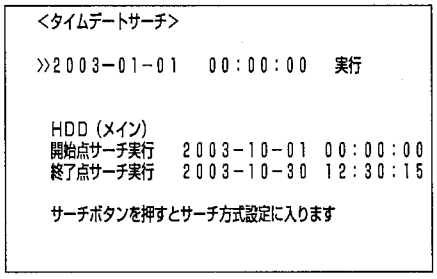
(!) 本機がサーチ設定中に通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機はサーチ動作に移行しません。また、サーチ中に通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機はサーチを強制停止します。

(!) 通信でライブ画像の取得を要求されている間、本機はサーチできません。

◆ タイムデートサーチ

本機は、いろいろなサーチ機能を使って頭出しをすることができます。この「基本操作編」では基本的なサーチ機能である、タイムデートサーチの方法を説明します。この方法では、日、時、分、秒、任意のカメラ番号によるサーチが可能です。

設定例)　HDD(メイン)の2003年10月28日、午後9時25分40秒(21：25：40)のカメラ番号 ③ の場面を探したいとき。



1　サーチボタンを押して<タイムデートサーチ>画面を表示させる。

・ サーチボタンを押して表示されるサーチメニューの初期設定は、「タイムデートサーチ」です。

2　カーソルがサーチ指定日のとなりにあることを確認し、シャトルを右に回す。

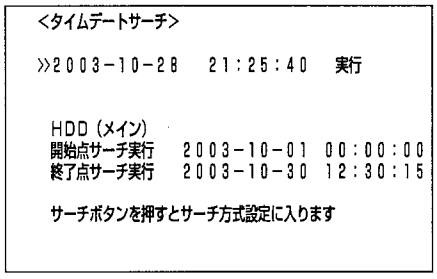
・ 設定項目が反転表示になります。

3　ジョグを回して「月」の項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

4　ジョグを回して「月」の項目に「10」を表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。



5　ステップ3、4を繰り返し、「日」、「時」、「分」、「秒」を設定する。

➡ サーチをせずにサーチ画面から抜ける場合は、シャトルを2回左に回す、またはサーチボタンを2回押してください。

➡ サーチ機能を選択するための<サーチ方式設定>については、☞95,96ページ。

6　サーチボタンを押して<サーチ方式設定>画面を表示させる。

7　カーソルが「カメラ選択」にあることを確認し、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

8　ジョグを回してカメラ番号「③」を選択し、シャトルを右に回す。

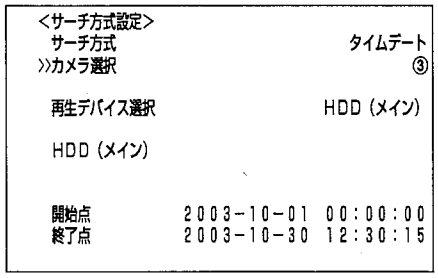
・ 設定が確定し、点滅がとまります。

・ 設定項目 (初期設定「全て」)

「全て」、「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」、「⑩」、「⑪」、「⑫」、「⑬」、「⑭」、「⑮」、「⑯」

「全て」　：　カメラ番号①～⑯すべてについてサーチし、16分割表示します。

「①」～「⑯」：　カメラ番号選択可能なサーチモードでは、該当するカメラ番号のうち、指示条件に合致するサーチを行い、その結果を1画表示します。



9-1 (内部HDDの再生デバイスを変更する場合は・・・)
ジョグを回して「再生デバイス選択」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示に変わり点滅し、ジョグを回して希望する再生デバイスを表示して確定する。

・設定項目（初期設定は「HDD(メイン)」）
「HDD(メイン)」　：HDD(メイン)の内容を再生するときに選択します。
「HDD(サブ)」　：HDD(サブ)の内容を再生するときに選択します。

(!) 「HDD(サブ)」は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」で「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示されます。(☞ 105ページ「アラームパーティション/サブデバイス容量」)

9-2 (サーチ方式を変更する場合は・・・)
ジョグを回して「サーチ方式」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示に変わり点滅し、ジョグを回して希望するサーチメニューを表示させ確定する。

・設定項目（初期設定は「タイムデート」）
「タイムデート」、「記録インデックス」、「アラームインデックス」、「スキップ」、「アラームリスト」

10 設定が完了したらシャトルを左に回す。

・<タイムデートサーチ>画面へ戻り、カーソルがサーチ指定日の左どなりに表示されます。

11 シャトルを右に回し、設定項目を反転表示させ、ジョグを右に回してカーソル(>>)を「実行」の左どなりに移動させる。

<タイムデートサーチ>
2003-10-28　21:25:40 »実行
HDD (メイン)
開始点サーチ実行　2003-10-01 00:00:00
終了点サーチ実行　2003-10-30 12:30:15
サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

12 シャトルを右に回す。

・タイムデートサーチが始まり、設定した日時(同一日の最も近い時刻)の映像が静止画再生で表示されます。
・サーチ結果は<サーチ方式設定>画面の「カメラ選択」設定で「全て」を選択した場合は、16分割表示されます。カメラ番号を個別に選択した場合は、1画表示の静止画再生になります。

➡ 設定した時刻の記録がない場合、設定した日の同じカメラ番号で設定した日時に一番近い時刻の映像を静止画再生します。

➡ 記録の状態によっては、正しくタイムデートサーチできない場合があります。

(!) 「カメラ選択」設定で「全て」を選択した場合、サーチ結果を16分割表示から希望するカメラ番号の映像を選んで1画表示させるには、希望するカメラ番号ボタンを押してください。見たい映像が1画表示されます。

(!) 静止画再生中に一画面表示のためにカメラ番号ボタンを押すと、検索動作をします。このとき、記録映像がないカメラ番号、もしくは記録映像が少ないカメラ番号を指定した場合、数時間検索状態が続く場合があります。必要がなければ再生停止ボタンを押して検索状態を解除してください。

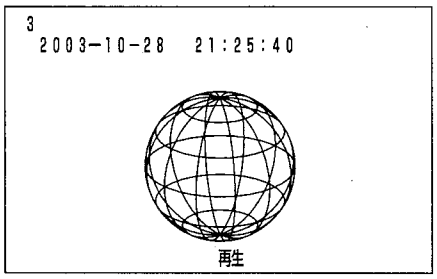
13 サーチ結果を再生する。

・再生ボタン、または一時停止ボタンを押す。

➡ 再生については、☞ 92-94ページ「いろいろな再生」。

14 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

・通常画面に戻ります。

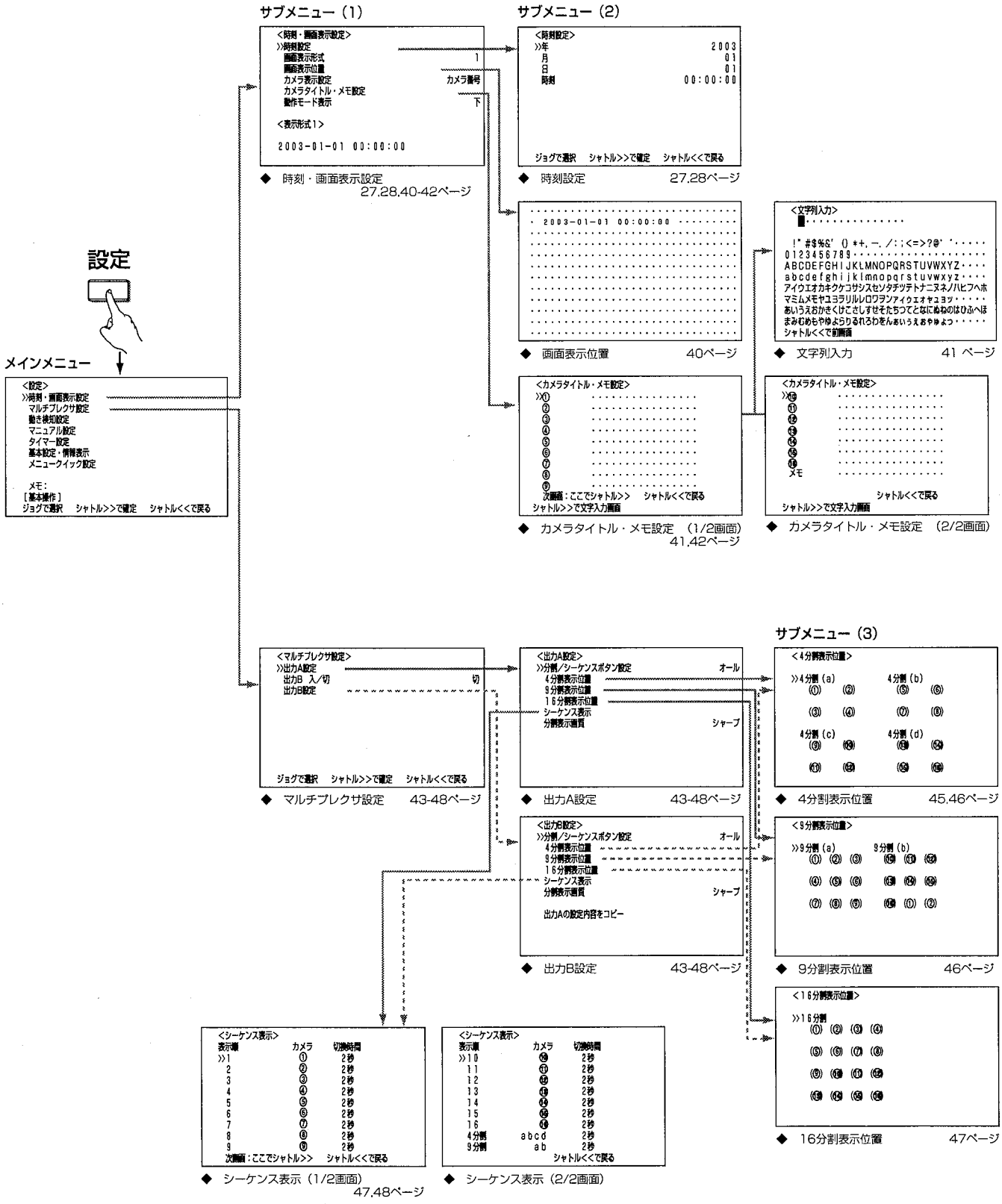


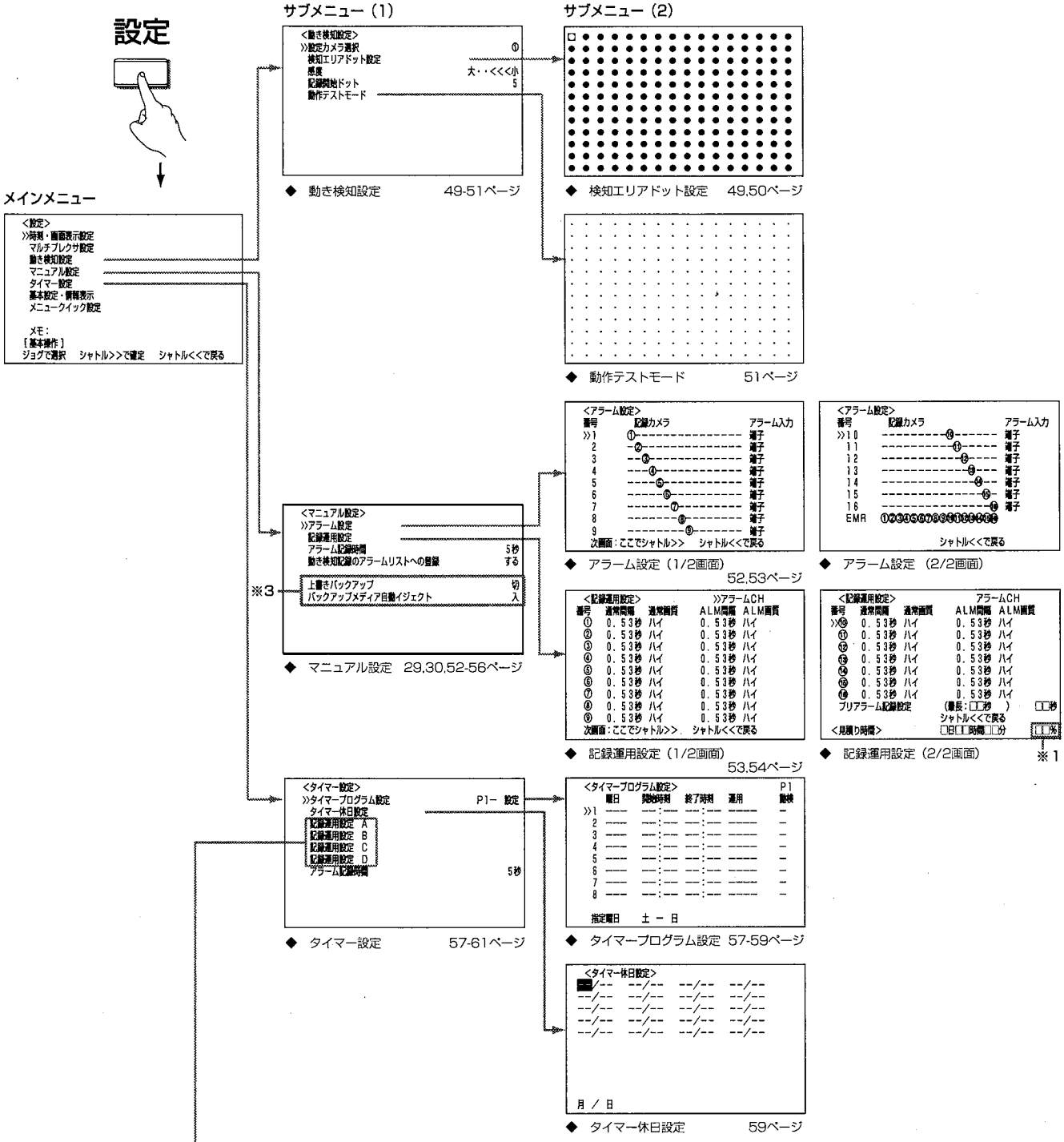
メニュー画面一覧

■ <設定>メニュー

<設定>メニューでは、本機を使用する上で基本的な設定を行うことができます。設定の詳細については参照ページをごらんください。

ⓘ **再生中、記録中、プリアラーム記録待機中は、一部のメニュー内容の変更はできません。**



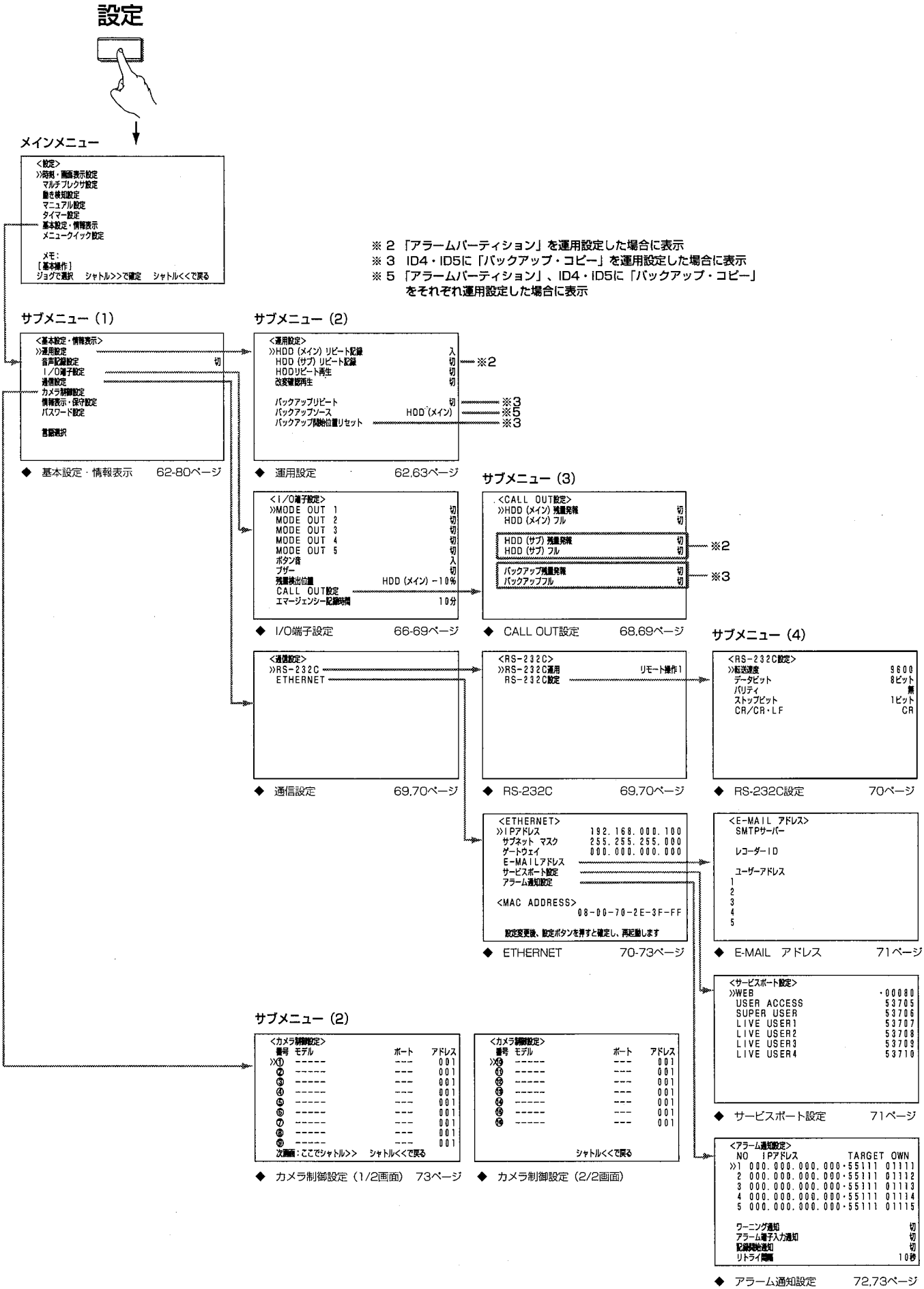


注意) 見積り時間に関しては、☞ 146ページ
「連続記録可能時間表」

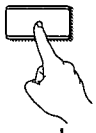
※1「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示
※3 ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示

メニュー画面一覧(つづき)

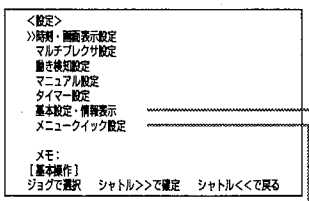
■ <設定>メニュー(つづき)



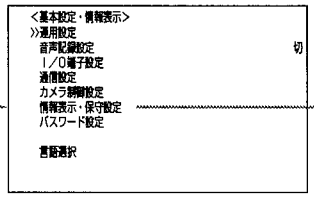
設定



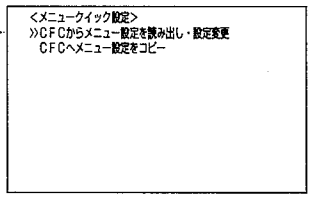
メインメニュー



サブメニュー（1）

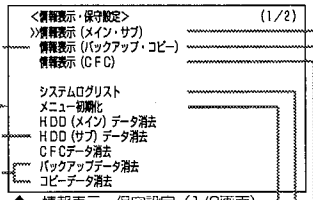


◆ 基本設定・情報表示　62-80ページ

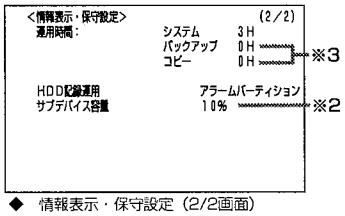


◆ メニュークイック設定　81,82ページ

サブメニュー（2）

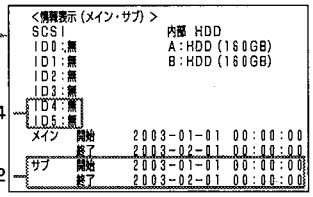


◆ 情報表示・保守設定（1/2画面）
74-76ページ

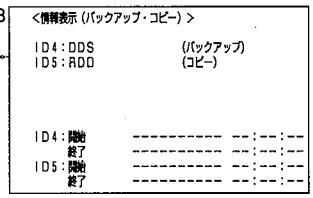


◆ 情報表示・保守設定（2/2画面）

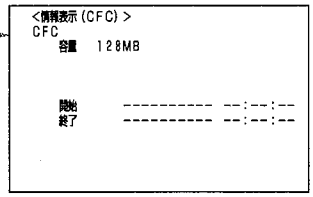
サブメニュー（3）



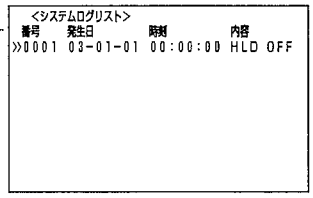
◆ 情報表示（メイン・サブ）　74ページ



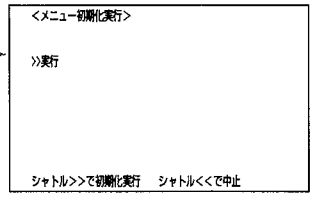
◆ 情報表示（バックアップ・コピー）
74ページ



◆ 情報表示（CFC）　74ページ



◆ システムログリスト　75ページ

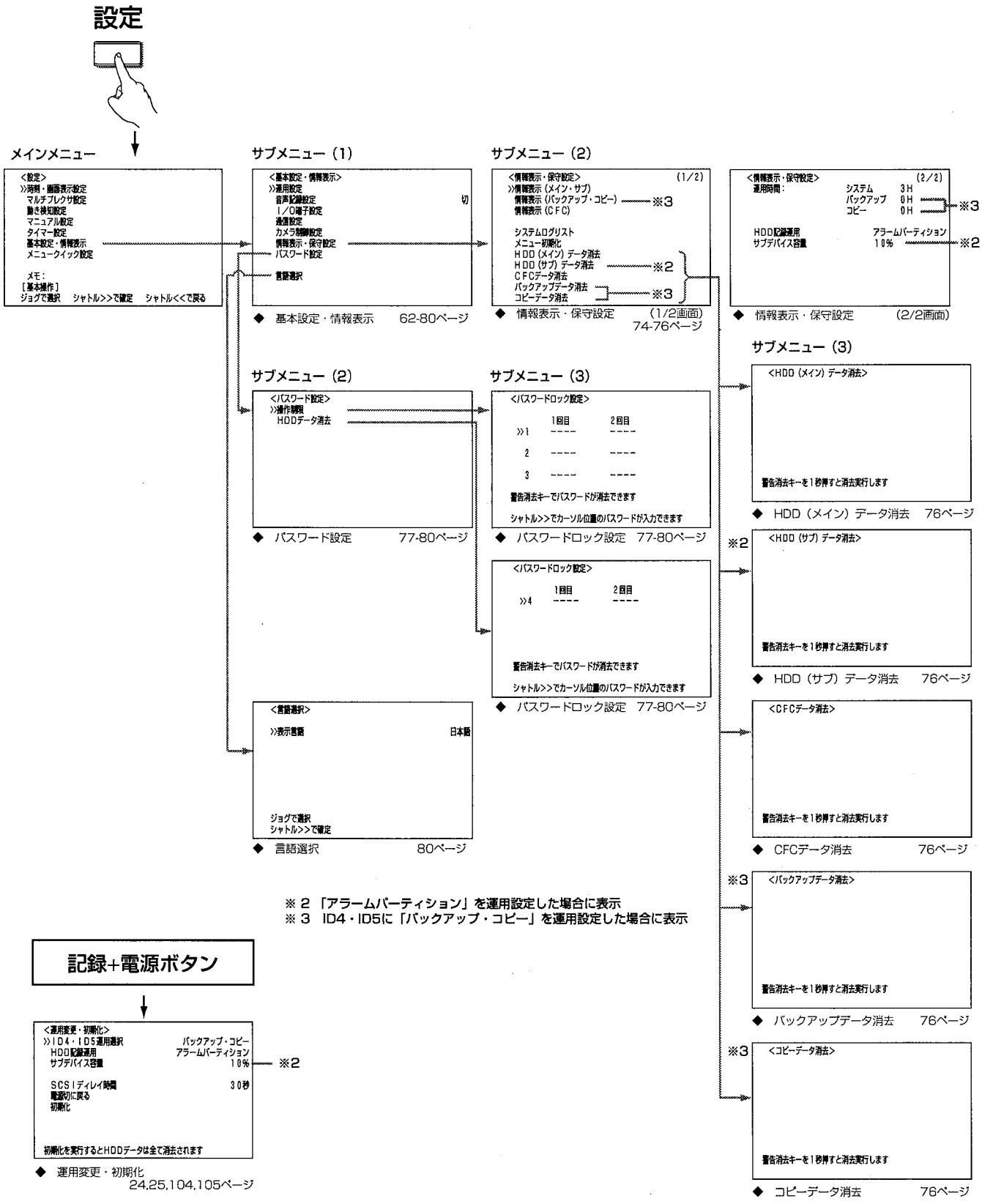


◆ メニュー初期化実行　76ページ

※2 「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示
※3 ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示
※4 ID4・ID5に「増設HDD」を運用設定した場合に表示

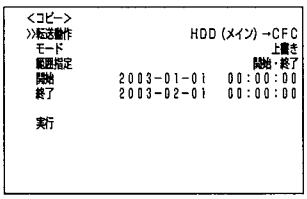
メニュー画面一覧(つづき)

■ <設定>メニュー(つづき)

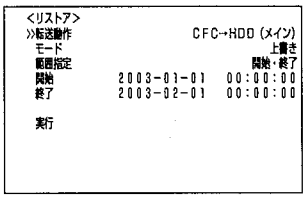


■<コピー>/<リストア>メニュー

メインメニュー

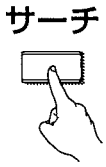


◆ コピー 100-102ページ



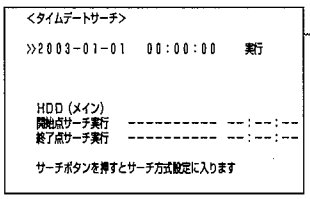
◆ リストア 100-102ページ

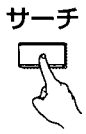
■<サーチ>メニュー

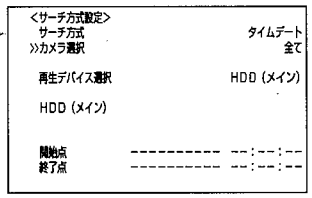


メインメニュー

サブメニュー (1)

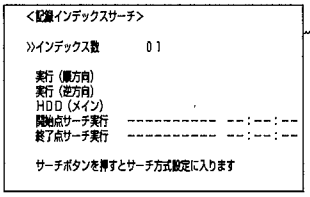


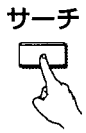


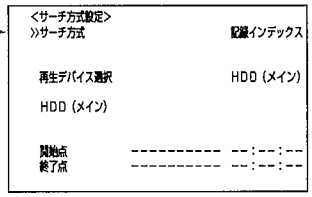


◆ タイムデートサーチ 32,33ページ

◆ サーチ方式設定 95,96ページ

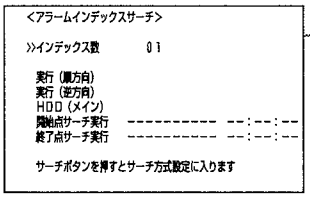


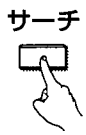


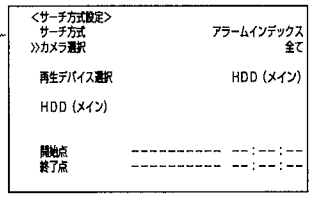


◆ 記録インデックスサーチ 96,97ページ

◆ サーチ方式設定 95,96ページ

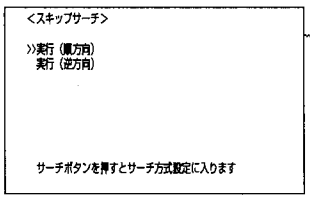


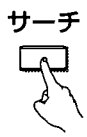


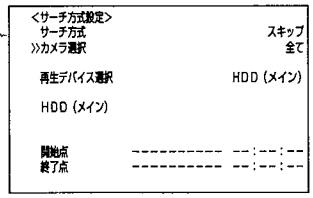


◆ アラームインデックスサーチ 96,97ページ

◆ サーチ方式設定 95,96ページ

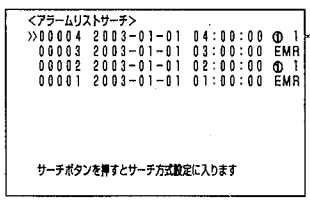


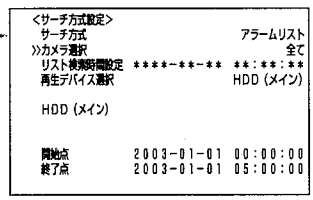




◆ スキップサーチ 97,98ページ

◆ サーチ方式設定 95,96ページ





◆ アラームリストサーチ 98,99ページ

◆ サーチ方式設定 95,96ページ

<時刻・画面表示設定>

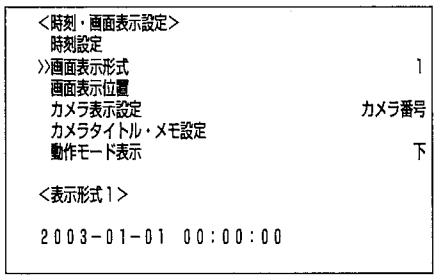
■ 時刻設定

(☞ 27,28ページ「日付・時刻の合わせかた」)

■ 画面表示形式

日付・現在時刻などの表示形式が設定できます。

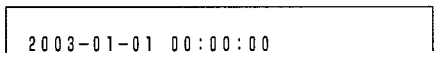
表示形式の設定項目(初期設定は「1」)
「1」:年月日、現在時刻を表示します。
「2」:年月日、曜日、現在時刻、再生間隔(1画再生時のみ)を表示します。
「3」:年月日、曜日、現在時刻、再生間隔(1画再生時のみ)、HDD使用量(残量検出位置を「HDD(メイン)」、「HDD(サブ)」、または「バックアップ」に設定した場合の記録時、再生時)、アラーム記録番号(アラーム記録時、再生時)を表示します。
「4」:アラーム時にのみ、年月日、曜日、現在時刻を表示します。
「5」:ワーニング時にのみ、ワーニングメッセージを表示します。
「6」:何も表示しません。



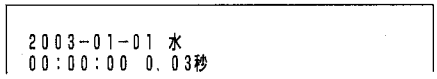
1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

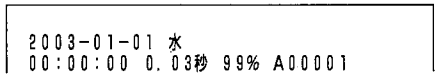
<表示形式1>



<表示形式2>



<表示形式3>



■ 画面表示位置

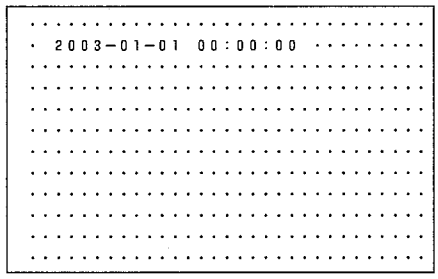
日付・現在時刻などの表示の位置が設定できます。

1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「画面表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。
・ <画面表示位置>画面が表示されます。

2 ◀、▶、▲、▼ボタンとジョグで表示を希望する位置まで移動させ、シャトルを右に回す。
・ 設定が確定します。

➲ ◀、▶、▲、▼ボタンを押すことにより、画面上の日付・現在時刻などを左右・上下に移動させることができます。

➲ ジョグを回すことにより画面の位置を左右に移動させることが可能です。

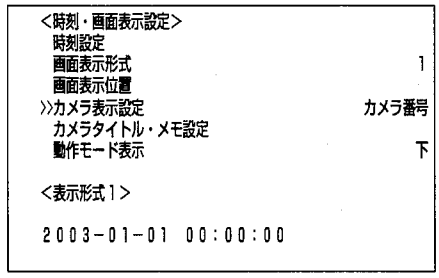


3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■ カメラ表示設定

「カメラタイトル・メモ設定」で設定したタイトルやメモを画面に表示したり、カメラ番号のみを表示するなどを、選択することができます。

設定項目(初期設定は「カメラ番号」)
「カメラ番号」:カメラ番号のみを表示します。
「タイトル」:「カメラタイトル・メモ設定」で設定したタイトルを表示します。また、タイトルは映像と共に記録することができます。
「コメント」:RS-232Cで書き込んだコメントを表示します。
「無」:何も表示しません。



1 設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「カメラ表示設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■カメラタイトル・メモ設定

接続しているカメラごとに、個別にタイトルを設定することができます。「カメラ表示設定」で「タイトル」を選択した場合、画面にタイトルが表示され、設置されたカメラ場所などがよりわかりやすい監視システムを構築することができます。

➲ **タイトルは、最大１６文字まで入力できます。画面に表示される文字数は・・・**

1画表示　：16文字すべて
4分割表示　：最初から10文字まで
9分割表示　：最初から6文字まで
16分割表示：最初から3文字まで

設定例）　カメラ番号 ① に「いりく゛ち」、カメラ番号 ④ に「カウンタ1」というタイトルと、「ぎ゛んこう」というメモをつけるとき。

1　設定ボタン → ＜設定＞ → ＜時刻・画面表示設定＞画面の「カメラタイトル・メモ設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・＜カメラタイトル・メモ設定＞画面が表示されます。

➲ **＜カメラタイトル・メモ設定＞画面は2画面構成になっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。**

2-1　（カメラタイトルを入力する場合は・・・）カーソルがカメラ番号 ① にあることを確認し、シャトルを右に回す。

・＜文字列入力＞画面が表示され、文字列の一番左の位置が反転表示されます。

2-2　シャトルを右に回す。

・下段の入力文字の一番左の位置「_」(スペース)が赤色表示に変わり、点滅します。

2-3　◀、▶、▲、▼ボタンとジョグで入力選択用の文字から「い」を選択し、シャトルを右に回す。

・文字列の一番左の位置に、「い」が反転表示されます。

➲ **ジョグを回すことにより反転表示の位置を左右に移動させることが可能です。**

2-4　ジョグを右に回して右どなりの文字列を反転表示させる。

2-5　ステップ2-2～2-4の操作を繰り返し、文字列に「いりく゛ち」と入力する。

➲ **入力した文字を消去したいときは、1番左上の文字「_」(スペース)にカーソルを合わせ、シャトルを右に回し確定する。**

➲ **間違って入力した文字を変更したいときは、**

1　文字列の文字が反転表示中に、ジョグを回して変更したい文字を反転させる。
2　ステップ2-2、2-3の操作を行う。

2-6　入力が完了したら、シャトルを左に回す。

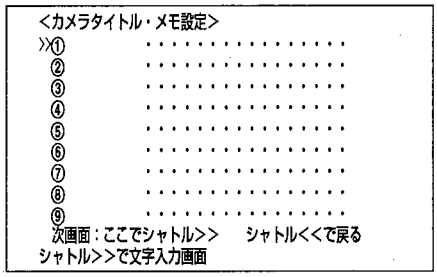
・＜カメラタイトル・メモ設定＞画面に戻ります。

2-7　ステップ2-1～2-6の操作を繰り返し、カメラ番号 ④ に「カウンタ1」と入力する。

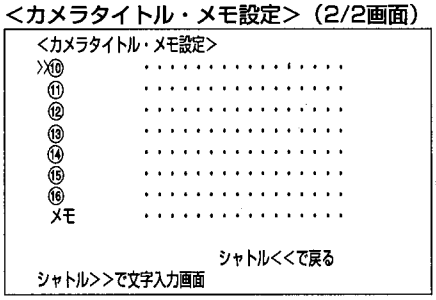
2-8　入力が完了したら、シャトルを左に回す。

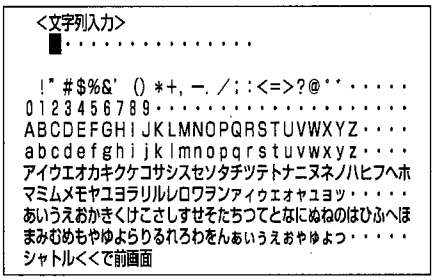
・＜カメラタイトル・メモ設定＞画面に戻ります。

＜カメラタイトル・メモ設定＞（1/2画面）

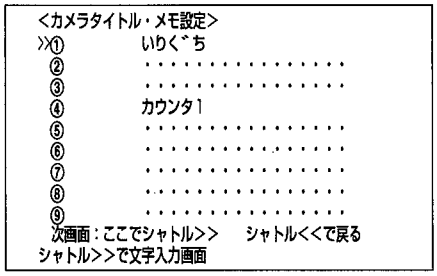


＜カメラタイトル・メモ設定＞（2/2画面）





＜カメラタイトル・メモ設定＞　入力例



<時刻・画面表示設定>(つづき)

3-1　(メモを入力する場合は・・・)
<カメラタイトル・メモ設定>画面でジョグを回してカーソルを「次画面・・・」まで移動させ、シャトルを右に回す。
・<カメラタイトル・メモ>設定2/2画面が表示されます。

<カメラタイトル・メモ設定>
⑩ ・・・・・・・・・・・・・・・・
⑪ ・・・・・・・・・・・・・・・・
⑫ ・・・・・・・・・・・・・・・・
⑬ ・・・・・・・・・・・・・・・・
⑭ ・・・・・・・・・・・・・・・・
⑮ ・・・・・・・・・・・・・・・・
⑯ ・・・・・・・・・・・・・・・・
>>メモ　　ぎんこう
シャトル<<で戻る
シャトル>>で文字入力画面

3-2　ステップ2-1～2-6の操作を繰り返し、メモに「ぎんこう」と入力する。

3-3　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

カメラタイトル　表示例（１６分割画面）

2003-01-01 00:00:00 いりく			カウン

メモ　表示例

<設定>
>>時刻・画面表示設定
マルチプレクサ設定
動き検知設定
マニュアル設定
タイマー設定
基本設定・情報表示
メニュークイック設定

メモ:　　ぎんこう
[基本操作]
ジョグで選択　シャトル>>で確定　シャトル<<で戻る

■動作モード表示

再生、コピー、記録やアラーム記録(エマージェンシー記録時は、赤字でアラーム記録と表示)などの動作状態を画面下、または画面上に表示できます。

設定項目（初期設定は「下」）
「下」：画面下側に動作状態を表示します。
「切」：動作状態を表示しません。
「上」：画面上側に動作状態を表示します。

1　設定ボタン → <設定> → <時刻・画面表示設定>画面の「動作モード表示」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<時刻・画面表示設定>
時刻設定
画面表示形式　1
画面表示位置
カメラ表示設定　カメラ番号
カメラタイトル・メモ設定
>>動作モード表示　下

<表示形式1>

2003-01-01 00:00:00

<マルチプレクサ設定>

本機のマルチプレクサ機能は、接続されたカメラの映像を4分割、9分割や16分割にして画面に表示させることができます。また、表示するカメラ番号の順番を設定することができます。(☞ 26ページ「マルチプレクサ機能」)

■ マルチプレクサ機能関連ボタンの動作／動作表

◆ カメラ番号ボタンの動作

カメラ番号ボタンを押すと、そのカメラ番号に接続されたカメラの映像が1画表示になります。また、分割／シーケンシャル画面表示中でも、カメラ番号ボタンを押すことによって、特定のカメラの1画表示に切り換えることができます。

◆ 分割／シーケンスボタンの動作

分割／シーケンスボタンを押すことにより、マルチプレクサ設定の各分割表示位置で設定された下記の表示モードを、順に表示することができます。

表示できるモード(分割/シーケンスボタン設定が「オール」の場合)
「16分割」、「9分割(a)」、「9分割(b)」、「4分割(a)」、「4分割(b)」、「4分割(c)」、「4分割(d)」、「9分割シーケンシャル」、「4分割シーケンシャル」、「1画シーケンシャル」

➲ **記録内容の再生中は、下線部の表示のみ、選択できます。**

➲ **分割表示の位置は、<マルチプレクサ設定>画面の「4分割表示位置」、「9分割表示位置」、および「16分割表示位置」で設定できます。**

➲ **カメラ映像の更新速度は、表示させるカメラ台数が多くなるほど遅くなります。また、ETHERNET経由でのLANによるライブ通信を行うと、更新速度が遅くなることがあります。**

画面を1画表示に戻したいときは・・・
カメラ番号ボタン(1～16)を押すと、分割／シーケンシャル表示が解除されて、押したボタンのカメラ番号の1画表示に戻ります。もう一度分割／シーケンスボタンを押すと、解除前の分割／シーケンシャル表示画面に戻ります。

(!) **メニュー画面を表示している場合は、カメラ番号ボタン(1～16)を押しても1画表示に戻りません。一度メニュー画面を消してから、カメラ番号ボタン(1～16)を押してください。**

◆ 拡大ボタンの動作

1画表示中に拡大ボタンを押すことにより、表示中の映像を1倍、2倍、または4倍に拡大することができます。

(!) **出力Bの画面では、拡大ボタンは機能しません。**

(!) **拡大表示機能は、1画表示中にのみ機能します。また、移動ボタンを押すことにより、拡大表示する場所を上下左右に移動できます。**

1 1画表示中に、拡大ボタンを押す。
・ 1画表示の左上に「X1」、画面の中心に拡大中心点(X)が表示されます。

2 画面を上下左右へ移動させる場合は、▲、▼、◀、▶ボタンを押す。

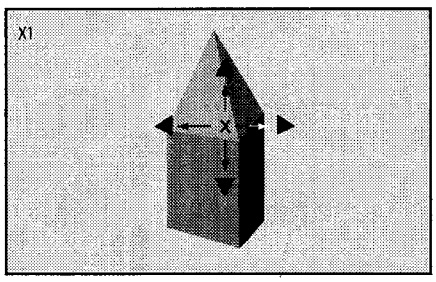
➲ **拡大中心点の位置は、電源を切っても記憶していますので、拡大して見たい場所があらかじめ決まっている場合などに便利です。**

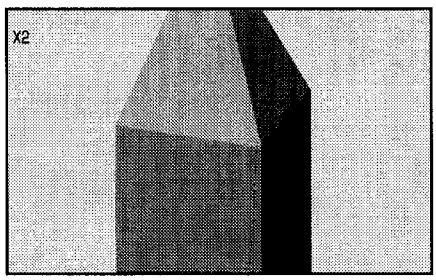
3 拡大ボタンを押す。
・ ボタンを押すたびに、画面が「X2」(2倍)、「X4」(4倍)、通常、「X1」(1倍)の順に切り換わります。

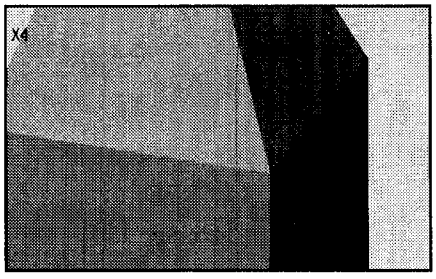
➲ **拡大機能は、記録内容の再生中にも使用することができます。**

参考 **複数台のカメラの記録映像を1画表示で再生中に、一時停止させて拡大操作を行うと、黒画面が表示されることがあります。この場合は、ジョグを回してコマを送ることにより、拡大画面を表示させることができます。**

参考 **本機の拡大表示機能は、電子拡大方式ですので、拡大時に画面細部がブロック状に見えます。**





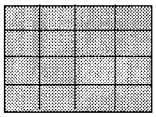
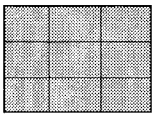
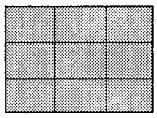
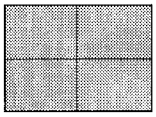
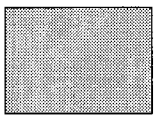


<マルチプレクサ設定>(つづき)

◆分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、カメラ番号ボタンの動作表

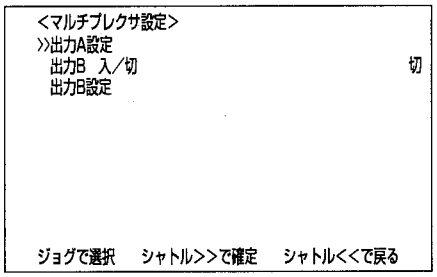
分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、およびカメラ番号ボタンは、下記のように動作します。

(!) カメラから映像信号の入力がないカメラ番号の映像は、青く表示されます。また、「カメラ表示設定」を「しない」に設定しているカメラの映像は黒く表示されます。(☞ 106ページ「カメラ表示設定」)

画面表示	分割/シーケンスボタン	拡大ボタン	カメラ番号ボタンの動きと点灯・消灯	参照ページ
16分割 	消灯 ○ 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	<マルチプレクサ設定>→<出力A設定>(<出力B設定>)→<16分割表示位置>画面で選択されているカメラ番号の映像を16分割表示します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	47
9分割 (a) 9分割 (b) 	消灯 ○ 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	<マルチプレクサ設定>→<出力A設定>(<出力B設定>)→<9分割表示位置>画面で選択されているカメラ番号の映像を9分割表示します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	46
4分割 (a) 4分割 (b) 4分割 (c) 4分割 (d)	消灯 ○ 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	<マルチプレクサ設定>→<出力A設定>(<出力B設定>)→<4分割表示位置>画面で選択されているカメラ番号の映像を4分割表示します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	45,46
9分割シーケンシャル  9分割表示が切り換わります	点灯 ● 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	<マルチプレクサ設定>→<出力A設定>(<出力B設定>)→<シーケンス表示>画面で設定された9分割の映像を表示し、設定された切り換え時間で指定された順番に更新します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	47,48
4分割シーケンシャル  4分割表示が切り換わります	点灯 ● 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	<マルチプレクサ設定>→<出力A設定>(<出力B設定>)→<シーケンス表示>画面で設定された4分割の映像を表示し、設定された切り換え時間で指定された順番に更新します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	47,48
1画シーケンシャル  1画表示が切り換わります	点灯 ● 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	<マルチプレクサ設定>→<出力A設定>(<出力B設定>)→<シーケンス表示>画面で設定されたカメラ番号の映像を1画表示し、設定された切り換え時間で指定された順番に更新します。映像表示中は、該当するカメラ番号ボタンが点灯します。	47,48
1画表示 / 非拡大モード時	消灯 ○ 分割/シーケンス	消灯 ○ 拡大	現在表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。	43
1画表示 / 拡大モード時 (X1、X2、X4)	消灯 ○ 分割/シーケンス	点灯 ● 拡大	「X1」(1倍)、「X2」(2倍)、「X4」(4倍)で拡大表示中のカメラ番号ボタンが点灯します。 出力Bインジケーターが点灯中は、拡大機能は、働きません。	43
アラーム記録中および動き検知記録中 分割/シーケンシャル表示中に、アラーム信号が入力されたとき			16分割、9分割、4分割、1画表示に関わらずアラーム記録中のカメラ番号ボタンが点滅します。	−

■ マルチプレクサ設定

本機は、モニター映像用の<出力A設定>画面のマルチプレクサ設定とライブ専用モニター映像用の<出力B設定>画面のマルチプレクサ設定をそれぞれ個別に設定することができます。



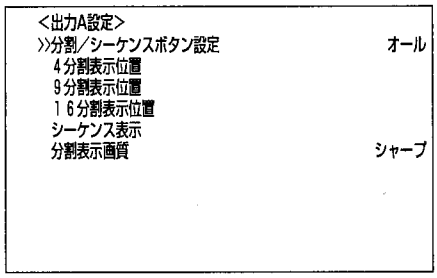
(!) 出力Bの映像をモニターに出力する場合は、「出力B 入/切」の設定を「入」にしてください。「切」のままでは、出力Bのモニター出力は、表示されません。

■ 分割/シーケンスボタン設定

分割/シーケンスボタンでは、画面の表示モードを選択することができます。

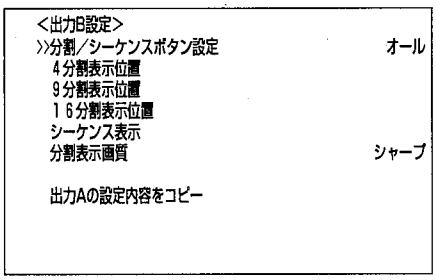
・設定項目（初期設定は「オール」）
「オール」 ： 1画面、4分割、9分割、16分割画面の全ての表示画面とシーケンシャル表示を選択することができます。
「ショート」： 1画面、4分割、9分割シーケンシャル表示、16分割画面を選択することができます。

(!) 「ショート」を選択した場合、再生時には1画面または16分割しか選択することができません。ご注意ください。



1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面を選択し、シャトルを右に回す。
・<マルチプレクサ設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回して「出力A設定」または「出力B設定」を選択し、シャトルを右に回す。
・<出力A設定>または<出力B設定>画面が表示されます。



3 カーソルが「分割/シーケンスボタン設定」にあることを確認し、ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

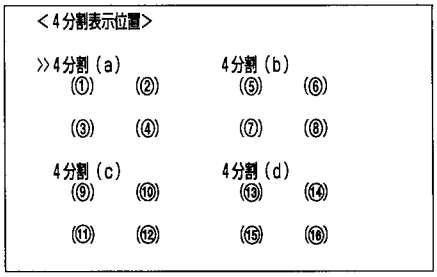
<出力B設定>画面のマルチプレクサ設定を<出力A設定>画面のマルチプレクサ設定と同じにするときは、<出力B設定>画面で「出力Aの設定内容をコピー」を選択し、シャトルを右に回してください。

■ 4分割表示位置

4分割表示位置では、a、b、c、dの4種類の4分割画面を設定することができます。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面の「出力A設定」(「出力B設定」)を選択し、シャトルを右に回す。
・<出力A設定>(<出力B設定>)画面が表示されます。

2 ジョグを回して「4分割表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。
・<4分割表示位置>画面が表示されます。



3 ジョグを回して設定する4分割表示(a、b、c、d)を選択し、シャトルを右に回す。
・(1番左上の)カメラ番号が反転表示になります。

4 ジョグを回して反転表示を設定する表示位置に移動させ、シャトルを右に回す。
・カメラ番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

5 ジョグを回して希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回す。
・点滅がとまります。

(!) 1つの分割表示に同じカメラ番号を重複して設定できます。再生中は、重複したうちの一番若いカメラ番号の位置に映像が表示されます。

6 引き続き、他の表示位置を設定する場合は、ステップ4、5の操作を繰り返す。

7 設定が完了したら、シャトルを左に回す。
・設定が確定し、カーソルが表示されます。

8 引き続き、他の4分割表示を設定する場合は、ステップ3~7の操作を繰り返す。

9 すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) カメラ番号の点滅中は、設定ボタンを押して<4分割表示位置>画面から抜けることはできません。

■9分割表示位置

9分割表示位置では、a、bの2種類の9分割画面を設定することができます。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面の「出力A設定」(「出力B設定」)を選択し、シャトルを右に回す。
・<出力A設定>(<出力B設定>)画面が表示されます。

2 ジョグを回して「9分割表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。
・<9分割表示位置>画面が表示されます。

<9分割表示位置>

>>9分割(a)　　9分割(b)
①　②　③　　⑩　⑪　⑫
④　⑤　⑥　　⑬　⑭　⑮
⑦　⑧　⑨　　⑯　①　②

3 ジョグを回して設定する9分割表示(a、b)を選択し、シャトルを右に回す。
・(一番左上の)カメラ番号が反転表示になります。

4 ジョグを回して反転表示を設定するカメラ番号に移動させ、シャトルを右に回す。
・カメラ番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

5 ジョグを回して希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回す。
・点滅がとまります。

(!) 分割表示に同じカメラ番号を重複して設定できます。再生中は、重複したうちの一番若いカメラ番号の位置に映像が表示されます。

6 引き続き、他の表示位置を設定する場合は、ステップ4、5の操作を繰り返す。

7 設定が完了したら、シャトルを左に回す。
・設定が確定し、カーソルが表示されます。

8 引き続き、他の9分割表示を設定する場合は、ステップ3~7の操作を繰り返す。

9 すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) カメラ番号の点滅中は、設定ボタンを押して<9分割表示位置>画面から抜けることはできません。

■ 16分割表示位置

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面の「出力A設定」(「出力B設定」)を選択し、シャトルを右に回す。
・<出力A設定>(<出力B設定>)画面が表示されます。

2 ジョグを回して「16分割表示位置」を選択し、シャトルを右に回す。
・<16分割表示位置>画面が表示されます。

3 シャトルを右に回す。
・(一番左上の)カメラ番号が反転表示になります。

4 ジョグを回して反転表示を設定する表示位置に移動させ、シャトルを右に回す。
・カメラ番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

5 ジョグを回して希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回す。
・点滅がとまります。

(!) **分割表示に同じカメラ番号を重複して設定できます。再生中は、重複したうちの一番若いカメラ番号の位置に映像が表示されます。**

6 引き続き、他の表示位置を設定する場合は、ステップ4、5の操作を繰り返す。

7 設定が完了したら、シャトルを左に回す。
・設定が確定し、カーソルが表示されます。

8 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) **カメラ番号の点滅中は、設定ボタンを押して<16分割表示位置>画面から抜けることはできません。**

<16分割表示位置>

```
>>16分割
   (1)  (2)  (3)  (4)
   (5)  (6)  (7)  (8)
   (9)  (10) (11) (12)
   (13) (14) (15) (16)
```

■ シーケンス表示

接続されたカメラの映像の、表示順序を自動的に切り換えたり、切換時間を設定することができます。「4分割表示位置」で設定した4種類の、また9分割表示位置で設定した2種類の分割表示を、自動的に切り換えたり、同じカメラを繰り返し表示することもできます。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面の「出力A設定」(「出力B設定」)を選択し、シャトルを右に回す。
・<出力A設定>(<出力B設定>)画面が表示されます。

2 ジョグを回して「シーケンス表示」を選択し、シャトルを右に回す。
・<シーケンス表示>画面が表示されます。

➡ **<シーケンス表示>画面は2画面構成になっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。**

3 ジョグを回して希望する表示順(1～16)を選択し、シャトルを2回右に回す。
・1回目で「カメラ」番号が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

4 希望するカメラ番号を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定項目が確定します。
・「－」:設定したカメラは表示されません。

5 ジョグを右に回して反転表示を「切換時間」に移動させ、シャトルを右に回す。
・「切換時間」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

<シーケンス表示> (1/2画面)

```
<シーケンス表示>
表示順          カメラ      切換時間
>>1             (1)         2秒
  2             (2)         2秒
  3             (3)         2秒
  4             (4)         2秒
  5             (5)         2秒
  6             (6)         2秒
  7             (7)         2秒
  8             (8)         2秒
  9             (9)         2秒
次画面:ここでシャトル>>   シャトル<<で戻る
```

<シーケンス表示> (2/2画面)

```
<シーケンス表示>
表示順          カメラ      切換時間
>>10            (10)        2秒
  11            (11)        2秒
  12            (12)        2秒
  13            (13)        2秒
  14            (14)        2秒
  15            (15)        2秒
  16            (16)        2秒
  4分割         abcd        2秒
  9分割         ab          2秒
                  シャトル<<で戻る
```

<マルチプレクサ設定>(つづき)

6　希望する切換時間を表示させ、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルが表示順の左どなりに表示されます。

・設定項目（初期設定は「2秒」）
「1秒」、「2秒」、・・・、「29秒」、「30秒」

7　他の表示順のカメラ番号と切換時間を設定する場合は、ステップ3～6の操作を繰り返す。

8-1　(4分割(「9分割」)シーケンシャル表示の切り換え設定を行う場合は・・・)
ジョグを回して「4分割」(「9分割」)を選択し、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定項目が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

8-2　希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定項目が確定します。

・設定項目（初期設定は 4分割「abcd」、9分割「ab」）
・4分割
「abcd」：4分割(a)、4分割(b)、4分割(c)、4分割(d)をシーケンス表示します。
「abc」：4分割(a)、4分割(b)、4分割(c)をシーケンス表示します。
「ab」：4分割(a)、4分割(b)をシーケンス表示します。
「a」：4分割(a)を表示します。
・9分割
「ab」：9分割(a)、9分割(b)をシーケンス表示します。
「a」：9分割(a)を表示します。

8-3　ジョグを右に回して「切換時間」に反転表示を移動させ、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

8-4　希望する切換時間を表示させ、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルが表示順の左どなりに表示されます。

9　すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<シーケンス表示>　(1/2画面)

<シーケンス表示>

表示順	カメラ	切換時間
››1	①	2秒
2	②	2秒
3	③	2秒
4	④	2秒
5	⑤	2秒
6	⑥	2秒
7	⑦	2秒
8	⑧	2秒
9	⑨	2秒

次画面：ここでシャトル>>　シャトル<<で戻る

<シーケンス表示>　(2/2画面)

<シーケンス表示>

表示順	カメラ	切換時間
››10	⑩	2秒
11	⑪	2秒
12	⑫	2秒
13	⑬	2秒
14	⑭	2秒
15	⑮	2秒
16	⑯	2秒
4分割	abcd	2秒
9分割	ab	2秒

シャトル<<で戻る

■ 分割表示画質

カメラの映像を分割表示するときの画質を設定することができます。

設定項目（初期設定は「シャープ」）
「シャープ」：映像の細部を見ることができます。
「ソフト」　：画面のちらつきを押さえます。

(!)「分割表示画質」を「ソフト」に設定すると、4分割、9分割、16分割表示中の映像のフリッカー(ちらつき)を軽減できますが、垂直解像度が落ちます。

1　設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定> → <出力A設定>(<出力B設定>)画面の「分割表示画質」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<出力A設定>

分割/シーケンスボタン設定	オール
4分割表示位置	
9分割表示位置	
16分割表示位置	
シーケンス表示	
››分割表示画質	シャープ

＜動き検知設定＞

カメラから取り込んだ映像に対し、映像内での動きの変化を検知してアラーム記録を開始する、動き検知機能の条件を設定するためのものです。

■設定カメラ選択

ここでは、動き検知設定をするカメラを選択します。カメラごとに設定が行えるので、より細かい設定が可能となります。

設定項目（初期設定は「①」）

「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」、「⑩」、
「⑪」、「⑫」、「⑬」、「⑭」、「⑮」、「⑯」

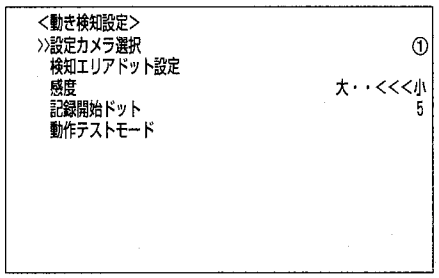
(!) 任意のカメラ番号を１画表示している状態から＜動き検知設定＞画面を表示させた場合は、その任意のカメラ番号が「設定カメラ選択」の初期状態設定値として表示されます。

1　設定ボタン → ＜設定＞ → ＜動き検知設定＞画面の「設定カメラ選択」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

➡ 「設定カメラ選択」設定を確定すると、背景画面は選択されたカメラ番号の映像に切り換わります。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) ＜動き検知設定＞のメニュー画面を表示させた状態では、動き検知機能は、はたらきません。



■検知エリアドット設定

ここでは、動き検知機能を有効にするエリアを設定します。接続しているカメラごとに、個別に取り込んだ映像を16X12に均等分割してドット表示した192の検知エリアから任意に選択し、設定することができます。

設定マークの意味（初期設定は、全エリアが「●」(有効)）
「●」：動き検知機能が有効なエリアを示します。
「・」：動き検知機能が無効なエリアを示します。

➡ カメラ1台につき複数箇所のエリアが設定できます。

画面の設定例)
設定カメラ選択で設定したカメラから取り込んだ映像に対し、
・画面右半分を動き検知機能が有効なエリアとして、「●」を表示させる。
・画面左半分を動き検知機能が無効なエリアとして、「・」を表示させる。

1　上記、「設定カメラ選択」で、検知エリアを設定したいカメラを選択する。

2　ジョグを回して「検知エリアドット設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・検知エリアのドット画面が表示され、一番左上のドットの背景が赤色表示に変わり、点滅します。

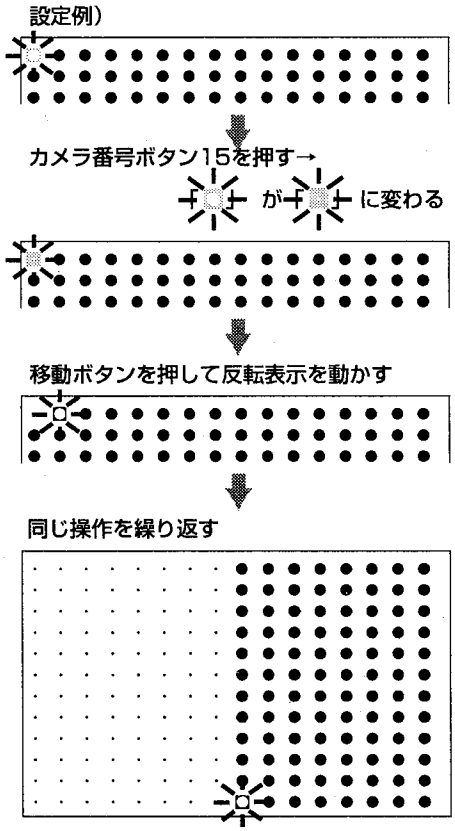
3　◀、▶、▲、▼ボタンで変更したいドットを選択し、カメラ番号ボタン15を押す。

・「●」(有効)設定が「・」(無効)設定に変わります。

➡ 分割/シーケンスボタンを押すとすべてのドットが「●」(有効)設定に変わり、拡大ボタンを押すとすべてのドットが「・」(無効)設定に変わります。

➡ カメラ番号ボタン15を押すと選択中のドットが「・」(無効)設定に変わり、カメラ番号16を押すと選択中のドットが「●」(有効)設定に変わります。

4　ステップ3の操作を繰り返し、ドットごとに有効／無効を設定する。



<動き検知設定>(つづき)

5 シャトルを左に回す。
・設定が確定し、1つ前の<動き検知設定>画面に戻ります。

(!) 検知エリアドット設定中は、他の設定を受け付けません。設定途中でメニュー画面を抜ける場合は、シャトルを左に回してください。

■感度

ここでは、取り込んだ映像データの変化を検知する感度を設定します。輝度の差を5段階に分けて感度として設定することができます。

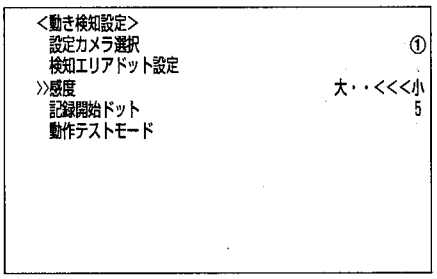
設定項目(初期設定は「大・・<<<小」)
「大・・・・<小」、「大・・・<<小」、「大・・<<<小」、「大・<<<<小」、「大<<<<<小」

➡「大・・・・<小」~「大<<<<<小」と"<"が増えるごとに感度が高くなります。

➡わずかな変化で感知させたいときは、「大<<<<<小」を選択してください。ただし、その場合、蛍光灯のちらつきなどで誤動作する場合がありますので、ご注意ください。

1 前記、「設定カメラ選択」で、感度を設定したいカメラを選択する。

2 ジョグを回して「感度」を選択し、希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定します。



■記録開始ドット

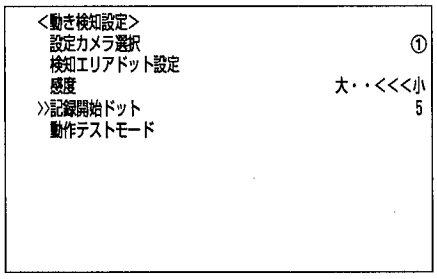
ここでは、検知エリアの有効ドット数に対し、動き検知の動作を開始するための最低ドット数を設定します。これにより、設定された最低ドット数以上で変化を検出した場合、動き検知が動作します。

設定項目(初期設定は「5」)
「1」、「2」、・・・「5」、・・・、「192」

(!) 記録開始ドット数は、検知エリアの有効ドット数を上限値として設定してください。それ以上の数値を設定すると、動き検知機能は動作しません。

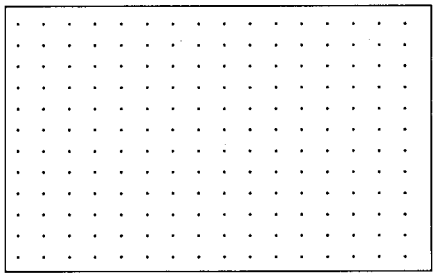
1 前記、「設定カメラ選択」で、記録開始ドット数を設定したいカメラを選択する。

2 ジョグを回して「記録開始ドット」を選択し、希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定します。



■動作テストモード

ここでは、これまでに設定してきた動き検知の動作の確認を行います。



1 前記、「設定カメラ選択」で、動作テストをしたいカメラを選択する。

2 ジョグを回して「動作テストモード」を選択し、シャトルを右に回す。

・動作テストが始まります。

3 「動作テストモード」を終了する場合は、シャトルを左に回す。

・動作テスト中は、動き検知の有効エリアを画面上に「・」で表示します。感度、記録開始ドット数のそれぞれの設定条件を満たして動き検知されたと認識した場合、画面上に赤色の「●」を表示します。意図するような動作をしていないときは、設定しなおしてください。

(!) 赤色の「●」表示が、実際の動きに対し遅れる場合があります。

動き検知の注意事項

- 連続して変化が検出されている場合、アラーム記録も連続するため、設定変更などの機能を受け付けられません。このとき、アラームホールドボタンを押すことにより、5分間動き検知機能を強制的に停止させることができます。この間に設定変更などをすることができます。この停止は、5分後自動的に復帰しシステムログリストに履歴が残されます。アラームホールドを解除する場合は、もう一度アラームホールドボタンを押してください。
- 動き検知設定が有効な場合は、＜アラーム設定＞画面の「アラーム入力」設定により、アラーム記録を開始します。アラーム記録時の入力信号は、後面部のALARM IN端子が常に優先されます。
- 動き検知インジケーターは、動き検知機能が動作中に点灯します。
- 本機の動き検知の感度を高く設定しすぎると、誤動作の原因となります。本機の動き検知を使って発報するシステムなどに接続しているときは、誤動作にご注意ください。
- 動き検知でアラーム記録を行いたい場合は、＜アラーム設定＞画面の「アラーム入力」を「動き検知」、「動き検知/端子」、または「動き検知＆端子」に、「動き検知記録のアラームリストへの登録」を「する」に、＜記録運用設定＞画面の該当するカメラ番号の「ALM間隔」を、必ず「－－－－－」以外に設定してください。
- ＜動き検知設定＞画面の項目を設定中は、検知記録動作はしません。

<マニュアル設定>

■ 通常記録、アラーム記録に関する設定

本機は、通常記録とアラーム記録の設定項目を独立して個別に設定することができます。これにより、通常記録設定を保持したままアラーム信号を入力したカメラのみ記録間隔を変更したり、より細かな設定が可能です。

(!) アラーム記録中は、一部の設定・運用変更が制限されます。アラームホールドボタンを押し、追加するアラーム入力をやめ、記録を停止させることにより制限を解除することができます。

(!) 記録中は、<記録運用設定>画面の設定項目を変更することはできません。ご注意ください。

(!) カメラが接続されていないカメラ番号を記録運用カメラに設定した場合、記録中に「映像信号無し(カメラ番号)」の警告表示がでます。(☞ 150,151ページ「警告表示とCALL OUT信号の出力」)

■ 通常記録・アラーム記録の記録運用設定

ここでは、アラーム記録/エマージェンシー記録させるカメラ番号の設定、アラーム記録させるためのアラーム入力、通常記録時の記録間隔、記録画質とアラーム記録時の記録間隔、記録画質とプリアラーム記録の有無を設定することができます。(通常記録に関しては、☞ 29,30ページ「基本的なマニュアル記録のしかた」) プリアラーム記録とは、アラーム記録時に本機後面部のALARM IN端子が接地、または動き検出される(数秒)前からの映像を記録させることです。(☞ 55ページ「プリアラーム記録設定」)

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル設定>画面の「アラーム設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <アラーム設定>画面が表示されます。

➲ <アラーム記録>画面は、2画面構成となっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。

2-1 (アラーム記録時の「記録カメラ」、「アラーム入力」を設定する場合は・・・)
ジョグを回して希望するアラーム記録する「番号」(アラームセンサー入力番号)を選択し、シャトルを右に回す。

・ 左端の「記録カメラ」の設定項目が反転表示になります。
・ 左端からカメラ番号 ① ～ ⑯ の順番で並んでいます。

➲ ジョグを左に回すと、①、端子、⑯、⑮、・・・・ の順番でそれぞれのカメラ番号に相当する位置が反転表示に変わります。

2-2 ジョグを回して希望する「記録カメラ」の位置まで反転表示を移動させ、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

(!) 設定内容の点滅中は、設定ボタンを押してもメニュー画面は消えません。

2-3 ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

➲ 1つのセンサー入力に対し、複数のカメラ番号を選択できます。

2-4 ジョグを右に回して反転表示を「アラーム入力」の設定項目まで移動させ、シャトルを右に回す。

・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

<マニュアル設定>
>>アラーム設定
記録運用設定
アラーム記録時間 5秒
動き検知記録のアラームリストへの登録 する
※ 上書きバックアップ 切
バックアップメディア自動イジェクト 入

※ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示

<アラーム設定> (1/2画面)

<アラーム設定>
番号 記録カメラ アラーム入力
>>1 ① 端子
2 ② 端子
3 ③ 端子
4 ④ 端子
5 ⑤ 端子
6 ⑥ 端子
7 ⑦ 端子
8 ⑧ 端子
9 ⑨ 端子
次画面:ここでシャトル>> シャトルくくで戻る

<アラーム設定設定> (2/2画面)

<アラーム設定>
番号 記録カメラ アラーム入力
>>10 ⑩ 端子
11 ⑪ 端子
12 ⑫ 端子
13 ⑬ 端子
14 ⑭ 端子
15 ⑮ 端子
16 ⑯ 端子
EMR ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
シャトルくくで戻る

2-5　ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルが番号の左どなりに表示されます。

・アラーム入力の設定項目（初期設定は「端子」）

「端子」	：ALARM IN端子が接地された場合にアラーム記録を開始します。
「動き検知&端子」	：ALARM IN端子が接地中に、動きを検出した場合にアラーム記録を開始します。
「動き検知/端子」	：ALARM IN端子が接地されるか、または動きを検出した場合にアラーム記録を開始します。
「動き検知」	：動きを検出した場合にアラーム記録を開始します。

3-1　（エマージェンシー記録時の「記録カメラ」の設定を変更する場合は・・・）
ジョグを回して「EMR」を選択し、シャトルを右に回す。

・左端の「記録カメラ」の設定項目が反転表示になります。

3-2　ステップ2-2、2-3を繰り返し、設定を変更してください。

4　設定が完了したらシャトルを左へ回す。

・カーソルが「番号」の左どなりに表示されます。

5　（アラーム記録モードを設定する場合は　・　・　・）
設定ボタン → ＜設定＞ → ＜マニュアル設定＞画面の「記録運用設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・＜記録運用設定＞画面が表示されます。

＜記録運用設定＞画面は、2画面構成となっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。

6　カーソルがアラーム記録モードのとなりにあることを確認し、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

・アラーム記録モード設定項目（初期設定は「アラームCH」）

「アラームCH」	：アラーム記録時に運用設定したカメラのうち、アラーム信号が入力したカメラのみでアラーム記録を行います。複数のセンサーにアラーム信号が入力した場合、アラーム信号が入ったすべてのカメラでアラーム記録を行います。
「アラームプラスCH」	：通常記録中にアラーム信号が入力されたカメラのみ、記録コマ数がALM間隔設定のコマ数で記録され、他のカメラは通常間隔で記録します。

アラーム記録モードの設定は、＜記録運用設定＞1/2画面で行ってください。2/2画面では、設定できません。

7　希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

8　（通常記録時の「記録間隔」、「記録画質」を設定する場合は・・・）
ジョグを回して希望するカメラ番号を選択し、シャトルを2回右に回す。

・「通常間隔」の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

・通常間隔の設定項目（初期設定は「0.53秒」）
「0.27秒」、「0.53秒」、「0.8秒」、「1.07秒」、「1.33秒」、「1.6秒」、「2.67秒」、「4秒」、「8秒」、「16秒」、「32秒」、「64秒」、「-----」

「-----」：設定したカメラでは記録を行いません。

＜記録運用設定＞（1/2画面）　アラーム記録モード

＜記録運用設定＞　　»アラームCH

番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
②	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
③	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
④	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑤	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑥	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑦	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑧	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑨	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ

次画面：ここでシャトル>>　　シャトル<<で戻る

＜記録運用設定＞（2/2画面）

＜記録運用設定＞　　アラームCH

番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
»⑩	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑪	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑫	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑬	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑭	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑮	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑯	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ

プリアラーム記録設定　　(最長：□□秒　)　□□秒
シャトル<<で戻る
＜見積り時間＞　　□日□□時間□□分

見積り時間に関しては、☞ 146ページ「連続記録可能時間表」

<マニュアル設定>(つづき)

➲ カーソルがカメラ番号の左どなりにある状態で、警告消去ボタンを押すと、そのカメラ番号の「通常間隔」、「ALM間隔」は「ーーーーー」へ変わります。

➲ 通常記録に関する設定方法、☞ 29,30ページ「通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する」。

<見積り時間>について

・「通常間隔」、「通常画質」の設定によって記録可能な時間が<記録運用設定>2/2画面に<見積り時間>として表示されます。(☞ 146ページ「連続記録可能時間表」)

➲ <運用変更・初期化>画面のHDD記録運用を「アラームパーティション」に運用設定した場合<見積り時間>は、HDD(メイン)に記録可能な見積り時間の表示となり、<記録運用設定>画面の右下にHDD(メイン)に割り当てられた領域が表示されます。(☞ 105ページ「アラームパーティション/サブデバイス容量」)

⑯ 0.53秒 ハイ　　0.53秒 ハイ
プリアラーム記録設定　(最長:□□秒　)　□□秒
シャトル<<<で戻る
<見積り時間>　□日□□時間□□分　□□%

9 ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

10 ジョグを右に回して「通常画質」の設定項目を反転表示させ、シャトルを右に回す。

・通常画質の設定項目の背景が赤色表示され、点滅します。

・通常画質の設定項目(初期設定は「ハイ」)
「スーパー」、「ファイン」、「ハイ」、「ノーマル」、「ベーシック」

11 ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

12 (アラーム記録時の「記録間隔」、「記録画質」を設定する場合は・・・)
ステップ8~11を繰り返し、「ALM(ALARM)間隔」、「ALM(ALARM)画質」を同様に希望する設定項目を選択する。

➲ カーソルがカメラ番号の左どなりにある状態で、警告消去ボタンを押すと、そのカメラ番号の「通常間隔」、「ALM間隔」は「ーーーーー」へ変わります。

13 設定が完了したらシャトルを左に回す。

・カーソルがカメラ番号の左どなりに表示されます。

14 引き続き、他のカメラ番号を設定する場合は、ジョグを回して希望するカメラ番号までカーソルを移動させ、ステップ8~13を繰り返し設定する。

15 すべての設定が完了したらシャトルを左へ回す、または設定ボタンを押す。

アラーム記録について

・タイマー記録中にアラーム記録やエマージェンシー記録が入力された場合、タイマー記録の終了時刻で記録を停止します。

・<アラーム設定>の「アラーム入力」を「動き検知/端子」に設定した場合、最後に入ったアラームが優先されます。

・<アラーム設定>の「アラーム入力」を「動き検知/端子」に、および<アラーム記録時間>を「接点」に設定した場合、ALARM IN端子が接地されていても、動き検知が後から入力された場合、アラーム記録は入力後2秒で停止します。
(この動き検知による記録で<アラーム記録時間>を「接点」に設定している場合、記録時間は2秒です。)

・アラーム記録中、エマージェンシー記録中に停電が発生した場合、停電復帰後アラーム記録、エマージェンシー記録は解除されます。

■ プリアラーム記録設定

プリアラーム記録時の記録時間を設定することができます。

設定項目（初期設定は「0秒」）
「0秒」、「1秒」、「2秒」、・・・、「58秒」、「59秒」、「60秒」、「90秒」、「120秒」、「150秒」、「180秒」

➲ **「0秒」に設定すると、プリアラーム記録をしません。**

ⓘ **()内には、プリアラーム記録可能な最長時間が表示されます。プリアラーム記録時間の設定が最長記録時間を越えた場合、赤色表示に変わります。白色表示に戻るように、最長記録時間以内で設定しなおしてください。また、最長記録時間以上に設定しても、実際にプリアラーム記録される記録時間は、変わりません。**

ⓘ **アラームパーティション運用設定した場合、HDD(サブ)にアラーム記録、プリアラーム記録されます。記録済みデータを再生する場合は、「再生デバイス選択」(☞ 96ページ)を「HDD(サブ)」にしてください。**

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル設定> → <記録運用設定> 2/2画面の「プリアラーム記録設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<記録運用設定>（2/2画面）

<記録運用設定>

番号	通常間隔	通常画質	アラームCH ALM間隔	ALM画質
⑩	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑪	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑫	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑬	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑭	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑮	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑯	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ

»プリアラーム記録設定　(最長：□□秒　)　□□秒
シャトル<<で戻る
<見積り時間>　□日□□時間□□分

■ アラーム記録時間

アラーム記録時の記録時間を設定することができます。

設定項目（初期設定は「5秒」）
「2秒」、「5秒」、「10秒」、「15秒」、「30秒」、「45秒」、「1分」、「2分」、「5分」、「10分」、「20分」、「30分」、「60分」、「接点」

「接点」：ALARM IN端子の接地が解除されるまでアラーム記録を続けます。

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル設定>画面の「アラーム記録時間」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<マニュアル設定>
アラーム設定
記録運用設定
»アラーム記録時間　5秒
動き検知記録のアラームリストへの登録　する

※ 上書きバックアップ　切
バックアップメディア自動イジェクト　入

※ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示

■ 動き検知記録のアラームリストへの登録

動きを検知したとき、アラームリストに登録するか、しないかを選択します。

設定項目（初期設定は「する」）
「する」　：動きを検知したとき、アラーム記録を開始し、その開始時刻をアラームリストに登録します。
「しない」：動きを検知したとき、アラーム記録を開始し、その開始時刻をアラームリストに登録しません。また、記録済みデータのアラームリストへの登録はできません。

ⓘ **アラームパーティション運用中に「動き検知記録のアラームリストへの登録」設定で「しない」を選択した場合、データはHDD(メイン)に記録されます。記録データの再生、アラームリスト検索する場合は、「再生デバイス選択」で「HDD(メイン)」を選択してください。**

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル設定>画面の「動き検知記録のアラームリストへの登録」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<マニュアル設定>
アラーム設定
記録運用設定
アラーム記録時間　5秒
»動き検知記録のアラームリストへの登録　する

上書きバックアップ　切
バックアップメディア自動イジェクト　入

<マニュアル設定>(つづき)

■上書きバックアップ

バックアップ機器にバックアップをするとき、メディアの最初からデータを上書きするかどうかを設定することができます。

(!) この設定は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」で「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示されます。

(!) 上書きバックアップは、バックアップ機器のバックアップデータを全て消去したあとでバックアップを開始します。ご注意ください。

この設定は、タイマー記録運用時には機能しません。タイマー記録運用で、上書きバックアップする場合は、<タイマープログラム設定>画面の運用設定で「上書BK」または「上書BKE」を選択してください。(☞ 57ページ)

設定項目(初期設定は「切」)
「入」:バックアップをするとき、データを上書きします。
「切」:バックアップをするとき、データを上書きせず、追記します。

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル設定>画面の「上書きバックアップ」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<マニュアル設定>
アラーム設定
記録運用設定
アラーム記録時間 5秒
動き検知記録のアラームリストへの登録 する
››上書きバックアップ 切
バックアップメディア自動イジェクト 入

■バックアップメディア自動イジェクト

バックアップを終了後、バックアップ機器のメディアを自動的に排出させるかどうかを、設定することができます。

(!) バックアップ中にバックアップを停止させても自動的に排出します。

(!) この設定は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」で「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示されます。

この設定は、タイマー記録運用時には機能しません。タイマー記録運用で、バックアップを終了後メディアを排出させる場合は、<タイマープログラム設定>画面の運用設定で「上書BKE」または「追記BKE」を選択してください。(☞ 57ページ)

設定項目(初期設定は「入」)
「入」:バックアップ終了後、メディアを自動的に排出します。
「切」:バックアップ終了後、メディアを自動的に排出しません。

1 設定ボタン → <設定> → <マニュアル設定>画面の「バックアップメディア自動イジェクト」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<マニュアル設定>
アラーム設定
記録運用設定
アラーム記録時間 5秒
動き検知記録のアラームリストへの登録 する
上書きバックアップ 切
››バックアップメディア自動イジェクト 入

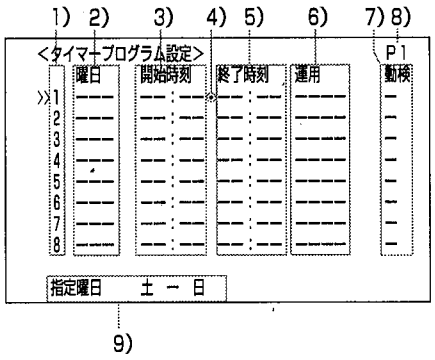
<タイマー設定>

■タイマー設定

よく使用する運用パターンをあらかじめ3種類まで設定しておくことができます。さらに、通常記録/アラーム記録時の運用カメラ、記録間隔、記録画質を記録運用設定A～Dに個別に設定しておくことにより、運用を切り換えるだけで設定でき非常に便利です。

(!) 記録する前に、あらかじめ日付と現在時刻を正確に合わせておいてください。(☞ 27,28ページ「日付・時刻の合わせかた」)

◆<タイマープログラム設定>画面の構成



1) プログラム番号
　1つの運用で最高8つのプログラム設定を行うことができます。
2) 曜日
　「日」から「土」までを指定できます。
　「毎日」：毎日同じ時刻に記録するとき。
　「指定」：下の「9)指定曜日」で設定した期間に記録するとき。
　「休日」：<タイマー休日設定>画面で指定した休日の設定をするとき。
3) 記録開始時刻
　記録を開始させる時刻を設定してください。時刻は、24時間表示です。

(!) 予約時刻が重なってしまった場合は、プログラム番号の大きい方のプログラムが優先して記録されます。

4) 翌日表示：記録が翌日までおよぶときにこのマークが表示されます。
5) 記録終了時刻：記録を終了させる時刻を設定してください。
6) 運用
　「A運用」～「D運用」：<タイマー設定>画面の「記録運用設定　A」から「記録運用設定　D」で設定した、カメラ運用の種類と記録間隔で記録するとき。(☞ 60ページ「通常記録・アラーム記録の記録運用設定A～D」)
　「スキップ」　：一時的にタイマー記録を休止するとき。(そのプログラム番号の指定時間帯の記録は行われません。)
　「上書BK」　：HDDの記録内容をバックアップ機器にバックアップさせるとき、データを上書きします。
　「上書BKE」　：HDDの記録内容をバックアップ機器にバックアップさせるとき、データを上書きします。そして、バックアップ終了時に、自動的にメディアを排出させます。
　「追記BK」　：HDDの記録内容をバックアップ機器にバックアップさせるとき、データを追記します。
　「追記BKE」　：HDDの記録内容をバックアップ機器にバックアップさせるとき、データを追記します。そして、バックアップ終了時に、自動的にメディアを排出させます。

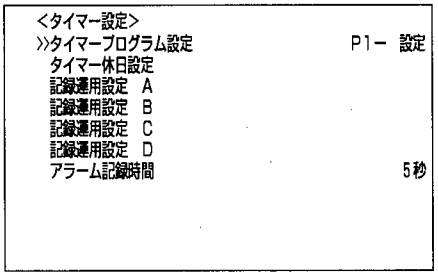
(!) タイマー設定でバックアップを行う場合、バックアップ時間が10分以上になるよう開始時刻と終了時刻を設定してください。

(!) 「上書きバックアップ」を「入」に設定しても、タイマー記録には反映されません。必ず、「タイマープログラム記録」画面の「運用」を「上書BK」または「上書BKE」に設定してください。

(!) 「バックアップメディア自動イジェクト」を「入」に設定しても、タイマー記録には反映されません。必ず「タイマープログラム設定」画面の「運用」を「上書BKE」または「追記BKE」に設定してください。

7) 動検：動き検知機能の「入」、「切」を指定することができます。
8) 選択したタイマー設定番号(P1～P3)が表示されます。
9) 指定曜日
　開始曜日と終了曜日を設定します。上の2) 曜日で「指定」を選択した場合、ここで設定された開始曜日から終了曜日までの期間が有効となります。

設定例)　「タイマー設定　P2」のプログラム番号1に、指定日水曜日から土曜日の12:30から13:00まで、動き検知機能を有効「入」にして「記録運用設定　A」でタイマー記録するとき。



1　設定ボタン → <設定> → <タイマー設定>画面を表示させる。

<タイマー設定>(つづき)

2 カーソルが「タイマープログラム設定」の左どなりにあることを確認して、シャトルを2回右に回す。
・1回目で設定項目「P1」が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「P2」を選択し、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

4 ジョグを右に回して「設定」を反転表示させ、シャトルを右に回す。
・<タイマープログラム設定>の画面が表示されます。

5 カーソルがプログラム番号「1」の左どなりにあることを確認し、シャトルを2回右に回す。
・1回目で設定項目「曜日」が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

6 (「曜日」を設定する場合は・・・)
ジョグを回して「曜日」の項目に「指定」を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

間違った曜日を選択した場合は、シャトルを右に回したあと、ジョグで正しい曜日を表示し、シャトルをもう一度右に回してください。

7-1 (「開始時刻」、「終了時刻」を設定する場合は・・・)
ジョグを右に回して反転表示を「開始時刻」の"時間の位"へ移動させ、シャトルを右に回す。
・「開始時刻」の時間の位の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

7-2 ジョグを回して「開始時刻」の"時間の位"に「12」を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

7-3 ステップ7-1、7-2の操作を繰り返し、「開始時刻」の"分の位"を「30」に、「終了時刻」の"時の位"を「13」に、"分の位"を「00」にして確定する。

8-1 (「運用」を設定する場合は・・・)
ジョグを右に回して反転表示を「運用」に移動させ、シャトルを右に回す。
・「運用」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

8-2 ジョグを回して「運用」の項目に「A運用」を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

9-1 (「動検」を設定する場合は・・・)
ジョグを右に回して反転表示を「動検」に移動させ、シャトルを右に回す。
・「動検」の設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

9-2 ジョグを回して「動検」の項目に「入」を表示させ、シャトルを2回右に回す。
・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルがプログラム番号の左どなりに表示されます。

10 他のプログラム番号に連続してタイマー予約を入力する場合は、ステップ5~9-2を繰り返す。

11-1 (「指定曜日」を設定する場合は・・・)
ジョグを回して「指定曜日」を選択し、シャトルを2回右に回す。
・1回目で"開始曜日"が反転表示になり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

<タイマープログラム設定>

	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	P2 動検
>>1	---	--:--	--:--	-----	-
2	---	--:--	--:--	-----	-
3	---	--:--	--:--	-----	-
4	---	--:--	--:--	-----	-
5	---	--:--	--:--	-----	-
6	---	--:--	--:--	-----	-
7	---	--:--	--:--	-----	-
8	---	--:--	--:--	-----	-

指定曜日 土 - 日

11-2　ジョグを回して"開始曜日"の項目に「水」を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。

11-3　ジョグを回して反転表示を"終了曜日"に移動させ、シャトルを右に回す。

・"終了曜日"の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

11-4　ジョグを回して"終了曜日"の項目に「土」を表示させ、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルが指定曜日の左どなりに表示されます。

<タイマープログラム設定>　P2

	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検
1	指定	12:30	13:00	A運用	入
2	----	--:--	--:--	-----	-
3	----	--:--	--:--	-----	-
4	----	--:--	--:--	-----	-
5	----	--:--	--:--	-----	-
6	----	--:--	--:--	-----	-
7	----	--:--	--:--	-----	-
8	----	--:--	--:--	-----	-

»指定曜日　水 ー 土

12　設定ボタンを押す。

・<タイマー設定>画面が消え通常画面に戻ります。

(!) プログラム内に未設定の項目(ーー表示)がある場合は、シャトルを左に回しても設定画面から抜けることはできません。そのときは、未設定の項目をすべて設定してください。

13　タイマーボタンを押す。

・タイマーインジケーターが点灯します。
・現在時刻がタイマー予約設定時刻内であれば、タイマー記録が開始されます。
・現在時刻がタイマー予約設定時刻外であれば、電源が切れて記録待機状態になります。

(!) もう一度タイマーボタンを1秒以上連続で押すと、タイマー記録／タイマー記録待機状態は解除されます。

(!) アラーム記録中は、タイマーボタンは働きません。

➡ プログラム内容を消去したい場合や、設定をせずに途中でプログラムを抜けたい場合は、設定項目が反転表示の状態で警告消去ボタンを押してください。

設定ミスがあると記録は行われません。タイマー記録のミスを防ぐために本機は、下図のような方法でミスをお知らせします。適切な処置を行ってください。

本機の状態	エラーの内容	処置	ページ
タイマーインジケーターが点滅する。(ピッピッピッとブザーが鳴ります)	1) 日付・時刻が未設定である。 2) タイマー予約した設定が予約運用設定されていない。 3) プログラムの設定中である。	1) 日付・時刻を設定する。 2) 正しい予約運用を設定する。 3) 設定を確定する。	27,28 57-59 57-59
タイマー記録に設定した時間なのにタイマー記録の状態にならない。	1) 「HDD(メイン)リピート記録」の設定を「切」、「HDD(サブ)リピート記録」の設定を「切」にしている場合に、HDD(メイン)またはHDD(サブ)の記録容量が無くなった。	・警告消去ボタンを押し警告表示を消す。 ・「HDD(メイン)リピート記録」設定を「入」に、「HDD(サブ)リピート記録」設定を「入」にする。	150 62

■タイマー休日設定

年間の休日をあらかじめ設定することができます。

1　設定ボタン → <設定> → <タイマー設定>画面の「タイマー休日設定」を選択し、希望する休日を表示させ確定する。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) <タイマー休日設定>で休日を設定し、<タイマープログラム設定>の曜日設定で「休日」を選択した場合に、設定日時が重複したとき「休日」を選択したプログラムが他のプログラムに対し優先して記録され、「休日」以外のプログラムは動作しません。

<タイマー休日設定>

--/--	--/--	--/--	--/--
--/--	--/--	--/--	--/--
--/--	--/--	--/--	--/--
--/--	--/--	--/--	--/--
--/--	--/--	--/--	--/--

月 / 日

<タイマー設定>(つづき)

■ 通常記録・アラーム記録の記録運用設定A～D

通常記録/アラーム記録時の運用カメラ、記録間隔、記録画質を記録運用設定A～Dの4つのパターンにあらかじめ設定することが可能です。(☞ 29,30ページ「通常記録のための記録間隔と記録画質を設定する」、☞ 52-54ページ「通常記録・アラーム記録の記録運用設定」)

1 設定ボタン → <設定> → <タイマー設定>画面の「記録運用設定A」を選択し、シャトルを右に回す。

・<記録運用設定　A>画面が表示される。

<記録運用設定　A>
>>アラーム記録
記録運用設定
動き検知記録のアラームリストへの登録　する

2 ジョグを回して希望する設定項目「アラーム設定」、または「記録運用設定」を選択し、設定する。

➡ アラーム設定、記録運用設定、プリアラーム記録設定、動き検知記録のアラームリストへの登録についての詳細は、☞ 52-55ページをごらんください。

3 引き続き、他の記録運用設定B～Dを設定する場合は、ステップ2の操作を繰り返し、設定する。

➡ <運用変更・初期化>画面でHDD記録運用をアラームパーティションに設定した場合、<記録運用設定>画面の右下にHDD(メイン)の記録使用領域が表示されます。(アラームパーティションについて詳細は ☞ 105ページ)

<アラーム設定　A>(1/2画面)

<アラーム設定　A>

番号	記録カメラ	アラーム入力
>>1	①----------	端子
2	-②---------	端子
3	--③--------	端子
4	---④-------	端子
5	----⑤------	端子
6	-----⑥-----	端子
7	------⑦----	端子
8	-------⑧---	端子
9	--------⑨--	端子

次画面:ここでシャトル>>　シャトル<<で戻る

<アラーム設定　A>(2/2画面)

<アラーム設定　A>

番号	記録カメラ	アラーム入力
>>10	----------⑩-	端子
11	----------⑪-	端子
12	----------⑫-	端子
13	----------⑬-	端子
14	----------⑭-	端子
15	----------⑮-	端子
16	----------⑯	端子
EMR	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯	

シャトル<<で戻る

<記録運用設定　A>(1/2画面)

<記録運用設定　A>

番号	通常間隔	通常画質	>>アラームCH ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
②	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
③	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
④	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑤	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑥	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑦	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑧	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑨	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ

次画面:ここでシャトル>>　シャトル<<で戻る

<記録運用設定　A>(2/2画面)

<記録運用設定　A>

番号	通常間隔	通常画質	アラームCH ALM間隔	ALM画質
>>⑩	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑪	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑫	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑬	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑭	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑮	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ
⑯	0.53秒	ハイ	0.53秒	ハイ

プリアラーム記録設定　(最長:□□秒　)　□□秒
シャトル<<で戻る
<見積り時間>　□日□□時間□□分

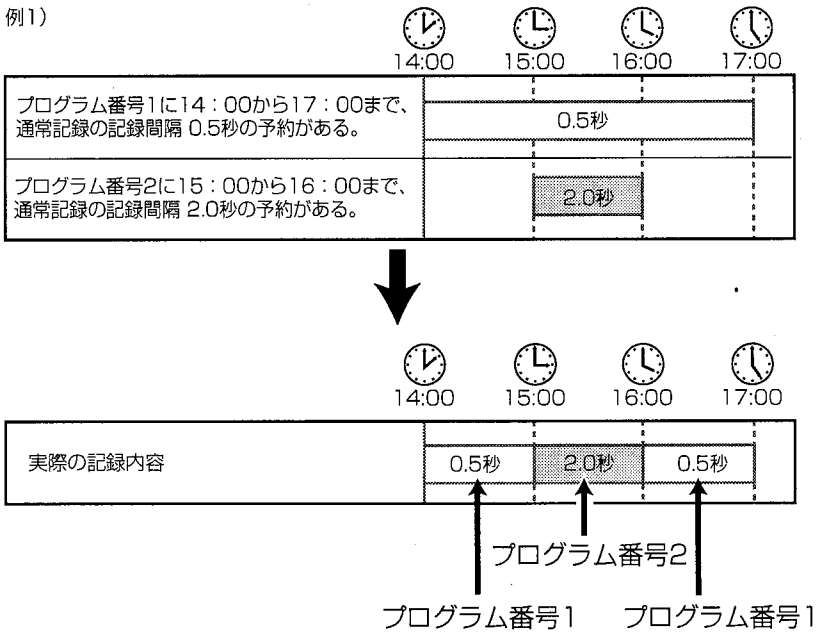
■ アラーム記録時間

タイマー記録を運用中のアラーム記録時の記録時間を設定することができます。(☞ 55ページ「アラーム記録時間」)

<タイマー設定>
タイマープログラム設定　P1- 設定
タイマー休日設定
記録運用設定　A
記録運用設定　B
記録運用設定　C
記録運用設定　D
>>アラーム記録時間　5秒

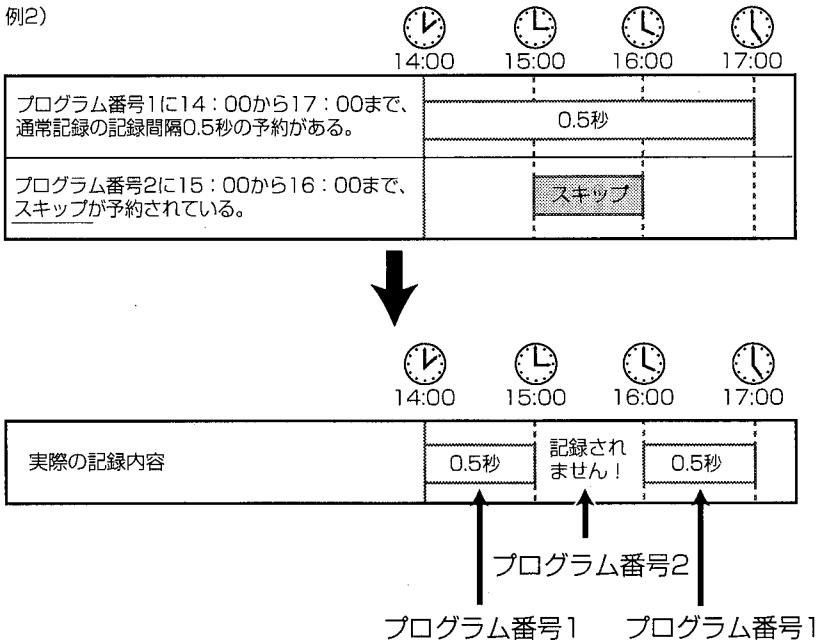
・予約時刻が重なってしまった場合は

予約時刻が重なってしまった場合は、プログラム番号の大きい方のプログラムが優先して記録されます。
例1)
・プログラム番号1に14：00から17：00まで通常記録の記録間隔 0.5秒。
・プログラム番号2に15：00から16：00まで通常記録の記録間隔 2.0秒。
の2つの設定がされています。これらの設定では15：00から16：00の1時間に2つの記録予約が重なっているために、その時間内はプログラム番号2の予約が優先され、実際の記録は下図例1)のようになります。



例2)
・プログラム番号1に14：00から17：00まで通常記録の記録間隔 0.5秒。
・プログラム番号2に15：00から16：00までスキップ。

この設定では15：00から16：00の1時間に2つのタイマー設定が重なっているために、その時間内はプログラム番号2の予約が優先され、実際の記録は下図例2)のように15：00から16：00までスキップされます。



＜基本設定・情報表示＞

■ 運用設定

◆HDD(メイン)リピート記録/HDD(サブ)リピート記録

記録中にHDDの記録容量が無くなったときの動作を設定します。

ⓘ「HDD(サブ)リピート記録」は、＜運用変更・初期化＞画面のHDD記録運用で「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示されます。

設定項目（「HDD(メイン)リピート記録」の初期設定は「入」、
「HDD(サブ)リピート記録」の初期設定は「切」）

「入」　：自動的にHDDの最初まで戻り、再び記録(上書き)を始めます。

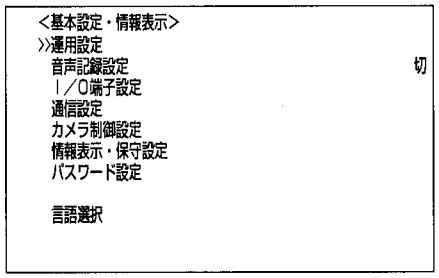
「記録待機」：記録中にHDDの容量が無くなると、記録が停止し記録待機状態になります。その後REC端子が接地されるか、または記録ボタンを押すと再び記録を始めます。 アラーム入力の接点がアースに接地されつづけているときや、タイマー記録中は一時記録を停止し、その後HDDの最初から記録を再開します。

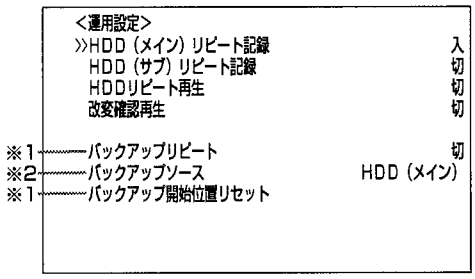
「切」　：記録を停止し、画面に「記録/フル」または「記録/サブフル」と表示します。再び記録をするときは、警告消去ボタンを押して警告表示を解除してから、記録ボタンを押します。

ⓘ「記録待機」は、「HDD(メイン)リピート記録」の設定項目にのみ表示されます。

1　設定ボタン → ＜設定＞ → ＜基本設定・情報表示＞ → ＜運用設定＞画面の「HDD(メイン)リピート記録」または「HDD(サブ)リピート記録」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。





※1 ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示
※2「アラームパーティション」、ID4・ID5に「バックアップ・コピー」をそれぞれ運用設定した場合に表示

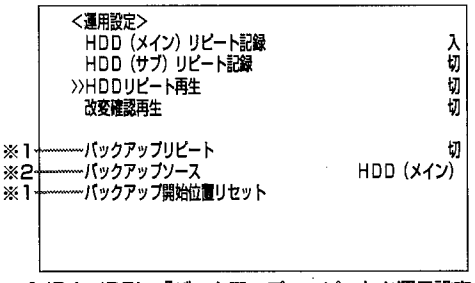
◆HDDリピート再生

HDDに記録されている内容を、繰り返し再生することができます。

設定項目（初期設定は「切」）
「入」：記録されているデータの終わりまで再生すると、自動的に記録されているデータの最初まで戻り、再び再生を始めます。
「切」：記録されているデータの終わりまで再生すると、停止します。

1　設定ボタン → ＜設定＞ → ＜基本設定・情報表示＞ → ＜運用設定＞画面の「HDDリピート再生」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。



※1 ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示
※2「アラームパーティション」、ID4・ID5に「バックアップ・コピー」をそれぞれ運用設定した場合に表示

◆改変確認再生

この機能は、本機で記録した映像や記録日時に改変処理が施されたかどうかを確認するための機能です。改変が確認されると「データ改ざんエラー」警告が表示されます。

設定項目（初期設定は「切」）
「入」：再生中に、改変処理識別を行い、改変部分で警告を表示します。
「切」：改変処理識別を行いません。

(!) 記録、再生時に支障をきたす場合がありますので通常は、「切」に設定してください。

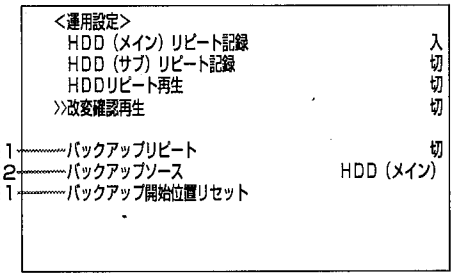
1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <運用設定>画面の「改変確認再生」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

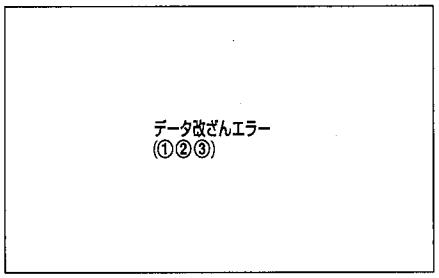
3 改変処理識別したいデバイスを選択し、再生する。

(!) 何らかの原因で記録データが破損した部分を再生した場合にも、警告を表示します。

(!) 改変確認中にシャトルで煩雑な再生操作を行うと警告表示「データ改ざんエラー」が表示されることがあります。改変確認は、再生または再生間隔変更による再生で行ってください。



※1 ID4・ID5に「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示
※2「アラームパーティション」、ID4・ID5に「バックアップ・コピー」をそれぞれ運用設定した場合に表示



■バックアップについて

◆バックアップリピート

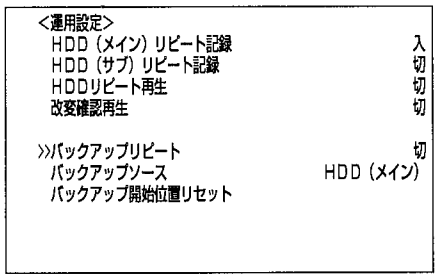
ID4に接続した記録用HDDの前回バックアップデータを少しづつ消去しながら繰り返しバックアップをすることができる設定です。

(!) <運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に設定した場合に表示され、ID4に記録用HDDを接続したときのみ運用が可能です。

(!) バックアップリピートの設定を行う前に、ID4に正しくHDDが接続および、設定されているか確認してください。

設定項目(初期設定は「切」)
「入」:ID4に接続した記録用HDDに繰り返しバックアップをします。
「切」:ID4に接続した記録用HDDに繰り返しバックアップをしません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <運用設定>画面の「バックアップリピート」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。



2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) バックアップ中に停電が発生した場合、バックアップ動作は自動復帰しません。バックアップを再開するときは、バックアップボタンを押してください。タイマー予約時は停電復帰後、自動的にバックアップを再開します。このとき、停電発生前のバックアップ開始位置まで戻ります。ご注意ください。

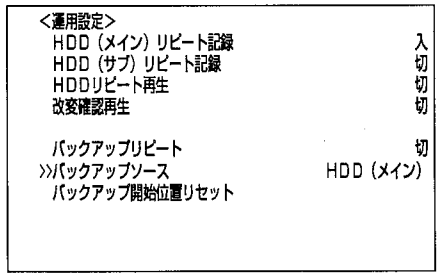
◆バックアップソース

バックアップ機器にHDD(メイン)、HDD(サブ)のどちらをバックアップするか選択することができます。

(!) <運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に、「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に運用設定した場合に表示されます。

設定項目(初期設定は「HDD(メイン)」)
「HDD(メイン)」:HDD(メイン)のみをバックアップします。
「HDD(サブ)」 :HDD(サブ)のみをバックアップします。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <運用設定>画面の「バックアップソース」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。



2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

3 バックアップボタンを押す。
・バックアップ機器にバックアップを開始します。

◆バックアップ開始位置リセット

本機は、HDDのバックアップを完了した位置を自動的に記録しています。このバックアップ完了位置情報をリセットする場合に使用します。リセット後にバックアップを行うとHDDの最も古いデータの位置からバックアップを行うことができます。

(!) <運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

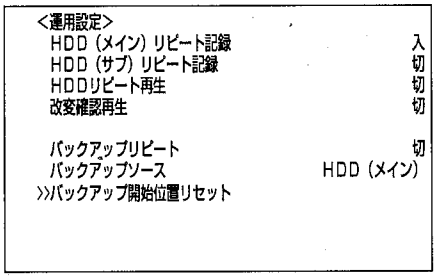
(!) バックアップ開始位置リセットの設定を行う前に、ID4またはID5に外部記録機器が正しく接続され、また「ID4・ID5運用選択」が「バックアップ・コピー」に設定されているか確認してください。

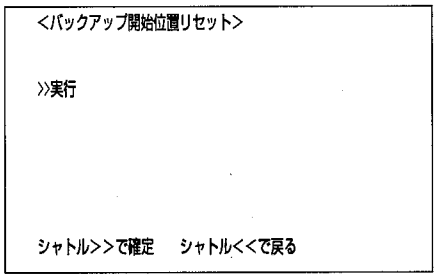
1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <運用設定>画面の「バックアップ開始位置リセット」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <バックアップ開始位置リセット>画面が表示されます。

2 シャトルを右に回す。

・ バックアップ開始位置がリセットされます。





バックアップに関する注意事項

本機が記録中に外部記録機器にバックアップを行った場合、バックアップ開始、終了時に本機の記録が一瞬途切れるときがあります。ご注意ください。

<基本設定・情報表示>(つづき)

■ 音声記録設定

本機は、映像と共に音声を記録することができます。音声記録をすると連続記録可能時間は音声記録をしないときに比べ、短くなります。ご注意ください。

<基本設定・情報表示>
運用設定
››音声記録設定 切
I/O端子設定
通信設定
カメラ制御設定
情報表示・保守設定
パスワード設定
言語選択

設定項目(初期設定は「切」)

「切」 : 音声を記録しません。
「入」 : 映像と共に音声を記録します。
「アラーム」 : アラーム記録またはエマージェンシー記録中に映像と共に音声を記録します。

(!) 「アラームパーティション」を運用設定した場合、「アラーム」を選択すると音声は映像と共に、HDD(サブ)に記録されます。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示>画面の「音声記録設定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) 「音声記録設定」を「入」に設定した場合、<記録運用設定>2/2画面、<記録運用設定 A>~<記録運用設定 D>2/2画面の見積り時間表示の右どなりにスピーカーマーク(🔊)が表示されます。

(!) 「音声記録設定」を「入」に設定しても以下の設定条件では音声記録できません。ご注意ください。

・通常記録を設定する場合、「記録運用設定」の「通常間隔」がすべて「3秒」より長く設定されていると音声記録できません。このとき、見積り時間表示の右どなりに(🔊X)が表示されます。
・アラーム記録モードが以下の場合。

「アラームCH」 : アラーム記録時に運用設定したすべてのカメラの「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。
「アラームプラスCH」 : 通常記録、アラーム記録に運用設定したすべてのカメラの「通常間隔」、「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。

<記録運用設定>

番号	通常間隔	通常画質	アラームCH ALM間隔	ALM画質
›› ⑩	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ
⑪	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ
⑫	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ
⑬	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ
⑭	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ
⑮	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ
⑯	0.5 3秒	ハイ	0.5 3秒	ハイ

プリアラーム記録設定 (最長:□□秒) □□秒
シャトルくくで戻る
<見積り時間> □日□□時間□□分 🔊

■ I/O端子設定

◆ MODE OUT 1~5

本機の状態を後面部のMODE OUT端子から出力(接点の短絡)することができます。MODE OUT端子は5つあり、端子ごとに個別に出力形態を設定できます。

<I/O端子設定>
››MODE OUT 1 切
MODE OUT 2 切
MODE OUT 3 切
MODE OUT 4 切
MODE OUT 5 切
ボタン音 入
ブザー 切
残量検出位置 HDD (メイン) -10%
CALL OUT設定
エマージェンシー記録時間 10分

設定項目(初期設定は「切」)

「記録中」 : 記録中に信号を出力します。
「再生中」 : 再生中に信号を出力します。
「残量」 : HDDの残量もしくは、バックアップの残量が後述の「残量検出位置」で指定した数値に達すると、信号を出力します。
「パワーオン」 : 本機の電源が入のときに信号を出力します。
「動き検知1」~「動き検知5」 : 動き検知記録中に検知したカメラの番号を、2進数表現で出力します。(MODE OUT1~MODE OUT5は連動します。)また、最後に入力された動き検知が2秒間保持されます。
「アラーム記録」 : アラーム記録中に信号を出力します。
「切」 : 信号を出力しません。

(!) MODE OUTによる残量警告は、記録中のみ出力されます。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面を表示させる。

2 5つのMODE OUT端子のうち、信号を出力したい端子の「MODE OUT(1~5)」に希望する設定項目を表示させ確定する。

3 引き続き、他の端子も設定する場合は、ステップ2の操作を繰り返す。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

カメラ番号と MODE OUT出力の関係

番号	MODEOUT端子 1	2	3	4	5
①	○	×	×	×	×
②	×	○	×	×	×
③	○	○	×	×	×
④	×	×	○	×	×
⑤	○	×	○	×	×
⑥	×	○	○	×	×
⑦	○	○	○	×	×
⑧	×	×	×	○	×
⑨	○	×	×	○	×
⑩	×	○	×	○	×
⑪	○	○	×	○	×
⑫	×	×	○	○	×
⑬	○	×	○	○	×
⑭	×	○	○	○	×
⑮	○	○	○	○	×
⑯	×	×	×	×	○

○ : 信号を出力します
× : 信号を出力しません

◆ボタン音

本機前面部の操作ボタンやジョグ・シャトル操作時にボタン音が鳴るようにすることができます。

<I/O端子設定>
MODE OUT 1 切
MODE OUT 2 切
MODE OUT 3 切
MODE OUT 4 切
MODE OUT 5 切
»ボタン音 入
ブザー 切
残量検出位置 HDD (メイン) −10%
CALL OUT設定
エマージェンシー記録時間 10分

設定項目（初期設定は「入」）
「入」：操作ボタンやジョグ・シャトル操作したとき、ボタン音が鳴ります。
「切」：操作ボタンやジョグ・シャトル操作したとき、ボタン音は鳴りません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「ボタン音」を選択し、希望の設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆ブザー

HDDの残量数値もしくは、バックアップの残量数値が<I/O端子設定>画面の「残量検出位置」で設定した値になると、ブザーが鳴るようにすることができます。このほか、アラーム記録、エマージェンシー記録を開始したときや警告が表示されたときにも、ブザーを鳴らすことができます。

<I/O端子設定>
MODE OUT 1 切
MODE OUT 2 切
MODE OUT 3 切
MODE OUT 4 切
MODE OUT 5 切
ボタン音 入
»ブザー 切
残量検出位置 HDD (メイン) −10%
CALL OUT設定
エマージェンシー記録時間 10分

設定された残量数値に達したときのみブザーを鳴らすには・・・

1）<I/O端子設定>画面の「ブザー」で「残量」を選択する。
2）<I/O端子設定>画面の「残量検出位置」で残量数値を設定する。

設定された残量数値に達したときや警告が表示されたときにブザーを鳴らすには・・・

1）<I/O端子設定>画面の「ブザー」で「警告」を選択する。
2）<I/O端子設定>画面の「CALL OUT設定」でHDDの残量数値(HDD(メイン)残量発報/HDD(サブ)残量発報)を設定をする。

設定項目（初期設定は「切」）

ブザー / 設定項目	「残量検出位置」で設定された残量数値に達したとき	障害が発生して警告表示されたとき	アラーム記録またはエマージェンシー記録を開始したとき
「残量」	鳴る	鳴らない	鳴らない
「警告」	鳴らない	鳴る	鳴らない
「アラーム」	鳴らない	鳴らない	鳴る
「切」	鳴らない	鳴らない	鳴らない

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「ブザー」を選択し、希望の設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆残量検出位置

記録中にHDD(メイン)、HDD(サブ)、またはバックアップ機器の記録容量が少なくなったことを知らせる警告が出力可能です。そのときのデバイスの選択と、残量数値を設定します。

記録中に記録容量が少なくなると、以下ような方法で出力されます。
・<時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」を「3」に設定しているときは、HDD使用量表示が点滅します。
・<I/O端子設定>画面の「ブザー」を「残量」に設定しているときは、ブザーが鳴ります。

デバイスの設定項目（初期設定は「HDD(メイン)」）
「HDD(メイン)」：HDD(メイン)の残量の警告を発します。
「HDD(サブ)」：HDD(サブ)の残量の警告を発します。
「バックアップ」：バックアップ機器の残量の警告を発します。
「切」：残量に対する警告を発しません。

「HDD(サブ)」は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」で「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示されます。

「バックアップ」は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」で「バックアップ・コピー」を運用設定した場合に表示されます。

<基本設定・情報表示>(つづき)

残量検出位置の設定項目（初期設定は「10%」）
「2%」、「4%」、「6%」、「8%」、「10%」、「15%」、「20%」、「30%」、「40%」、「50%」

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「残量検出位置」を選択し、シャトルを2回右に回す。
・1回目でデバイス設定項目が反転表示となり、2回目で背景が赤色表示に変わり、点滅します。

2 ジョグを回して希望するデバイスを表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

3 ジョグを右に回して反転表示を残量数値へ移動させ、シャトルを右に回す。
・残量数値の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

4 ジョグを回して希望する残量数値を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

5 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<I/O端子設定>
MODE OUT 1 切
MODE OUT 2 切
MODE OUT 3 切
MODE OUT 4 切
MODE OUT 5 切
ボタン音 入
ブザー 切
»残量検出位置 HDD (メイン) −10%
CALL OUT設定
エマージェンシー記録時間 10分

◆CALL OUT設定

CALL OUT設定とは、本機が発する警告信号を後面部のCALL OUT端子から出力することにより、外部に知らせるための設定です。

(!) CALL OUT設定は、配線による誤動作を低減させるため、フォトカプラ出力となっています。☞ 19ページ「CALL OUT出力端子」を参考に適切な接続を行ってください。

・HDD(メイン)残量発報/HDD(サブ)残量発報/バックアップ残量発報

HDD、バックアップ機器の残量が設定した値になると、CALL OUT端子から信号を出力ならびに「記録/残量警告」表示、または「バックアップ/残量警告」表示を行います。

(!) 「HDD(サブ)残量発報」は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」で「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示されます。

(!) 「バックアップ残量発報」は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

設定項目（初期設定は「切」）
「2%」、「4%」、「6%」、「8%」、「10%」、「15%」、「20%」、「30%」、「40%」、「50%」、「切」

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> → <CALL OUT設定>画面の「HDD(メイン)残量発報」、「HDD(サブ)残量発報」、または「バックアップ残量発報」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

➡ 警告消去ボタンを押すことにより、CALL OUTによるHDD、バックアップ残量警告の解除ができます。

<CALL OUT設定>
»HDD (メイン) 残量発報 切
HDD (メイン) フル 切
HDD (サブ) 残量発報 切
HDD (サブ) フル 切
バックアップ残量発報 切
バックアップフル 切

参考 警告表示とCALL OUT信号の出力の関係は、☞ 150,151ページをごらんください。CALL OUT信号の出力項目で「共通」となっている警告表示は無条件に表示されますが、「選択」ではCALL OUT信号を出力する状態を追加して設定できます。たとえば、<I/O端子設定>画面の「ブザー」を「警告」に設定した場合、<CALL OUT設定>画面の「HDD(メイン)残量発報」、「HDD(サブ)残量発報」、および「バックアップ残量発報」で設定した値に達したとき、ブザーを鳴らすことができます。

・HDD(メイン)フル/HDD(サブ)フル/バックアップフル

HDDの記録残量が無くなったとき、CALL OUT端子からCALL OUT信号を出力し、画面に「記録/フル」、「記録/サブフル」、または「バックアップ/フル」と表示します。

(!) 「HDD(サブ)フル」は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」で「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示されます。

(!) 「バックアップフル」は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

設定項目（初期設定は「切」）
「入」：記録残量が無くなったとき、信号を出力します。
「切」：記録残量が無くなったとき、信号を出力しません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定> → <CALL OUT設定>画面の「HDD(メイン)フル」、「HDD(サブ)フル」、または「バックアップフル」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<CALL OUT設定>
HDD (メイン) 残量発報 切
»HDD (メイン) フル 切
HDD (サブ) 残量発報 切
HDD (サブ) フル 切
バックアップ残量発報 切
バックアップフル 切

◆エマージェンシー記録時間

エマージェンシー記録時の記録時間を設定することができます。（☞ 90,91ページ「エマージェンシー記録」）

設定項目（初期設定は「10分」）
「1分」、「2分」、「5分」、「10分」、「20分」、「30分」、「60分」

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <I/O端子設定>画面の「エマージェンシー記録時間」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<I/O端子設定>
MODE OUT 1 切
MODE OUT 2 切
MODE OUT 3 切
MODE OUT 4 切
MODE OUT 5 切
ボタン音 入
ブザー 切
残量検出位置 HDD (メイン) −10%
CALL OUT設定
»エマージェンシー記録時間 10分

■通信設定

◆RS-232C

本機に接続する通信機器に関する設定を行います。

・RS-232C運用

本機のRS-232C端子に接続したパーソナルコンピューターから、本機を遠隔操作できます。また、パーソナルコンピューターからコメントを入力し、コメントの情報を映像と共に記録することもできます。（☞ 115,116,144,145ページ）

設定項目（初期設定は「リモート操作1」）
「リモート操作1」：パーソナルコンピューターから本機を操作でき、本機からすべての状態通知を返します。
「リモート操作2」：パーソナルコンピューターから本機を操作でき、本機からコマンドコードに対する応答のみ返します。
「リモート操作3」：パーソナルコンピューターから本機を操作でき、本機から何も通知を返しません。
「カメラコントロール」：カメラコントロールユニットに対応します。
「切」：パーソナルコンピューターから、本機を操作できません。

(!) 「カメラコントロール」を選択すると、RS-232C端子に接続したパーソナルコンピューターから本機を遠隔操作できません。また、「RS-232C設定」も表示されません。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <通信設定> → <RS-232C>画面の「RS-232C運用」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<RS-232C>
»RS-232C運用 リモート操作1
RS-232C設定

<基本設定・情報表示>(つづき)

・RS-232C設定

前記、「RS-232C運用」を「リモート操作1」、「リモート操作2」、または「リモート操作3」に設定しているときに、RS-232C関連の設定をします。

(!) **接続するパーソナルコンピューターと、同じ設定にしてください。**

転送速度の設定項目（初期設定は「9600」）
「1200」、「2400」、「4800」、「9600」、「19200」

データビットの設定項目（初期設定は「8ビット」）
「8ビット」、「7ビット」

パリティの設定項目（初期設定は「無」）
「無」、「奇数」、「偶数」

ストップビットの設定項目（初期設定は「1ビット」）
「1ビット」、「2ビット」

CR/CR·LF(キャリッジリターンとラインフィード)の設定項目（初期設定は「CR」）
「CR」、「CR·LF」

1 前記、「RS-232C運用」を、「リモート操作1」、「リモート操作2」、または「リモート操作3」を選択し、確定する。

2 ジョグを回して「RS-232C設定」を選択し、シャトルを右に回す。
・<RS-232C設定>画面が表示されます。

3 ジョグを回して内容を変更したい設定を選択し、シャトルを右に回す。
・設定項目の背景が赤色表示になり、点滅します。

4 ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

5 引き続き、他の設定を変更する場合は、ステップ3、4の操作を繰り返す。

6 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<RS-232C設定>
»転送速度 9600
データビット 8ビット
パリティ 無
ストップビット 1ビット
CR/CR·LF CR

◆ETHERNET

ここでは、接続先のレコーダーを特定させるための「IPアドレス」、「サブネット マスク」、「ゲートウェイ」の設定変更、またはMAC ADDRESSの参照ができます。

(!) **ネットワークの設定に関して十分な知識をお持ちでない場合は、設定を変更しないようにお願いします。**

(!) **ネットワークの設定については、必ずネットワーク管理者の確認を事前に取られることをおすすめします。**

(!) **IPアドレスを000.000.000.000に設定してはいけません。また、ブロードキャストアドレスに設定してもいけません。これらの設定にした場合は、通信機能だけでなくレコーダー本体の他の動作も保証できなくなります。**

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <通信設定> 画面の「ETHERNET」を選択し、シャトルを右に回す。
・<ETHERNET>画面が表示されます。

2 ジョグを回して内容を変更したい設定を選択し、シャトルを右に回す。
・設定項目の左端の番号が反転表示に変わります。

3 ジョグを回して変更したい番号まで反転表示を移動させ、シャトルを回す。
・番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

4 ジョグを回して希望する番号を表示させ、シャトルを右に回す。
・設定が確定し、点滅がとまります。

5 引き続き、他の番号を変更する場合は、ステップ2～4の操作を繰り返す。

(!) **記録中には、設定変更できません。設定変更を行う場合は、記録を停止してください。**

<ETHERNET>
»IPアドレス 192.168.000.100
サブネット マスク 255.255.255.000
ゲートウェイ 000.000.000.000
E-MAILアドレス
サービスポート設定
アラーム通知設定

<MAC ADDRESS>
08-00-70-2E-3F-FF

設定変更後、設定ボタンを押すと確定し、再起動します

6 設定が完了したら、シャトルを左に回す。
・カーソルが設定項目の左どなりに表示されます。

7 (設定変更を確定させる場合は・・・)
「IPアドレス」、「サブネット マスク」、「ゲートウェイ」のいずれかの項目を設定変更した場合、設定ボタンを押す。
・自動的に電源が切れたあと、再起動します。

(!) 設定ボタンを押して設定変更を確定しないと、<ETHERNET>画面から抜けることはできません。

・E-MAILアドレス

ここでは、「SMTP サーバー」、「レコーダーID」、「ユーザーアドレス」の設定内容を確認することができます。

➡ 「SMTP サーバー」、「レコーダーID」、「ユーザーアドレス」を入力するには専用のソフトウェアが必要です。使用方法は、ソフトウェアの取扱説明書をごらんください。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <通信設定> →<ETHERNET>画面の「E-MAILアドレス」を選択し、シャトルを右に回す。
・<E-MAILアドレス>画面が表示されます。

➡ 「ユーザーアドレス」は、先頭から20文字しか表示されません。

<E-MAIL アドレス>
SMTPサーバー

レコーダーID

ユーザーアドレス
1
2
3
4
5

・サービスポート設定

パーソナルコンピューターと接続するためにポート番号の設定を行います。

(!) ネットワークの設定に関して十分な知識をお持ちでない場合は、設定を変更しないようにお願いします。

(!) 「WEB」以外のポート設定は、専用のソフトウェアで使用するためのものです。使用方法はソフトウエアの取扱説明書をごらんください。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <通信設定> → <ETHERNET>画面の「サービスポート設定」を選択し、シャトルを右に回す。
・<サービスポート設定>画面が表示されます。

<サービスポート設定>
»WEB ・00080
USER ACCESS 53705
SUPER USER 53706
LIVE USER1 53707
LIVE USER2 53708
LIVE USER3 53709
LIVE USER4 53710

2 ジョグを回して変更したい設定を選択し、シャトルを右に回す。
・ポート番号の左端が反転表示に変わります。

3 ジョグを回して変更したいポート番号まで反転表示を移動させ、シャトルを右に回す。
・変更したいポート番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

4 ジョグを回して希望するポート番号を表示させ、シャトルを2回右に回す。
・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルが設定項目の左どなりに表示されます。

(!) 「WEB」設定を変更した場合は、ポート番号の左どなりにある緑色の「・」が赤色に変わります。

5 引き続き、他の設定を変更する場合は、ステップ2 ～ 4の操作を繰り返す。

6 (設定変更を確定させる場合は・・・)
シャトルを2回左に回して<ETHERNET>画面へ戻り、設定ボタンを押す。
・自動的に電源が切れたあと、再起動します。

(!) 設定ボタンを押して設定変更を確定しないと、<ETHERNET>画面から抜けることはできません。

<基本設定・情報表示>(つづき)

・アラーム通知設定

記録を開始した、後面端子が短絡した、など状況の変化や警告表示を接続先のパーソナルコンピューターへ送信させるための設定です。

(!) **専用のソフトウェアが必要です。使用方法はソフトウエアの取扱説明書をごらんください。**

(!) **ブロードキャストアドレスへの発報は、サポートされません。**

<アラーム通知設定>

NO	IPアドレス	TARGET	OWN
»1	000.000.000.000	55111	01111
2	000.000.000.000	55111	01112
3	000.000.000.000	55111	01113
4	000.000.000.000	55111	01114
5	000.000.000.000	55111	01115

ワーニング通知	切
アラーム端子入力通知	切
記録開始通知	切
リトライ間隔	10秒

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <通信設定> → <ETHERNET>画面の「アラーム通知設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・<アラーム通知設定>画面が表示されます。

2 (接続先のパーソナルコンピューターのIPアドレス番号、TARGETポート番号、OWNポート番号を設定する場合は・・・)
ジョグを回して希望する「NO」を選択し、シャトルを右に回す。

・ポート番号が反転表示に変わります。

3 ジョグを回して変更したいIPアドレス番号、TARGETポート番号、OWNポート番号まで反転表示を移動させ、シャトルを回す。

・変更したい番号の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

4 ジョグを回して希望する番号を表示させ、シャトルを2回右に回す。

・1回目で設定が確定し点滅がとまり、2回目でカーソルがNOの左どなりに表示されます。

(!) **TARGETポート番号を00000~01023に設定した場合、数値の左どなりにある緑色の「・」が赤色に、01024~49151に設定した場合、黄色に変わります。**

5 引き続き、他の「NO」を変更する場合は、ステップ2 ~ 4の操作を繰り返す。

6 (接続先のパーソナルコンピューターへの送信内容などを設定する場合は・・・)
ジョグを回して変更したい設定項目を選択し、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示になり、点滅します。

・ワーニング通知の設定項目(初期設定は「切」)

「入」: <アラーム通知設定>のNO.1~NO.5に設定されているIPアドレスのパーソナルコンピューターへワーニング内容を送信します。<E-MAIL アドレス>画面の「ユーザーアドレス」に表示されているアドレスへE-MAILを送信します。

「切」: 送信しません。

・アラーム端子入力通知の設定項目(初期設定は「切」)

「入」: 後面のALARM IN端子が短絡したときのみ、<アラーム通知設定>のNO.1~NO.5に設定されているIPアドレスのパーソナルコンピューターへ状況を送信します。<E-MAIL アドレス>画面の「ユーザーアドレス」に表示されているアドレスへE-MAILを送信します。

「切」: 送信しません。

・記録開始通知の設定項目(初期設定は「切」)

「入」: 通常記録、アラーム記録などの記録開始を<アラーム通知設定>のNO.1~NO.5に設定されているIPアドレスのパーソナルコンピューターへ送信します。<E-MAIL アドレス>画面の「ユーザーアドレス」に表示されているアドレスへE-MAILを送信します。

「切」: 送信しません。

・リトライ間隔の設定項目(初期設定は「10秒」)

「1秒」、「2秒」、・・・、「10秒」、・・・、「59秒」、「60秒」

7　ジョグを回して希望する設定項目を表示させ、シャトルを右に回す。

・ 設定が確定し、点滅がとまります。

8-1　(送信内容などの設定変更を確定させる場合は・・・)
シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

8-2　(IPアドレス番号、TARGETポート番号、OWNポート番号の設定変更を確定させる場合は・・・)
シャトルを左に回して<ETHERNET>画面へ戻り、設定ボタンを押す。

・ 自動的に電源が切れたあと、再起動します。

(!) 設定ボタンを押して設定変更を確定しないと、<ETHERNET>画面から抜けることはできません。

■ カメラ制御設定

カメラタイプ、接続している各カメラ(カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ)のプロトコルおよびアドレスを選択します。

➡ カメラコントロールを行うためには、別売のリモートコントロールユニットDX-R25、またはソフトウェアDX-PC25が必要です。

モデル(サポートされているカメラのプロトコル)の設定項目

「S9520/X9620-HS」：RS232C　9600bps　アドレス設定001～016
「S9520/X9620-MS」：RS232C　9600bps　アドレス設定001～016
「X9700-HS」　　：RS232C　9600bps　アドレス設定001～032
「X9700-MS」　　：RS232C　9600bps　アドレス設定001～032
「CIT7500-9600」　：RS422　9600bps　アドレス設定001～255
「CIT7500M9600」　：RS422　9600bps　アドレス設定001～255
「CIT7500-19K」　：RS422　19200bps　アドレス設定001～255
「CIT7500M19K」　：RS422　19200bps　アドレス設定001～255
「CIT7300-9600」　：RS422　9600bps　アドレス設定001～255
「CIT7300M9600」　：RS422　9600bps　アドレス設定001～255
「PELCO-9600」　：PELCO"D"PROTOCOL　9600bps
アドレス設定001～255

ポートの表示項目
「RS232」、「RS422」、「クローズ中」

「クローズ中」：　<RS-232C>画面の「RS-232C運用」を「カメラコントロール」以外に設定しているときに表示されます。

(!) カメラ(モデル)を選択すると、自動的に選択されます。変更できません。

アドレスの設定範囲（初期設定は「001」）

(!) カメラ(モデル)の選択に応じて設定範囲も変わります。

(!) モデルを「－－－－－」に選択中は、アドレスは"001"に固定されます。また、モデルを設定変更すると、アドレスは"001"へ変わります。

(!) 「アドレス」設定は、カメラのアドレスに合せてください。

(!) 詳細については、販売会社へお問い合わせください。

1　設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示>画面の<カメラ制御設定>を選択し、「モデル」、「アドレス」に希望する設定項目を表示させ確定する。

➡ <カメラ制御設定>画面は2画面構成になっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<カメラ制御設定>

番号	モデル	ポート	アドレス
≫①	------	---	001
②	------	---	001
③	------	---	001
④	------	---	001
⑤	------	---	001
⑥	------	---	001
⑦	------	---	001
⑧	------	---	001
⑨	------	---	001

次画面：ここでシャトル>>　　シャトル<<で戻る

<カメラ制御設定>

番号	モデル	ポート	アドレス
≫⑩	------	---	001
⑪	------	---	001
⑫	------	---	001
⑬	------	---	001
⑭	------	---	001
⑮	------	---	001
⑯	------	---	001

シャトル<<で戻る

<基本設定・情報表示>(つづき)

■ 情報表示・保守設定

<情報表示・保守設定 >画面では、停電などの障害発生時のログリストやデバイスリストを確認したり、メニューの初期化、またはデータ消去を行うことができます。また2/2画面には、ご使用開始からの積算の運用時間を表示しています。

<情報表示・保守設定>画面は2画面構成になっています。カーソルが表示されている一番下の設定項目の左どなりにある状態でジョグを右に回すと、次画面が表示されます。

<情報表示・保守設定>1/2画面の「情報表示(バックアップ・コピー)」、「コピーデータ消去」、および「バックアップデータ消去」は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

<情報表示・保守設定>2/2画面の「コピー」、「バックアップ」の運用時間は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

<情報表示・保守設定>1/2画面の「HDD(サブ)データ消去」は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に運用設定した場合に表示されます。

<情報表示・保守設定>　(1/2画面)

```
<情報表示・保守設定>                    (1//2)
»情報表示 (メイン・サブ)
 情報表示 (バックアップ・コピー)
 情報表示 (CFC)

 システムログリスト
 メニュー初期化
 HDD (メイン) データ消去
 HDD (サブ) データ消去
 CFCデータ消去
 バックアップデータ消去
 コピーデータ消去
```

<情報表示・保守設定>　(2/2画面)

```
<情報表示・保守設定>                    (2/2)
 運用時間:          システム      3H
                    バックアップ  0H
                    コピー        0H

 HDD記録運用              通常
```

◆情報表示(メイン・サブ)/情報表示(バックアップ・コピー)/情報表示(CFC)

情報表示ではHDDや、本機に接続されたバックアップ・コピー機器、本機に挿入しているコンパクトフラッシュカードに記録されている範囲を、確認することができます。

1-1　(HDDの記録範囲を確認する場合は・・・)
設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>1/2画面の「情報表示(メイン・サブ)」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <情報表示(メイン・サブ)>画面が表示されます。

「サブ」記録開始・終了時刻は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」で「アラームパーティション」を運用設定した場合に表示されます。

<情報表示(メイン・サブ)>画面の「ID4」と「ID5」は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「増設HDD」に運用設定した場合に表示されます。

<情報表示 (メイン・サブ) >

```
SCSI                    内部 HDD
ID0:無                  A:HDD (160GB)
ID1:無                  B:HDD (160GB)
ID2:無
ID3:無
ID4:無
ID5:無
メイン  開始    2003-01-01  01:15:00
        終了    2003-01-01  05:15:00
サブ    開始    2003-01-01  01:15:00
        終了    2003-01-01  05:15:00
```

1-2　(接続されたバックアップ・コピー機器の記録範囲を確認する場合は・・・)
設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>1/2画面の「情報表示(バックアップ・コピー)」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <情報表示(バックアップ・コピー)>画面が表示されます。

<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

<情報表示 (バックアップ・コピー) >

```
ID4:DDS                 (バックアップ)
ID5:RDD                 (コピー)



ID4:開始    2003-01-01  01:15:00
    終了    2003-01-02  05:15:00
ID5:開始    2003-01-01  01:15:00
    終了    2003-01-02  05:15:00
```

1-3　(本機に挿入しているコンパクトフラッシュカードの記録範囲および、メニュー情報の記録の有無を確認する場合は・・・)
設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>1/2画面の「情報表示(CFC)」を選択し、シャトルを右に回す。

・ 本機に挿入しているコンパクトフラッシュカードの<情報表示(CFC)>画面が表示されます。

メニュー情報の記録がある場合は、画面上に“メニュー情報”が表示されます。

<情報表示 (CFC) >

```
CFC
    容量   128MB
    メニュー情報


    開始    2003-01-01   06:00:00
    終了    2003-01-01   06:00:15
```

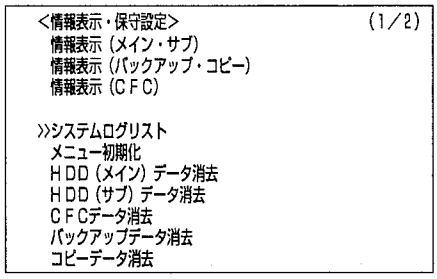
2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

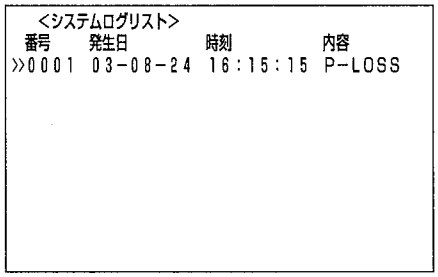
◆システムログリスト

停電などの障害発生の件数・発生日・時刻・障害の種類を確認することができます。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>1/2画面の「システムログリスト」を選択し、シャトルを右に回す。

- <システムログリスト>画面が表示されます。
- システムログリストは1000件まで表示できます。それ以上の場合は、最後の1000件が表示されます。
- ▲ボタン／ジョグを左に回す ：選択が次の番号に移動します。
- ▼ボタン／ジョグを右に回す ：選択が前の番号に移動します。
- ▶ボタン ：開いているページより古い日時のページを表示します。
- ◀ボタン ：開いているページより新しい日時のページを表示します。





➲ <システムログリスト>画面を表示中に障害が発生した場合、一度<システムログリスト>画面を抜けて、再び表示させてください。新しいリストが追加されます。

➲ システムログリストで表示される障害(☞ 150,151ページ)

<赤色で表示されます>
「P-LOSS」 ： 停電があった。
「SYS RST」 ： RESETボタンを押し、リセットをした。

<緑色で表示されます>
「HLD ON」 ： アラームホールドボタンを押し、ホールド状態にした。
「HLD OFF」 ： アラームホールドボタンを押し、ホールドを解除した。
「REC ON」 ： 記録を開始した。
「REC OFF」 ： 記録を停止した。
「PS-OFF」 ： 簡易ロック、パスワードロック(1～3)を解除した。
「PS-1」 ： パスワードロック1の状態である。
「PS-2」 ： パスワードロック2の状態である。
「PS-3」 ： パスワードロック3の状態である。
「PS-E」 ： 簡易ロックの状態である。
「PS-4」 ： パスワードロック4を解除した。

➲ 記録を開始した場合、システムログリストに「REC ON」が登録されますが、停電復帰後の記録再開時には「REC ON」は登録されません。

➲ タイマー記録待機中に発生した停電に対し、停電を示す「P-LOSS」は登録されません。また、タイマー記録開始時刻をまたぐ停電やタイマー記録開始時刻以前に発生し、記録終了時刻後に復帰した停電についても登録されません。

2 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

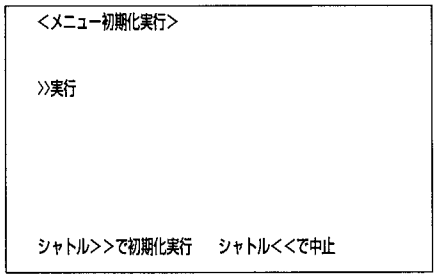
<基本設定・情報表示>(つづき)

◆メニュー初期化

メニュー画面上の設定を工場出荷時の状態へ戻すことができます。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>1/2画面の「メニュー初期化」を選択し、シャトルを右に回す。

・<メニュー初期化実行>画面が表示されます。
・メニュー画面の設定を初期化しない場合は、このあと、シャトルを左に回してください。



2 シャトルを右に回す。

・メニュー画面の設定が初期化されます。

(!) タイマープログラム設定は、初期化されません。

(!) <ETHERNET>画面の「IPアドレス」、「サブネット マスク」、「ゲートウェイ」、「サービスポート設定」、「アラーム設定」の"IPアドレス番号"、"TARGETポート番号"、または"OWNポート番号"のいずれかの項目を設定変更した状態でメニューの初期化を行うと、電源が切れたあと、再起動します。

3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

◆データ消去

HDD(メイン)、HDD(サブ)、CFC(コンパクトフラッシュカード)、バックアップ機器、またはコピー機器に記録されたデータを消去します。

(!) 「HDD(サブ)データ消去」は、<運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に運用設定した場合に表示されます。

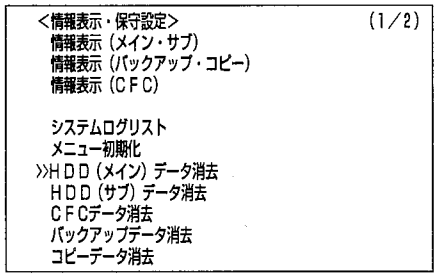
(!) 「バックアップデータ消去」、「コピーデータ消去」は、<運用変更・初期化>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に運用設定した場合に表示されます。

(!) ミラーリング運用中に、「HDD(メイン)データ消去」を行うと、すべてのデータが消去されます。ご注意ください。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示> → <情報表示・保守設定>1/2画面で、希望するデータ消去を選択し、シャトルを右に回す。

・画面下に、"警告消去キーを1秒押すと消去実行します"が表示されます。
・データの消去を実行しないときは、シャトルを左に回してください。

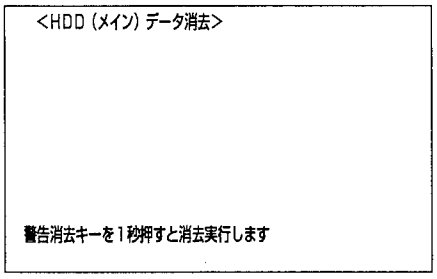
(!) HDDデータ消去パスワード(レベル4)のパスワードロックを設定している場合、「HDD(メイン)データ消去」、「HDD(サブ)データ消去」のいずれかの設定を実行すると<パスワードロック解除>画面が表示され、ロック解除が必要となります。



2 警告消去ボタンを1秒押す。

・画面に"データ消去実行中・・・"が表示されます。

(!) 再生/記録/コピー/リストアなどHDDアクセス中は、データ消去できません。ご注意ください。



3 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■簡易ロック／パスワードロック

本機のロック機能には、ロック解除にパスワードが不要な簡易ロックと、パスワードが必要なパスワードロックの2種類があります。
・ロック解除用のパスワードを設定していない場合：簡易ロックになります。
・ロック解除用のパスワードを設定している場合　：パスワードロックになります。

➡ **後面部のMAINスイッチ(主電源)がONの場合は、前面の電源が切でも簡易ロック／パスワードロックをかけたり、解除が可能です。**

(!) **後面部のMAINスイッチ(主電源)がOFFの場合やメニュー表示中は、簡易ロック／パスワードロックは機能しません。**

◆簡易ロック

簡易ロックをかけると、分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、カメラ番号ボタン1～16、およびMAINスイッチ(主電源)ON/OFF以外の操作ができなくなり、現在の状態にロック(固定)されます。

簡易ロックをかける場合は・・・

1　MAINスイッチがONで、電源が入のときに、ロックボタンをボールペンなどで押す。
・ロックがかかり、ロックインジケーターが点灯します。

簡易ロックを解除する場合は・・・

1　ロックボタンを押す。
・ロックが解除され、ロックインジケーターが消灯します。

◆パスワードロック

パスワードロックは、「操作制限」と「HDDデータ消去」の2種類に分類されます。「操作制限」は、操作機能別に3段階のレベルでロックをかけることができます。「HDDデータ消去」は、「HDD(メイン)データ消去」、「HDD(サブ)データ消去」設定に対し、ロックをかけることができます。

＜操作制限用パスワードロック（レベル1～レベル3)について＞

1) レベル1、レベル2、レベル3のパスワードを入力する。

2) パスワードロックをかける。
・レベル1のパスワードロック状態になる。

➡ **レベル1のパスワードロックがかかると、すべての機能を操作することができません。**

3) レベル1のパスワードロックを解除する。
・レベル2のパスワードロック状態になる。

➡ **レベル2のパスワードロックがかかると、分割/シーケンスボタン、拡大ボタン、カメラ番号ボタン、出力Aボタン、または出力Bボタンのみ操作することができます。**

4) レベル2のパスワードロックを解除する。
・レベル3のパスワードロック状態になる。

➡ **レベル3のパスワードロックがかかると、設定ボタン、アラームホールドボタンの操作ができません。**

5) レベル3のパスワードロックを解除する。
・すべてのパスワードロックが解除されます。

➡ **すべての機能を操作することができます。**

ⓘ レベル1，レベル2は、本機前面部のロックボタンを押すと、<パスワードロック解除>画面が表示され、パスワードを入力することにより、ロックを解除することができます。レベル3は、設定ボタンを押して、<パスワードロック解除>画面を表示させ、パスワードを入力する必要があります。パスワードロックを解除しない場合は、<パスワードロック解除>画面が表示されている状態で、ロックボタンを押してください。

後面部のMAINスイッチ(主電源)がONの場合は、前面部の電源が切でもパスワードロックの解除ができます。

パスワードを登録する場合は・・・

パスワードは、カメラ番号ボタンと拡大ボタンで0～9の4桁の番号で登録します。

1 設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示>画面の<パスワード設定>を選択する。

・ <パスワード設定>画面が表示されます。

<パスワード設定>
»操作制限
HDDデータ消去

2-1 (操作制限用パスワード(レベル1～レベル3)を登録する場合は・・・)
カーソルが「操作制限」の左どなりにあるのを確認し、シャトルを右に回す。

・ <パスワードロック設定>画面が表示されます。

2-2 カーソルがレベル「1」の左どなりにあるのを確認し、シャトルを右に回す。

・「1回目」の最初の入力位置が反転表示となり、点滅します。

パスワードの入力は、カメラ番号ボタン1～9までの数字と拡大ボタンに0が割り当てられています。

2-3 カメラ番号ボタンと拡大ボタンで4桁のパスワードを入力する。

・「2回目」の最初の入力位置が反転表示となり、点滅します。

2-4 「2回目」に「1回目」で入力した番号を再入力する。

・ カーソルがレベル「1」の左どなりへ戻ります。

ⓘ「1回目」で設定したパスワードを「2回目」で繰り返してください。異なるパスワードを入力すると、入力済みパスワードが取り消され、カーソルがレベル「1」の左どなりに戻ります。ステップ2-2の設定からやりなおしてください。

2-5 引き続き、レベル2，3を設定する場合は、ステップ2-2～2-4の操作を繰り返す。

ⓘ レベル1～レベル3のすべてにパスワードを入力する必要はありません。希望するレベルのみパスワードを入力してください。

2-6 シャトルを左に回す。

<パスワードロック設定>

	1回目	2回目
»1	----	----
2	----	----
3	----	----

警告消去キーでパスワードが消去できます

シャトル>>でカーソル位置のパスワードが入力できます

<パスワードロック設定>

	1回目	2回目
1		----
2	----	----
3	----	----

カメラボタンでパスワードを入力して下さい

<パスワードロック設定>

	1回目	2回目
»1	****	****
2	----	----
3	----	----

警告消去キーでパスワードが消去できます

シャトル>>でカーソル位置のパスワードが入力できます

3-1 (HDDデータ消去用パスワード(レベル4)を登録する場合は・・・)
ジョグを回して「HDDデータ消去」へカーソルを移動させ、シャトルを右に回す。

・ <パスワードロック設定>画面が表示されます。

3-2 レベル4を設定する場合は、ステップ2-2～2-4の操作を繰り返す。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

ⓘ HDDデータ消去用パスワードロック(レベル4)は、パスワードを入力し、設定画面を抜けた時点でロックがかかります。

<パスワードロック設定>

	1回目	2回目
»4	----	----

警告消去キーでパスワードが消去できます

シャトル>>でカーソル位置のパスワードが入力できます

パスワードロックを解除する場合は・・・

1 (レベル1、レベル2のパスワードロックを解除する場合は・・・) ロックボタンを押す。
・ <パスワードロック解除>画面が表示されます。

<パスワードロック解除>

»1 ----

2 ----

実行

シャトル>>でカーソル位置のパスワードが入力できます
入力後、実行を選択してシャトル>>でロック解除できます

2 カーソルがレベル「1」の左どなりにあるのを確認し、シャトルを右に回す。
・ 最初の入力位置が反転表示となります。

3 カメラ番号ボタンと拡大ボタンで4桁のパスワードを入力する。
・ カーソルがレベル「1」の左どなりに表示されます。

4 ジョグを回してレベル「2」を選択し、シャトルを右に回す。
・ 最初の入力位置が反転表示となります。

5 カメラ番号ボタンと拡大ボタンで4桁のパスワードを入力する。
・ カーソルが「2」の左どなりに表示されます。

(!) レベル1、レベル2のパスワードロックを設定している場合、レベル1のみ解除するとレベル2のパスワードロックになります。

(!) レベル1、レベル2のパスワードロックを設定している場合、レベル2のみ解除することはできません。必ず、レベル1も解除してください。

(!) パスワードは、正確に入力してください。間違ったパスワードを入力した場合、入力済みパスワードが取り消されます。再入力してください。

6 ジョグを回して、カーソルを「実行」へ移動し、シャトルを右に回す。
・ パスワードロックが解除され、ロックインジケーターが消灯し、通常画面に戻ります。

7 (レベル3のパスワードロックを解除する場合は・・・) 設定ボタンを押す。
・ <パスワードロック解除>画面が表示されます。

<パスワードロック解除>

3 -

カメラボタンでパスワードを入力して下さい

(!) レベル1~レベル3のパスワードロックを設定している場合、レベル3のみ解除することはできません。必ず、先にレベル1、レベル2のパスワードロックを解除してください。

➡ レベル1~ レベル3のパスワードロックを設定している場合、 レベル1を解除するとレベル2のパスワードロックに、レベル1、レベル2を解除すると レベル3のパスワードロックになります。

8 カメラ番号ボタンと拡大ボタンで4桁のパスワードを入力する。
・ パスワードロックが解除され、ロックインジケーターが消灯し、通常画面に戻ります。

(!) パスワードを入力せずに、通常画面へ戻る場合は、ロックボタンを押してください。

9 (レベル4のパスワードロックを解除する場合は・・・) <情報表示・保守設定>1/2画面で「HDD(メイン)データ消去」、「HDD(サブ)データ消去」のいずれかの設定を実行する。
・ <パスワードロック解除>画面が表示されます。

<パスワードロック解除>

4 -

カメラボタンでパスワードを入力して下さい

10 カメラ番号ボタンと拡大ボタンで4桁のパスワードを入力する。
・ パスワードロックが解除され、データ消去設定画面が表示されます。

(!) 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、サービスセンターへご相談ください。

パスワードロックをかける場合は・・・(レベル1~レベル3のみ)

1 MAINスイッチがONのときに、ロックボタンをボールペンなどで押す。
・ パスワードロックがかかり、ロックインジケーターが点灯します。

<基本設定・情報表示>(つづき)

パスワードを変更する場合は・・・

1　レベル1～レベル3までのパスワードロックを解除する。

2-1　(レベル1～レベル3のパスワードを変更する場合は・・・)
<パスワードロック設定>(レベル1～レベル3)画面を表示させ、ジョグを回して変更したいレベル番号へカーソルを移動させ、警告消去ボタンを押す。
・「1回目」、「2回目」のパスワードが消え、「- - - -」が表示される。

2-2　「パスワードを登録する場合は・・・」を参考に、新しいパスワードを入力してください。

3-1　(レベル4のパスワードを変更する場合・・・)
<パスワード設定>画面を表示させ、ジョグを回して「HDDデータ消去」へカーソルを移動させ、シャトルを右に回す。
・<パスワード変更>画面が表示されます。

3-2　カメラ番号ボタンと拡大ボタンで4桁のパスワードを入力する。
・パスワードロックが解除され、<パスワードロック設定>画面が表示される。

3-3　警告消去ボタンを押す。
・「1回目」、「2回目」のパスワードが消え、「- - - -」が表示される。

3-4　「パスワードを登録する場合は・・・」を参考に、新しいパスワードを入力してください。

<パスワードロック設定>

	1回目	2回目
»1	****	****
2	****	****
3	****	****

警告消去キーでパスワードが消去できます

シャトル>>でカーソル位置のパスワードが入力できます

<パスワード変更>

4 -

登録しているパスワードを入力して下さい

パスワードロックモードから
簡易ロックモードへ変更する場合は・・・

1　レベル1～レベル3までのパスワードを解除し、<パスワードロック設定>画面を表示させる。

2　レベル1の左横にカーソルがあるのを確認し、警告消去ボタンを押す。
・「1回目」、「2回目」のパスワードが消え、「- - - -」が表示される。

3　ジョグを回してカーソルをレベル2、レベル3へ移動させ、警告消去ボタンを押す。
・すべてのレベルのパスワードが「- - - -」表示に変わります。

4　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

■言語選択

本機では、メニュー画面表示を日本語、英語の2ヶ国語から選択することができます。初期設定は、「日本語」が選択されていますので、英語を希望される場合は、以下の手順で設定を行ってください。

設定項目（初期設定は「日本語」）
「日本語」、「ENGLISH」

1　設定ボタン → <設定> → <基本設定・情報表示>画面の<言語選択>を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

2　シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<言語選択>

»表示言語　日本語

ジョグで選択
シャトル>>で確定

<メニュークイック設定>

■ メニュークイック設定

本機は、あらかじめコンパクトフラッシュカードに記録されたメニュー設定を読み出し、設定変更することができます。また、本機のメニュー設定をコンパクトフラッシュカードにコピーすることもできます。

(!) メニュークイック設定実行中は、他の操作を一切受け付けません。

◆本機のメニュー設定を更新するには

(!) コンパクトフラッシュカードに記録されたメニュー設定をレコーダーに読み出し・設定変更する場合、読み出し・設定変更する側のレコーダーのHDD運用設定を、メニュー設定をコピー元のレコーダーの「HDD運用設定」に合わせてください。合わせる「HDD運用設定」は、「ID4・ID5運用選択」、「HDD記録運用」、「アラームパーティション」を選択したときの「サブデバイス容量」です。HDD運用設定が異なる場合は、メニュー設定が更新できませんので、ご注意ください。

1 メニュー設定が記録されたコンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。

2 <設定>画面の「メニュークイック設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <メニュークイック設定>画面が表示されます。

<メニュークイック設定>
>>CFCからメニュー設定を読み出し・設定変更
CFCへメニュー設定をコピー

3 「CFCからメニュー設定を読み出し・設定変更」を選択し、シャトルを右に回す。

・ <メニューロード>画面が表示されます。
・ メニュー設定を更新しない場合は、このあと、シャトルを左に回してください。

<メニューロード>

>>実行

シャトル>>で確定　シャトル<<で戻る

4 シャトルを右に回す。

・ 本機のメニュー設定が更新され、"<<終了>>"が表示されます。
・ コンパクトフラッシュカードが挿入されていない場合、"<<メディア無し>>"が表示されます。

(!) <ETHERNET>画面の「IPアドレス」、「サブネット マスク」、「ゲートウェイ」、「サービスポート設定」、「アラーム設定」の"IPアドレス番号"、"TARGETポート番号"、または"OWNポート番号"のいずれかの項目を設定変更しているデータを読み出し、設定変更すると電源が切れたあと、再起動します。

(!) メニューの読み出しが完了したあと、時刻は反映されませんので正しい時刻を設定してください。

*5 (更新したメニュー設定を確定する場合は・・・)
シャトルを3回左に回す、または設定ボタンを押して通常画面へ戻る。*

6 電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源ボタンを押して電源を入れる。

・ メニュー設定が確定されます。

(!) 更新したメニュー設定を確定するには、一度電源を切る必要があります。

<メニュークイック設定>(つづき)

◆本機のメニュー設定の内容をコンパクトフラッシュカードに保存するには

1 コンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。

2 <設定>画面の「メニュークイック設定」を選択し、シャトルを右に回す。

・<メニュークイック設定>画面が表示されます。

3 「CFCへメニュー設定をコピー」を選択し、シャトルを右に回す。

・<メニューセーブ>画面が表示されます。
・コンパクトフラッシュカードにメニュー設定の内容を保存しない場合は、このあと、シャトルを左に回してください。

<メニューセーブ>

>>実行

シャトル>>で確定　シャトル<<で戻る

4 シャトルを右に回す。

・コンパクトフラッシュカードにメニュー設定の内容が上書き保存され、"<<終了>>"が表示されます。
・コンパクトフラッシュカードが挿入されていない場合、"<<メディア無し>>"が表示されます。

5 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

(!) メニューの読み出し・設定変更、メニューのコピーは、本機が停止中(再生/記録/バックアップ/通信の停止)のときのみ実行可能です。

(!) メニューの読み出し・設定変更、メニューのコピーは、"実行"確定後、しばらく時間(数秒程度)がかかる場合があります。

運用例

■運用例1

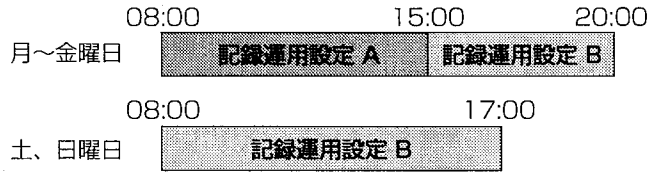
タイマー記録運用で、通常記録の記録運用設定AとBに異なるカメラ台数を設定し、時間帯や曜日によって運用するカメラの切り換えを行う運用例です。

➡ **カメラ映像の取り込みに関しては、☞ 152ページ「設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係」をごらんください。**

・運用形態

・月～金曜日の、08:00から15:00に記録運用設定A(全カメラで通常記録)を設定し、15:00から20:00に記録運用設定B(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨、⑭、⑮、⑯ で通常記録)を設定する。

・週末の土・日曜日には、記録運用設定B(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨、⑭、⑮、⑯ で通常記録)を08:00から17:00まで設定する。



・設定のしかた

1) <カメラタイトル・メモ設定>画面の設定 ☞ 41,42ページ
・カメラ番号 ①～⑯ のすべて
・タイトルを入力

<カメラタイトル・メモ設定>(1/2画面)

```
<カメラタイトル・メモ設定>
 ①        いりぐち1
 ②        いりぐち2
 ③        きんこ
 ④        カウンタ1
 ⑤        カウンタ2
 ⑥        カウンタ3
 ⑦        でぐち1
 ⑧        でぐち2
»⑨        PARKING
 次画面:ここでシャトル>>   シャトル<<で戻る
シャトル>>で文字入力画面
```

<カメラタイトル・メモ設定>(2/2画面)

```
<カメラタイトル・メモ設定>
 ⑩        ATM1
 ⑪        ATM2
 ⑫        ATM3
 ⑬        ATM4
 ⑭        ATM5
 ⑮        ATM6
»⑯        ATM7
```

2) <基本設定・情報表示>画面の設定 ☞ 62-80ページ
・音声記録設定:「切」 ☞ 66ページ

```
<基本設定・情報表示>
 運用設定
»音声記録設定                    切
 I/O端子設定
```

3) <運用設定>画面の設定 ☞ 62,63ページ
・HDD(メイン)リピート記録:「入」 ☞ 62ページ

```
<運用設定>
»HDD (メイン) リピート記録        入
```

4) <タイマー設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
・タイマープログラム設定 :「P1」

```
<タイマー設定>
»タイマープログラム設定          P1- 設定
 タイマー休日設定
```

運用例(つづき)

5) <記録運用設定 A>画面の設定 ☞ 60ページ
- カメラ番号 ①～⑯ のすべて
  - 通常間隔、通常画質：カメラごとに希望する間隔と画質に設定
  - ALM間隔　　：「－－－－－」

<記録運用設定　A>　(1/2画面)

<記録運用設定 A>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
②	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
③	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
④	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑤	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑥	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑦	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑧	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
»⑨	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
次画面：ここでシャトル>>			シャトル<<で戻る	

<記録運用設定　A>　(2/2画面)

<記録運用設定 A>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
⑩	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑪	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑫	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑬	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑭	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑮	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
»⑯	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
プリアラーム記録設定			(最長：□□秒　)	□□秒
			シャトル<<で戻る	
<見積り時間>			□日□□時間□□分	

6) <記録運用設定 B>画面の設定 ☞ 60ページ
- カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨、⑭、⑮、⑯ のみ
  - 通常間隔、通常画質：カメラごとに希望する間隔と画質に設定
  - ALM間隔　　：「－－－－－」
- その他のカメラ
  - 通常間隔、ALM間隔：「－－－－－」

<記録運用設定>　(1/2画面)

<記録運用設定 B>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
②	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
③	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
④	-----	ハイ	-----	ハイ
⑤	-----	ハイ	-----	ハイ
⑥	-----	ハイ	-----	ハイ
⑦	0.53秒	ハイ	-----	ハイ
⑧	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
»⑨	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
次画面：ここでシャトル>>			シャトル<<で戻る	

<記録運用設定>　(2/2画面)

<記録運用設定 B>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
⑩	-----	ハイ	-----	ハイ
⑪	-----	ハイ	-----	ハイ
⑫	-----	ハイ	-----	ハイ
⑬	-----	ハイ	-----	ハイ
⑭	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
⑮	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
»⑯	0.53秒	スーパー	-----	ハイ
プリアラーム記録設定			(最長：□□秒　)	□□秒
			シャトル<<で戻る	
<見積り時間>			□日□□時間□□分	

7) <タイマープログラム設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
- 指定曜日　　：「月 － 金」
- プログラム番号1 ：「指定、08:00、15:00、A運用、切」
- プログラム番号2 ：「指定、15:00、20:00、B運用、切」
- プログラム番号3 ：「土、08:00、17:00、B運用、切」
- プログラム番号4 ：「日、08:00、17:00、B運用、切」

上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります。

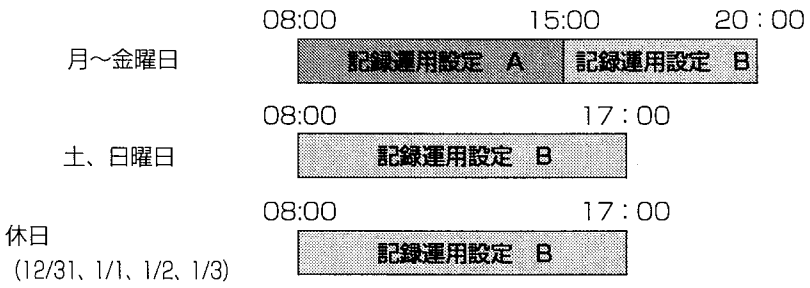
<タイマープログラム設定>　P1

	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検
1	指定	08:00	15:00	A運用	切
2	指定	15:00	20:00	B運用	切
3	土	08:00	17:00	B運用	切
4	日	08:00	17:00	B運用	切
5	---	--:--	--:--	-----	-
6	---	--:--	--:--	-----	-
7	---	--:--	--:--	-----	-
8	---	--:--	--:--	-----	-

»指定曜日　月 － 金

■運用例2

タイマー休日設定を用いる運用例です。



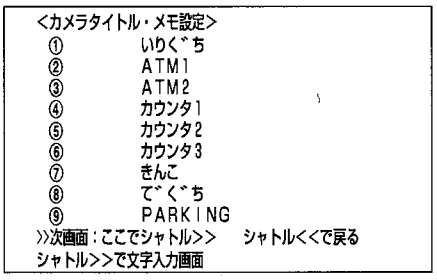
・運用形態

・月～金曜日の、08:00から15:00に記録運用設定 A(カメラ番号 ① ～ ⑨ で通常記録)を設定し、15:00から20:00に記録運用設定 B(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録)を設定する。
・週末の土・日曜日には、記録運用設定 B(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録)を08:00から17:00まで設定する。
・12/31、1/1、1/2、1/3を休日設定とし、記録運用設定 Bを08:00から17:00まで設定する。

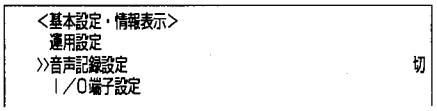
(!) <タイマー休日設定>で休日を設定し、<タイマープログラム設定>の曜日設定で「休日」を選択した場合に、設定日時が重複したとき「休日」を選択したプログラムが他のプログラムに対し優先して記録され、「休日」以外のプログラムは、動作しません。

・設定のしかた

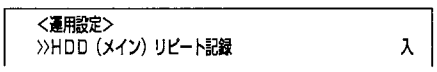
1) <カメラタイトル・メモ設定>画面の設定 ☞ 41,42ページ
・カメラ番号 ①～⑨ のすべて
・タイトルを入力



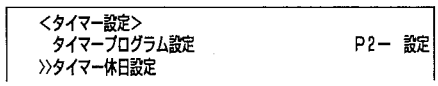
2) <基本設定・情報表示設定>画面の設定 ☞ 62-80ページ
・音声記録設定：「切」 ☞ 66ページ

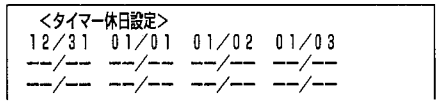


3) <運用設定>画面の設定 ☞ 62,63ページ
・HDD(メイン)リピート記録：「入」 ☞ 62ページ



4) <タイマー設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
・タイマープログラム設定 ：「P2」
・タイマー休日設定 ：12/31、01/01、01/02、01/03
☞ 59ページ





運用例(つづき)

5) <記録運用設定 A>画面の設定 ☞ 60ページ
- カメラ番号 ①～⑨ のすべて
  - 通常間隔、通常画質 ：カメラごとに希望する間隔と画質に設定
  - ALM間隔 ：「－－－－－」

<記録運用設定 A>　　アラームCH

番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	ハイ	------	ハイ
②	0.53秒	ハイ	------	ハイ
③	0.53秒	ハイ	------	ハイ
④	0.53秒	ハイ	------	ハイ
⑤	0.53秒	ハイ	------	ハイ
⑥	0.53秒	ハイ	------	ハイ
⑦	0.53秒	ハイ	------	ハイ
⑧	0.53秒	ハイ	------	ハイ
>>⑨	0.53秒	ハイ	------	ハイ

次画面：ここでシャトル>>　シャトル<<で戻る

6) <記録運用設定 B>画面の設定 ☞ 60ページ
- カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ のみ
  - 通常間隔、通常画質 ：カメラごとに希望する間隔と画質に設定
  - ALM間隔 ：「－－－－－」
- その他のカメラ
  - 通常間隔、ALM間隔 ：「－－－－－」

<記録運用設定 B>　　アラームCH

番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.53秒	スーパー	------	ハイ
②	0.53秒	スーパー	------	ハイ
③	0.53秒	スーパー	------	ハイ
④	------	ハイ	------	ハイ
⑤	------	ハイ	------	ハイ
⑥	------	ハイ	------	ハイ
⑦	0.53秒	スーパー	------	ハイ
⑧	0.53秒	スーパー	------	ハイ
>>⑨	0.53秒	スーパー	------	ハイ

次画面：ここでシャトル>>　シャトル<<で戻る

7) <タイマープログラム設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
- 指定曜日 ：「月 － 金」
- プログラム番号1 ：「指定、08:00、15:00、A運用、切」
- プログラム番号2 ：「指定、15:00、20:00、B運用、切」
- プログラム番号3 ：「土、08:00、17:00、B運用、切」
- プログラム番号4 ：「日、08:00、17:00、B運用、切」
- プログラム番号5 ：「休日、08:00、17:00、B運用、切」

<タイマープログラム設定>　　P2

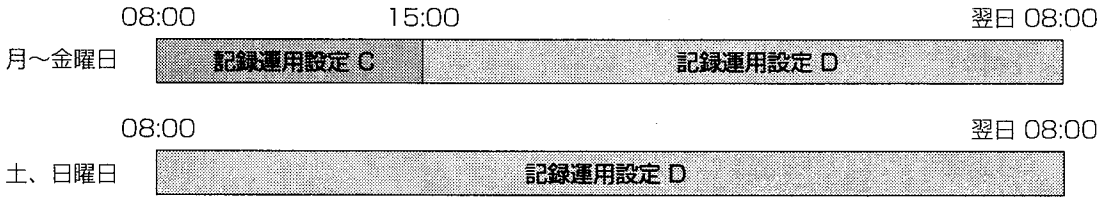
	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検
1	指定	08:00	15:00	A運用	切
2	指定	15:00	20:00	B運用	切
3	土	08:00	17:00	B運用	切
4	日	08:00	17:00	B運用	切
5	休日	08:00	17:00	B運用	切
6	----	--:--	--:--	-----	-
7	----	--:--	--:--	-----	-
8	----	--:--	--:--	-----	-

>>指定曜日　月 － 金

上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります。

■ 運用例3

タイマー記録運用で通常記録を行い、ALARM IN端子が接地されたり、動きを検出、またはEMERGENCY端子が接地されたときに運用設定された記録カメラでプリアラーム記録、アラーム記録、エマージェンシー記録を行う運用例です。



・運用形態

・月～金曜日の、08:00から15:00に記録運用設定 C(全カメラで通常記録)を設定し、15:00から翌日の08:00に記録運用設定 D(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録)を設定する。

・週末の土・日曜日には、記録運用設定 D(カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ で通常記録)を08:00から翌日の08:00まで設定する。

・設定のしかた

1) 前記「運用例1」の1)～3)の項目を設定

2) <I/O端子設定>画面の設定 ☞ 66-69ページ
- エマージェンシー記録時間：「20分」 ☞ 69ページ

<I/O端子設定>

MODE OUT 1	切
MODE OUT 2	切
MODE OUT 3	切
MODE OUT 4	切
MODE OUT 5	切
ボタン音	入
ブザー	切
残量検出位置	HDD (メイン) －10%
CALL OUT設定	
>>エマージェンシー記録時間	20分

3）カメラごとに、<動き検知設定>画面の各項目を設定 ☞ 49-51ページ

```
<動き検知設定>
>>設定カメラ選択                    ①
  検知エリアドット設定
  感度                    大・・<<<<小
  記録開始ドット                    5
  動作テストモード
```

4）<タイマー設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
・タイマープログラム設定　　：「P3」
・アラーム記録時間　　：「5分」

```
<タイマー設定>
  タイマープログラム設定          P3－ 設定
  タイマー休日設定
  記録運用設定 A
  記録運用設定 B
  記録運用設定 C
  記録運用設定 D
>>アラーム記録時間                  5分
```

5）<記録運用設定 C>画面の設定 ☞ 60ページ
・動き検知記録のアラームリストへの登録：「する」 ☞ 55ページ

```
<記録運用設定 C>
  アラーム記録
  記録運用設定
>>動き検知記録のアラームリストへの登録    する
```

6）<アラーム設定 C>画面の設定 ☞ 52,53ページ
・カメラ番号①～⑯ すべて
・アラーム入力：動き検知/端子
・EMR：①～⑯ すべて

<アラーム設定 C>（1/2画面）

```
<アラーム設定 C>
番号      記録カメラ              アラーム入力
  1   ①---------------  動き検知/端子
  2   -②--------------  動き検知/端子
  3   --③-------------  動き検知/端子
  4   ---④------------  動き検知/端子
  5   ----⑤-----------  動き検知/端子
  6   -----⑥----------  動き検知/端子
  7   ------⑦---------  動き検知/端子
  8   -------⑧--------  動き検知/端子
>>9   --------⑨-------  動き検知/端子
  次画面：ここでシャトル>>   シャトル<<で戻る
```

<アラーム設定 C>（2/2画面）

```
<アラーム設定 C>
番号      記録カメラ              アラーム入力
 10   ----------⑩------  動き検知/端子
 11   ----------⑪------  動き検知/端子
 12   ----------⑫------  動き検知/端子
 13   ----------⑬------  動き検知/端子
 14   ----------⑭------  動き検知/端子
 15   ----------⑮------  動き検知/端子
>>16  ----------⑯------  動き検知/端子
 EMR  ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
                  シャトル<<で戻る
```

7）<記録運用設定 C>画面の設定 ☞ 60ページ
・アラーム記録モード：「アラームプラスCH」 ☞ 53ページ
・カメラ番号 ①～⑯ のすべて
　・通常間隔、通常画質、ALM間隔、ALM画質
　　：カメラごとに希望する間隔と画質に設定 ☞ 52-54ページ
・プリアラーム記録設定：希望するプリアラーム記録時間に設定 ☞ 55ページ

➡「0秒」に設定すると、プリアラーム記録をしません。

<記録運用設定 C>（1/2画面）

```
<記録運用設定 C>              アラームプラスCH
番号  通常間隔  通常画質  ALM間隔  ALM画質
 ①   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ②   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ③   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ④   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑤   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑥   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑦   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑧   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
>⑨   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 次画面：ここでシャトル>>   シャトル<<で戻る
```

<記録運用設定 C>（2/2画面）

```
<記録運用設定 C>              アラームプラスCH
番号  通常間隔  通常画質  ALM間隔  ALM画質
 ⑩   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑪   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑫   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑬   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑭   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑮   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
 ⑯   0.5 3秒  ハイ    0.5 3秒  ファイン
>>プリアラーム記録設定   （最長：□□秒 ）  □□秒
                  シャトル<<で戻る
<見積り時間>          □日□□時間□□分
```

運用例(つづき)

8) <記録運用設定 D>画面の設定 ☞ 60ページ
・動き検知記録のアラームリストへの登録：「する」 ☞ 55ページ

```
<記録運用設定 D>
 アラーム記録
 記録運用設定
>>動き検知記録のアラームリストへの登録          する
```

9) <アラーム設定 D>画面の設定 ☞ 52,53ページ
・カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨ のみ
・アラーム入力：動き検知/端子

<アラーム設定 D> (1/2画面)

```
<アラーム設定 D>
番号      記録カメラ                    アラーム入力
 1    ①----------------                動き検知/端子
 2    -②---------------                動き検知/端子
 3    --③--------------                動き検知/端子
 4    ---④-------------                端子
 5    ----⑤------------                端子
 6    -----⑥-----------                端子
 7    ------⑦----------                動き検知/端子
 8    -------⑧---------                動き検知/端子
>>9   --------⑨--------                動き検知/端子
 次画面：ここでシャトル>>   シャトル<<で戻る
```

<アラーム設定 D> (2/2画面)

```
<アラーム設定 D>
番号      記録カメラ                    アラーム入力
 10   ---------⑩------                端子
 11   ----------⑪-----                端子
 12   -----------⑫----                端子
 13   ------------⑬---                端子
 14   -------------⑭--                端子
 15   --------------⑮-                端子
>>16  ---------------⑯                端子
 EMR  ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

                    シャトル<<で戻る
```

10) <記録運用設定 D>画面の設定 ☞ 60ページ
・アラーム記録モード：「アラームプラスCH」 ☞ 53ページ
・カメラ番号 ①、②、③、⑦、⑧、⑨のみ
　・通常間隔、通常画質、ALM間隔、ALM画質
　　：カメラごとに希望する間隔と画質に設定 ☞ 52-54ページ
・その他のカメラ
　・通常間隔：「－－－－－」
・プリアラーム記録設定：希望するプリアラーム記録時間に設定 ☞ 55ページ

「0秒」に設定すると、プリアラーム記録をしません。

<記録運用設定 D> (1/2画面)

```
<記録運用設定 D>                          アラームプラスCH
番号 通常間隔  通常画質   ALM間隔  ALM画質
 ①  0.53秒  ハイ      0.53秒  ファイン
 ②  0.53秒  ハイ      0.53秒  ファイン
 ③  0.53秒  ハイ      0.53秒  ファイン
 ④  -----  ハイ      -----  ハイ
 ⑤  -----  ハイ      -----  ハイ
 ⑥  -----  ハイ      -----  ハイ
 ⑦  0.53秒  ハイ      0.53秒  ファイン
 ⑧  0.53秒  ハイ      0.53秒  ファイン
>⑨  0.53秒  ハイ      0.53秒  ファイン
 次画面：ここでシャトル>>   シャトル<<で戻る
```

11) <タイマープログラム設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
・指定曜日　　：「月 － 金」
・プログラム番号1 ：「指定、08:00、15:00、C運用、入」
・プログラム番号2 ：「指定、15:00、08:00、D運用、入」
・プログラム番号3 ：「土、08:00、08:00、D運用、入」
・プログラム番号4 ：「日、08:00、08:00、D運用、入」

上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります。

```
<タイマープログラム設定>                              P3
    曜日   開始時刻   終了時刻   運用      動検
 1 指定   08:00   15:00   C運用     入
 2 指定   15:00・08:00   D運用     入
 3 土     08:00・08:00   D運用     入
 4 日     08:00・08:00   D運用     入
 5 ----   --:--   --:--   -----     -
 6 ----   --:--   --:--   -----     -
 7 ----   --:--   --:--   -----     -
 8 ----   --:--   --:--   -----     -

>>指定曜日   月 － 金
```

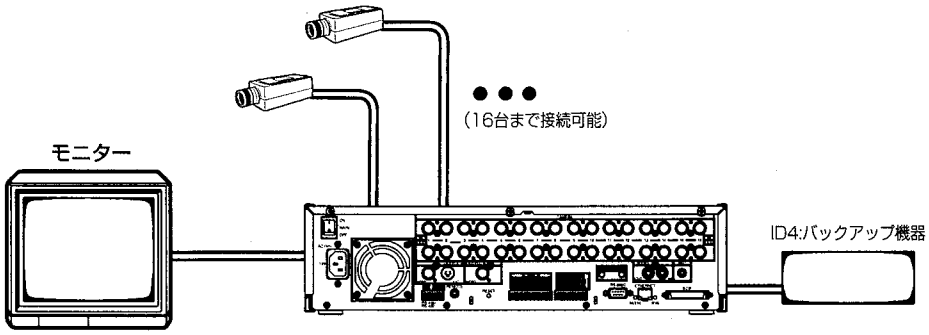
■運用例4　タイマー予約での同時バックアップ

月曜日から金曜日まで記録を行い、週に一度バックアップをタイマー管理で行う運用例です。バックアップ完了後、新しいメディアを入れ換えやすいようにバックアップメディアを自動的に排出させることができます。

(!) タイマー予約設定時には、<マニュアル設定>画面の「上書きバックアップ」や「バックアップメディア自動イジェクト」は機能しません。ご注意ください。

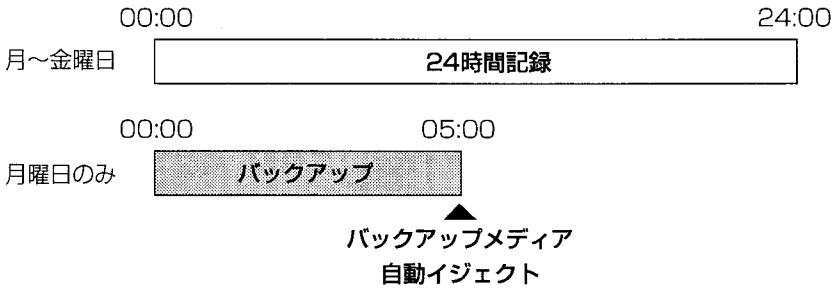
・運用形態

本機と外部記録機器の構成例
・接続カメラ16台
・ID4にバックアップ機器
・モニター



・運用形態

・月～金曜日の、00:00から24:00に記録運用設定 A(全カメラで通常記録 ① ～ ⑯)を設定する。
・月曜日の、00:00から05:00に外部記録機器に5日分の記録内容を進行中の記録と同時にバックアップさせ、バックアップ完了後、メディアを自動で排出させる。



・設定のしかた

1) 運用例1の1)～3)を設定

2) <タイマー設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
・タイマープログラム設定:「P1」

3) <I/O端子設定>画面の設定 ☞ 66-69ページ
・エマージェンシー記録時間:「20分」 ☞ 69ページ

4) <記録運用設定 A>画面の設定 ☞ 60ページ
・カメラ番号 ①～⑯ のすべて
・通常間隔、通常画質:
カメラごとに希望する間隔と画質に設定 ☞ 52-54ページ
・ALM間隔 :「－－－－－」

5) <タイマープログラム設定>画面の設定 ☞ 57-59ページ
・指定曜日:「月 － 金」
・プログラム番号1 :「指定、00:00、00:00、A運用、切」
・プログラム番号2 :「月、00:00、05:00、上書BKE、切」

上記の設定がすべて完了してメニュー画面を消したあと、タイマーボタンを押してください。タイマー記録運用状態になります

<タイマー設定>
>>タイマープログラム設定 P1－ 設定
タイマー休日設定
記録運用設定 A

<記録運用設定 A> (1/2画面)

<記録運用設定 A>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
①	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
②	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
③	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
④	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑤	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑥	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑦	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑧	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
>>⑨	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ

次画面:ここでシャトル>> シャトル<<で戻る

<記録運用設定 A> (2/2画面)

<記録運用設定 A>			アラームCH	
番号	通常間隔	通常画質	ALM間隔	ALM画質
⑩	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑪	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑫	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑬	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑭	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
⑮	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ
>>⑯	0.5 3秒	ハイ	------	ハイ

プリアラーム記録設定 (最長:□□秒) □□秒
シャトル<<で戻る
<見積り時間> □日□□時間□□分

<タイマープログラム設定> P1

	曜日	開始時刻	終了時刻	運用	動検
1	指定	00:00	00:00	A運用	切
2	月	00:00	05:00	上書BKE	切
3	----	--:--	--:--	-----	-
4	----	--:--	--:--	-----	-
5	----	--:--	--:--	-----	-
6	----	--:--	--:--	-----	-
7	----	--:--	--:--	-----	-
8	----	--:--	--:--	-----	-

>>指定曜日 月 － 金

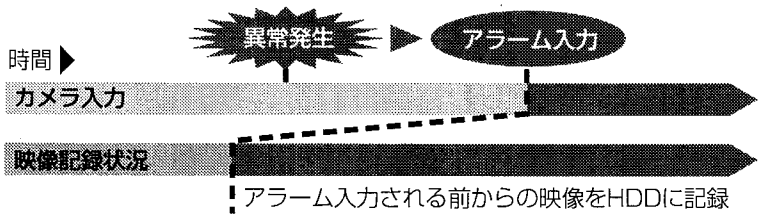
いろいろな記録

■ プリアラーム記録

アラーム記録時に、ALARM IN端子が接地されたり動きを検出した数秒前からの映像を、記録することができます。

➡ **プリアラーム記録に関する設定は、☞ 55ページ「プリアラーム記録設定」。**

プリアラーム記録は・・・



1) プリアラームインジケーターは、プリアラーム記録設定を「0秒」以外に設定すると点灯します。

2) ALARM IN端子が接地されたり、動きを検出する前からの映像が記録されます。

3) <記録運用設定>画面や<記録運用設定 A> ～ <記録運用設定 D>画面でプリアラーム記録の設定を行っている場合に実行します。アラーム信号入力後の記録チャンネルは、<記録運用設定>画面や<記録運用設定 A> ～ <記録運用設定 D>画面の運用カメラにのみ実行されます。

(!) **通常記録中にプリアラーム記録が入った場合、「プリアラーム記録設定」で設定した時間と異なる時間でプリアラーム記録するときがあります。**

(!) **プリアラーム記録時のアラーム記録モードが「アラームCH」の場合、通常記録中のプリアラーム記録では、アラーム記録に設定したすべてのカメラ番号で記録できません。**

■ エマージェンシー記録

本機後面部のMAINスイッチがON、前面部の電源が入であれば、停止中、タイマー記録中のときでも、アラームセンサーによってEMERGENCY端子が接地されると、すべてに優先して自動的にエマージェンシー記録を開始します。

(!) **MAINスイッチがOFFのとき、電源が切のとき、およびタイマー記録待機中には、エマージェンシー記録をすることはできません。**

➡ **エマージェンシー記録時間に関する設定は、☞ 69ページ。**

エマージェンシー記録は・・・

1) エマージェンシー記録は、<アラーム設定>画面の「EMR」で選択されているカメラ番号で、<記録運用設定>画面の「ALM間隔」に記録間隔が設定されているすべてのカメラで記録されます。「ALM画質」は「スーパー」、「ALM間隔」は各カメラ番号が設定できる一番短い記録間隔で記録します。

➡ **エマージェンシー記録中に停電が発生した場合、停電復帰後、エマージェンシー記録は解除されます。**

➡ **タイマー記録中にエマージェンシー記録が入力された場合、タイマー記録の終了時刻で記録を停止します。**

2) エマージェンシー記録に運用されるカメラは・・・
・<アラーム設定>画面の「EMR」で選択されているカメラ番号で、<記録運用設定>画面の「ALM間隔」が「－－－－－」以外に設定されているすべてのカメラで記録します。
・タイマー記録中は、その時間帯に設定されている記録運用で、「－－－－－」以外に設定されたすべてのカメラで記録します。

3) エマージェンシー記録の記録中は・・・
・エマージェンシーインジケーターが点滅し、記録終了後は点灯します。
・アラーム記録に運用されているカメラ番号ボタンと画面上のカメラ番号表示が点滅します。
・画面上の動作モード表示、"アラーム記録"が赤色表示されます。

エマージェンシーインジケーターを消灯させるには、<アラームリストサーチ>画面を表示させ、警告消去ボタンを5秒以上連続で押してください。

4) アラームリストに、赤色表示で登録・表示されます。

いろいろな再生

本機は、ジョグ、シャトルやボタン操作による、いろいろな再生機能を備えています。

(!) 本機が再生中に通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機は再生を停止します。

(!) 通信でライブ画像の取得を要求されている間、本機は再生ができません。

■ 静止画再生

1 再生中に、一時停止ボタンを押す。

- 静止画再生になります。もう一度押すと、再生に戻ります。
- 1画の静止画表示中にカメラ番号(1～16)ボタンを押すと、押した番号のカメラの映像を順方向に検索して表示します。

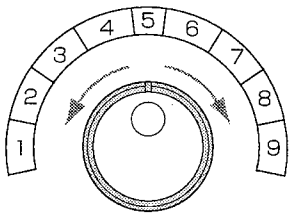
➡ 静止画再生中に一画面表示のためにカメラ番号ボタンを押すと、検索動作をします。このとき、記録映像がないカメラ番号、もしくは記録映像が少ないカメラ番号を指定した場合、数時間検索状態が続く場合があります。必要がなければ再生停止ボタンを押して検索状態を解除してください。

■ シャトル再生／ダイレクトシャトル再生

静止画再生中や再生／逆再生中にシャトルを回すと、再生速度を変えることができます。

1 (シャトル再生の場合は・・・)
静止画再生中に、シャトルを回す。

- 再生の速さは、シャトルを回す角度により異なります。
- シャトルから手を離すと、シャトルが中央の位置に戻り、静止画再生に戻ります。



1 高速早戻し（1GB単位）
2 逆方向のスピードサーチ（100MB単位）
3 逆方向のスピードサーチ（10MB単位）
4 逆方向のスピードサーチ（1MB単位）
5 静止画再生
6 順方向のスピードサーチ（1MB単位）
7 順方向のスピードサーチ（10MB単位）
8 順方向のスピードサーチ（100MB単位）
9 高速早送り（1GB単位）

2 (ダイレクトシャトル再生の場合は・・・)
再生中または逆再生中に、シャトルを回す。

- 再生の速さは、シャトルを回す角度により異なります。
- シャトルから手を離すと、シャトルが中央の位置に戻り、静止画再生になります。(再生または逆再生には戻りません。)

■ シャトルホールド

シャトル再生中にシャトルから手を離しても、再生速度を保持することができます。

1 シャトル再生中に、シャトルをその角度で保持したまま、一時停止(シャトルホールド)ボタンを押す。

2 シャトルから手を離す。

- 再生速度を保持します。
- シャトルホールドを解除するときは、一時停止ボタンを押すと静止画再生になります。

■ コマ送り

1 静止画再生中に、ジョグを回す。

- 右に回す　：順方向のコマ送りになる。
- 左に回す　：逆方向のコマ送りになる。
- 右に回し続ける　：順方向の連続コマ送りになる。
- 左に回し続ける　：逆方向の連続コマ送りになる。
- ジョグを回すのをやめる：静止画再生に戻る。

(!) 1画表示のコマ送りの場合は、表示しているカメラ番号の映像を検索しながらコマ送りするため、ジョグを早く回すとコマ送り動作が追いつかなくなることがあります。

■ 逆再生

1　停止中に、逆再生ボタンを押す。

・逆方向の再生になります。再生停止ボタンを押すと、停止します。

➲ **電源を入れたあと、最初に逆再生をした場合は、最後に記録した映像から逆再生を始めます。**

■ 高速早送り／早戻し再生

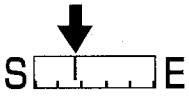
1　停止中に、シャトルを1秒以上回し続ける。

・右に1秒以上回し続ける　：高速早送り再生状態を保持します。（1GB単位）
・左に1秒以上回し続ける　：高速早戻し再生状態を保持します。（1GB単位）
・再生停止ボタンを押す　：停止します。

➲ **最新の記録部分を見たい場合、「HDDリピート再生」を「切」に設定し、停止中にシャトルを右に回したあと、逆再生ボタンを押してください。記録最新部分の終端から逆再生が始まります。また、最古の記録部分を見たい場合、「HDDリピート再生」を「切」に設定し、停止中にシャトルを左に回したあと、再生ボタンを押してください。記録最古部分の初端から再生が始まります。**

➲ **高速早送り／早戻し再生中は、画面下または画面上に現在位置が表示されます。S(スタート)とE(エンド)がHDDの容量の初端と終端を表し、現在位置が「I」で表示されます。約10秒後に自動的に消えます。**

現在位置



■ 再生間隔の変更

再生中または逆再生中は、記録時の記録間隔と同じ間隔で再生されますが、本機では再生間隔を変更することができます。動きの早い記録をゆっくりと連続再生したいとき、長い記録間隔で記録した映像をコマ飛ばしせず早く再生したいとき、などに便利です。

1-1　(動きの早い記録映像をゆっくり再生する場合は・・・)
再生中または逆再生中に、逆再生ボタンを押す。

・再生中または逆再生中は、1カメラあたり8秒間隔で再生されます。

1-2　さらに、再生ボタンを押す。

・押すたびに4秒、2秒、・・・と早い再生間隔に切り換ります。

2-1　(長い記録間隔の記録映像を早く再生する場合は・・・)
再生中または逆再生中に、再生ボタンを押す。

・再生中または逆再生中は、1カメラあたり0.02秒間隔で再生されます。

2-2　さらに、逆再生ボタンを押す。

・押すたびに0.03秒、0.05秒、・・・とゆっくりとした再生間隔に切り換ります。

(!) **再生間隔を変更すると、音声は再生されません。**

(!) **一度再生間隔を変更すると、元の再生間隔に戻しても音声は再生されません。音声を再生したい場合は、一度再生を停止したあと、再び再生を始めてください。**

(!) **一度再生間隔を変更すると、元の再生間隔に戻しても再生間隔は緑色表示されたままです。記録されたときの再生間隔を確認する場合は、一度再生を停止したあと、再び再生してください。**

(!) **再生間隔を変更して、長い記録間隔の映像を早く再生する場合、実際の記録時間に対し画面に表示される記録時間が同期しないときがあります。**

➲ **<時刻・画面表示設定>画面の「画面表示形式」を「2」または「3」に設定して1画表示で再生すると再生間隔が表示されます。再生間隔を記録したときの記録間隔以外に変更すると緑色表示され、画面上で確認することができます。**

いろいろな再生(つづき)

■ 記録中の同時再生

記録を続けながら、記録済みのデータを同時に再生することができます。

- (!) **再生中の映像が、一時的に停止したり、音声が途切れたりすることがあります。**
- (!) **シャトル再生中に映像にノイズが出たりすることがあります。**
- ➡ **分割表示は、記録/再生それぞれ独立して選択することができます。**

■ 最新映像の再生

再生停止中に一時停止/シャトルホールドボタンを押すと、最新の記録部分の終端で静止画再生となります。最新映像を再生するときに便利です。

いろいろなサーチ

本機に搭載しているサーチ機能を使って、見たい映像をすばやく頭出しすることができます。

(!) 本機がサーチ設定中に通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機はサーチ動作に移行しません。また、サーチ中に通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機はサーチを強制停止します。

(!) 通信でライブ画像の取得を要求されている間、本機はサーチできません。

静止画再生中に一画面表示のためにカメラ番号ボタンを押すと、検索動作をします。このとき、記録映像がないカメラ番号、もしくは記録映像が少ないカメラ番号を指定した場合、数時間検索状態が続く場合があります。必要がなければ再生停止ボタンを押して検索状態を解除してください。

■ サーチ方式設定

本機では、サーチボタンを押すとサーチ画面が表示されます。このとき、もう一度サーチボタンを押すと、<サーチ方式設定>画面が表示され、再生デバイス、サーチの種類、サーチするカメラ番号の選択を行うことができます。

◆ サーチ方式

サーチボタンを押したときに、5種類のサーチ機能のうち、どのサーチ画面を表示させるかを選びます。

設定項目（初期設定は「タイムデート」）
「タイムデート」、「記録インデックス」、「アラームインデックス」、「スキップ」、「アラームリスト」

1 サーチボタンを2回押す。
・ 1回押すとサーチ画面が表示され、もう1回押すと<サーチ方式設定>画面が表示されます。

2 ジョグを回して「サーチ方式」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

3 シャトルを左に回す。
・ ステップ2で設定したサーチ画面が表示されます。

4 シャトルを左に回す、またはサーチボタンを押す。

<サーチ方式設定>
»サーチ方式 タイムデート
カメラ選択 全て
再生デバイス選択 HDD (メイン)
HDD (メイン)
開始点 2003-10-01 00:00:00
終了点 2003-10-30 12:30:15

◆ カメラ選択

サーチするカメラ番号を選びます。上記「サーチ方式」を「記録インデックス」に設定すると、「カメラ選択」設定は表示されません。

設定項目（初期設定は「全て」）
「全て」、「①」、「②」、「③」、「④」、「⑤」、「⑥」、「⑦」、「⑧」、「⑨」、「⑩」、「⑪」、「⑫」、「⑫」、「⑬」、「⑭」、「⑮」、「⑯」

「全て」　：カメラ番号1～16のすべてについてサーチし、16分割表示します。
「①」～「⑯」：カメラ番号選択可能なサーチモードでは、該当するカメラ番号のうち、指定条件に合致するサーチを行い、その結果を1画表示します。

1 サーチボタンを2回押して、<サーチ方式設定>画面を表示させる。

2 「カメラ選択」に希望する設定項目を表示させ確定する。

3 シャトルを左に回す。
・ サーチ画面に戻ります。

4 シャトルを左に回す、またはサーチボタンを押す。

<サーチ方式設定>
サーチ方式 タイムデート
»カメラ選択 全て
再生デバイス選択 HDD (メイン)
HDD (メイン)
開始点 2003-10-01 00:00:00
終了点 2003-10-30 12:30:15

◆ リスト検索時間設定

上記、「サーチ方式」を「アラームリスト」に設定しているときのみ、表示されます。アラームリストサーチをする場合に、画面に表示されるリスト数を絞り込むときに使います。（☞ 98,99ページ）

いろいろなサーチ(つづき)

◆再生デバイス選択

再生するHDDを、選択することができます。

設定項目（初期設定は「HDD(メイン)」）
「HDD(メイン)」、「HDD(サブ)」

(!) サーチメニューを表示している間は、再生デバイスボタンによるデバイス選択はできません。

(!) 外部記録機器の記録データを再生する場合は、本機前面部の再生デバイスボタンを押して、再生したいデバイスを選択してください。「再生デバイス選択」設定に外部記録機器の設定項目はありません。

➡ <運用変更・初期化>画面の「HDD記録運用」で「アラームパーティション」を運用設定した場合、設定項目に「HDD(サブ)」が追加されます。

1 サーチボタンを2回押して、<サーチ方式>画面を表示させる。

2 ジョグを回して「再生デバイス選択」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

3 シャトルを左に回す。
・サーチ画面に戻ります。

4 シャトルを左に回す、またはサーチボタンを押す。

➡ 開始点/終了点表示
再生デバイスボタンで選択されたデバイスの記録開始点/終了点の日時を表示します。サーチ時の目安となります。

<サーチ方式設定>
サーチ方式　タイムデート
カメラ選択　全て
»再生デバイス選択　HDD (メイン)
HDD (メイン)
開始点　2003-10-01 00:00:00
終了点　2003-10-30 12:30:15

■タイムデートサーチ

(☞ 32,33ページ「◆ タイムデートサーチ」)

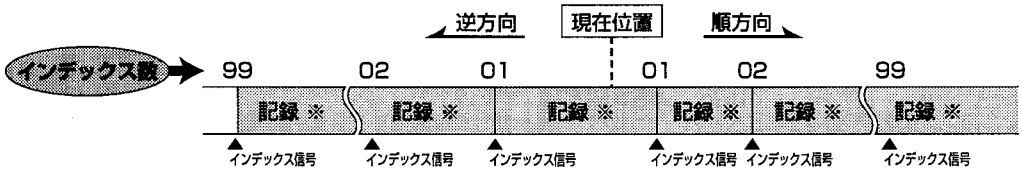
■記録インデックスサーチ／アラームインデックスサーチ

本機では、記録開始時に自動的にインデックス信号がHDDに書き込まれるようになっています。このインデックス信号をサーチして、その信号の記録されているところを頭出しすることができます。

本機のインデックスサーチには、次の2種類の方法があります。
・<記録インデックスサーチ>　：通常記録を開始したときに書き込まれたインデックス信号をサーチします。
・<アラームインデックスサーチ>：アラーム記録を開始したときやエマージェンシー記録を開始したときに書き込まれたインデックス信号をサーチします。

本機では、順方向／逆方向とも最大99までのインデックス数をサーチすることができます。

<記録／アラームインデックスサーチ>の場合のインデックス数の数えかた



※ <記録インデックスサーチ>の場合は、「通常記録」になります。
<アラームインデックスサーチ>の場合は、「アラーム記録」または「エマージェンシー記録」になります。

1 サーチボタンを押す。
・前記、「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

➡ 「記録インデックスサーチ」を選択した場合、「カメラ選択」設定は表示されません。

2 (画面に希望するサーチ画面が表示されていない場合のみ・・・)
前記、「サーチ方式」の設定を変更して、<記録インデックスサーチ>画面または<アラームインデックスサーチ>画面を表示させる。

・通常記録を開始したときのインデックス信号をサーチする場合は、<記録インデックスサーチ>画面を表示させます。
・アラーム記録やエマージェンシー記録を開始したときのインデックス信号をサーチする場合は、<アラームインデックスサーチ>画面を表示させます。
・<記録インデックスサーチ>／<アラームインデックスサーチ>のサーチ後は・・・

<記録インデックスサーチ>の場合
常に16分割表示されます。

<アラームインデックスサーチ>の場合
前記、「カメラ選択」を「全て」に設定した場合は、16分割表示されます。
カメラ番号を個別に選択した場合は、1画表示の静止画再生になります。

(!) アラームパーティション運用中に、「アラームインデックスサーチ」を行う場合、「再生デバイス選択」を「HDD(サブ)」に設定してください。

プリアラーム記録部分の開始インデックス信号が書き込まれるカメラ番号とアラームリストに表示されるカメラ番号が同一にならない場合があります。

<記録インデックスサーチ>

>>インデックス数　01

実行（順方向）
実行（逆方向）
HDD（メイン）
開始点サーチ実行　2003-10-01 00:00:00
終了点サーチ実行　2003-10-30 12:30:15

サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

<アラームインデックスサーチ>

>>インデックス数　01

実行（順方向）
実行（逆方向）
HDD（サブ）
開始点サーチ実行　2003-10-01 00:00:00
終了点サーチ実行　2003-10-30 12:30:15

サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

3 「インデックス数」に希望するインデックス数を表示させ確定する。

4 「実行(順方向)」、または「実行(逆方向)」を選択し、確定する。

・「実行(順方向)」：順方向にサーチを開始します。
・「実行(逆方向)」：逆方向にサーチを開始します。

・サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押して解除してください。
・インデックス信号が記録されていない場合は、サーチを実行しません。通常画面に戻るときは、サーチボタンを2回押してください。

インデックスの間隔が長い場合、検索に数時間かかる場合があります。

5 サーチ結果を再生する。

・再生ボタン(逆再生ボタン)、または一時停止ボタンを押す。

6 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

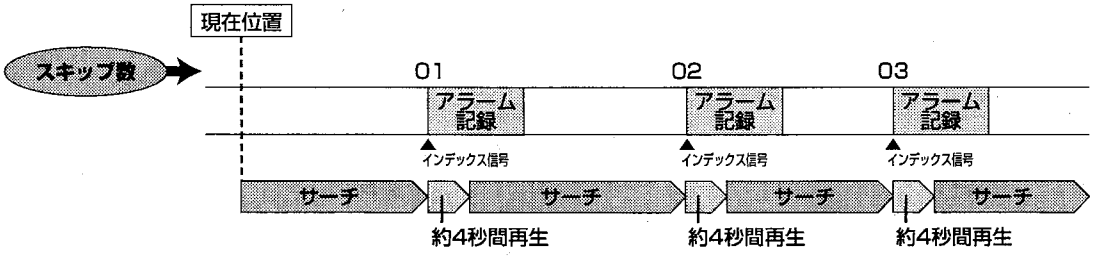
(!) 16分割表示の静止画再生中に、希望するカメラ番号の1画表示に変更したい場合は、カメラ番号ボタンを押してください。

(!) インデックス信号の記録状態によっては、正しくサーチできないことがあります。

■スキップサーチ

アラーム記録のインデックス信号が記録されているところまでサーチを行い、約4秒間ずつ再生することができます。

<スキップサーチ>（順方向）の場合の動作



1 サーチボタンを押す。

・前記、「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

2 (画面に希望するサーチ画面が表示されていない場合のみ・・・)
前記、「サーチ方式」の設定を変更して、<スキップサーチ>画面を表示させる。

3 「実行(順方向)」または「実行(逆方向)」を選択し、確定する。

- 「実行(順方向)」：順方向にサーチを開始します。
- 「実行(逆方向)」：逆方向にサーチを開始します。
- サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押して解除してください。
- スキップサーチのサーチ結果再生中は、前記、「カメラ選択」で「全て」を選択した場合、個別のカメラ番号を選択した場合、共に16分割表示の再生になります。
- 通常画面に戻る場合は、サーチボタンを2回押してください。

(!) アラームパーティション運用中に、「スキップサーチ」を行う場合、「再生デバイス選択」を「HDD(サブ)」に設定してください。

➡ インデックスの間隔が長い場合、検索に数時間かかる場合があります。

➡ スキップサーチの16分割表示の再生中、希望するカメラ番号ボタンを押すとそのカメラ番号の映像が1画表示再生になります。

<スキップサーチ>

>>実行 (順方向)
実行 (逆方向)

サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

4 再生したい映像が映ったら、一時停止ボタンを押し、その後再生ボタンを押す。

5 スキップサーチをやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

(!) インデックス信号の間隔が4秒以下の場合に逆方向のスキップサーチをすると、その部分を繰り返し再生することがあります。そのときは、再生停止ボタンを押して一度スキップサーチをやめ、該当部分を逆再生などで越えてからもう一度逆方向のスキップサーチを行ってください。

(!) インデックス信号の記録状態によっては、正しくサーチできないことがあります。

■ アラームリストサーチ

本機では、アラーム記録やエマージェンシー記録が始まると、アラームリストにアラーム記録やエマージェンシー記録の開始時刻を登録するようになっています。このアラームリストに登録されたアラーム記録(エマージェンシー記録)開始時刻の中から、希望する時刻(またはその時刻に最も近い時刻)の映像を頭出しすることができます。

➡ アラーム記録(エマージェンシー記録)開始時刻は、最大10000件まで登録・表示可能です。

➡ アラームリストのうち、後面部のALARM IN端子が接地された場合は白色で、動きを検出した場合は緑色で、EMERGENCY端子が接地された場合は赤色で、表示されます。

(!) アラームリストを消去するには、<HDD(メイン)データ消去>画面 (<HDD(サブ)データ消去>画面) でデータの消去を行ってください。データ消去をすると、映像データを含むHDD内のすべてのデータが消去されますのでご注意ください。次回、アラーム記録時は00001から連番で登録されます。

1 サーチボタンを押す。

- 前記、「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

➡ HDDを増設している場合やアラームリストの登録件数が多い場合には、アラームリストの表示完了まで時間がかかるときがあります。

<サーチ方式設定>
サーチ方式 アラームリスト
>>カメラ選択 全て
リスト検索時間設定 ****-**-** **:**:**
再生デバイス選択 HDD (メイン)

HDD (メイン)

開始点 2003-10-01 00:00:00
終了点 2003-10-30 12:30:15

2 (画面に希望するサーチ画面が表示されていない場合のみ・・・) 前記、「サーチ方式」の設定を変更して、<アラームリストサーチ>画面を表示させる。

(!) アラームリストにエマージェンシー記録開始時刻を表示させる場合は、<サーチ方式設定>画面の「カメラ選択」設定を「全て」にしてください。アラームリストに表示されるアラーム入力やカメラ番号の位置に、エマージェンシー記録を表す「EMR」が表示されます。

➡ 「アラーム入力」がアラームを入力したセンサー番号を表わし、「カメラ番号」が記録を開始したカメラを表わします。

(!) アラーム入力に対応するカメラが記録カメラに設定されていない場合は、一番若い番号のカメラをリストに登録します。

アラーム入力
カメラ番号

<アラームリストサーチ>
>>00004 2003-10-01 04:00:00 ① 1
00003 2003-10-01 03:00:00 EMR
00002 2003-10-01 02:00:00 ① 1
00001 2003-10-01 01:00:00 EMR

サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

(!) アラームパーティション運用中に、「アラームリストサーチ」を行う場合、「再生デバイス選択」を「HDD(サブ)」に設定してください。

➡ 動きの検出と後面のALARM IN端子の接地が同時に多数発生した場合、アラームリストにその開始時刻すべてを登録できない場合があります。その場合、一番若い番号のカメラがアラームリストに登録されます。

3 希望するアラームリスト番号を選択し、シャトルを右に回して確定する。

- ▲ボタン／ジョグを左に回す：選択が次の番号に移動します。
- ▼ボタン／ジョグを右に回す：選択が前の番号に移動します。
- ▶ボタン：開いているページより古い日時のページを表示します。
- ◀ボタン：開いているページより新しい日時のページを表示します。
- サーチを実行しない場合は、サーチボタンを2回押して解除してください。
- アラームリストサーチのサーチ後は、前記、「カメラ選択」で「全て」を選択した場合、カメラ番号を個別に選択した場合どちらも1画表示の静止画再生になります。

(!) プリアラーム記録部分の開始インデックス信号が書き込まれるカメラ番号と、アラームリストに表示されるカメラ番号が同一にならない場合があります。

(!) 「HDD(メイン)リピート記録」設定を「切」、「記録待機」のいずれかに、「HDD(サブ)リピート記録」設定を「切」に設定し、HDDの終端でアラーム記録(エマージェンシー記録)が入った場合、その記録はアラームリストに登録されず、そのリスト番号が欠番になり表示されないときがあります。

➡ <アラームリストサーチ>画面を表示中にアラーム記録(エマージェンシー記録)が始まった場合、一度<アラームリストサーチ>画面を抜けて、再び表示させてください。新しいリスト番号が追加されます。

➡ <サーチ方式設定>画面の「リスト検索時間設定」を用いると、画面に表示されるリスト数を絞り込むことができます。

1 サーチボタンを押して、<サーチ方式設定>画面を表示させる。
2 「リスト検索時間設定」に検索を希望する年月日、時刻を設定し、確定する。
3 シャトルを左に回すと、指定した条件に一致したリストのみ表示される。

4 サーチ結果を再生する。

- 再生ボタン、または一時停止ボタンを押す。

5 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

■開始点サーチ／終了点サーチ

<タイムデートサーチ>、<記録インデックスサーチ>、<アラームインデックスサーチ>で再生デバイスボタンで選択されたデバイス(メディア)の記録開始点／終了点をサーチし、それらの部分を頭出しすることができます。

1 サーチボタンを押す。

- 前記、「サーチ方式」で選択されているサーチ画面が表示されます。

<タイムデートサーチ>

2003-01-01 00:00:00 実行

CFC
>>開始点サーチ実行 2003-10-01 00:00:00
終了点サーチ実行 2003-10-30 12:30:15

サーチボタンを押すとサーチ方式設定に入ります

2-1 (最も古い記録部分を頭出しする場合は・・・)
ジョグを回して「開始点サーチ実行」を選択し、シャトルを右に回す。

2-2 (最後の記録部分を頭出しする場合は・・・)
ジョグを回して「終了点サーチ実行」を選択し、シャトルを右に回す。

3 サーチ結果を再生する。

- 再生ボタン、または一時停止ボタンを押す。

4 再生、静止画再生をやめる場合は、再生停止ボタンを押す。

(!) 16分割表示の静止画再生中に、希望するカメラ番号の1画表示に変更したい場合は、カメラ番号ボタンを押してください。

コピーのしかた

■ コピー/リストアのしかた

HDD(メイン)、HDD(サブ)の記録内容をコピー機器やコンパクトフラッシュカードへコピーしたり、バックアップ機器、コピー機器やコンパクトフラッシュカードの記録内容をHDD(メイン)へリストアしたりすることができます。

設定項目

「HDD(メイン)→CFC」 : HDD(メイン)の記録データをコンパクトフラッシュカードにコピーします。

「HDD(サブ)→CFC」 : HDD(サブ)の記録データをコンパクトフラッシュカードにコピーします。

「HDD(メイン)→コピー」 : HDD(メイン)の記録データをコピー機器にコピーします。

「HDD(サブ)→コピー」 : HDD(サブ)の記録データをコピー機器にコピーします。

「BAK→HDD(メイン)」 : バックアップ機器の記録データをHDD(メイン)へリストアします。

「コピー→HDD(メイン)」 : コピー機器の記録データをHDD(メイン)へリストアします。

「CFC→HDD(メイン)」 : コンパクトフラッシュカードの記録データをHDD(メイン)へリストアします。

(!) **「HDD(メイン)→コピー」、「BAK→HDD(メイン)」、および「コピー→HDD(メイン)」は、<運用変更・初期設定>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に設定した場合に表示されます。**

(!) **「HDD(サブ)→CFC」は、<運用変更・初期設定>画面の「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に設定した場合に表示されます。**

(!) **「HDD(サブ)→コピー」は、<運用変更・初期設定>画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に、「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に設定した場合に表示されます。**

(!) **コンパクトフラッシュカードをご使用になる前に、コンパクトフラッシュカードの取扱説明書で使用上の注意などを確認してください。**

1-1 (コンパクトフラッシュカードにコピーする場合は・・・)
コンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。

1-2 コピーボタンを押す。
・<コピー>画面が表示されます。

1-3 「転送動作」に、「HDD(メイン)→CFC」または「HDD(サブ)→CFC」を表示させ確定する。

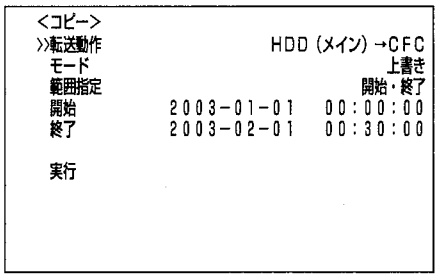
2-1 (コピー機器にコピーする場合は・・・)
コピー機器を、本機に接続する。

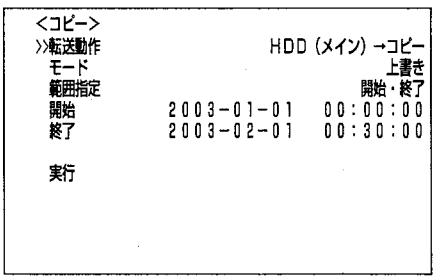
(!) **コピーを行う前に、ID5に正しくコピー機器が接続および設定されているか確認してください。**

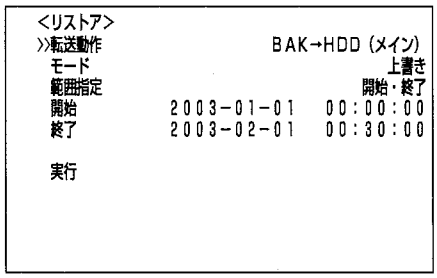
2-2 コピーボタンを押す。
・<コピー>画面が表示されます。

2-3 「転送動作」に、「HDD(メイン)→コピー」または「HDD(サブ)→コピー」を表示させ確定する。

3-1 (バックアップ機器・コピー機器・コンパクトフラッシュカードからリストアする場合は・・・)
コピーボタンを押す。
・<コピー>画面が表示されます。







3-2 「転送動作」に、希望する設定(「BAK→HDD(メイン)」、「コピー→HDD(メイン)」、または「CFC→HDD(メイン)」)を表示させ確定する。

➡「BAK→HDD(メイン)」、「コピー→HDD(メイン)」、または「CFC→HDD(メイン)」設定を選択した場合、メニューが<リストア>に変わります。

4 ジョグを回して「モード」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

・設定項目(初期設定は「上書き」)
「上書き」:記録内容を上書きします。
「追記」 :記録内容を追記します。

(!) 転送動作、モード:「上書き」を設定し実行した場合、コンパクトフラッシュカードの記録データ、メニューデータの区別無く、全記録データに対し、上書きします。ご注意ください。

5 ジョグを回して「範囲指定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

・設定項目(初期設定は「開始・終了」)
「開始・終了」 : 記録開始・終了日時を設定します。
「開始」 : 記録開始日時のみを設定します。
「最新データ」 : コピーをするデバイスの記録が可能な容量に応じて、記録の終了点までコピーする。

6 ジョグを回して「開始」を選択し、希望するコピー(リストア)開始日時・時刻を表示させ確定する。

*7 (ステップ5で「開始・終了」を設定した場合のみ・・・)
ジョグを回して「終了」を選択し、希望するコピー(リストア)終了日時・時刻を表示させ確定する。*

8 ジョグを回して「実行」を選択し、シャトルを右に回す。
・コピー(リストア)が実行されます。
・コピー(リストア)を実行しない場合は、シャトルを左に回すか、コピーボタンを押してください。

(!) コンパクトフラッシュカード、DDSメディア、またはRDDメディアが挿入されていない状態で、コピーまたはリストアを実行すると、「コピー/メディア無し」または「リストア/メディア無し」警告が表示されます(☞ 150ページ)。

(!) コピー範囲がコンパクトフラッシュカードの空き容量を上回る場合は、コピー実行時に画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されます(☞ 150ページ)。そのときは、コピー範囲を狭めてもう一度設定するか、空き容量の大きいカード、DDSメディア、またはRDDメディアを入れてください。

(!) コピー範囲にデータの無い日が含まれていると、画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されますので、ご注意ください(☞ 150ページ)。

(!) コンパクトフラッシュカード、DDSメディア、またはRDDメディアにリストアするデータが存在しない場合は、リストアを実行時に「リストア/サイズエラー」が表示されます(☞ 150ページ)。

(!) 当社独自フォーマット(FSM2)のコンパクトフラッシュカードまたはCD-R/RWメディアと異なるフォーマットのメディアからのリストア実行時には、「リストア/メディアエラー」が表示されます(☞ 150ページ)。

(!) 使用可能なコンパクトフラッシュカードについては、販売店にご確認ください。

(!) コピー範囲が正しく設定されていなくても、システム上データをコピーする場合があります。

コピーのしかた(つづき)

➡ コンパクトフラッシュカードへのコピー可能な記録時間については、☞147ページ。

➡ 映像は、1MB単位で管理されています。そのため、コピーをする場合、指定範囲を含む1MB単位でコピーされます。

■ レコーダーからビデオテープにコピーする

本機が記録中でも、コピーすることができます。アナログビデオ記録装置の録画の操作については、アナログビデオ記録装置の取扱説明書をごらんください。

1 [アナログビデオ記録装置] 録画の準備をする。

・必ず、入力切換を本機を接続している外部入力にしてください。

2 [本機] 分割／シーケンスボタンを押して、再生する画面の種類を選ぶ。(☞43ページ)

・1画、4分割(a~d)、9分割表示(a、b)、16分割表示が選べます。

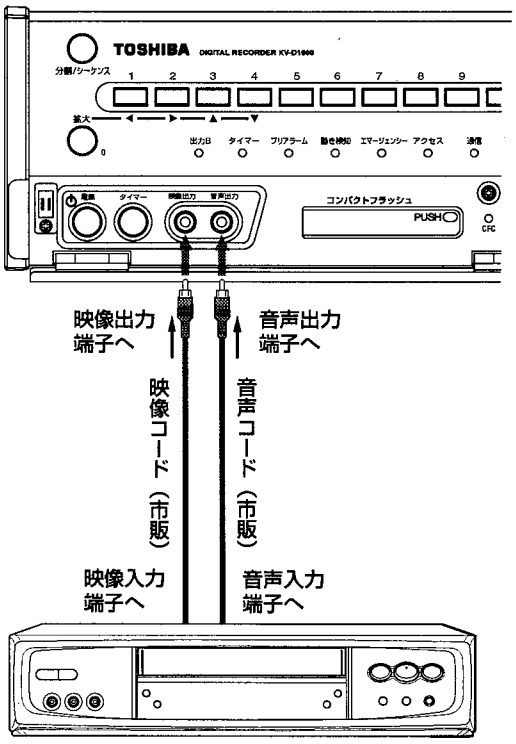
3 [本機] サーチ機能を使って、コピーしたい場面を頭出しする。(☞99ページ「開始点サーチ/終了点サーチ」)

4 [アナログビデオ記録装置] 録画を始める。

5 [本機] 再生ボタンを押して、再生を始める。

6 コピーをやめる場合は、[本機]の再生停止ボタンを押して再生を停止させたあと、[アナログビデオ記録装置]の録画を停止する。

ⓘ ビデオテープには、画面に表示されているカメラ番号の映像のみが、コピーされます。



アナログビデオ記録装置

便利な機能について

■ 停電補償回路

本機は停電補償回路を内蔵していますので、48時間以上の充電(フル充電時)を行えば非通電状態でも日付・時刻の設定、タイマー記録やメニュー画面の設定は約1ヵ月間保たれます。
長い期間電源プラグがコンセントから外れていると、時刻精度が多少悪くなります。このような状態が続いたときは、現在時刻設定を確認することをおすすめします。

■ 停電復帰記録

記録中に停電しても、停電復帰後に再び記録を開始します。タイマー記録中に停電すると、設定時間内であれば停電復帰後に再び記録を開始します。アラーム記録中は、設定記録時間内でも記録を停止します。

(!) 記録中に停電が発生した場合、停電直前から最大6MBの映像や音声が記録されません。

➡ アラーム記録中、エマージェンシー記録中に停電が発生した場合、停電復帰後アラーム記録、エマージェンシー記録は解除されます。

➡ 記録を開始した場合、システムログリストに「REC ON」が登録されますが、停電復帰後の記録再開時には「REC ON」は登録されません。

➡ 停電復帰後に再び記録を開始したところは、再生映像が一部乱れたり、サーチ機能が正常に働かないことがあります。

■ 本機稼動中の停電発生、後面部MAINスイッチOFF操作時の履歴の記録

停電発生ならびに後面部のMAINスイッチ OFF操作時の日時情報と障害履歴表示が、他の障害履歴と合わせて最大1000件まで、システムログリスト(☞ 75ページ)に登録され、画面上に赤字で「P-LOSS」が表示されます。

➡ タイマー記録待機中に発生した停電に対し、停電を示す「P-LOSS」は登録されません。また、タイマー記録開始時刻をまたぐ停電やタイマー記録開始時刻以前に発生し、記録終了時刻後に復帰した停電についても登録されません。

■ RESETボタン

本体後面部のRESETボタンをボールペンなどで押すと、初期状態となり電源が切れます。

➡ このときメニュー設定、現在時刻、および映像データは、そのまま取り消されず保持されます。

■HDD記録運用

本機は、HDDの記録運用としてミラーリングとアラームパーティションを選択することができます。

設定項目（初期設定は「通常」）
「通常」、「ミラーリング」、「アラームパーティション」

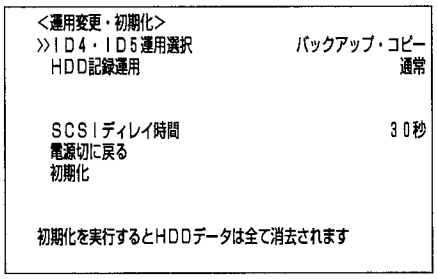
◆ミラーリング

同じ容量の2台のHDDに同じデータを記録することにより、突然のHDDクラッシュによるデータ損失という心配が大幅に軽減されます。

1 本機後面部のMAINスイッチをONにして、アクセスインジケーターが消灯したあと、記録/停止ボタンを押したまま、前面部の電源ボタンを押す。

・画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。起動が完了すると、＜運用変更・初期化＞画面が表示されます。

(!) アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。

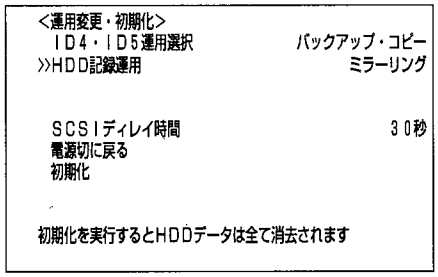


2 ジョグを回して「HDD記録運用」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「ミラーリング」を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。



4 ジョグを回して「初期化」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、初期化が実行されたあと、通常画面が表示されます。

(!) 「初期化」を実行しなければ、設定変更は確定されません。

(!) 「初期化」を実行すると、HDDのデータはすべて消去されます。ご注意ください。

ミラーリングに関する注意事項

	グループ1	グループ2
ペアー1	内部A	内部B
ペアー2	ID0	ID1
ペアー3	ID2	ID3
ペアー4	ID4	ID5

・ミラーリングは、内部HDDおよびHDDを用いた外部記録機器にのみ運用できます。ミラーリングの組合せは右図のとおりで、これ以外に組合せることはできません。ペアー4は、ID4・ID5にHDDを接続し、「ID4・ID5運用選択」で「増設HDD」を選択したときのみ運用が可能です。

・記録データをリストアする場合は、両方のHDDに同じデータがリストアされます。

・ミラーリング運用中に、「HDD(メイン)データ消去」を行うと、両方のHDDのデータが消去されます。

・HDD/ミラーに障害が発生した場合、システムログリストへ登録されます。

・HDD/ミラーのいずれかが故障した場合は、画面に「ミラーHDD障害」と 警告表示され、正常なHDDのみで記録を続けます。警告表示を消すには、本機前面部の警告消去ボタンを押してください。

・警告表示「ミラーHDD障害」は、故障したHDDを交換するまで、起動時に常に表示されます。

・HDDを交換する場合、正常なHDDとの交換後の起動時にデータの同期化が開始されます。

・ペアー1の内部A HDDと内部B HDDが同時に壊れると、データ修復はできません。ペアー2、ペアー3、ペアー4についても同様に修復できません。

・故障したHDDを修理、取り換える場合、データの復旧は、販売店にご相談ください。

◆アラームパーティション/サブデバイス容量

内部HDDとHDDを用いた外部記録機器にのみ運用できます。アラームパーティション運用は、それぞれのHDDに対しサブデバイス容量として指定した領域をアラーム記録専用として、HDD内に独立パーティションエリアを設け、アラーム記録をすることができます。

➡ **通常記録領域を「HDD(メイン)」、アラーム記録領域を「HDD(サブ)」と呼びます。**

(!) **「初期化」を実行しなければ、設定変更は確定されません。**

(!) **「初期化」を実行すると、HDDのデータはすべて消去されます。ご注意ください。(必要なデータはあらかじめバックアップを行ってください。)**

1 本機後面部のMAINスイッチをONにして、アクセスインジケーターが消灯したあと、記録/停止ボタンを押したまま前面部の電源ボタンを押す。

・画面に「セットアップ中」が表示され起動を始めます。起動が完了すると、<運用変更・初期化>画面が表示されます。

(!) **アクセスインジケーター点滅中は、電源ボタンを押しても受け付けません。インジケーターが消灯してから電源ボタンを押してください。**

2 ジョグを回して「HDD記録運用」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「アラームパーティション」を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、点滅がとまります。
・<運用変更・初期化>画面に「サブデバイス容量」設定が表示されます。

4 希望する「サブデバイス容量」を表示させ、シャトルを右に回す。

・設定項目が確定します。
・設定項目(初期設定は「10%」)
「10%」、「20%」、「30%」、「40%」、「50%」、「60%」、「70%」、「80%」、「90%」

➡ **<運用変更・初期化>画面のHDD記録運用を「アラームパーティション」に運用設定した場合、<見積り時間>は、HDD(メイン)に記録可能な見積り時間の表示となり、<記録運用設定>画面の右下にHDD(メイン)に割り当てられた領域が表示されます。**

5 ジョグを回して「初期化」を選択し、シャトルを右に回す。

・設定が確定し、初期化が実行されます。

<運用変更・初期化>
»ID4・ID5運用選択　バックアップ・コピー
HDD記録運用　アラームパーティション
サブデバイス容量　10%

SCSIディレイ時間　30秒
電源切に戻る
初期化

初期化を実行するとHDDデータは全て消去されます

⑯ 0.53秒 ハイ　0.53秒 ハイ
プリアラーム記録設定　(最長:□□秒)　□□秒
シャトルくくで戻る
<見積り時間>　□日□□時間□□分　□□%

アラームパーティションに関する注意事項

- **記録データをバックアップ・コピーする場合は、「HDD(メイン)」、「HDD(サブ)」のいずれかを選択可能です。**
- **再生、検索、情報表示、残量検出位置、CALL OUT、データ消去は、「HDD(メイン)」、「HDD(サブ)」それぞれ個別に独立して設定が行えます。**
- **「HDD(サブ)リピート記録」の設定が「切」の場合、HDD(サブ)の記録容量が無くなるとアラーム記録をとめます。そのあと、アラームが入ってもインジケーターは点滅しますが、記録は行いません。**
- **バックアップは、1MB単位でデータを転送するシステム上、HDDにある最新記録部分の最大1MBについては、バックアップが遅れる場合がありますので、バックアップ元デバイスを変更するときは、ご注意ください。**
- **「アラームCH」運用時に、通常記録に運用されていないカメラ番号にアラーム信号が入った場合、プリアラーム記録されないときがあります。**

便利な機能について(つづき)

■ カメラ表示設定

映像信号の有無にかかわらず、指定したカメラ番号の映像を非表示に設定することができます。

設定項目（初期設定は「する」）
「する」、「しない」

➲「カメラ表示設定」を「しない」に設定中に、カメラの故障などにより映像が途切れた場合、画面上に警告は表示されず、ブザー設定を「警告」にしているとき、ブザーが鳴ります。また、システムログリストに記録され、CALL OUT信号が出力されます。

➲記録運用に設定しているカメラで、カメラ表示設定を「しない」にした場合でも、画面非表示の状態で記録は行われます。

(!) カメラ表示設定を「しない」に設定した場合、再生映像は表示されず、黒く表示されます。また、アラームディスプレイ設定も機能しません。再生映像を見る場合は、「する」に設定変更してください。

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面を表示中に、警告消去ボタンを5秒以上押し続ける。
・ <カメラ表示設定>画面が表示されます。

➲<カメラ表示設定>画面は2画面構成になっています。カーソルが「次画面・・・」の左どなりにある状態でシャトルを右に回すと、次画面が表示されます。

2 ジョグを回して設定するカメラ番号を選択し、シャトルを右に回す。
・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「しない」を選択し、シャトルを右に回す。
・ 設定が確定し、点滅がとまります。
・ 設定したカメラ番号の画面が黒色画面になります。

4 引き続き、他のカメラ番号を設定する場合は、ステップ2、3の操作を繰り返す。

5 すべての設定が完了したら、シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<カメラ表示設定> （1/2画面）

<カメラ表示設定>

カメラ	表示
››①	する
②	する
③	する
④	する
⑤	する
⑥	する
⑦	する
⑧	する
⑨	する

次画面：ここでシャトル>> シャトル<<で戻る

<カメラ表示設定> （2/2画面）

<カメラ表示設定>

カメラ	表示
››⑩	する
⑪	する
⑫	する
⑬	する
⑭	する
⑮	する
⑯	する
アラームディスプレイ	切

シャトル<<で戻る

1	2	3	4
	6		8
9	10	11	12
13	14	15	16

◆ アラームディスプレイ

アラーム信号入力時にアラームの入った映像を1画表示させる設定です。アラーム記録中に別のアラーム信号が入った場合、最新のアラーム信号が入ったカメラ映像が1画表示されます。アラーム記録完了後は、元の画面表示に戻ります。

設定項目（初期設定は「切」）
「切」、「入」

1 設定ボタン → <設定> → <マルチプレクサ設定>画面を表示中に、警告消去ボタンを5秒以上押し続ける。
・ <カメラ表示設定>画面が表示されます。

2 <カメラ表示設定>2/2画面を表示させ、ジョグを回して「アラームディスプレイ」を選択し、シャトルを右に回す。
・ 設定項目の背景が赤色表示に変わり、点滅します。

3 ジョグを回して「入」を選択し、シャトルを右に回す。
・ 設定が確定し、点滅がとまります。

4 シャトルを左に回す、または設定ボタンを押す。

<カメラ表示設定> （2/2画面）

<カメラ表示設定>

カメラ	表示
⑩	する
⑪	する
⑫	する
⑬	する
⑭	する
⑮	する
⑯	する
››アラームディスプレイ	切

シャトル<<で戻る

Webブラウザによる通信

■ Webブラウザによる通信

本機に接続されているカメラのライブ画像や記録済み画像を、パーソナルコンピューターのWebブラウザにより取得できます。

(!) Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。(Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。)その他、記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では"®"は表記していません。

- **Windows 98SEは、Microsoft Windows 98 Second Edition の略称として表記しています。**
- **Windows 2000は、Microsoft Windows 2000 Professional の略称として表記しています。**
- **Windows Meは、Microsoft Windows Millennium Edition の略称として表記しています。**
- **Windows XPは、Microsoft Windows XP Home Edition/Professional の略称として表記しています。**

◆ パーソナルコンピューターの動作環境

・OS	：	Microsoft Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me、またはWindows XP
・CPU	：	Intel Pentiumシリーズの500MHz以上のCPUを搭載したIBM PC/AT互換機
・RAM	：	256MB以上
・HDD	：	200MB以上のシステムドライブ空き容量
・Webブラウザソフト	：	Microsoft Internet Explorer 5.01SP2以上
・表示デバイス	：	XGA(1024pixel x 768pixel)以上

(!) 上記環境のすべてのパーソナルコンピューターで動作を保証するものではありません。

(!) Web機能はパーソナルコンピューターの周辺ドライバとの相性により、ごくまれに正常に動作しないことがあります。このようなときは、最新のInternet Explorerにバージョンアップして再びお試しください。(＊Internet Explorerの将来のバージョンすべてについて動作を保証するものではありません。)

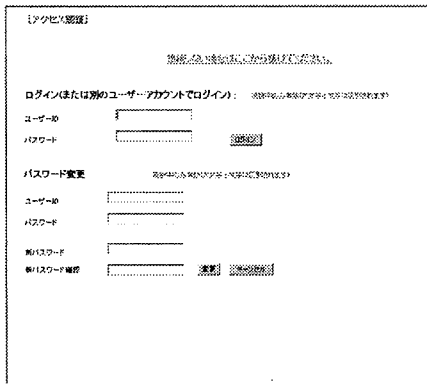
◆ 接続について

・本機とパーソナルコンピューター(以下、PC)を直接繋ぐ場合はクロスケーブルを、HUBを介して繋ぐ場合はストレートケーブルを使用してください。
・DUPLEXモードは、HALF DUPLEXです。
・PC側のWeb設定をする場合は、PCの取扱説明書をごらんください。

◆ アクセス認証

Microsoft Internet Explorerを立上げて、ログインします。

1 Microsoft Internet Explorer を立上げ、IPアドレスを入力する。
・「[アクセス認証]」画面が表示されます。



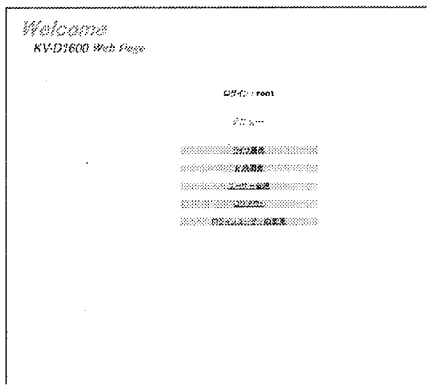
2-1 (ログインする場合は ・・・)
「ユーザーID」、「パスワード」の順に入力する。工場出荷状態では、全権ユーザーとしてユーザーIDが「root」、パスワードが「admin000」と、ライブユーザーとしてユーザーIDが「guest」、パスワードが「guest」として設定されています。

(!) 同じユーザーID、パスワードで同時に複数人のログインが可能です。

(!) 権限によっては制約があります。同時に接続できる最大ユーザー数は10名です。

Webブラウザによる通信(つづき)

2-2 「ログイン」を選択し、左クリックまたはENTERを押す。
・「Welcome」画面が表示されます。



3-1 (ユーザーID、パスワードを入力間違いした場合は・・・)
・「[アクセス拒否]」画面が表示されます。

3-2 「[アクセス認証画面に戻る]」を選択し、左クリック、またはENTERを押す。
・「[アクセス認証]」画面が表示されます。

3-3 ステップ2-1に従い、正しい「ユーザーD」、「パスワード」を入力する。

4-1 (ログインしない場合は・・・)
「接続しない場合はここから抜けてください。」を選択し、左クリックする。

4-2 「接続認証用セッションIDは破棄されました。再接続するためにはWebブラウザを閉じてキャッシュをいったんクリアしてください。」が表示されます。Webブラウザを終了してください。

5-1 (パスワードを変更する場合は・・・)
「[アクセス認証]」画面では、パスワードの変更権限を持っているユーザーのみ、パスワードを変更することができます。画面指示に従い、現在の「ユーザーID」、「パスワード」を入力する。

5-2 「新パスワード」、「新パスワード確認」に新しいパスワードを入力する。

(!) パスワードは、登録できる文字数が大文字小文字を区別したアルファベット、および数字で16文字までです。スペースは使用できません。

5-3 新しいパスワードに変更する場合は「変更」を選択し、左クリックまたはENTERを押す。やめる場合は、「キャンセル」を選択し、左クリック またはENTERを押す。

◆ Welcome

この画面では、ライブ画像を取得し表示する「ライブ画像」、記録済み画像を取得し再生する「記録画像」、ユーザー権限に関する設定をする「ユーザー管理」、作業を終了するための「ログアウト」、またはログインユーザーの変更を行なう「ログインユーザーの変更」を「メニュー」から選択します。

(!) ユーザーの権限によっては、選択できないメニューがあります。

(!) 本機が再生中、サーチ機能の設定中、またはサーチ中に、通信でライブ画像の取得を要求された場合、本機は再生、サーチを停止します。

(!) 通信でライブ画像の取得を要求されている間、本機は再生、サーチができません。

(!) 通信時の転送レートは、通信環境およびレコーダーの負荷状況により一定ではありません。安定した通信を行うため、使用状態に応じた適正な画像転送速度でご使用ください。

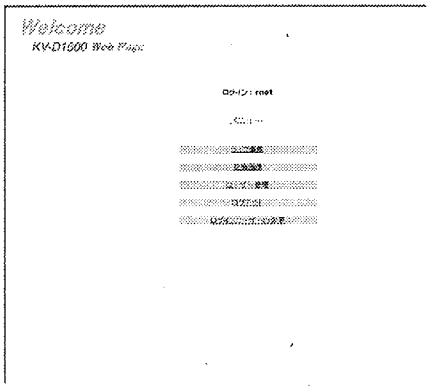
(!) ユーザーのセッションID(接続情報)は、画像取得を含む最後の通信から5分で失われます。クライアントPCからのデータ要求が5分以上途絶えた場合、それ以降の操作ができませんので、Webブラウザを一旦終了して再びログインしなおしてください。

(!) レコーダーの電源ボタンが点灯しているときに、ライブ・記録画像を取得できます。

1 希望する「メニュー」を選択し、左クリックする。

・ライブ画像

ライブ画像を取得し、PC画面上に画像を表示します。



1 「ライブ画像」を選択し、左クリックする。

・「ライブ画像」画面が表示されます。

(!) PCのWebブラウザで初めて画像を取得する場合、以下の設定を行ってください。

1 Microsoft Internet Explorerを立上げる。

2 メニューバーの"ツール(T)"の"インターネット オプション(O)"を選択し、左クリックする。

・"インターネット オプション"画面が表示されます。

3 "セキュリティ"の"レベルのカスタマイズ(C)"を左クリックする。

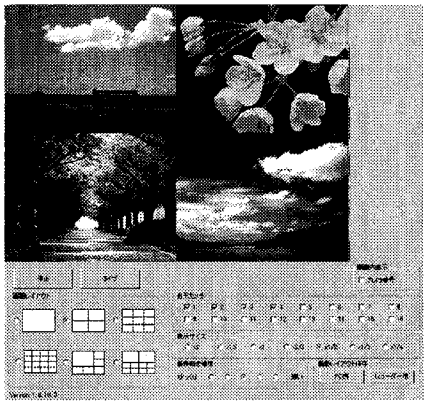
・"セキュリティの設定"画面が表示されます。

4 "ActiveX コントロールとプラグイン" の"未署名のActiveX コントロールのダウンロード"で"有効にする"を左クリックする。

5 画像の取得が完了したら、2、3の手順を繰り返し、"セキュリティの設定"画面を表示させる。そして、"ActiveX コントロールとプラグイン"の"未署名のActiveX コントロールのダウンロード"で"無効にする"を左クリックする。

(!) レコーダーからのライブ画像を取得する場合は、<出力B 入/切>設定を「入」にしていると、ライブモニター画面の更改速度が遅くなります。<出力B 入/切>設定を「切」に設定することをおすすめします。

<<機能説明>>



停止	：	画像の取得をやめます。
ライブ	：	画像の取得を開始(再開)します。
画面内表示	：	カメラ番号の表示・非表示を選択します。
画面レイアウト	：	6種類の表示パターンを選択します。(初期設定は「4分割表示」)
表示カメラ	：	表示させたいカメラ番号を選択し、チェックします。
表示サイズ	：	画面の表示サイズをx2、x1.5、x1、x2/3、x1/2、x1/3、x1/4の7パターンから選択します。
画像転送速度	：	画像取り込み速度を「ゆっくり」~「速い」の5段階で選択します。(初期設定は中央)
画面レイアウト保存	：	画面表示のレイアウトを「PC側」と「レコーダー側」へ登録します。
[Welcome画面へ戻る]	：	「[Welcome]」画面へ戻ります。
[ログアウト]	：	ログアウトします。

(!) カメラ番号が選択された順に左上から表示されていきます。

(!) 「表示サイズ」で規定される画像表示サイズは、その画面レイアウトでの最も左上の表示フィールドに適用されます。

(!) 「画像転送速度」を「速い」に設定すると、ご使用中のPCの性能によっては動作に支障をきたすことがあります。各PCに適切な画像取得速度を見極めてご使用ください。

(!) ネットワークの容量や負荷状況によっては、転送レートが上がらない場合があります。

Webブラウザによる通信(つづき)

(!) 「画面レイアウト保存」で「レコーダー側」に画面レイアウトを保存できるのは、「パスワード変更」の権限を持っているユーザーのみです。「パスワード変更」の権限を持ったユーザーが「PC側」、「レコーダー側」の両方に画面レイアウトを保存した場合は、「PC側」の情報が優先されます。「PC側」で保存できるレイアウトは、ユーザーが違ってもPC1台につき1つのレイアウトとなります。「PC側」で保存したレイアウトの削除は、ブラウザのCookieで削除を行ってください。

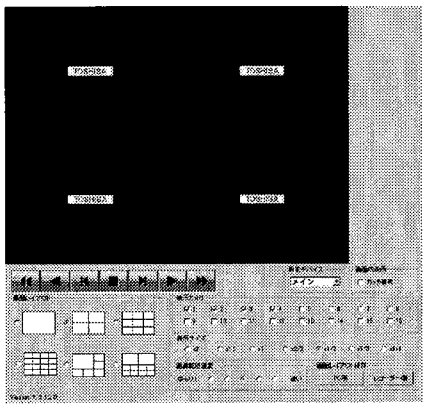
・記録画像

レコーダーの記録済み画像を取得し、再生、サーチを行う。

1 「記録画像」を選択し、左クリックする。

・「記録画像」画面が表示されます。

2 再生ボタンを押すと、再生を始める。



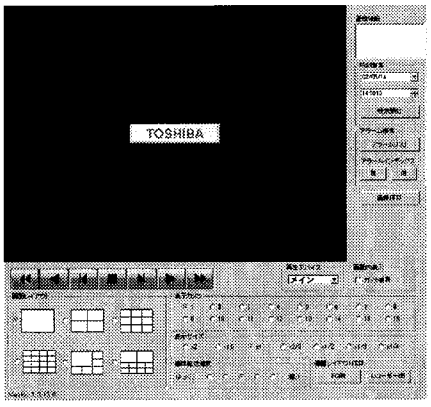
<<機能説明>>

▶	:	押すと、再生を始めます。
▶▶	:	押すと、x2、x4、x8、x16の順方向スピードサーチを始めます。
▶|	:	押すと、順方向のコマ送り再生になります。
◀	:	押すと、逆再生を始めます。
◀◀	:	押すと、x2、x4、x8、x16の逆方向スピードサーチを始めます。
|◀	:	押すと、逆方向のコマ送り再生になります。
■	:	再生中、サーチ中に押すと、静止画再生になります。
再生デバイス	:	再生、サーチをするHDDを選択します。(初期設定は「メイン」)

➡ 単画表示で「時刻検索」、「アラーム検索」を選択できます。

➡ 「画像情報」には取得した画像の日時、カメラ番号を表示します。「画像保存」をクリックすると静止画表示した画像をビットマップ形式でPCへ保存できます。

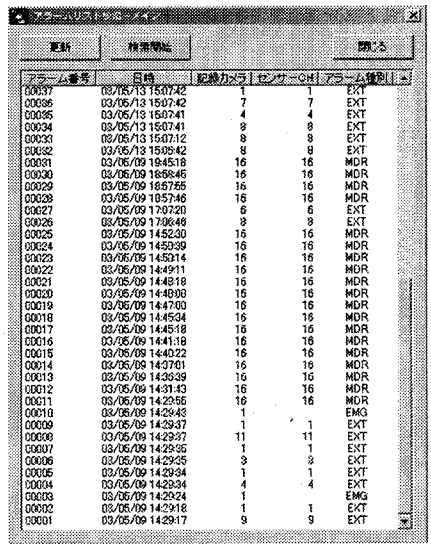
(!) 記録画像データの検索機能は、「記録画像」画面で単画表示を選択し、再生停止中に各種検索ができます。



・時刻検索

日時を選択し、「検索開始」をクリックしてください。

・アラーム検索



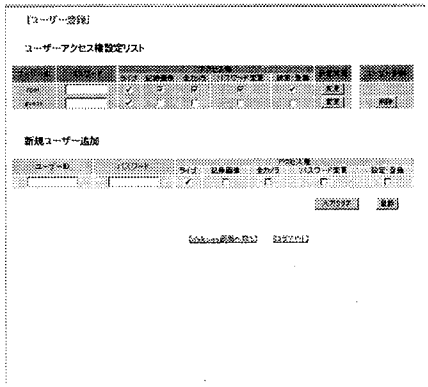
「アラームリスト」をクリックすると、「アラームリスト検索 － メイン」画面が子画面で表示されます。希望する「アラーム番号」を選択し、「検索開始」をクリックしてください。

「更新」をクリックすると、「アラームリスト」を再取得し、「閉じる」をクリックすると「アラームリスト検索 － メイン」画面を隠します。

・アラームインデックス

「前」をクリックすると逆方向のインデックスサーチを、「後」をクリックすると順方向のインデックスサーチを行います。

・ユーザー管理



この画面では、登録済みユーザーの権限に関する設定変更や、登録削除を行います。また、新規ユーザーの登録も行えます。

1 「ユーザー管理」を選択し、左クリックする。

・「ユーザー登録」画面が表示されます。

2-1 （登録済みユーザーの設定を変更する場合は・・・）「ユーザーアクセス権設定リスト」設定で、設定変更するユーザーIDを選択する。

・変更したい項目を選択してください。

<<ユーザー権限について>>

ライブ	：	ライブ画像を取得できます。登録される必須ランクです。
記録画像	：	記録画像を取得できます。1人のユーザーにのみ、この権利は与えられます。
全カメラ	：	すべてのカメラの画像を取得できます。
パスワード変更	：	ユーザーのパスワードを変更できます。また、レコーダーへ画面レイアウトも保存できます。
設定・登録	：	ユーザー登録情報を閲覧、編集できます。

(!) ユーザーの権限によっては、選択できない項目があります。

(!) 「設定・登録」権限は、1人のユーザーにしか行使できません。先にログインしたユーザーがログアウトして権限を解放するまで、他のユーザーは「設定・登録」権限を持たないユーザーとしてログインすることになります。

(!) 「記録画像」権限は、1人のユーザーにしか行使できません。先にログインしたユーザーがログアウトして権限を解放するまでは、他は「記録画像」権限を持たないユーザーとしてログインすることになります。

2-2 （設定を変更する場合は・・・）「変更」を選択し、左クリックする。

・「[変更確認]」画面が表示されます。

2-3 変更するならば「変更」、やめるならば「キャンセル」を左クリックする。

2-4　(「変更」を選択した場合は・・・)
「[変更完了]」画面が表示され、「ユーザー登録へ戻る」を左クリックする。
・「[ユーザー登録]」画面に戻ります。

2-5　(「キャンセル」を選択した場合は・・・)
・「[ユーザー登録]」画面に戻ります。

3-1　(登録済みユーザーを削除した場合は・・・)
「ユーザーアクセス権設定リスト」で削除したいユーザーIDの「削除」を左クリックする。
・「[削除確認]」画面が表示されます。

3-2　削除するならば「削除」、やめるならば「キャンセル」を左クリックする。

3-3　(「削除」を選択した場合は・・・)
「[削除完了]」画面が表示され、「ユーザー登録へ戻る」を左クリックする。
・「[ユーザー登録]」画面に戻ります。

3-4　(「キャンセル」を選択した場合は・・・)
・「[ユーザー登録]」画面に戻ります。

4-1　(新規ユーザーを登録する場合は・・・)
「新規ユーザー追加」で新規ユーザーIDと新規パスワードを入力する。

4-2　ステップ2-1を参考にして希望する「アクセス権」を選択し、チェックを入れる。

(!) 同名のユーザーIDは、登録できません。パスワードは、登録できる文字数が大文字小文字を区別したアルファベット、および数字で16文字までです。スペースは使用できません。

4-3　新規登録するならば「登録」、やめるならば「キャンセル」を左クリックする。

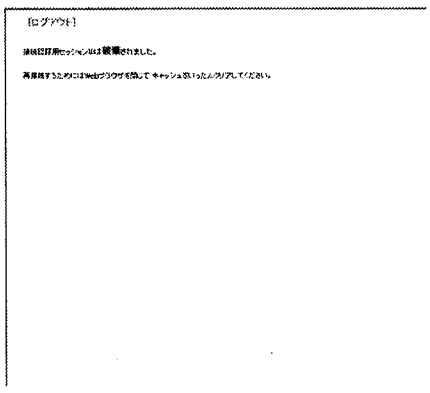
4-4　(「登録」を選択した場合は・・・)
・「ユーザーアクセス権設定リスト」に追記されます。

4-5　(「キャンセル」を選択する場合は・・・)
・設定した内容が消去されます。

・ログアウト

この画面が表示されると、正しく「ログアウト」できたことになります。

1　「ログアウト」を選択し、左クリックする。
・「[ログアウト]」画面が表示されます。

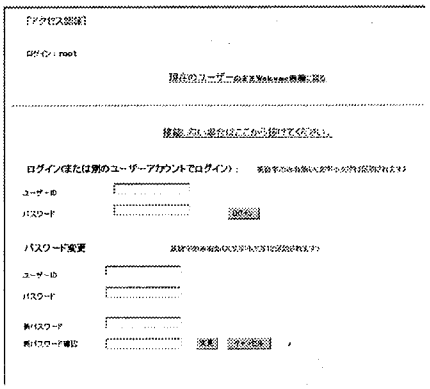

[ログアウト]

2　Webブラウザを終了します。

(!) 正しくログアウトの操作をせずにブラウザを終了した場合、ユーザーのセッションIDが5分間保持されてしまいます。5分以内に同じユーザーIDでログインしようとすると、操作制限がかかることがあります。

・ログインユーザーの変更

この画面では、ログインしているユーザーの変更を行ないます。



1 「ログインユーザーの変更」を選択し、左クリックする。

・「[アクセス認証]」画面が表示されます。

2-1 （ログインしているユーザーを変更する場合は・・・）
「ログイン(または別のユーザーアカウントでログイン)：」設定で「◆アクセス認証」のステップ2-1、2-2を実行し、ログインしているユーザーを変更する。

・ログインしているユーザーが変更され、「Welcome」画面が表示されます。

2-2 （ユーザーを変更しないでログインする場合は・・・）
「現在のユーザーのまま[Welcome]画面に戻る」を選択し、左クリックする。

・ログインしているユーザーはそのままで、「Welcome」画面が表示されます。

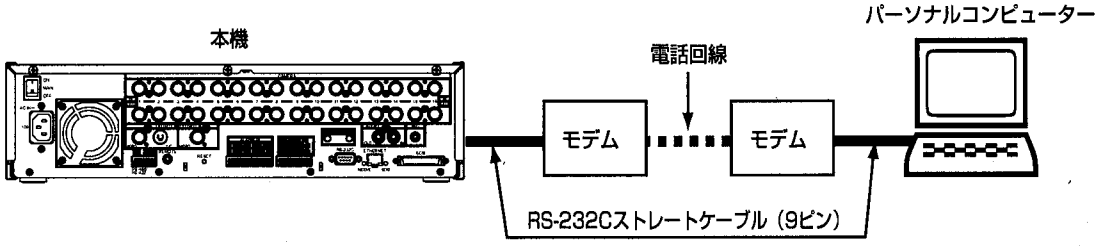
2-3 （ログアウトする場合は・・・）
「接続しない場合はここから抜けてください。」を選択し、左クリックする。

パーソナルコンピューターとの接続

本機とRS-232C端子付のパーソナルコンピューターを接続することにより、パーソナルコンピューターから本機を遠隔操作することができます。また、パーソナルコンピューターからコメントを入力し、コメント情報を映像と共に記録することもできます。

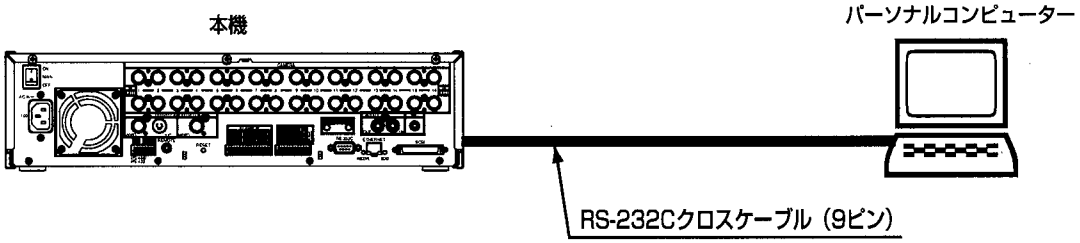
◆ モデムを介して接続する場合

本機とモデムの接続には、市販のRS-232Cストレートケーブル(9ピン)をご使用ください。本機と接続するモデムのCTS(送信許可)の設定はHIGH、またはONにしてください。設定のしかたについては、モデムの説明書をお読みください。

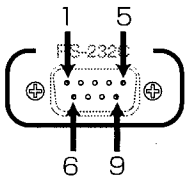


◆ ダイレクト接続する場合

本機とパーソナルコンピューターの接続には、市販のRS-232Cクロスケーブルをご使用ください。RS-232C端子の形状は、パーソナルコンピューターによって異なりますので、ピン配列をご確認の上、適切なケーブルをご使用ください。



◆ RS-232C端子について

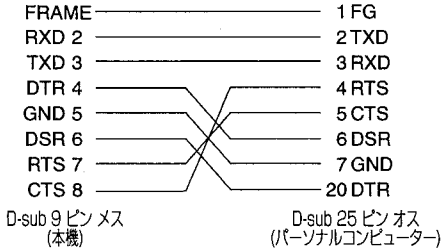


ピン記号	記号	信号内容	ピン記号	記号	信号内容
2	RXD	受信データ	6	DSR	データセットレディ
3	TXD	送信データ	7	RTS	送信要求
4	DTR	データターミナルレディ	8	CTS	送信許可
5	GND	シグナル　グラウンド			

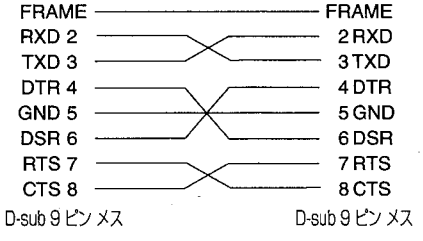
◆ RS-232Cケーブル

本機のRS-232C端子とパーソナルコンピューターのRS-232C端子を接続するときは、下記のRS-232Cクロスケーブルをご使用ください。

1) パーソナルコンピューターのRS-232C端子がD-sub 25ピンのとき



2) パーソナルコンピューターのRS-232C端子がD-sub 9ピンのとき



コマンドコード表について

■ 通信設定

本機の通信関連の設定は、<RS-232C>画面の「RS-232C運用」と「RS-232C設定」で設定します。接続するモデムやパーソナルコンピューターと同じ値に設定してください。

(!) パーソナルコンピューターから本機を遠隔操作する場合は、<RS-232C>画面の「RS-232C運用」を「リモート操作1」(本機から状態通知ステータスを返します)、「リモート操作2」(本機からコマンドに対する応答のみ返します)、または「リモート操作3」(本機から何も通知ステータスを返しません)に設定してください。

本機が設定可能な項目

項目	画面表示	設定可能値
1 送受信時の通信速度	転送速度	1200/2400/4800/9600/19200
2 データビット長	データビット	8ビット/7ビット
3 パリティ処理	パリティ	無/奇数/偶数
4 ストップビット長	ストップビット	1ビット/2ビット
5 ラインフィード処理	CR/CR・LF	CR/CR・LF

下記の項目は、パーソナルコンピューターで設定してください。

項目	画面表示
1 Xコントロール	なし
2 Sパラメーター	なし
3 CS-RSハンドシェイク	あり

■ コマンドコード体系

本機はレコーダーの運用用途に合わせ、「直接動作指定」タイプと「擬似操作パネル」タイプの2種類のコマンドコード形式を選択することができます。

■ コマンドコード体系の概要

◆ 直接動作指定コマンド形式

パーソナルコンピューターから送信されたコマンドに対し、レコーダーから返信されたステータスにより、実行やエラー等を確認し、制御や設定を行う形式です。 動作を設定する動作設定系コマンドと各種メニューを直接設定するメニュー設定系コマンドから構成されています。

・入力形式
動作設定系コマンドは、レコーダーの電源入／切、記録、再生など動作ごとにパーソナルコンピューターからコマンドを送信してください。メニュー設定系コマンドは、レコーダーの各メニュー設定ごとに設定項目を指定してください。
原則として、連続してコマンドを送信せず、コマンドごとに実行、完了したことを確認したあと、次のコマンドを送信してください。

・応答形式
コマンド送信後、レコーダーから返信されたステータスにより下記の項目を確認することができます。
1)実行の有無、エラー種別、コマンド名、動作状態。
2)動作設定系コマンドは、返信されたステータスのモード番号によりレコーダーの動作モードが識別できます。
メニュー設定系は、識別できません。(モード番号は、状態が移行した場合のみ、通知されます。)

実施例) 本機の電源を入れる。

PCから送信するコマンド	レコーダーからPCへ返すステータス	意味
PW1[#1]		電源　入　コマンドを送信したことを表す
	RC[#2]	レコーダーがコマンドを受信したことを表す
	EX, 00PW1, 03[#2]	EX　：コマンドを実行したことを表す 00　：正常に実行されたことを表す(エラー種別) PW1：電源　入　コマンドへの応答を表す 03　：電源　入　状態を表す

(!) パーソナルコンピューターから送信される動作設定系、メニュー設定系コマンドをレコーダーが実行できない場合、レコーダーから返信されたステータスのエラー種別にその内容が表示されます。エラーコードを確認の上、適切な処置を行ってください。

(!) 記録、再生などの制御系コマンドでは、コマンド送信と実動作(コマンド実行)の間隔が長くなる場合があります。操作と実動作の"ずれ"を防止するため、コマンド送信後ステータスを読み込み、実動作の移行を確認してください。

コマンドコード表について(つづき)

◆擬似操作パネルコマンド形式

レコーダーの出力映像を見ながら、レコーダーの操作パネルを実際に操作する感覚で、パーソナルコンピューターから動作の指定などを行うケースを想定した形式です。各コマンドは、レコーダーの操作ボタンに対応したコマンド体系としています。

・入力確認形式

操作パネルのボタン、ジョグ、シャトルを操作する感覚でコマンドを送信してください。原則として、連続してコマンドを送信せず、コマンドごとに本機の実動作を確認したあと、次のコマンドを送信してください。コマンド送信後、レコーダーから返信されたステータスによりコマンドの実行の有無、エラー種別、コマンド名を確認することができます。動作の実行確認は、モニター画面上でレコーダーの出力画面を見て動作移行を確認してください。

実施例) 記録データを静止画再生する。

PCから送信するコマンド	レコーダーからPCへ返すステータス	意味
KKP0 #1		「電源ボタンを押す」に相当するコマンドを送信したことを表わす
	RC #2	レコーダーがコマンドを受信したことを表わす
	EX, 00KKP0 #2	EX　：コマンドが実行されたことを表わす 00　：正常に実行されたことを表わす(エラー種別) KKP0：電源ボタンが操作されたことを表わす
KKB1 #1		「再生ボタンを押す」に相当するコマンドを送信したことを表わす
	RC #2	レコーダーがコマンドを受信したことを表わす
	EX, 00KKB1 #2	EX　：コマンドが実行されたことを表わす 00　：正常に実行されたことを表わす(エラー種別) KKB1：再生ボタンが操作されたことを表わす
KKB4 #1		「一時停止ボタンを押す」に相当するコマンドを送信したことを表わす
	RC #2	レコーダーがコマンドを受信したことを表わす
	EX, 00KKB4 #2	EX　：コマンドが実行されたことを表わす 00　：正常に実行されたことを表わす(エラー種別) KKB4：一時停止ボタンが操作されたことを表わす

(!) シャトル操作コマンドを使用する場合は、コマンド送信後に必ずシャトル中央コマンドを送信してください。シャトル中央コマンドを送信するまでシャトル動作は保持されます。

(!) 記録、再生などの制御系コマンドでは、タイミングによりコマンド送信と実動作(コマンド実行)の間隔が長くなる場合があります。操作と実動作の"ずれ"を防止するため、コマンド送信後モニター画面で実動作の移行を確認してください。

◆状態遷移通知機能

実施例) システムモード、電源　入　の状態遷移通知を発行

レコーダーからPCへ返すステータス	意味
EX, AA, 0103 #2	EX　：コマンドが実行されたことを表わす AA　：状態遷移通知を表わす 0103：電源 入 状態を表わす

RS-232C運用(☞ 69ページ)を「リモート操作1」に設定すると、本機からすべての状態通知を返します。「リモート操作2」に設定すると、本機からコマンドに対する応答のみ返します。「リモート操作3」に設定すると、本機から何も通知を返しません。

◆コマンド受取確認通知機能

受信したコマンドを実行すると、実行ステータス「EX」に続き、コマンド実行時のエラー種別が通知されます。

エラー種別	備　考
00	正常に動作しています
01	実行できません
02	実行不可エラー
03	コマンドが間違っています
04	パラメータが間違っています
05	コマンドを実行しています
06	対応していません

コマンドコード表

記号の説明
#1: <RS-232C設定>画面のCR/CR·LFの設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード(0DH)を入力します。
「CR·LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード(0DH)とラインフィードコード(0AH)を入力します。
#2: <RS-232C設定>画面のCR/CR·LFの設定を「CR」に設定したときは、キャリッジリターンコード(0DH)が出力されます。
「CR·LF」に設定したときは、キャリッジリターンコード(0DH)とラインフィードコード(0AH)が出力されます。
＊：1個につき1つの数字(または文字)が入ります。

コメントサーチ用コマンドは、☞ 145ページ。

◆コマンドコード

・RS-232C 「直接動作指定」動作設定系コマンド形式

コマンド名	コマンド	ステータス	備　考
電源コマンド	PW＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)PW＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：電源　入/切 0：切　1：入 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：システムモード番号 00：電源切　01：システム変更 04：電源入　07：設定メニュー 08：コピーメニュー　09：検索メニュー 0A：デバイス異常　0B：デバイス初期化 0C：デバイス再構築　10：自動設定 11：システム異常
記録コマンド	RC＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)RC＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：記録/記録停止 0：記録停止　1：記録 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：記録モード番号 00：停止 04：記録 06：停止からのアラーム記録 07：記録からのアラーム記録 0A：記録エラー
再生コマンド	PB＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)PB＊＊(1),＊＊(3) #2	＊＊(1)：再生系コマンド 00：再生停止　11：順再生 12：順方向早送り1　13：順方向早送り2 14：順方向早送り3　15：順方向早送り4 16：順方向高速早送り　17：順方向コマ送り 21：逆再生　22：逆方向早送り1 23：逆方向早送り2　24：逆方向早送り3 25：逆方向早送り4　26：逆方向高速早送り 27：逆方向コマ送り　30：一時停止 41：タイムデートサーチ 42：順方向記録インデックスサーチ 43：順方向アラームインデックスサーチ 44：順方向スキップサーチ 52：逆方向記録インデックスサーチ 53：逆方向アラームインデックスサーチ 54：逆方向スキップサーチ 70：開始点サーチ　71：終了点サーチ ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：再生モード番号 00：再生停止　03：順再生(単画) 04：逆再生(単画)　05：順再生一時停止(単画) 06：逆再生一時停止(単画)　07：早送り(単画) 08：早戻し(単画)　09：高速早送り(単画) 0A：高速早戻し(単画)　0B：順再生(分割) 0C：逆再生(分割)　0D：順再生一時停止(分割) 0E：逆再生一時停止(分割)　0F：早送り(分割) 10：早戻し(分割)　11：高速早送り(分割) 12：高速早戻し(分割)　13：順再生(拡大) 14：逆再生(拡大)　15：順再生一時停止(拡大) 16：逆再生一時停止(拡大)　17：早送り(拡大) 18：早戻し(拡大)　19：高速早送り(拡大) 1A：高速早戻し(拡大)　1C：再生エラー
アラームリストサーチコマンド	PB＊＊(1)＊＊＊＊＊(4) #1	RC #2 EX,＊＊(2)PB＊＊(1)＊＊＊＊＊(4), ＊＊(3) #2	＊＊(1)：60 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：再生モード番号(再生コマンド参照) ＊＊＊＊＊(4)：アラームリスト番号(00000～09999) (最新が00000)
コメントサーチ	PB＊＊(1)＊＊(2)＊＊(3)＊＊(4) ＊＊(5)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊(6) #1	RC #2 EX,＊＊(8)PB＊＊(1)＊＊(2)＊＊(3)＊＊(4) ＊＊(5)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊(6), ＊＊(7) #2	＊＊(1)：コメントサーチ(80) ＊＊(2)：検索方向 00：順方向　01：逆方向 ＊＊(3)：検索回数(01～99) ＊＊(4)：カメラ番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3 03：CH4　04：CH5　05：CH6 06：CH7　07：CH8　08：CH9 09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15 15：CH16 ＊＊(5)：コメント文字数(01～32) ＊＊・・・・・＊＊(6)：コメント ＊＊(7)：再生モード番号(再生コマンド参照) ＊＊(8)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C 「直接動作指定」動作設定系コマンド形式 (つづき)

コマンド名	コマンド	ステータス	備　考
出力A スイッチャーコマンド	SW＊＊＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)SW＊＊＊＊(1),＊＊(3) #2	＊＊＊＊(1)：出力Aスイッチャーコマンド 0100：1画シーケンシャル　0101：CH1 0102：CH2　0103：CH3 0104：CH4　0105：CH5 0106：CH6　0107：CH7 0108：CH8　0109：CH9 0110：CH10　0111：CH11 0112：CH12　0113：CH13 0114：CH14　0115：CH15 0116：CH16　0180：拡大解除 0181：1倍拡大　0182：2倍拡大 0184：4倍拡大　0191：拡大上移動 0192：拡大下移動　0193：拡大右移動 0194：拡大左移動 0400：4画面シーケンシャル 0401：4a　0402：4b 0403：4c　0404：4d 0900：9画面シーケンシャル 0901：9a　0902：9b 1601：16a ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) <再生中の場合> ＊＊(3)：再生中は再生モード番号、再生中以外は表示モード番号 再生モード番号は再生コマンド参照 <それ以外の場合> ＊＊(3)：表示モード番号 03：単画　04：分割/シーケンス 05：拡大　07：表示エラー
出力B スイッチャーコマンド	TW＊＊＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)TW＊＊＊＊(1),＊＊(3) #2	＊＊＊＊(1)：出力Bスイッチャーコマンド 0100：1画シーケンシャル　0101：CH1 0102：CH2　0103：CH3 0104：CH4　0105：CH5 0106：CH6　0107：CH7 0108：CH8　0109：CH9 0110：CH10　0111：CH11 0112：CH12　0113：CH13 0114：CH14　0115：CH15 0116：CH16　0400：4画面シーケンシャル 0401：4a　0402：4b 0403：4c　0404：4d 0900：9画面シーケンシャル 0901：9a　0902：9b 1601：16a ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：表示モード番号 03：単画　04：分割/シーケンス 07：表示エラー
タイマーコマンド	TM＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)TM＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：タイマーコマンド 0：タイマー切　1：タイマー入 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：タイマーモード番号 00：タイマー切　01：タイマー入 02：タイマーエラー
アラームホールド コマンド	AD＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)AD＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：アラームホールドコマンド 0：アラームホールド切　1：アラームホールド入 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：アラームディセーブルモード番号 00：アラーム禁止切　01：アラーム禁止入
コピー開始コマンド	CP＊(1)＊＊(2) #1	RC #2 EX,＊＊(4)CP＊(1)＊＊(2),＊＊(3) #2	＊(1)：コピー開始コマンド 1：開始 ＊＊(2)：コピー開始コマンド 00：HDD(メイン)→CFC　01：HDD(サブ)→CFC 02：HDD(メイン)→コピー　03：HDD(サブ)→コピー ＊＊(3)：コピーモード番号 00：停止　02：実行　04：コピーエラー ＊＊(4)：エラー種別(別紙参照)
リストア開始コマンド	RP＊(1)＊＊(2) #1	RC #2 EX,＊＊(4)RP＊(1)＊＊(2),＊＊(3) #2	＊(1)：リストア開始コマンド 1：開始 ＊＊(2)：リストア開始コマンド 04：BAK→HDD(メイン)　05：コピー→HDD(メイン) 06：CFC→HDD(メイン) ＊＊(3)：リストアモード番号 00：停止　02：実行　04：リストアエラー ＊＊(4)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C 「直接動作指定」動作設定系コマンド形式 （つづき）

コマンド名	コマンド	ステータス	備　考
記録情報取得コマンド	IF＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)IF＊＊(1),＊＊(3),＊＊(4)＊＊(5) ＊＊(6)＊＊(7)＊＊(8)＊＊(9)＊＊(10) ＊＊(11)＊＊(12)＊＊(13)＊＊(14)＊＊(15) ＊＊＊＊＊(16) #2	＊＊(1)：記録情報取得コマンド 01：メイン　02：サブ　03：バックアップ 04：CFC　05：コピー ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：情報取得モード番号 00：終了　02：情報取得エラー ＊＊(4)：開始年　＊＊(5)：開始月 ＊＊(6)：開始日　＊＊(7)：開始時 ＊＊(8)：開始分　＊＊(9)：開始秒 ＊＊(10)：終了年　＊＊(11)：終了月 ＊＊(12)：終了日　＊＊(13)：終了時 ＊＊(14)：終了分　＊＊(15)：終了秒 ＊＊＊＊＊(16)：アラームリスト件数
警告消去コマンド	WC＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)WC＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：警告消去コマンド 0：簡易消去(表示のみ) ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：システムモード番号(電源コマンド参照)
メニュー初期化・ロード・セーブコマンド	MC＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)MC＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：メニュー初期化・ロード・セーブコマンド 0：初期化　1：ロード　2：セーブ ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：システムモード番号(電源コマンド参照)
データ消去コマンド	CL＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)CL＊＊(1),＊＊(3) #2	＊＊(1)：データ消去コマンド 01：メイン　02：サブ　03：バックアップ 04：CFC　05：コピー ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：データ消去モード番号 00：終了　02：データ消去エラー
バックアップ停止/開始コマンド	BK＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)BK＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)：バックアップコマンド 0：停止　1：開始 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：バックアップモード番号 00：停止　02：実行 04：エラー
再生デバイスコマンド	PDV＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)PDV＊＊(1) #2	＊＊(1)：再生デバイスコマンド 01：メイン　03：バックアップ 04：CFC　05：コピー ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
EJECTコマンド	EJ #1	RC #2 EX,＊＊(2)EJ,＊＊(1) #2	＊＊(1)：デバイス制御モード番号 00：終了　02：エラー ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
バックアップ開始位置リセット	BPR #1	RC #2 EX,＊＊(2)BPR,＊＊(1) #2	＊＊(1)：データリセットモード番号 00：終了　02：エラー ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
マルチプレクサ出力A	UBA #1	RC #2 EX,＊＊(2)UBA #2	＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
マルチプレクサ出力B	UBB #1	RC #2 EX,＊＊(2)UBB #2	＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
コピー停止コマンド	CP＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)CP＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)　：コピー停止コマンド 0：停止 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：コピーモード番号 00：停止　02：実行　04：コピーエラー
リストア停止コマンド	RP＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)RP＊(1),＊＊(3) #2	＊(1)　：リストア停止コマンド 0：停止 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照) ＊＊(3)：リストアモード番号 00：停止　02：実行　04：リストアエラー
PTZコントロール	PTZ＊＊(1)＊＊(2) #1	RC #2 EX,＊＊(3)PTZ＊＊(1),＊＊(2) #2	＊＊(1)　：PTZコマンド番号 10：パン－右　14：パン－左 18：チルト－上　1C：チルト－下 20：ズーム－T　24：ズーム－W 28：フォーカス－N　2C：フォーカス－F 30：絞り＋　34：絞り－ 38：停止 39：F1　3A：F2 3B：F3　3C：F4 40：プリセット1 記憶　41：プリセット2 記憶 50：プリセット1 移動　51：プリセット2 移動 ＊＊(2)：CH番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3 03：CH4　04：CH5　05：CH6 06：CH7　07：CH8　08：CH9 09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15 15：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C エラー表示

コマンド名	コマンド	ステータス	備　考
ワーニング表示 問い合わせ	<ワーニング表示情報の 問い合わせ> WN1?#1	RC #2 EX,＊＊(33)WN1＊(1)＊(2)・・・＊(31)＊(32) #2	＊(1)～＊(32)： 0：エラー表示無し　1.：エラー表示有り ＊(1)：再立ち上げ実行 ＊(2)：高温検知 ＊(3)：高温停止 ＊(4)：ファン停止 ＊(5)：ミラーHDD障害 ＊(6)：記録/動作異常 ＊(7)：記録/動作エラー ＊(8)：記録/残量警告 ＊(9)：再生/動作異常 ＊(10)：バックアップ/動作異常 ＊(11)：バックアップ/動作エラー ＊(12)：バックアップ/残量警告 ＊(13)：バックアップ/追越エラー ＊(14)：バックアップ/追越ワーニング ＊(15)：バックアップ/サイズエラー ＊(16)：バックアップ/メディアエラー ＊(17)：バックアップ/メディア無し ＊(18)：バックアップEWエラー ＊(19)：コピー/動作異常 ＊(20)：コピー/動作エラー ＊(21)：コピー/追越エラー ＊(22)：コピー/追越ワーニング ＊(23)：コピー/サイズエラー ＊(24)：コピー/メディアエラー ＊(25)：コピー/メディア無し ＊(26)：コピーEWエラー ＊(27)：リストア/動作異常 ＊(28)：リストア/動作エラー ＊(29)：リストア/サイズエラー ＊(30)：リストア/メディアエラー ＊(31)：リストア/メディア無し ＊(32)：Reserved ＊(33)：エラー種別（別紙参照）

・RS-232C エラー表示(つづき)

コマンド名	コマンド	ステータス	機能
メディアフル 問い合わせ	<メディアフルワーニング表示の 問い合わせ> WN2? #1	RC #2 EX,＊＊(7)WN2＊(1)＊(2)＊(3)＊(4)＊(5) ＊(6) #2	＊(1)～＊(5)： 0：エラー表示無し　1：エラー表示有り ＊(1)：HDDメインフル（記録/フル） ＊(2)：HDDサブフル（記録/サブフル） ＊(3)：バックアップ/フル ＊(4)：コピー/フル ＊(5)：リストア/フル ＊(6)：Reserved ＊＊(7)：エラー種別（別紙参照）
情報映像無し 問い合わせ	<情報映像無し問い合わせ> VN? #1	RS #2 EX,＊＊(17)VN＊(1)＊(2)＊(3)・・・＊(16) #2	＊(1)～＊(16)： 0：信号無し　1：信号無し判定中 2：信号有り判定中　3：信号有り ＊(1)：CH1 ＊(2)：CH2 ＊(3)：CH3 ＊(4)：CH4 ＊(5)：CH5 ＊(6)：CH6 ＊(7)：CH7 ＊(8)：CH8 ＊(9)：CH9 ＊(10)：CH10 ＊(11)：CH11 ＊(12)：CH12 ＊(13)：CH13 ＊(14)：CH14 ＊(15)：CH15 ＊(16)：CH16 ＊(17)：エラー種別（別紙参照）
状態情報読み込み	<状態情報読み込み> MD? #1	RS #2 EX,＊＊(26)MD,＊＊(1)＊＊(2)＊＊(3)＊＊ (4)＊＊(5)＊＊＊＊(6)＊＊(7)＊＊(8)＊＊(9)＊ ＊(10)＊＊(11)＊＊(12)＊＊(13)＊＊(14)＊＊ (15)＊＊(16)＊＊(17)＊＊(18)＊＊(19)＊＊(20) ＊＊(21)＊＊(22)＊＊(23)＊＊(24)＊＊(25) #2 (各ステータスは、☞141ページ)	＊＊(1)：システム状態 ＊＊(2)：キーロック状態 ＊＊(3)：リモートローカル状態 ＊＊(4)：タイマー状態 ＊＊(5)：アラームホールド状態 ＊＊＊＊(6)：メニュー状態 ＊＊(7)：記録状態 ＊＊(8)：再生状態 ＊＊(9)：表示状態 ＊＊(10)：動き検知記録状態 ＊＊(11)：バックアップ状態 ＊＊(12)：コピー状態 ＊＊(13)：リストア状態 ＊＊(14)：デバイス制御状態 ＊＊(15)：情報取得状態 ＊＊(16)：デバイス消去状態 ＊＊(17)：データリセット状態 ＊＊(18)：出力B表示状態 ＊＊(19)～＊＊(25)：Reserved ＊＊(26)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<時刻・画面表示設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
時刻設定	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)： 00004：時刻(年)　00005：時刻(月) 00006：時刻(日)　00007：時刻(時) 00008：時刻(分)　00009：時刻(秒) ＊＊＊＊＊(2)： 00001～00099：時刻(年) 00001～00012：時刻(月) 00001～00031：時刻(日) 00000～00023：時刻(時) 00000～00059：時刻(分) 00000～00059：時刻(秒) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
画面表示形式	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00001 ＊＊＊＊＊(2)：00001～00006 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
画面表示位置	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00002 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00383 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
カメラ表示設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00003 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00003 00000：無　00001：カメラ番号 00002：タイトル　00003：コメント ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
カメラタイトル・ メモ設定	<設定> DW02,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR02,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW02,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR02,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)： CH1　：00011～00026　CH2　：00027～00042 CH3　：00043～00058　CH4　：00059～00074 CH5　：00075～00090　CH6　：00091～00106 CH7　：00107～00122　CH8　：00123～00138 CH9　：00139～00154　CH10：00155～00170 CH11：00171～00186　CH12：00187～00202 CH13：00203～00218　CH14：00219～00234 CH15：00235～00250　CH16：00251～00266 メモ　：00267～00282 ＊＊＊＊＊(2)： (カメラタイトル・メモ設定用文字コード一覧参照) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
画面動作モード表示	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：00283 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：上　00002：下 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
画面表示位置基準点	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00494 ＊＊＊＊＊(2)： 00039：デフォルト位置 00042：右1　00046：右2 00050：右3　00054：右4 00058：右5　00062：右6 00066：右7　00070：右8 00074：右9　00078：右10 00082：右11　00086：右12 00090：右13　00094：右14 00098：右15　00102：右16 00106：右17　00110：右18 00114：右19　00118：右20 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　＜マルチプレクサ設定＞

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
出力A 4分割表示位置	＜設定＞ DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 ＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜メニュー情報書き込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 ＜メニュー情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	4分割表示a ＊＊＊＊＊(1)：00305～00308 00305：左上　00306：右上 00307：左下　00308：右下 4分割表示b ＊＊＊＊＊(1)：00313～00316 00313：左上　00314：右上 00315：左下　00316：右下 4分割表示c ＊＊＊＊＊(1)：00321～00324 00321：左上　00322：右上 00323：左下　00324：右下 4分割表示d ＊＊＊＊＊(1)：00329～00332 00329：左上　00330：右上 00331：左下　00332：右下 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A 9分割表示位置	↑	↑	9分割表示a ＊＊＊＊＊(1)：00337～00345 00337：上左　00338：上中　00339：上右 00340：中左　00341：中中　00342：中右 00343：下左　00344：下中　00345：下右 9分割表示b ＊＊＊＊＊(1)：00355～00363 00355：上左　00356：上中　00357：上右 00358：中左　00359：中中　00360：中右 00361：下左　00362：下中　00363：下右 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A 16分割表示位置	↑	↑	16分割表示 ＊＊＊＊＊(1)：00373～00388 1列目 00373：左左 00374：左中 00375：右中 00376：右右 2列目 00377：左左 00378：左中 00379：右中 00380：右右 3列目 00381：左左 00382：左中 00383：右中 00384：右右 4列目 00385：左左 00386：左中 00387：右中 00388：右右 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A シーケンス表示 表示順ーカメラ番号	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00405～00420 00405：表示順1　00406：表示順2 00407：表示順3　00408：表示順4 00409：表示順5　00410：表示順6 00411：表示順7　00412：表示順8 00413：表示順9　00414：表示順10 00415：表示順11　00416：表示順12 00417：表示順13　00418：表示順14 00419：表示順15　00420：表示順16 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015、00255 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16　00255：－ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A シーケンス表示4分割	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00421 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00003 00000：4a　00001：4ab 00002：4abc　00003：4abcd ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A シーケンス表示9分割	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00422 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：9a　00001：9ab ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<マルチプレクサ設定>　(つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
出力A シーケンス表示 切換時間	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：00423～00440 00423：表示順1　00424：表示順2 00425：表示順3　00426：表示順4 00427：表示順5　00428：表示順6 00429：表示順7　00430：表示順8 00431：表示順9　00432：表示順10 00433：表示順11　00434：表示順12 00435：表示順13　00436：表示順14 00437：表示順15　00438：表示順16 00439：4分割　00440：9分割 ＊＊＊＊＊(2)：00001～00030(秒) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A 分割表示画質	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00300 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：ソフト　00001：シャープ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力A 分割/ シーケンスボタン	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00302 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：オール　00001：ショート ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B　入/切	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00493 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
カメラ表示設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00477～00492 00477：CH1　00478：CH2　00479：CH3 00480：CH4　00481：CH5　00482：CH6 00483：CH7　00484：CH8　00485：CH9 00486：CH10　00487：CH11　00488：CH12 00489：CH13　00490：CH14　00491：CH15 00492：CH16 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：しない　00001：する ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
アラームディスプレイ	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00304 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<マルチプレクサ設定>　（つづき）

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
出力B 4分割表示位置	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	4分割表示a ＊＊＊＊＊(1)：00309～00312 00309：左上　00310：右上 00311：左下　00312：右下 4分割表示b ＊＊＊＊＊(1)：00317～00320 00317：左上　00318：右上 00319：左下　00320：右下 4分割表示c ＊＊＊＊＊(1)：00325～00328 00325：左上　00326：右上 00327：左下　00328：右下 4分割表示d ＊＊＊＊＊(1)：00333～00336 00333：左上　00334：右上 00335：左下　00336：右下 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B 9分割表示位置	↑	↑	9分割表示a ＊＊＊＊＊(1)：00346～00354 00346：上左　00347：上中　00348：上右 00349：中左　00350：中中　00351：中右 00352：下左　00353：下中　00354：下右 9分割表示b ＊＊＊＊＊(1)：00364～00372 00364：上左　00365：上中　00366：上右 00367：中左　00368：中中　00369：中右 00370：下左　00371：下中　00372：下右 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B 16分割表示位置	↑	↑	16分割表示 ＊＊＊＊＊(1)：00389～00404 1列目 00389：左左 00390：左中 00391：右中 00392：右右 2列目 00393：左左 00394：左中 00395：右中 00396：右右 3列目 00397：左左 00398：左中 00399：右中 00400：右右 4列目 00401：左左 00402：左中 00403：右中 00404：右右 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B シーケンス表示 表示順ーカメラ番号	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00441～00456 00441：表示順1　00442：表示順2 00443：表示順3　00444：表示順4 00445：表示順5　00446：表示順6 00447：表示順7　00448：表示順8 00449：表示順9　00450：表示順10 00451：表示順11　00452：表示順12 00453：表示順13　00454：表示順14 00455：表示順15　00456：表示順16 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00015、00255 00000：CH1　00001：CH2　00002：CH3 00003：CH4　00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8　00008：CH9 00009：CH10　00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14　00014：CH15 00015：CH16　00255：－ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B シーケンス表示4分割	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00457 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00003 00000：4a　00001：4ab 00002：4abc　00003：4abcd ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B シーケンス表示9分割	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00458 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：9a　00001：9ab ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<マルチプレクサ設定>　(つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
出力 Bシーケンス表示 切換時間	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊(1)：00459～00476 00459：表示順1　00460：表示順2 00461：表示順3　00462：表示順4 00463：表示順5　00464：表示順6 00465：表示順7　00466：表示順8 00467：表示順9　00468：表示順10 00469：表示順11　00470：表示順12 00471：表示順13　00472：表示順14 00473：表示順15　00474：表示順16 00475：4分割　00476：9分割 ＊＊＊＊＊(2)：00001～00030(秒) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B 分割表示画質	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00301 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：ソフト　00001：シャープ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
出力B 分割/ シーケンスボタン	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00303 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：オール　00001：ショート ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　＜動き検知設定＞

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
検知エリアドット設定	＜設定＞ DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 ＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜メニュー情報書き込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 ＜メニュー情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：00533～03604 00533～00724：CH1　00725～00916：CH2 00917～01108：CH3　01109～01300：CH4 01301～01492：CH5　01493～01684：CH6 01685～01876：CH7　01877～02068：CH8 02069～02260：CH9　02261～02452：CH10 02453～02644：CH11　02645～02836：CH12 02837～03028：CH13　03029～03220：CH14 03221～03412：CH15　03413～03604：CH16 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00001 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
感度	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00501～00516 00501：CH1　00502：CH2　00503：CH3 00504：CH4　00505：CH5　00506：CH6 00507：CH7　00508：CH8　00509：CH9 00510：CH10　00511：CH11　00512：CH12 00513：CH13　00514：CH14　00515：CH15 00516：CH16 ＊＊＊＊＊(2)：00000～00004 00000：大　＜小　00001：大　＜＜小 00002：大　＜＜＜小　00003：大＜＜＜＜小 00004：大＜＜＜＜＜小 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
記録開始ドット	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00517～00532 00517：CH1　00518：CH2　00519：CH3 00520：CH4　00521：CH5　00522：CH6 00523：CH7　00524：CH8　00525：CH9 00526：CH10　00527：CH11　00528：CH12 00529：CH13　00530：CH14　00531：CH15 00532：CH16 ＊＊＊＊＊(2)：00001～00192（ポイント） ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<マニュアル設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
マニュアル記録・ 通常記録間隔	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：03703～03718 03703：CH1　03704：CH2　03705：CH3 03706：CH4　03707：CH5　03708：CH6 03709：CH7　03710：CH8　03711：CH9 03712：CH10　03713：CH11　03714：CH12 03715：CH13　03716：CH14　03717：CH15 03718：CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：0.03秒　00002：0.07秒 00003：0.1秒　00004：0.13秒 00005：0.17秒　00006：0.2秒 00010：0.33秒　00015：0.5秒 00030：1秒　00060：2秒 00120：4秒　00240：8秒 65535：－－－－－－－ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ 通常記録画質	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03735～03750 03735：CH1　03736：CH2　03737：CH3 03738：CH4　03739：CH5　03740：CH6 03741：CH7　03742：CH8　03743：CH9 03744：CH10　03745：CH11　03746：CH12 03747：CH13　03748：CH14　03749：CH15 03750：CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：スーパー　00001：ファイン 00002：ハイ　00003：ノーマル 00004：ベーシック ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録間隔	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03719～03734 03719：CH1　03720：CH2　03721：CH3 03722：CH4　03723：CH5　03724：CH6 03725：CH7　03726：CH8　03727：CH9 03728：CH10　03729：CH11　03730：CH12 03731：CH13　03732：CH14　03733：CH15 03734：CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：0.03秒　00002：0.07秒 00003：0.1秒　00004：0.13秒 00005：0.17秒　00006：0.2秒 00010：0.33秒　00015：0.5秒 00030：1秒　00060：2秒 00120：4秒　00240：8秒 65535：－－－－－－－ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録画質	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03751～03766 03751：CH1　03752：CH2　03753：CH3 03754：CH4　03755：CH5　03756：CH6 03757：CH7　03758：CH8　03759：CH9 03760：CH10　03761：CH11　03762：CH12 03763：CH13　03764：CH14　03765：CH15 03766：CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：スーパー　00001：ファイン 00002：ハイ　00003：ノーマル 00004：ベーシック ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム動作設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05683 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：アラームCH　00002：アラームプラスCH ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録時間	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03700 ＊＊＊＊＊(2)：00000～03600 00000：接点　00002：2秒　00005：5秒 00010：10秒　00015：15秒　00030：30秒 00045：45秒　00060：1分　00120：2分 00300：5分　00600：10分　01200：20分 01800：30分　03600：60分 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ プリアラーム記録時間	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05678 ＊＊＊＊＊(2)：00001～00180 00000：0秒(切)　00001～00060：1～60秒 00090：90秒　00120：120秒 00150：150秒　00180：180秒 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
上書きバックアップ	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05705 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：入(上書き)　00001：切(追記) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
バックアップメディア 自動イジェクト	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05707 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<マニュアル設定>　（つづき）

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
マニュアル記録・ アラーム記録カメラ	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：04238～04509 アラーム番号 1･カメラ番号1CH～16CH：04238～04253 アラーム番号 2･カメラ番号1CH～16CH：04254～04269 アラーム番号 3･カメラ番号1CH～16CH：04270～04285 アラーム番号 4･カメラ番号1CH～16CH：04286～04301 アラーム番号 5･カメラ番号1CH～16CH：04302～04317 アラーム番号 6･カメラ番号1CH～16CH：04318～04333 アラーム番号 7･カメラ番号1CH～16CH：04334～04349 アラーム番号 8･カメラ番号1CH～16CH：04350～04365 アラーム番号 9･カメラ番号1CH～16CH：04366～04381 アラーム番号10･カメラ番号1CH～16CH：04382～04397 アラーム番号11･カメラ番号1CH～16CH：04398～04413 アラーム番号12･カメラ番号1CH～16CH：04414～04429 アラーム番号13･カメラ番号1CH～16CH：04430～04445 アラーム番号14･カメラ番号1CH～16CH：04446～04461 アラーム番号15･カメラ番号1CH～16CH：04462～04477 アラーム番号16･カメラ番号1CH～16CH：04478～04493 EMR(エマージェンシー)　1CH～16CH：04494～04509 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
マニュアル記録・ アラーム記録 アラーム入力	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05598～05613 05598：アラーム番号1　05599：アラーム番号2 05600：アラーム番号3　05601：アラーム番号4 05602：アラーム番号5　05603：アラーム番号6 05604：アラーム番号7　05605：アラーム番号8 05606：アラーム番号9　05607：アラーム番号10 05608：アラーム番号11　05609：アラーム番号12 05610：アラーム番号13　05611：アラーム番号14 05612：アラーム番号15　05613：アラーム番号16 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：動き検知/端子　00001：動き検知 00002：端子　00003：動き検知&端子 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
動き検知記録の アラームリストへの 登録	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05952～05956 05952：記録運用設定　(通常記録) 05953：記録運用設定 A　(タイマー記録) 05954：記録運用設定 B　(タイマー記録) 05955：記録運用設定 C　(タイマー記録) 05956：記録運用設定 D　(タイマー記録) ＊＊＊＊＊(2)： 00000：しない　00001：する ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<タイマー設定>

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
タイマー記録・ タイマー プログラム設定	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：03702 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：P1　00001：P2 00002：P3 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマープログラム	<設定> DW01,＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)＊＊＊＊＊(3)＊＊＊＊＊(4)＊＊＊＊＊(5)＊＊＊＊＊(6)＊＊＊＊＊(7)＊＊＊＊＊(8) #1 <設定情報の問い合わせ> DR01,＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(9)DW01,＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)＊＊＊＊＊(3)＊＊＊＊＊(4)＊＊＊＊＊(5)＊＊＊＊＊(6)＊＊＊＊＊(7)＊＊＊＊＊(8) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(9)DR01,＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)＊＊＊＊＊(3)＊＊＊＊＊(4)＊＊＊＊＊(5)＊＊＊＊＊(6)＊＊＊＊＊(7)＊＊＊＊＊(8) #2	＊＊(1)：プログラム番号 00：P1-1　01：P1-2　02：P1-3 03：P1-4　04：P1-5　05：P1-6 06：P1-7　07：P1-8　08：P2-1 09：P2-2　10：P2-3　11：P2-4 12：P2-5　13：P2-6　14：P2-7 15：P2-8　16：P3-1　17：P3-2 18：P3-3　19：P3-4　20：P3-5 21：P3-6　22：P3-7　23：P3-8 ＊＊＊＊＊(2)：プログラム番号に相当する曜日 00000：日　00001：月　00002：火 00003：水　00004：木　00005：金 00006：土　00128：毎日　00129：指定 00130：休日　00255：－－－ ＊＊＊＊＊(3)：プログラム番号に相当する開始時刻（時） 00000～00023（時）　00255：－－ ＊＊＊＊＊(4)：プログラム番号に相当する開始時刻（分） 00000～00059（分）　00255：－－ ＊＊＊＊＊(5)：プログラム番号に相当する終了時刻（時） 00000～00023（時）　00255：－－ ＊＊＊＊＊(6)：プログラム番号に相当する終了時刻（分） 00000～00059（分）　00255：－－ ＊＊＊＊＊(7)：プログラム番号に相当する運用 00001：A運用　00002：B運用　00003：C運用 00004：D運用　00008：スキップ　00016：上書BK 00032：上書BKE 00048：追記BK　00064：追記BKE 00255：－－－－－ ＊＊＊＊＊(8)：プログラム番号に相当する検知 00000：切　00001：入　00255：－ ＊＊(9)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム動作設定	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：05684～05687 05684：記録運用設定 A　05685：記録運用設定 B 05686：記録運用設定 C　05687：記録運用設定 D ＊＊＊＊＊(2)： 00001：アラームCH 00002：アラームプラスCH ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ タイマー指定曜日、 開始曜日	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03935～03937 03935：P1　03936：P2　03937：P3 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：日　00001：月　00002：火 00003：水　00004：木　00005：金 00006：土 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ タイマー指定曜日、 終了曜日	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03938～03940 03938：P1　03939：P2　03940：P3 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：日　00001：月　00002：火 00003：水　00004：木　00005：金 00006：土 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ タイマー休日設定月日	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03942～03981 03942：月　03943：日　(1-1)　(行-列) 03944：月　03945：日　(1-2) 03946：月　03947：日　(1-3) 03948：月　03949：日　(1-4) 03950：月　03951：日　(2-1) 03952：月　03953：日　(2-2) 03954：月　03955：日　(2-3) 03956：月　03957：日　(2-4) 03958：月　03959：日　(3-1) 03960：月　03961：日　(3-2) 03962：月　03963：日　(3-3) 03964：月　03965：日　(3-4) 03966：月　03967：日　(4-1) 03968：月　03969：日　(4-2) 03970：月　03971：日　(4-3) 03972：月　03973：日　(4-4) 03974：月　03975：日　(5-1) 03976：月　03977：日　(5-2) 03978：月　03979：日　(5-3) 03980：月　03981：日　(5-4) ＊＊＊＊＊(2)： 月：00001～00012　00255：無 日：00001～00031　00255：無 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<タイマー設定>　（つづき）

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
タイマー記録・ 通常記録間隔	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：03982～04045 03982：A-CH1　03983：A-CH2　03984：A-CH3 03985：A-CH4　03986：A-CH5　03987：A-CH6 03988：A-CH7　03989：A-CH8　03990：A-CH9 03991：A-CH10　03992：A-CH11 03993：A-CH12　03994：A-CH13 03995：A-CH14　03996：A-CH15 03997：A-CH16 03998：B-CH1　03999：B-CH2　04000：B-CH3 04001：B-CH4　04002：B-CH5　04003：B-CH6 04004：B-CH7　04005：B-CH8　04006：B-CH9 04007：B-CH10　04008：B-CH11 04009：B-CH12　04010：B-CH13 04011：B-CH14　04012：B-CH15 04013：B-CH16 04014：C-CH1　04015：C-CH2　04016：C-CH3 04017：C-CH4　04018：C-CH5　04019：C-CH6 04020：C-CH7　04021：C-CH8　04022：C-CH9 04023：C-CH10　04024：C-CH11 04025：C-CH12　04026：C-CH13 04027：C-CH14　04028：C-CH15 04029：C-CH16 04030：D-CH1　04031：D-CH2　04032：D-CH3 04033：D-CH4　04034：D-CH5　04035：D-CH6 04036：D-CH7　04037：D-CH8　04038：D-CH9 04039：D-CH10　04040：D-CH11 04041：D-CH12　04042：D-CH13 04043：D-CH14　04044：D-CH15 04045：D-CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：0.03秒　00002：0.07秒 00003：0.1秒　00004：0.13秒 00005：0.17秒　00006：0.2秒 00010：0.33秒　00015：0.5秒 00030：1秒　00060：2秒 00120：4秒　00240：8秒 65535：－－－－－－－ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ 通常記録画質	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：04110～04173 04110：A-CH1　04111：A-CH2　04112：A-CH3 04113：A-CH4　04114：A-CH5　04115：A-CH6 04116：A-CH7　04117：A-CH8　04118：A-CH9 04119：A-CH10　04120：A-CH11 04121：A-CH12　04122：A-CH13 04123：A-CH14　04124：A-CH15 04125：A-CH16 04126：B-CH1　04127：B-CH2　04128：B-CH3 04129：B-CH4　04130：B-CH5　04131：B-CH6 04132：B-CH7　04133：B-CH8　04134：B-CH9 04135：B-CH10　04136：B-CH11 04137：B-CH12　04138：B-CH13 04139：B-CH14　04140：B-CH15 04141：B-CH16 04142：C-CH1　04143：C-CH2　04144：C-CH3 04145：C-CH4　04146：C-CH5　04147：C-CH6 04148：C-CH7　04149：C-CH8　04150：C-CH9 04151：C-CH10　04152：C-CH11 04153：C-CH12　04154：C-CH13 04155：C-CH14　04156：C-CH15 04157：C-CH16 04158：D-CH1　04159：D-CH2　04160：D-CH3 04161：D-CH4　04162：D-CH5　04163：D-CH6 04164：D-CH7　04165：D-CH8　04166：D-CH9 04167：D-CH10　04168：D-CH11 04169：D-CH12　04170：D-CH13 04171：D-CH14　04172：D-CH15 04173：D-CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：スーパー　00001：ファイン 00002：ハイ　00003：ノーマル 00004：ベーシック ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<タイマー設定>　(つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
タイマー記録・ アラーム記録間隔	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：04046～04109 04046：A-CH1　04047：A-CH2　04048：A-CH3 04049：A-CH4　04050：A-CH5　04051：A-CH6 04052：A-CH7　04053：A-CH8　04054：A-CH9 04055：A-CH10　04056：A-CH11 04057：A-CH12　04058：A-CH13 04059：A-CH14　04060：A-CH15 04061：A-CH16 04062：B-CH1　04063：B-CH2　04064：B-CH3 04065：B-CH4　04066：B-CH5　04067：B-CH6 04068：B-CH7　04069：B-CH8　04070：B-CH9 04071：B-CH10　04072：B-CH11 04073：B-CH12　04074：B-CH13 04075：B-CH14　04076：B-CH15 04077：B-CH16 04078：C-CH1　04079：C-CH2　04080：C-CH3 04081：C-CH4　04082：C-CH5　04083：C-CH6 04084：C-CH7　04085：C-CH8　04086：C-CH9 04087：C-CH10　04088：C-CH11 04089：C-CH12　04090：C-CH13 04091：C-CH14　04092：C-CH15 04093：C-CH16 04094：D-CH1　04095：D-CH2　04096：D-CH3 04097：D-CH4　04098：D-CH5　04099：D-CH6 04100：D-CH7　04101：D-CH8　04102：D-CH9 04103：D-CH10　04104：D-CH11 04105：D-CH12　04106：D-CH13 04107：D-CH14　04108：D-CH15 04109：D-CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：0.03秒　00002：0.07秒 00003：0.1秒　00004：0.13秒 00005：0.17秒　00006：0.2秒 00010：0.33秒　00015：0.5秒 00030：1秒　00060：2秒 00120：4秒　00240：8秒 65535：－－－－－－－ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム記録画質	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：04174～04237 04174：A-CH1　04175：A-CH2　04176：A-CH3 04177：A-CH4　04178：A-CH5　04179：A-CH6 04180：A-CH7　04181：A-CH8　04182：A-CH9 04183：A-CH10　04184：A-CH11 04185：A-CH12　04186：A-CH13 04187：A-CH14　04188：A-CH15 04189：A-CH16 04190：B-CH1　04191：B-CH2　04192：B-CH3 04193：B-CH4　04194：B-CH5　04195：B-CH6 04196：B-CH7　04197：B-CH8　04198：B-CH9 04199：B-CH10　04200：B-CH11 04201：B-CH12　04202：B-CH13 04203：B-CH14　04204：B-CH15 04205：B-CH16 04206：C-CH1　04207：C-CH2　04208：C-CH3 04209：C-CH4　04210：C-CH5　04211：C-CH6 04212：C-CH7　04213：C-CH8　04214：C-CH9 04215：C-CH10　04216：C-CH11 04217：C-CH12　04218：C-CH13 04219：C-CH14　04220：C-CH15 04221：C-CH16 04222：D-CH1　04223：D-CH2　04224：D-CH3 04225：D-CH4　04226：D-CH5　04227：D-CH6 04228：D-CH7　04229：D-CH8　04230：D-CH9 04231：D-CH10　04232：D-CH11 04233：D-CH12　04234：D-CH13 04235：D-CH14　04236：D-CH15 04237：D-CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：スーパー　00001：ファイン 00002：ハイ　00003：ノーマル 00004：ベーシック ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム記録時間	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：03701 ＊＊＊＊＊(2)：00000～03600 00000：接点　00002：2秒　00005：5秒 00010：10秒　00015：15秒　00030：30秒 00045：45秒　00060：1分　00120：2分 00300：5分　00600：10分　01200：20分 01800：30分　03600：60分 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<タイマー設定>　（つづき）

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
タイマー記録・ プリアラーム記録時間	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：05679～05682 05679：記録運用設定 A　05680：記録運用設定 B 05681：記録運用設定 C　05682：記録運用設定 D ＊＊＊＊＊(2)：00001～00180 00000：0秒(切)　00001～00060：1～60秒 00090：90秒　00120：120秒 00150：150秒　00180：180秒 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム記録カメラ	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：04510～05597 記録運用設定 A・アラーム設定 A アラーム番号 1・カメラ番号1CH～16CH：04510～04525 アラーム番号 2・カメラ番号1CH～16CH：04526～04541 アラーム番号 3・カメラ番号1CH～16CH：04542～04557 アラーム番号 4・カメラ番号1CH～16CH：04558～04573 アラーム番号 5・カメラ番号1CH～16CH：04574～04589 アラーム番号 6・カメラ番号1CH～16CH：04590～04605 アラーム番号 7・カメラ番号1CH～16CH：04606～04621 アラーム番号 8・カメラ番号1CH～16CH：04622～04637 アラーム番号 9・カメラ番号1CH～16CH：04638～04653 アラーム番号10・カメラ番号1CH～16CH：04654～04669 アラーム番号11・カメラ番号1CH～16CH：04670～04685 アラーム番号12・カメラ番号1CH～16CH：04686～04701 アラーム番号13・カメラ番号1CH～16CH：04702～04717 アラーム番号14・カメラ番号1CH～16CH：04718～04733 アラーム番号15・カメラ番号1CH～16CH：04734～04749 アラーム番号16・カメラ番号1CH～16CH：04750～04765 EMR(エマージェンシー)　1CH～16CH：04766～04781 記録運用設定 B・アラーム設定 B アラーム番号 1・カメラ番号1CH～16CH：04782～04797 アラーム番号 2・カメラ番号1CH～16CH：04798～04813 アラーム番号 3・カメラ番号1CH～16CH：04814～04829 アラーム番号 4・カメラ番号1CH～16CH：04830～04845 アラーム番号 5・カメラ番号1CH～16CH：04846～04861 アラーム番号 6・カメラ番号1CH～16CH：04862～04877 アラーム番号 7・カメラ番号1CH～16CH：04878～04893 アラーム番号 8・カメラ番号1CH～16CH：04894～04909 アラーム番号 9・カメラ番号1CH～16CH：04910～04925 アラーム番号10・カメラ番号1CH～16CH：04926～04941 アラーム番号11・カメラ番号1CH～16CH：04942～04957 アラーム番号12・カメラ番号1CH～16CH：04958～04973 アラーム番号13・カメラ番号1CH～16CH：04974～04989 アラーム番号14・カメラ番号1CH～16CH：04990～05005 アラーム番号15・カメラ番号1CH～16CH：05006～05021 アラーム番号16・カメラ番号1CH～16CH：05022～05037 EMR(エマージェンシー)　1CH～16CH：05038～05053 記録運用設定 C・アラーム設定 C アラーム番号 1・カメラ番号1CH～16CH：05054～05069 アラーム番号 2・カメラ番号1CH～16CH：05070～05085 アラーム番号 3・カメラ番号1CH～16CH：05086～05101 アラーム番号 4・カメラ番号1CH～16CH：05102～05117 アラーム番号 5・カメラ番号1CH～16CH：05118～05133 アラーム番号 6・カメラ番号1CH～16CH：05134～05149 アラーム番号 7・カメラ番号1CH～16CH：05150～05165 アラーム番号 8・カメラ番号1CH～16CH：05166～05181 アラーム番号 9・カメラ番号1CH～16CH：05182～05197 アラーム番号10・カメラ番号1CH～16CH：05198～05213 アラーム番号11・カメラ番号1CH～16CH：05214～05229 アラーム番号12・カメラ番号1CH～16CH：05230～05245 アラーム番号13・カメラ番号1CH～16CH：05246～05261 アラーム番号14・カメラ番号1CH～16CH：05262～05277 アラーム番号15・カメラ番号1CH～16CH：05278～05293 アラーム番号16・カメラ番号1CH～16CH：05294～05309 EMR(エマージェンシー)　1CH～16CH：05310～05325 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<タイマー設定>　(つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
タイマー記録・ アラーム記録カメラ (つづき)	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC#2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)#2 <メニュー情報読み込み> RC#2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)#2	＊＊＊＊＊(1)：04510～05597 記録運用設定 D・アラーム設定 D アラーム番号 1·カメラ番号1CH～16CH：05326～05341 アラーム番号 2·カメラ番号1CH～16CH：05342～05357 アラーム番号 3·カメラ番号1CH～16CH：05358～05373 アラーム番号 4·カメラ番号1CH～16CH：05374～05389 アラーム番号 5·カメラ番号1CH～16CH：05390～05405 アラーム番号 6·カメラ番号1CH～16CH：05406～05421 アラーム番号 7·カメラ番号1CH～16CH：05422～05437 アラーム番号 8·カメラ番号1CH～16CH：05438～05453 アラーム番号 9·カメラ番号1CH～16CH：05454～05469 アラーム番号10·カメラ番号1CH～16CH：05470～05485 アラーム番号11·カメラ番号1CH～16CH：05486～05501 アラーム番号12·カメラ番号1CH～16CH：05502～05517 アラーム番号13·カメラ番号1CH～16CH：05518～05533 アラーム番号14·カメラ番号1CH～16CH：05534～05549 アラーム番号15·カメラ番号1CH～16CH：05550～05565 アラーム番号16·カメラ番号1CH～16CH：05566～05581 EMR(エマージェンシー)　1CH～16CH：05582～05597 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
タイマー記録・ アラーム入力	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05614～05677 記録運用設定 A：05614～05629 05614：アラーム番号1　05615：アラーム番号2 05616：アラーム番号3　05617：アラーム番号4 05618：アラーム番号5　05619：アラーム番号6 05620：アラーム番号7　05621：アラーム番号8 05622：アラーム番号9　05623：アラーム番号10 05624：アラーム番号11　05625：アラーム番号12 05626：アラーム番号13　05627：アラーム番号14 05628：アラーム番号15　05629：アラーム番号16 記録運用設定 B：05630～05645 05630：アラーム番号1　05631：アラーム番号2 05632：アラーム番号3　05633：アラーム番号4 05634：アラーム番号5　05635：アラーム番号6 05636：アラーム番号7　05637：アラーム番号8 05638：アラーム番号9　05639：アラーム番号10 05640：アラーム番号11　05641：アラーム番号12 05642：アラーム番号13　05643：アラーム番号14 05644：アラーム番号15　05645：アラーム番号16 記録運用設定 C：05646～05661 05646：アラーム番号1　05647：アラーム番号2 05648：アラーム番号3　05649：アラーム番号4 05650：アラーム番号5　05651：アラーム番号6 05652：アラーム番号7　05653：アラーム番号8 05654：アラーム番号9　05655：アラーム番号10 05656：アラーム番号11　05657：アラーム番号12 05658：アラーム番号13　05659：アラーム番号14 05660：アラーム番号15　05661：アラーム番号16 記録運用設定 D：05662～05677 05662：アラーム番号1　05663：アラーム番号2 05664：アラーム番号3　05665：アラーム番号4 05666：アラーム番号5　05667：アラーム番号6 05668：アラーム番号7　05669：アラーム番号8 05670：アラーム番号9　05671：アラーム番号10 05672：アラーム番号11　05673：アラーム番号12 05674：アラーム番号13　05675：アラーム番号14 05676：アラーム番号15　05677：アラーム番号16 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：動き検知/端子　00001：動き検知 00002：端子　00003：動き検知&端子 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　＜基本設定・情報表示＞

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
HDD(メイン) リピート記録	＜設定＞ DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 ＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜メニュー情報書き込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 ＜メニュー情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：05709 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 00002：記録待機 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
HDD(サブ) リピート記録	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05710 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
HDDリピート再生	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05711 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
改変確認再生	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05702 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
音声記録設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05700 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 00002：アラーム ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
MODE OUT	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05712～05716 05712：MODE OUT1　05713：MODE OUT2 05714：MODE OUT3　05715：MODE OUT4 05716：MODE OUT5 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：記録中 00002：再生中　00003：残量 00004：パワーオン　00006：動き検知 00009：アラーム記録 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
ボタン音	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05717 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
ブザー	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05718 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：残量 00002：警告　00003：アラーム ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
残量検出デバイス	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05719 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：HDD(メイン) 00002：HDD(サブ)　00003：バックアップ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
残量検出位置	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05720 ＊＊＊＊＊(2)： 00002：2%　00004：4%　00006：6% 00008：8%　00010：10%　00015：15% 00020：20%　00030：30%　00040：40% 00050：50% ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
HDD(メイン)残量発報	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05721 ＊＊＊＊＊(2)： 00002：2%　00004：4%　00006：6% 00008：8%　00010：10%　00015：15% 00020：20%　00030：30%　00040：40% 00050：50%　00255：切 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
HDD(サブ)残量発報	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05722 ＊＊＊＊＊(2)： 00002：2%　00004：4%　00006：6% 00008：8%　00010：10%　00015：15% 00020：20%　00030：30%　00040：40% 00050：50%　00255：切 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
エマージェンシー 記録時間	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05701 ＊＊＊＊＊(2)： 00060：1分　00120：2分　00300：5分 00600：10分　01200：20分　01800：30分 03600：60分 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<基本設定・情報表示>　(つづき)

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
HDD(メイン)フル	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC#2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)#2 <メニュー情報読み込み> RC#2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)#2	＊＊＊＊＊(1)：05724 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
HDD(サブ)フル	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05725 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
RS-232C運用	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05727 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：リモート操作1 00002：リモート操作2　00003：リモート操作3 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
RS-232C転送速度	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05728 ＊＊＊＊＊(2)： 01200：1200　02400：2400 04800：4800　09600：9600 19200：19200 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
RS-232Cデータビット	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05729 ＊＊＊＊＊(2)： 00007：7ビット　00008：8ビット ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
RS-232Cパリティ	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05730 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：無　00001：奇数 00002：偶数 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
RS-232C ストップビット	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05731 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：1ビット　00002：2ビット ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
RS-232C CR/CR・LF	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05732 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：CR　00001：CR・LF ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
バックアップリピート	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05706 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
バックアップソース	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05708 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：HDD(メイン)　00002：HDD(サブ) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
バックアップ残量発報	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05723 ＊＊＊＊＊(2)： 00002：2%　00004：4%　00006：6% 00008：8%　00010：10%　00015：15% 00020：20%　00030：30%　00040：40% 00050：50%　00255：切 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
バックアップフル	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05726 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：切　00001：入 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
カメラ制御設定・ モデル	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：05733~05748 05733：CH1　05734：CH2　05735：CH3 05736：CH4　05737：CH5　05738：CH6 05739：CH7　05740：CH8　05741：CH9 05742：CH10　05743：CH11　05744：CH12 05745：CH13　05746：CH14　05747：CH15 05748：CH16 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：－－－－－ 00002：S9520/X9620-HS 00003：S9520/X9620-MS 00004：X9700-HS 00005：X9700-MS 00006：CIT7500-9600 00007：CIT7500M9600 00008：CIT7500-19K 00009：CIT7500M19K 00010：CIT7300-9600 00011：CIT7300M9600 00012：PELCO-9600 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　＜基本設定・情報表示＞　（つづき）

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
カメラ制御設定・ アドレス	＜設定＞ DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 ＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜メニュー情報書き込み＞ RC#2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)#2 ＜メニュー情報読み込み＞ RC#2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2)#2	＊＊＊＊＊(1)：05749～05764 05749：CH1　05750：CH2　05751：CH3 05752：CH4　05753：CH5　05754：CH6 05755：CH7　05756：CH8　05757：CH9 05758：CH10　05759：CH11　05760：CH12 05761：CH13　05762：CH14　05763：CH15 05764：CH16 ＊＊＊＊＊(2)：00001～00255 （但し、モデルによりアドレスの設定範囲は変わります。） ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
言語選択	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：00000 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：日本語　00001：ENGLISH ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　<サーチ設定>

検索実行は、「直接動作指定」動作指定系コマンド形式の再生コマンドを参照。

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
タイムデートサーチ 時刻設定	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)： 06000：検索時間（年）　06001：検索時間（月） 06002：検索時間（日）　06003：検索時間（時） 06004：検索時間（分）　06005：検索時間（秒） ＊＊＊＊＊(2)： 年：00001～00099　月：00001～00012 日：00001～00031　時：00000～00023 分：00000～00059　秒：00000～00059 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
記録インデックスサーチ・ インデックス数	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：06014 ＊＊＊＊＊(2)： 00001～00099 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
アラームインデックスサーチ・ インデックス数	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：06015 ＊＊＊＊＊(2)： 00001～00099 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
アラームリストサーチ・ リスト検索時間設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)： 06008：リスト時間マスク（年） 06009：リスト時間マスク（月） 06010：リスト時間マスク（日） 06011：リスト時間マスク（時） 06012：リスト時間マスク（分） 06013：リスト時間マスク（秒） ＊＊＊＊＊(2)： 年：00001～00099　月：00001～00012 日：00001～00031　時：00000～00023 分：00000～00059　秒：00000～00059 マスク無：00238 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
サーチ方式	<設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06419 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：タイムデート　00001：記録インデックス 00002：アラームインデックス 00003：スキップ　00004：アラームリスト ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
再生デバイス選択	<設定> DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 <設定情報の問い合わせ> DR,＊＊＊＊＊(1) #1	<メニュー情報書き込み> RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 <メニュー情報読み込み> RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06006 ＊＊＊＊＊(2)： 00001：HDD(メイン) 00002：HDD(サブ) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
検索カメラ選択	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：06007 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：CH1　00001：CH2 00002：CH3　00003：CH4 00004：CH5　00005：CH6 00006：CH7　00007：CH8 00008：CH9　00009：CH10 00010：CH11　00011：CH12 00012：CH13　00013：CH14 00014：CH15　00015：CH16 00016：全て ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　＜コピー設定＞

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
転送動作	＜設定＞ DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 ＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜メニュー情報書き込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 ＜メニュー情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06016 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：HDD(メイン)→CFC 00001：HDD(サブ)→CFC 00002：HDD(メイン)→コピー 00003：HDD(サブ)→コピー 00004：BAK→HDD(メイン) 00005：コピー→HDD(メイン) 00006：CFC→HDD(メイン) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
コピーモード	＜設定＞ DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #1 ＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜メニュー情報書き込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DW,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2 ＜メニュー情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06017 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：上書き　　00001：追記 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
コピー時刻設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)： 06019：コピー開始時間（年） 06020：コピー開始時間（月） 06021：コピー開始時間（日） 06022：コピー開始時間（時） 06023：コピー開始時間（分） 06024：コピー開始時間（秒） 06025：コピー終了時間（年） 06026：コピー終了時間（月） 06027：コピー終了時間（日） 06028：コピー終了時間（時） 06029：コピー終了時間（分） 06030：コピー終了時間（秒） ＊＊＊＊＊(2)： 年：00001～00099　　月：00001～00012 日：00001～00031　　時：00000～00023 分：00000～00059　　秒：00000～00059 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
コピー範囲指定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：06018 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：開始・終了　　00001：開始 00002：最新データ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
リストアモード	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：06031 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：上書き　　00001：追記 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
リストア時刻設定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)： 06033：リストア開始時間（年） 06034：リストア開始時間（月） 06035：リストア開始時間（日） 06036：リストア開始時間（時） 06037：リストア開始時間（分） 06038：リストア開始時間（秒） 06039：リストア終了時間（年） 06040：リストア終了時間（月） 06041：リストア終了時間（日） 06042：リストア終了時間（時） 06043：リストア終了時間（分） 06044：リストア終了時間（秒） ＊＊＊＊＊(2)： 年：00001～00099　　月：00001～00012 日：00001～00031　　時：00000～00023 分：00000～00059　　秒：00000～00059 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
リストア範囲指定	↑	↑	＊＊＊＊＊(1)：06032 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：開始・終了　　00001：開始 00002：最新データ ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
ID4・ID5運用選択	＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	↑	＊＊＊＊＊(1)：06403 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：増設HDD　　00001：バックアップ・コピー ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C「直接動作指定」メニュー設定系コマンド形式　＜その他の設定＞

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
HDD記録運用	＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06401 ＊＊＊＊＊(2)： 00000：通常　　00001：ミラーリング 00002：アラームパーティション ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
SCSIディレイ時間	＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06400 ＊＊＊＊＊(2)：00010 ～ 00059秒 ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
サブデバイス容量	＜設定情報の問い合わせ＞ DR,＊＊＊＊＊(1) #1	＜情報読み込み＞ RC #2 EX,＊＊(3)DR,＊＊＊＊＊(1)＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊＊(1)：06402 ＊＊＊＊＊(2)： 00010：10%　00020：20%　00030：30% 00040：40%　00050：50%　00060：60% 00070：70%　00080：80%　00090：90% ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
状態情報読み込み	MD? #1	RC #2 EX,＊＊(26)MD,＊＊(1)＊＊(2)＊＊(3)＊＊(4)＊＊(5)＊＊＊＊(6)＊＊(7)＊＊(8)＊＊(9)＊＊(10)＊＊(11)＊＊(12)＊＊(13)＊＊(14)＊＊(15)＊＊(16)＊＊(17)＊＊(18)＊＊(19)＊＊(20)＊＊(21)＊＊(22)＊＊(23)＊＊(24)＊＊(25) #2 (各ステータスは、☞ 141ページ)	＊＊(1)：システム状態 ＊＊(2)：キーロック状態 ＊＊(3)：リモートローカル状態 ＊＊(4)：タイマー状態 ＊＊(5)：アラームホールド状態 ＊＊＊＊(6)：メニュー状態 ＊＊(7)：記録状態 ＊＊(8)：再生状態 ＊＊(9)：表示状態 ＊＊(10)：動き検知記録状態 ＊＊(11)：バックアップ状態 ＊＊(12)：コピー状態 ＊＊(13)：リストア状態 ＊＊(14)：デバイス制御状態 ＊＊(15)：情報取得状態 ＊＊(16)：デバイス消去状態 ＊＊(17)：データリセット状態 ＊＊(18)：出力B表示状態 ＊＊(19)～＊＊(25)：Reserved ＊＊(26)：エラー種別(別紙参照)
積算時間読み込み	UT＊(1)? #1	RC #2 EX,＊＊(3)UT＊(1)?,＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(2) #2	＊＊＊＊(1)：デバイス 0：システム　　1：コピー　　2：バックアップ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(2)：積算時間 0000000000～9999999999(時間) ＊＊(3)：エラー種別(別紙参照)
コメントデータ情報書き込み	COMD,＊＊(1)＊＊(2)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(3) #1	RC #2 EX,＊＊(4)COMD,＊＊(1)＊＊(2)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(3) #2	＊＊(1)：カメラ番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3　03：CH4 04：CH5　05：CH6　06：CH7　07：CH8 08：CH9　09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15　15：CH16 ＊＊(2)：コメント文字数（01～32） ＊＊・・・・・＊＊(3)：コメント ＊＊(4)：エラー種別(別紙参照)
コメント書き込み	COMS,＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)COMS,＊＊(1) #2	＊＊(1)：カメラ番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3　03：CH4 04：CH5　05：CH6　06：CH7　07：CH8 08：CH9　09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15　15：CH16 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
コメント表示消去コマンド	DC #1	RC #2 EX,＊＊(1)DC #2	＊＊(1)：エラー種別(別紙参照)

・MD？ステータス

システム状態

00：電源　切　01：システム変更　02：コーデックタスク開始　03：コーデックシステム開始
04：電源　入　05：コーデックシステム終了　06：コーデックタスク終了　07：設定メニュー
08：コピーメニュー　09：検索メニュー　0A：デバイス異常　0B：デバイス初期化
0C：デバイス再構築　10：自動設定　11：自動設定開始　12：自動設定終了
13：システム異常

キーロック状態

00：OFF状態　01：レベル2　02：レベル1　03：レベル0
04：レベルE　05：パスワード解除1　06：パスワード解除2

リモートローカル状態

00：切

タイマー状態

00：切　01：入　02：エラー

アラームホールド状態

00：切　01：入

メニュー状態

0000：表示無し　0000以外：メニュー表示中

記録状態

00：停止　01：開始(停止から)　02：開始(実行から)　04：記録
06：停止からのアラーム記録　07：記録からのアラーム記録　09：終了　0A：エラー

再生状態

00：待機　01：開始(待機から)　02：開始(実行から)　03：単画・順再生
04：単画・逆再生　05：単画・順方向一時停止　06：単画・逆方向一時停止　07：単画・早送り
08：単画・早戻し　09：単画・高速早送り　0A：単画・高速早戻し　0B：分割・順再生
0C：分割・逆再生　0D：分割・順方向一時停止　0E：分割・逆方向一時停止　0F：分割・早送り
10：分割・早戻し　11：分割・高速早送り　12：分割・高速早戻し　13：拡大・順再生
14：拡大・逆再生　15：拡大・順方向一時停止　16：拡大・逆方向一時停止　17：拡大・早送り
18：拡大・早戻し　19：拡大・高速早送り　1A：拡大・高速早戻し　1B：終了
1C：エラー

表示状態

00：待機　01：開始(待機から)　02：開始(実行から)　03：単画
04：分割　05：拡大　06：終了　07：エラー

動き検知状態

00：待機　01：開始(待機から)　02：開始(実行から)　03：実行
04：終了　05：エラー

バックアップ状態/コピー状態/リストア状態

00：待機　01：開始(待機から)　02：実行　03：終了
04：エラー

デバイス制御状態/情報取得状態/データ消去状態/データリセット状態

00：待機　01：開始(待機から)　02：エラー

出力B表示状態

00：待機　01：開始(待機から)　02：開始(実行から)　03：単画
04：分割　06：終了　07：エラー

・RS-232C　「疑似操作パネル」コマンド形式

操作ボタン	コマンド	ステータス	備　考
シャトル	KKS00 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS00 #2	シャトル中央
	KKS01 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS01 #2	シャトル右1
	KKS02 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS02 #2	シャトル右2
	KKS03 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS03 #2	シャトル右3
	KKS04 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS04 #2	シャトル右4
	KKS11 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS11 #2	シャトル左1
	KKS12 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS12 #2	シャトル左2
	KKS13 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS13 #2	シャトル左3
	KKS14 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKS14 #2	シャトル左4 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照） ※本コマンド送信前に必ずシャトル中央を送信すること。
バックアップ開始/停止	KKBK0 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKBK0 #2	バックアップ開始
	KKBK1 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKBK1 #2	バックアップ停止 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
再生デバイス選択	KKDV #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKDV #2	再生デバイス選択 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
EJECT	KKEJ #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKEJ #2	取出し ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）

コマンドコード表(つづき)

・RS-232C 「疑似操作パネル」コマンド形式 (つづき)

操作ボタン	コマンド	ステータス	備　考
電源	KKP0 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKP0 #2	電源　入/切 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
記録/停止	KKR0 #1 KKR1 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKR0 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKR1 #2	記録 記録停止 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
再生停止	KKB0 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKB0 #2	再生停止 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
再生	KKB1 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKB1 #2	順再生 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
逆再生	KKB2 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKB2 #2	逆再生 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
一時停止	KKB4 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKB4 #2	再生一時停止 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
タイマー　入/切	KKT0 #1 KKT1 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKT0 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKT1 #2	タイマー　入 タイマー　切 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
拡大	KKZ #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKZ #2	拡大 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
分割/シーケンス	KKE #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKE #2	分割/シーケンス ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
チャンネル (CH1～CH16)	KKD01 #1 KKD02 #1 KKD03 #1 KKD04 #1 KKD05 #1 KKD06 #1 KKD07 #1 KKD08 #1 KKD09 #1 KKD10 #1 KKD11 #1 KKD12 #1 KKD13 #1 KKD14 #1 KKD15 #1 KKD16 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKD01 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD02 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD03 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD04 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD05 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD06 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD07 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD08 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD09 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD10 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD11 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD12 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD13 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD14 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD15 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKD16 #2	CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH9 CH10 CH11 CH12 CH13 CH14 CH15 CH16 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
ロック	KKL0 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKL0 #2	簡易ロック
設定	KKM #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKM #2	設定 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
コピー	KKC #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKC #2	コピー ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
サーチ	KKK0 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKK0 #2	サーチ ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
警告消去	KKW0 #1 KKW5 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKW0 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKW5 #2	警告消去 警告消去ボタン5秒押し ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
アラームホールド	KKA #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKA #2	アラームホールド ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
ジョグ	KKJ0 #1 KKJ1 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKJ0 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKJ1 #2	ジョグ右回し ジョグ左回し ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
電源	KKP1 #1 KKP2 #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKP1 #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKP2 #2	運用変更起動 自動設定起動 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）
マルチプレクサ出力 A,B	KKUA #1 KKUB #1	RC #2 EX,＊＊(2)KKUA #2 RC #2 EX,＊＊(2)KKUAB #2	出力A設定 出力B設定 ＊＊(2)：エラー種別（別紙参照）

・RS-232C 状態遷移通知系

モード	ステータス	備　考
システムモード	EX,AA,＊＊＊＊(1) #2	＊＊＊＊(1)：システムモード 0100：電源　切　0101：システム変更 0104：電源　入　0107：設定メニュー 0108：コピーメニュー　0109：サーチメニュー 010A：デバイス異常　010B：デバイス初期化 010C：デバイス再構築　0110：自動設定 0113 ：システム異常
タイマーモード	↑	＊＊＊＊(1)：タイマーモード 0500：タイマー　切　0501：タイマー　入 0502：タイマーエラー
アラーム禁止モード	↑	＊＊＊＊(1)：アラーム禁止モード 0600：アラーム禁止　切　0601：アラーム禁止　入
記録モード	↑	＊＊＊＊(1)：記録モード 0800：停止　0804：記録 0806：停止からのアラーム記録　0807：記録からのアラーム記録 080A：記録エラー
再生モード	↑	＊＊＊＊(1)：記録モード 0900：再生停止 0903：順再生(単画)　0904：逆再生(単画) 0905：順再生一時停止(単画)　0906：逆再生一時停止(単画) 0907：早送り(単画)　0908：早戻し(単画) 0909：高速早送り(単画)　090A：高速早戻し(単画) 090B：順再生(分割)　090C：逆再生(分割) 090D：順再生一時停止(分割)　090E：逆再生一時停止(分割) 090F ：早送り(分割)　0910：早戻し(分割) 0911：高速早送り(分割)　0912：高速早戻し(分割) 0913：順再生(拡大)　0914：逆再生(拡大) 0915：順再生一時停止(拡大)　0916：逆再生一時停止(拡大) 0917：早送り(拡大)　0918：早戻し(拡大) 0919：高速早送り(拡大)　091A：高速早戻し(拡大) 091C：再生エラー
表示モード	↑	＊＊＊＊(1)：表示モード 0A07：表示エラー
動き検知モード	↑	＊＊＊＊(1)：動き検知モード 0B05：動き検知記録エラー
コピーモード	↑	＊＊＊＊(1)：コピーモード 0D00：停止　0D02：実行 0D04：コピーエラー
リストアモード	↑	＊＊＊＊(1)：リストアモード 0E00：停止　0E02：実行 0E04：リストアエラー
情報取得モード	↑	＊＊＊＊(1)：情報取得モード 1000：終了　1002：情報取得エラー
データ消去モード	↑	＊＊＊＊(1)：データ消去モード 2000：終了　2002：データ消去エラー
デバイス制御モード	EX,AA,＊＊＊＊(1) #2	＊＊＊＊(1)：デバイス制御モード 0F00：停止　0F02：デバイス制御エラー
バックアップモード	↑	＊＊＊＊(1)：バックアップモード 0C00：停止　0C02：実行 0C04：バックアップエラー
データリセットモード	↑	＊＊＊＊(1)：データリセットモード 3000：終了　3002：データリセットエラー
映像信号無し状態通知	EX,AB11,＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(1) #2	＊＊・・・・・・＊＊(1)：映像信号無し状態通知 はじめから16番目までの＊がカメラ番号に対応しています。実際に記録を行っているカメラ番号に対してのみ、映像信号無し状態（3：有，2：有効判定中，1：無効判定中，0：無）を状態が変化したタイミングで出力します。但し、記録を行っていないカメラ番号の情報は無効です。
エラー・警告通知	EX,AB,＊＊(1) #2	＊＊(1)： 12：記録R/Wエラー　13：記録システムエラー 22：バックアップR/Wエラー　23：バックアップシステムエラー 24：バックアップオーバーライトエラー 25：バックアップアーリーワーニング 26：バックアップオーバーライトワーニング 32：コピーR/Wエラー　33：コピーシステムエラー 34：コピーオーバーライトエラー 35：コピーアーリーワーニング 36：コピーオーバーライトワーニング 42：リストアR/Wエラー　43：リストアシステムエラー
データ改変エラー通知	EX,AB51,＊＊(1) #2	＊＊(1)：カメラ番号
アラーム番号更新通知	EX,AC11,＊＊＊＊＊(1) #2	＊＊＊＊＊(1)：アラーム番号更新 (アラーム番号が更新したタイミングで出力する)
ポジション通知	EX,AC,＊＊(1),＊＊＊(2) #2	＊＊(1)：ポジション 12：HDD(メイン)デバイスの記録ポジション 13：HDD(サブ)デバイスの記録ポジション 22：バックアップデバイスのコピーポジション 32：コピーデバイスのコピーポジション 42：リストアデバイスのリストアポジション ＊＊＊(2)：000～100(%)

コマンドコード表(つづき)

◆文字コード一覧

・カメラタイトル・メモ設定に使用できるキャラクターです。

文字	・	(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(
文字コード	00012	00032	00033	00034	00035	00036	00037	00038	00039	00040

文字	)	*	+	,	−	.	/			
文字コード	00041	00042	00043	00044	00045	00046	00047			

文字	:	;	<	=	>	?	@	゜	゛	
文字コード	00058	00059	00060	00061	00062	00063	00064	00473	00474	

文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
文字コード	00048	00049	00050	00051	00052	00053	00054	00055	00056	00057

文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
文字コード	00065	00066	00067	00068	00069	00070	00071	00072	00073	00074	00075	00076	00077

文字	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
文字コード	00078	00079	00080	00081	00082	00083	00084	00085	00086	00087	00088	00089	00090

文字	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
文字コード	00097	00098	00099	00100	00101	00102	00103	00104	00105	00106	00107	00108	00109

文字	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
文字コード	00110	00111	00112	00113	00114	00115	00116	00117	00118	00119	00120	00121	00122

文字	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
文字コード	00128	00129	00130	00131	00132	00133	00134	00135	00136	00137

文字	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
文字コード	00138	00139	00140	00141	00142	00143	00144	00145	00146	00147

文字	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
文字コード	00148	00149	00150	00151	00152	00153	00154	00155	00156	00157

文字	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ
文字コード	00158	00159	00160	00161	00162	00163	00164	00165	00166	00167

文字	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	ァ	ィ	ゥ	ェ
文字コード	00168	00169	00170	00171	00172	00173	00199	00200	00201	00202

文字	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ					
文字コード	00203	00204	00205	00206	00207					

文字	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ
文字コード	00208	00209	00210	00211	00212	00213	00214	00215	00216	00217

文字	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
文字コード	00218	00219	00220	00221	00222	00223	00224	00225	00226	00227

文字	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
文字コード	00228	00229	00230	00231	00232	00233	00234	00235	00236	00237

文字	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り
文字コード	00238	00239	00240	00241	00242	00243	00244	00245	00246	00247

文字	る	れ	ろ	わ	を	ん	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ
文字コード	00248	00249	00250	00251	00252	00253	00279	00280	00281	00282

文字	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ					
文字コード	00283	00284	00285	00286	00287					

コメントサーチ

本機は、RS-232C接続したパーソナルコンピューターから入力されたキャラクター(文字列)を、コメントとして映像・音声と共に記録することができます。記録されたコメントは、再生時に画面に表示させることができます。また、記録したコメントを指定して、そのコメントが記録されている場面を頭出しすることもできます。

◆コメントサーチ用コマンドコード

メニュー	コマンド	ステータス	備　考
コメントサーチ	PB＊＊(1)＊＊(2)＊＊(3)＊＊(4) ＊＊(5)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊(6) #1	RC #2 EX,＊＊(7)PB＊＊(1)＊＊(2)＊＊(3)＊＊(4) ＊＊(5)＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(6) #2	＊＊(1)：コメントサーチ(80) ＊＊(2)：検索方向 00：順方向　　01：逆方向 ＊＊(3)：検索回数(01～99) ＊＊(4)：カメラ番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3 03：CH4　04：CH5　05：CH6 06：CH7　07：CH8　08：CH9 09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15 15：CH16 ＊＊(5)：コメント文字数(01～32) ＊＊・・・・・＊＊(6)：コメント ＊＊(7)：エラー種別(別紙参照)
コメントデータ 情報書き込み	COMD,＊＊(1)＊＊(2)＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(3) #1	RC #2 EX,＊＊(4)COMD,＊＊(1)＊＊(2)＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊(3)#2	＊＊(1)：カメラ番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3 03：CH4　04：CH5　05：CH6 06：CH7　07：CH8　08：CH9 09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15 15：CH16 ＊＊(2)：コメント文字数(01～32) ＊＊・・・・・＊＊(3)：コメント ＊＊(4)：エラー種別(別紙参照)
コメント書き込み	COMS,＊＊(1) #1	RC #2 EX,＊＊(2)COMS,＊＊(1) #2	＊＊(1)：カメラ番号 00：CH1　01：CH2　02：CH3 03：CH4　04：CH5　05：CH6 06：CH7　07：CH8　08：CH9 09：CH10　10：CH11　11：CH12 12：CH13　13：CH14　14：CH15 15：CH16 ＊＊(2)：エラー種別(別紙参照)
コメント表示消去 コマンド	DC #1	RC #2 EX,＊＊(1)DC #2	＊＊(1)：エラー種別(別紙参照)

◆コメント記録に使用できる文字

アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
記号	(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>	?	@			
数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																

◆実施例

1）キャラクター「ABCDEF」を、コメントとして映像と共に記録する。
パーソナルコンピューター上で行います。
1　記録するキャラクター(文字列)をセットする。
2　セットしたキャラクターを記録する。

一度セットしたキャラクターは、COMSコマンドにより何度でも記録することが可能です。別のキャラクターを記録するためには、再びCOMDコマンドにより、キャラクターをセットしなおします。

➡ **キャラクターは、最大32文字まで入力できます。**

2）記録したコメントを表示する。
1　＜設定＞ → ＜時刻・画面表示設定＞画面の「カメラ表示設定」を選択し、「コメント」を表示させて、確定する。

➡ **画面に表示される文字数は・・・**
1画表示　　：32文字すべて
4分割表示　：最初から10文字まで
9分割表示　：最初から6文字まで
16分割表示　：最初から3文字まで

3）キャラクター「ABCDEF」が記録されているところを頭出しする。
パーソナルコンピューター上で行います。コメントサーチ後は、検知すると静止画再生になります。

(!) **コメントサーチは、停止中、静止画再生中、再生中、記録中も実行可能です。**
(!) **同じキャラクターが複数あり、希望の画面が表示されなかったときは、再び同じ操作を行ってください。**
(!) **コメントサーチは、すべてのデータを検索するため、かなり時間がかかることがあります。**
➡ **入力したキャラクターを検知できないときは、自動的に停止します。**

記録時間表

■ 連続記録可能時間表

◆HDDの連続記録可能時間(320GBの場合)

およその記録時間(内部の320GBハードディスクに記録する場合)を表示しています。

ⓘ この記録時間表は、カメラ2台で運用し、記録間隔を同じ間隔に設定した場合の値です。ご注意ください。

音声記録設定を「切」にした場合

画質＼間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8	記録枚数
スーパー	1日9時間	2日19時間	4日5時間	5日15時間	7日1時間	8日11時間	14日2時間	21日4時間	42日8時間	84日17時間	169日10時間	338日21時間	732万枚
ファイン	1日18時間	3日12時間	5日7時間	7日1時間	8日20時間	10日14時間	17日16時間	26日13時間	53日2時間	106日4時間	212日9時間	424日19時間	917万枚
ハイ	2日5時間	4日11時間	6日17時間	8日23時間	11日5時間	13日11時間	22日11時間	33日17時間	67日10時間	134日20時間	269日16時間	539日8時間	1165万枚
ノーマル	2日20時間	5日16時間	8日12時間	11日8時間	14日4時間	17日	28日8時間	42日12時間	85日	170日	340日1時間	680日3時間	1469万枚
ベーシック	4日	8日1時間	12日1時間	16日2時間	20日3時間	24日3時間	40日6時間	60日9時間	120日19時間	241日15時間	483日6時間	966日13時間	2087万枚

音声記録設定を「入」にした場合　<PCM方式12.8KHzサンプリングで音声記録が可能です。>

画質＼間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8
スーパー	1日9時間	2日19時間	4日5時間	5日15時間	6日18時間	8日2時間	13日12時間	19日9時間	36日23時間	63日5時間	169日10時間	338日21時間
ファイン	1日18時間	3日12時間	5日3時間	6日20時間	8日13時間	10日6時間	16日12時間	23日20時間	44日3時間	77日13時間	212日9時間	424日19時間
ハイ	2日5時間	4日9時間	6日13時間	8日18時間	10日22時間	12日18時間	20日16時間	30日3時間	54日21時間	91日21時間	269日16時間	539日8時間
ノーマル	2日20時間	5日13時間	8日7時間	10日20時間	13日13時間	15日22時間	25日22時間	37日3時間	65日7時間	105日14時間	340日1時間	680日3時間
ベーシック	3日23時間	7日21時間	11日13時間	15日3時間	18日22時間	22日8時間	35日11時間	49日16時間	85日	130日15時間	483日6時間	966日13時間

ⓘ 上記記載の連続記録可能時間とメニュー画面に表示される見積り時間は、機能動作上の連続記録可能時間であり、製品保証期間ではありません。また、使用部品の動作信頼性を保証する期間でもありません。

ⓘ 「音声記録設定」を「入」に設定しても、以下の設定条件では音声記録できません。ご注意ください。

・通常記録を設定する場合、「記録運用設定」の「通常間隔」がすべて「3秒」より長く設定されていると音声記録できません。このとき、見積り時間表示の右どなりに(🔇X)が表示されます。

・アラーム記録モードが以下の場合。

「アラームCH」　：　アラーム記録時に運用設定したすべてのカメラの「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。

「アラームプラスCH」　：　通常記録、アラーム記録に運用設定したすべてのカメラの「通常間隔」、「ALM間隔」が「3秒」より長く設定されているとき。

ⓘ ▒▒：音声記録設定を「入」にした場合、記録間隔4秒、8秒は音声記録できないため、記録時間は音声記録設定を「切」にしたときと同一になります。

◆コンパクトフラッシュカードの連続記録可能時間(64MBの場合)

およその記録時間(コンパクトフラッシュカード　64MBに記録する場合)を表示しています。

(!) この記録時間表は、カメラ2台で運用し、記録間隔を同じ間隔に設定した場合の値です。ご注意ください。

音声記録設定を「切」にした場合

画質＼間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8	記録枚数
スーパー	20秒	50秒	1分10秒	1分40秒	2分10秒	2分30秒	4分20秒	6分30秒	13分	26分	53分	1時間40分	1300枚
ファイン	30秒	1分	1分30秒	2分10秒	2分40秒	3分10秒	5分30秒	8分10秒	16分	33分	1時間	2時間10分	1600枚
ハイ	40秒	1分20秒	2分	2分40秒	3分30秒	4分10秒	7分	10分	21分	42分	1時間20分	2時間40分	2100枚
ノーマル	50秒	1分40秒	2分30秒	3分30秒	4分20秒	5分10秒	8分50秒	13分	26分	53分	1時間40分	3時間30分	2600枚
ベーシック	1分10秒	2分30秒	3分40秒	5分	6分10秒	7分30秒	12分	18分	37分	1時間10分	2時間30分	5時間	3700枚

音声記録設定を「入」にした場合　<PCM方式12.8KHzサンプリングで音声記録が可能です。>

画質＼間隔	0.03	0.07	0.1	0.13	0.17	0.2	0.33	0.5	1	2	4	8
スーパー	20秒	50秒	1分10秒	1分40秒	2分	2分30秒	4分10秒	6分	11分	19分	53分	1時間40分
ファイン	30秒	1分	1分30秒	2分	2分40秒	3分10秒	5分	7分20秒	13分	24分	1時間	2時間10分
ハイ	40秒	1分20秒	2分	2分40秒	3分20秒	3分50秒	6分20秒	9分20秒	17分	28分	1時間20分	2時間40分
ノーマル	50秒	1分40秒	2分30秒	3分20秒	4分10秒	4分50秒	8分	11分	20分	33分	1時間40分	3時間30分
ベーシック	1分10秒	2分20秒	3分30秒	4分40秒	5分50秒	7分	11分	15分	26分	40分	2時間30分	5時間

(!) ▭：音声記録設定を「入」にした場合、記録間隔4秒、8秒は音声記録できないため、記録時間は音声記録設定を「切」にしたときと同一になります。

(!) ご使用になるCFCの容量に応じて、記録時間表の値を計算しなおしてください。例えば、128MBのCFCをご使用になる場合は、記録時間表のそれぞれの値を2倍としてください。

(!) 使用できるコンパクトフラッシュカードについては、販売店へ確認してください。

「故障かな」と思う前に

下記の内容をお調べになったあと、それでも不都合がある場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

	Q こんな症状が出たら	A ここをお調べください	P 参照ページ
設置	本機の電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ ● ロックインジケーターが点灯していませんか？ ● タイマーインジケーターが点灯していませんか？ ● 後面部のMAINスイッチが「OFF」になっていませんか？	- 14,77 - 80 14 17
設置	電源が入っているのに動かない。	● ロックインジケーターが点灯していませんか？ ● 電源ボタンが点滅していませんか？ 点滅中は、操作を受け付けません。 ● 安全装置がはたらいている可能性があります。後面部のRESETボタンをボールペンなどで押してから、電源を入れなおしてください。	14,77 - 80 15 17,103
設置	モニターに映像が出ない。	● モニターやカメラが正しく接続されていますか？ ● 選択されたカメラ番号にカメラ信号が入力されていますか？ 16分割表示にして、確認してください。	19 44
設置	モニターの映像が不鮮明である。	● 接続コードの接続不良はありませんか？ ● カメラのピントは正しく調整されていますか？	– –
記録	記録ができない。	● 「HDD(メイン)リピート記録」、(「HDD(サブ)リピート記録」)の設定が、「切」になっていませんか？ ● 記録は、設定した記録間隔の時間が経過したあとに始まります。設定した記録間隔時間以内に、停止させませんでしたか？	62 29,30
記録	記録を停止することができない。	● ロックインジケーターが点灯していませんか？ ● 通常記録、アラーム記録、エマージェンシー記録の記録中は、記録/停止ボタンを1秒以上連続で押してください。 ● タイマー記録の記録中ではありませんか？ タイマー記録を解除したいときは、もう一度タイマーボタンを1秒以上連続で押してください。	14,77 - 80 14 15
記録	リピート記録ができない。	● 「HDD(メイン)リピート記録」、(「HDD(サブ)リピート記録」)の設定を、「入」にしていますか？	62
記録	タイマー記録ができない。	● 日付・現在時刻は正確に設定しましたか？ ● 記録開始時刻、終了時刻、記録間隔を正しく設定しましたか？ ● 「HDD(メイン)リピート記録」、(「HDD(サブ)リピート記録」)の設定が、「切」になっていませんか？ ● 記録に運用したカメラ番号の「通常間隔」(「ALM間隔」)が、「－－－－－」になっていませんか？ ● HDD(サブ)の記録容量が無くなっていませんか？	27,28 57 - 59 62 60 –
記録	アラーム記録ができない。	● タイマー記録の待機中ではありませんか？ (タイマーインジケーターが点灯していませんか？) ● 外部のセンサーなどが正しく接続されていますか？	14 19
再生	再生ができない。	● ロックインジケーターが点灯していませんか？ ● データが消去されていませんか？ ● 再生デバイスの選択は合っていますか？ ● 通信でライブ画像の取得を要求されていませんか？画像取得中は、再生できません。	14,77 - 80 74 31,96 31,92, 108
再生	コンパクトフラッシュカードの再生ができない。	● カードが正しく挿入されていますか？ ● 再生デバイスの選択は合っていますか？ ● FSM2フォーマットの映像データが記録されていますか？	15 31 –

	Q こんな症状が出たら	A ここをお調べください	P 参照ページ
外部記録機器	コピー機器/バックアップ機器の操作ができない。	● メディアが正しく挿入されていますか？ ● 外部記録機器がメディアを認識動作中ではないですか？ ● 再生デバイスの選択は合っていますか？ ● メディアがライトプロテクトされていませんか？ ● ID4・ID5の設定が「増設HDD」になっていませんか？ ● 外部記録機器の電源は入っていますか？ ● 外部記録機器のケーブル、ターミネーションは正しく設定されていますか？ ● 本機の電源を入れた後で周辺機器の電源を入れていませんか？	— — 31,96 — 24 — 21 —
その他	動き検知機能が働かない。	● <アラーム設定>画面が動き検知機能を働かせたいカメラ番号のアラーム入力が「端子」になっていませんか？ ● <記録運用設定>画面で動き検知機能を働かせたいカメラ番号の「ALM間隔」が「－－－－－」になっていませんか？ ● <動き検知設定>画面の「記録開始ドット数」の数値が「検知エリアドット設定」の数値より大きくなっていませんか？	53 53,54 49,50
	パーソナルコンピューターで制御できない。	● <RS-232C設定>は正しく設定されていますか？ ● 正しく接続されていますか？ ● 接続ケーブルに接続不良はありませんか？ ● 接続ケーブルの種類は合っていますか？	70 114 — 114
	分割表示のときに、青い画面が表示されるカメラ番号がある。	● 運用設定をしていても、映像信号の入力がないカメラ番号の画面は、青く表示されます。	44
	ボタン操作ができない。	● 電源ボタンが点滅していませんか？ 点滅中は、操作を受け付けません。 ● ロックインジケーターが点灯していませんか？	15 14,77 - 80
	カメラ番号ボタンでカメラの切り換え操作ができない。	● メニュー画面が表示されていませんか？ メニュー画面を表示中は、カメラ番号ボタンは使用できません。	—
	サーチができない。	● 通信でライブ画像の取得を要求されていませんか？画像取得中は、サーチできません。	32,95, 108

警告表示とCALL OUT信号の出力

※1 CALL OUT信号の出力について

選択：メニュー画面でCALL OUT信号の出力の入／切が設定できる。

共通：メニュー画面の設定に関わらず、CALL OUT端子からCALL OUT信号を出力する。

なし：CALL OUT信号は出力しないが、画面上に警告表示をする。

CALL OUT信号の出力は、警告消去ボタンを押すことによりとめることができます。

警告表示	表示の意味	対　処	警告表示の解除方法	コード	CALL OUT信号の出力※1	参照ページ
記録/フル	HDD(メイン)の記録容量が無くなった。	・警告を解除することにより、最も古い記録の部分から上書き記録に移行する。 ・必要に応じコピーを行う。	警告消去ボタンを押す。	LOG1100	選択	62
記録/サブフル	HDD(サブ)の記録容量が無くなった。			LOG1101		100-102
コピー/フル リストア/フル	メディアの記録容量が無くなった。	・新しいメディアと交換する。 ・必要に応じメディアを交換する。	警告消去ボタンを押す。	LOG3100 LOG4100	なし	– –
バックアップ/フル				LOG7100	選択	
記録/残量警告	HDDの残量が設定したHDDの残量発報の値になった。	・必要に応じ、コピーを行う。	警告消去ボタンを押す。	LOG1200(メイン) LOG1201(サブ)	選択	68
バックアップ/残量警告				LOG7200		
コピー/サイズエラー リストア/サイズエラー バックアップ/サイズエラー	記録機器へコピーおよびリストアするとき、データが記録機器の記録容量を上回っている。または、コピー(リストア)元のデータがない。	・コピー/リストアする範囲を再設定する。 ・新しいメディアと交換する。	警告消去ボタンを押す。	LOG3701 LOG4701 LOG7701	なし	101 –
コピー/メディアエラー リストア/メディアエラー バックアップ/メディアエラー	記録機器のメディアに、異常が発生している。	・記録機器のメディアをチェックする。(メディアが入っていないときはメディアを挿入する。) ・メディアのライトプロテクトがかかっていないか確認する。かかっていれば解除する。 ・外部記録機器、本機共に電源を切ったのち、外部記録機器、本機の順で再起動する。 ・外部記録機器、本機共に電源を切ったのち、SCSIケーブル、ターミネーターの確認を行う。	警告消去ボタンを押す。	LOG3702 LOG4702 LOG7702	なし	101 – –
コピー/メディア無し リストア/メディア無し バックアップ/メディア無し	メディアが、挿入されていない。	・メディアを挿入する。	警告消去ボタンを押す。	LOG3703 LOG4703 LOG7703	なし	101
映像信号無し (○○○○○○) ○：映像信号のないカメラ番号を表示	記録中に、映像信号が5秒以上継続して欠落した。	・本機とカメラが正しく接続されているか、電源が入っているか確認する。 ・カメラから所定の映像信号が出力されているか確認する。 ・映像信号の入力がないカメラを運用設定していないか確認する。	記録を停止させる。 映像信号を出力させる。 警告消去ボタンを押す。	LOG54□□ ※3	共通	19 – 29,30 52-54
データ改ざんエラー (○○○)○：カメラ番号	映像改変が行われた映像データを再生した。	——	警告消去ボタンを押す。	LOG5500	設定「入」のとき共通	63
再立上げ実行 再生/動作異常 記録/動作異常 コピー/動作異常 リストア/動作異常 バックアップ/動作異常	システムに異常が発生した。	・再起動する。 ・HDD/メディアを確認をする。 ・外部記録機器、本機共に電源を切ったのち、外部記録機器、本機の順で再起動する。 ・外部記録機器、本機共に電源を切ったのち、SCSIケーブル、ターミネーターの確認を行う。	警告消去ボタンを押す。	LOG5100※4 LOG24□□ ※2,4 LOG14□□ ※2,4 LOG34□□ ※2 LOG44□□ ※2 LOG74□□ ※2	共通	– – – –
記録/動作エラー コピー/動作エラー リストア/動作エラー バックアップ/動作エラー	HDD/メディアのデータの書き込みで障害が発生している。	・HDD/メディアを確認をする。 ・外部記録機器、本機共に電源を切ったのち、外部記録機器、本機の順で再起動する。 ・外部記録機器、本機共に電源を切ったのち、SCSIケーブル、ターミネーターの確認を行う。	警告消去ボタンを押す。	LOG13□□ ※2,4 LOG33□□ ※2 LOG43□□ ※2 LOG73□□ ※2	なし	– – –

警告表示	表示の意味	対　処	警告表示の解除方法	コード	CALL OUT信号の出力※1	参照ページ
ミラーHDD障害	ミラーリング運用下で、HDDが1台認識できなくなった。	・再起動する。	警告消去ボタンを押す。	L0G6100	共通	-
<デバイス異常>	HDDが認識できなくなった。	・再起動する。	電源を切る。	L0G6200	共通	-
高温検知	許容範囲外の高温環境下で発行する。	・電源を切り、設置状態を変える。	警告消去ボタンを押す。温度を下げる。	L0G5200	共通	-
高温停止	異常高温環境下での強制電源OFFの後、再起動時に発行する。	・電源を切り、設置状態を変える。	警告消去ボタンを押す。温度を下げる。	L0G5201	共通	-
ファン停止	ファンが停止した。	・電源を切り、使用を中止する。	警告消去ボタンを押す。ファンを回転させる。	L0G5300	共通	-
コピー/追い越しエラー バックアップ/追い越しエラー	HDD記録がコピー/バックアップの記録を追い越してコピー/バックアップ動作が停止する。	・引き続きコピー/バックアップを行う場合はHDD記録を停止する。	警告消去ボタンを押す。	L0G3500 L0G7500	なし	100-102
コピー/追い越しワーニング バックアップ/追い越しワーニング	HDD記録がコピー/バックアップの記録を追い越そうとしている。	・引き続きコピー/バックアップを行う場合はHDD記録を停止する。 ・HDD記録を続ける場合は、コピー/バックアップを停止する。	警告消去ボタンを押す。	L0G3600 L0G7600	なし	- -
(なし)	ウォッチドック動作により再起動する。	——	——	L0G5101	——	-

※2 □□ (□□には、下記の番号が入ります)
00：IDE 内部A、01：IDE 内部B、10：SCSI ID0、11：SCSI ID1、12：SCSI ID2、13：SCSI ID3、14：SCSI ID4、15：SCSI ID5、20：CFC

※3 □□ (□□には、下記の番号が入ります)
01：CH1、02：CH2、03：CH3、04：CH4、05：CH5、06：CH6、07：CH7、08：CH8、09：CH9、10：CH10、11：CH11、12：CH12、13：CH13、14：CH14、15：CH15、16：CH16

※4 1分後に自動消去します。

用語集／設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係

■ 用語集

I/O端子
入力(input)と出力(output)を合わせて呼ぶ言葉です。

RS-232C
パーソナルコンピューターとモデムなどの機器でデータをやり取りするのに用いる接続規格。パーソナルコンピューターとモデムを接続するときの基準となっています。規格上の通信速度の上限は115.2kdpsで、最大転送距離は、15mです。規格では、コネクターピンの役割や物理特性などが定めてあるだけで、コネクター形状には25ピンのD-subなどいくつかの種類があります。

RS-485/RS-422
RS-232Cに取って代わるべく、EIAが制定したシリアルインターフェースです。RS-232Cが不平衡型で信号を伝達するのに対し、RS-422/RS-485は平衡型で信号伝達を行うので、より長距離、高速な通信に適しています。

コピー
データの一部を外部記録メディアに複写することです。なお、本機では連続している映像の中から異常発生時の前後の映像データだけを外部に持ち出して分析するために、SCSIデバイス、コンパクトフラッシュカード、またはビデオなどに複写することをいいます。

コンパクトフラッシュカード(CFC)
小型メモリー・カードの規格の1つです。丈夫で取扱いが簡単といったメリットがあります。

ハードディスクドライブ(HDD)
テープと同じ磁気記録による記録装置で、パソコンなどの記録装置として使われます。記録媒体として表面に磁性体を塗布したアルミの円盤が使用されており、非接触で記録・再生を行うため、ヘッドの摩耗などがありません。さらにデータはセクタと呼ばれる番地付きの区切りの中に記録されますので、検索が早いのも特徴です。

ミラーリング
磁気ディスク装置に対するデータ保護対策の1つです。同じ容量の2台のハードディスクに対し、同じデータを両方のハードディスクへ書き込みます。なお、2台を1台として使用するため記録可能時間が半分になるというデメリットがあります。

メディア
もともとは情報を伝達する媒体のことをいいます。ハードディスクやフロッピー・ディスク、MOディスク、磁気テープなどデータを記録しておく媒体を指すことが多く、記録媒体ともいいます。メディアはデータの記録方式により、光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスクなどに大きく分類されます。

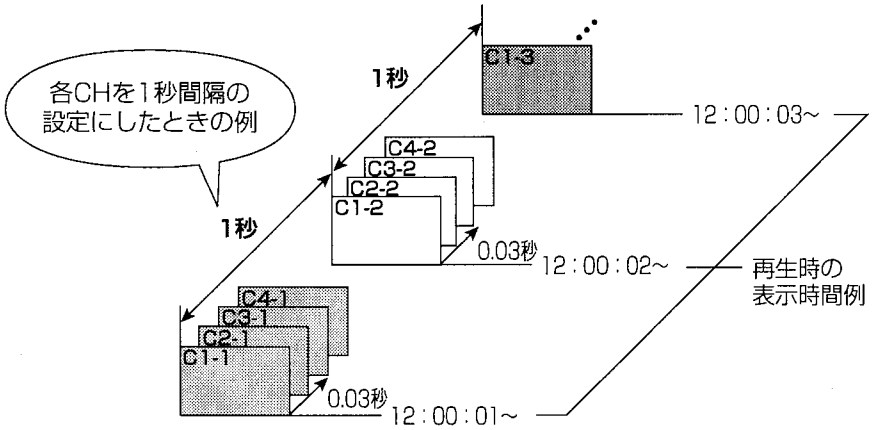
容量
メモリーやディスクなどの記録装置に収納できるデータ量のことで、単位はB(バイト)です。

リストア
外部記録装置などにバックアップしておいたデータを、デジタルレコーダーの内部ハードディスクに複写して戻すことをいいます。

パーティション
ハードディスク内で、複数に分割された各領域をパーティションといいます。

■ 設定カメラ数・記録間隔設定と記録動作の関係

本機での映像の取り込み(記録)は、下図のようなタイミングで行われます。映像は、設定された全カメラから連続して(通常記録で0.03秒間隔)取り込まれます。



索引

数字/記号

1画シーケンシャル……43,44
1画表示……44
4分割シーケンシャル……43,44
9分割シーケンシャル……43,44
4分割表示位置……45,46
9分割表示位置……46
16分割表示位置……47
🔊……66

A

ALARM IN端子……17
ALM画質……54
ALM間隔……54
AUDIO端子……17
AUDIO IN端子……17
AUDIO OUT端子……17

C

CALL OUT端子・CALL OUT GND端子……18
CALL OUT設定……68,69
CAMERA IN端子……17
CAMERA OUT端子……17
CCTVカメラとの接続……19
CFCインジケーター……16
CFCからメニュー設定を読み出し・設定変更……81
CFCデータ消去……76
CFCへメニュー設定をコピー……82
CLOCK ADJ端子……17
CR/CR・LF……70

D

DC 5V OUT端子……18
DDS……21

E

E-MAILアドレス……71
EMERGENCY端子……18
ETHERNET……18,70-73

G

GND端子……17

H

HDD記録運用……24,104,105
HDD(サブ)残量発報……68
HDD(サブ)データ消去……76
HDD(サブ)フル……69
HDD(サブ)リピート記録……62
HDDデータ消去……77,78
HDD(メイン)残量発報……68
HDD(メイン)データ消去……76
HDD(メイン)フル……69
HDD(メイン)リピート記録……62
HDDリピート再生……62

I

ID4・ID5運用選択……24
I/O端子……17,18,152
IPアドレス……70

M

MAINスイッチ……17
MICジャック……17
MODE OUT1～5……66
MODE OUT端子(1～5)……18

O

OUTPUT A S(Y/C)端子……17
OUTPUT A VIDEO端子……17
OUTPUT B VIDEO端子……17

R

RDD……21
REC端子……18
RECIVEインジケーター……18
REMOTEジャック……17
RESETボタン……17,103
RS-232C……69,70,152
RS-232C運用……69
RS-232Cケーブル……114
RS-232C設定……70
RS-232C端子……18
RS-232C端子について……114
RS-485/RS-422……152
RS-485/RS-422端子……17

S

SCSI端子……18
SCSI ID番号……21
SCSIディレイ時間……24,25
SENDインジケーター……18
SMTPサーバー……71

V

VIDEO OUT端子……17

W

Welcome……108

ア

アクセスインジケーター……14
アクセス認証……107
アナログ出力端子……15
アフターサービス……156
アラームCH……53
アラームインデックス……111
アラームインデックスサーチ……96,97
アラーム記録時間(タイマー記録)……60
アラーム記録時間(マニュアル記録)……55
アラーム記録モード……53
アラーム記録に関する設定(マニュアル記録)……52,53
アラーム記録の記録運用設定A～D(タイマー記録)……60
アラーム記録の接続方法……20
アラーム記録番号……28
アラーム端子入力通知……72
アラーム通知設定……72
アラーム検索……111
アラームディスプレイ……106
アラームパーティション……105
アラームプラスCH……53
アラームホールドボタン……15
アラームリストサーチ……98,99

イ

一時停止/シャトルホールドボタン……16
一時停止ボタン……16
インデックス数の数えかた……96

ウ

動き検知インジケーター……14
動き検知記録のアラームリストへの登録……55
上書きバックアップ……56
運用時間(コピー)……74
運用時間(システム)……74
運用時間(バックアップ)……74
運用設定……62,63
運用変更・初期化……24,25

エ

映像出力端子……15
エマージェンシーインジケーター……14
エマージェンシー記録……53,90,91
エマージェンシー記録時間……69
エラー種別……116

オ

音声記録設定……66
音声出力端子……16

カ

開始点サーチ……99
外部記録機器との接続……20,21
改変確認再生……63
拡大ボタン……14,26
拡大ボタンの動作……43
拡大ボタンの動作表……44
拡大中心点(X)……43
カメラタイトル・メモ設定……41,42
カメラ制御設定……73
カメラ選択……95
カメラ番号ボタン……14,26
カメラ番号ボタンの動作……43
カメラ番号ボタンの動作表……44
カメラ表示設定……40,106
画面表示位置……40
画面表示形式……40
簡易ロック……77
感度……50

キ

基本設定・情報表示……62-80
基本的なサーチのしかた……32,33
基本的な再生のしかた……31
基本的なマニュアル記録のしかた……29,30
逆再生……93
逆再生ボタン……16
記録(アラーム記録)……52,53,60
記録インデックスサーチ……96,97
記録運用設定(マニュアル記録)……52-54
記録運用設定A～D(タイマー記録)……60
記録(エマージェンシー記録)……53,90,91
記録開始ドット……50
記録画像……110
記録開始通知……72
記録時間表……146,147
記録(タイマー記録)……57-60
記録/停止ボタン……14
記録(マニュアル記録)……29,30,52,53

ケ

ゲートウェイ……70
警告消去ボタン……15
警告表示とCALL OUT信号の出力……150,151
検知エリアドット設定……49,50

コ

高速早送り／早戻し再生……93
「故障かな」と思う前に……148,149
コピー……152
コピーデータ消去……76

索引(つづき)

コ(つづき)
コピーのしかた …… 100,101
コピーボタン …… 15
コマンドコード表 …… 117-144
コマ送り …… 92
コメントサーチ …… 145
コメント記録に使用できる文字 …… 145
コンパクトフラッシュスロット …… 15
コンパクトフラッシュカード(CFC) 152
コンパクトフラッシュカード
インジケーター・ 16

サ
サーチボタン …… 15
サーチ方式 …… 95
サーチ方式設定 …… 95,96
サービスポート設定 …… 71
再生 …… 31
再生間隔の変更 …… 93
再生停止ボタン …… 16
再生デバイスインジケーター …… 16
再生デバイス選択 …… 96
再生デバイスボタン …… 15
再生ボタン …… 16
再生モードボタン …… 16
サブデバイス容量 …… 105
サブネット マスク …… 70
残量検出位置 …… 67,68

シ
シーケンス表示 …… 47,48
時刻・画面表示設定 …… 40-42
時刻設定 …… 27,28
時刻表示画面 …… 28
システムログリスト …… 75
自動設定 …… 22,23
シャトル …… 14,26
シャトルホールド …… 92
シャトルホールドボタン …… 16
シャトル再生 …… 92
終了点サーチ …… 99
出力A設定 …… 45
出力Bインジケーター …… 14
出力B設定 …… 45
出力B 入/切 …… 45
仕様 …… 155
状態遷移通知機能 …… 143
情報表示(CFC) …… 74
情報表示(バックアップ・コピー) …… 74
情報表示・保守設定 …… 74-76
情報表示(メイン・サブ) …… 74
初期化(デバイス) …… 24
初期化(メニュー) …… 76
ジョグ …… 14,26

ス
スキップサーチ …… 97,98
ストップビット …… 70
スピーカーマーク …… 66

セ
静止画再生 …… 92
接続のしかた …… 19-21
設定カメラ数・記録間隔設定と
記録動作の関係 … 152
設定カメラ選択 …… 49
設定ボタン …… 15
センサーとの接続 …… 19

ソ
操作制限 …… 77,78

タ
タイマーインジケーター …… 14
タイマー休日設定 …… 59
タイマープログラム設定 …… 57-59
タイマーボタン …… 15
タイムデートサーチ …… 32,33
ダイレクトシャトル再生 …… 92
ダイレクト接続する場合 …… 114

ツ
通常画質 …… 30,54
通常間隔 …… 30,54
通常画面に戻るには …… 27
通信インジケーター …… 14
通信設定 …… 69-73,115

テ
データ消去 …… 76
データビット …… 70
停電復帰記録 …… 103
停電保証回路 …… 103
デバイス再構築 …… 25
電源コード差込口 …… 17
電源ボタン …… 15
転送速度 …… 70
転送動作 …… 100

ト
動作テストモード …… 51
動作モード表示 …… 42
取出しボタン …… 16

ハ
パーソナルコンピューターとの接続 114
パーティション …… 105,152
ポート …… 73
ハードディスクドライブ(HDD) … 152
パスワードロック …… 77-80
パスワードロック解除 …… 79
パスワードロック設定 …… 78
バックアップ開始位置リセット …… 65
バックアップ残量発報 …… 68
バックアップデータ消去 …… 76
バックアップソース …… 64
バックアップフル …… 69
バックアップボタン …… 14
バックアップメディア自動イジェクト 56
バックアップリピート …… 64
範囲指定 …… 100,101
パリティ …… 70

ヒ
日付・時刻の合わせかた …… 27,28
表示形式 …… 40

フ
ブザー …… 67
付属品 …… 155
プリアラームインジケーター …… 14
プリアラーム記録 …… 90
プリアラーム記録設定(タイマー記録) 60
プリアラーム記録設定
(マニュアル記録) …… 55
フローチャート …… 12,13
分割/シーケンスボタン …… 14,26
分割/シーケンスボタン設定 …… 45
分割/シーケンスボタンの動作 …… 43
分割/シーケンスボタンの動作表 … 44
分割表示画質 …… 48

ホ
ボタン音 …… 67

マ
マニュアル設定 …… 29,30,52-56
メモ …… 41,42
マルチプレクサ出力 Aボタン …… 16
マルチプレクサ出力 Bボタン …… 16
マルチプレクサ出力ボタン …… 16
マルチプレクサ設定 …… 43-48

ミ
見積り時間 …… 29
ミラーリング …… 104,152

メ
メディア …… 152
メニュー画面一覧 …… 34-39
メニュー画面から通常画面に戻るには 27
メニュークイック設定 …… 81,82
メニュー初期化 …… 76
メニューセーブ …… 82
メニューロード …… 81

モ
文字コード一覧 …… 144
文字列入力 …… 41
モデムを介して接続する場合 …… 114
モデル …… 73
モニターとの接続 …… 19

ユ
ユーザーアドレス …… 71
ユーザー管理 …… 111

ヨ
用語集 …… 152
容量 …… 152

ラ
ライブ画像 …… 109

リ
リトライ間隔 …… 72
リストア …… 152
リストアのしかた …… 100,101
リスト検索時間設定 …… 95

レ
レコーダーID …… 71
レコーダーから
ビデオテープにコピーする …… 102
連続記録可能時間表 …… 146,147

ロ
ログアウト …… 112
ログインユーザーの変更 …… 113
ロックインジケーター …… 14
ロックボタン …… 14

ワ
ワーニング通知 …… 72

仕様

一般		
電源	AC100V±10%　50/60Hz	
定格電流	0.65A	
信号方式	NTSC方式	
許容周囲温度	5～40℃	
許容相対湿度	最大80%　(ただし、結露しないこと)	
許容高度	標高2000m以下	
外形寸法	42.5(幅)×11.6(高さ)×37.5(奥行)cm	
質量	8.2kg	
記録方式	WAVELET方式圧縮によるデジタル記録方式	
サンプリング	13.5MHz	
データ圧縮方式	WAVELET	
映像圧縮単位	フィールド	
音声記録方式	PCM方式	
処理画素数	684×240	
記憶媒体	320GBハードディスクドライブ	
入力	16入力BNCコネクター	1.0V(p-p)　75Ω
モニター出力	S(Y/C)コネクター	Y(輝度信号):1.0V(p-p)　75Ω、C(色信号):0.286V(p-p)　75Ω
	BNCコネクター	1.0V(p-p)　75Ω (2系統)
	RCAピン	1.0V(p-p)　75Ω
スルー出力	16出力BNCコネクター	1.0V(p-p)　75Ω
オーディオ入力	RCAピン	308mV(rms)　50kΩ
オーディオ出力	RCAピン	308mV(rms)　1kΩ (2系統)
マイク入力	ミニジャック	0.346mV(rms)　600Ω
時刻精度	±20秒/月以内(電源供給時、常温)	
タイマープログラム		
プログラム数	完全独立8プログラム×3セット	
曜日設定	月～日、毎日および任意曜日間設定	
時間設定	タイマーONおよびOFF時間設定	
バッテリー		
バックアップ	約1カ月(フル充電時)	

制御端子

ALARM IN	アラーム記録開始信号入力	動作時：GND端子に短絡または「L」レベル電圧印加、 非動作時：オープン
CLOCK ADJ	時計正時合わせ入力	同上
REC	記録指令信号入力	同上
EMERGENCY	エマージェンシー記録信号入力	同上
MODE OUT1～5	動作モード信号出力	動作時：「L」レベル電圧出力　最大電流7mA DC、 非動作時：オープン　最大電圧+24V DC
CALL OUT／ CALL OUT GND	ワーニング警報信号(フォトカプラ出力)	動作時：ON状態　最大電流7mA DC、 非動作時：オープン　最大電圧+24V DC
DC 5V OUT	DC5V 出力	電源ON時：出力　最大電流30mA
GND	グランド	
RS-485/RS-422	複合一体型カメラのPTZコントロール用	

RS-232C	パーソナルコンピューター接続用、RS-232C規格準拠(D-sub9ピンコネクタ)	
SCSI	SCSI2準拠	ピンタイプハーフ50pin
ETHERNET	コネクタ形状	RJ-45
	物理インターフェース	10BASE-T
コンパクトフラッシュカードへの記録フォーマット	弊社独自フォーマット(FSM2)	
CD-R/RWへの記録フォーマット	弊社独自フォーマット(FSM2)	

付属品

- 電源コード　1本
- BNCコード　1本
- コンパクトフラッシュスロットカバー(本体取り付け済み)　1個
- 取扱説明書　1冊
- 操作早見表　1冊
- 保証書　1枚

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証と修理サービスについて

● 保証書について

保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間：お求めの日から一年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

「使用上のお願い」をはじめ、取扱説明書の内容をもう一度ごらんいただきなお異常のあるときは必ず電源の供給を停止してから、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。アフターサービスについてご不明な点はお求めの販売店にお問い合わせください。

本製品を分解、改造した場合は、保証(無料修理)およびその他のサービスが受けられません。

● 保証期間内でも次の場合には有料修理になります

（1） 本書のご提示が無い場合。

（2） ご使用上の誤り、不注意、分解、保守会社以外の修理により生じた故障、損傷。

（3） お買い上げ後、外的要因(落下、衝撃、圧力等の負荷、液体・薬品付着、水没等)により生じた故障、損傷。

（4） 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、虫害、異常電圧による故障、損傷。

（5） 本書にお買い上げ日、ご販売・店名の記入のない場合、または本書の字句が書替えらえた場合。

（6） 各部の点検または定期保守に要する費用。

（7） 接続ケーブル、付属品などの消耗品による交換。

（8） 送り込み修理依頼に伴う送料。

（9） 車両、船舶に備品として搭載した特殊使用の場合に生じる故障および損傷。

（10） 本製品以外に故障原因がある場合、または改造を要する場合。

（11） その他東芝の責に帰し得ない事情により生じた損害、故障、損傷。

● 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

● 部品について

（1） 修理のために取り外した部品は、特段の申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

（2） 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

● 廃却について

（1） 本製品を廃却するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。くわしくは、各地方自治体にお問い合わせください。(本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が含まれています。)

（2） 本製品の廃却の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合には、お買い上げ販売店にご相談ください。

● ハードディスクの取り扱いについて

本機は映像を内蔵のハードディスクに記録する装置です。修理をご依頼になるときのハードディスクの取り扱いは下記の通りです。

（1） ハードディスク以外の故障の場合

基本的には修理後、ハードディスクをフォーマットして修理完了となります。したがってお預かりしたときに記録されている映像はすべて消去されることになります。

もしお客様がそれまで記録されていた映像を残したまま修理完了を望まれる場合は、修理をご依頼になるときにその旨お伝えください。(ただしハードディスクをフォーマットしないと故障原因が改善されない場合もありまので、あらかじめご了承ください。)

（2） ハードディスクが故障の場合

ハードディスクに異常がある場合はフォーマットをすることになりまので、お客様が望まれた場合でも記録された映像は残しておくことはできません。さらにそれでも故障原因が改善されない場合、ハードディスクの交換となります。

株式会社 東芝 デジタルメディアネットワーク社

映像システム事業部

〒105-8001　東京都港区芝浦 1－1－1

電話番号　(03) 3457－8404

＊住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

この取扱説明書は、
再生紙を使用しています。

PRINTED IN MALAYSIA

872C277B7

V1.0